

平成25年度沖縄振興特別推進市町村交付金事業成果一覧

平成26年8月4日

| | | | |
|------|-----|------|-----|
| 那覇市 | 1 | 嘉手納町 | 123 |
| 宜野湾市 | 24 | 北谷町 | 127 |
| 石垣市 | 30 | 北中城村 | 131 |
| 浦添市 | 40 | 中城村 | 136 |
| 名護市 | 47 | 西原町 | 140 |
| 糸満市 | 51 | 与那原町 | 143 |
| 沖縄市 | 58 | 南風原町 | 146 |
| 豊見城市 | 67 | 渡嘉敷村 | 155 |
| うるま市 | 71 | 座間味村 | 158 |
| 宮古島市 | 79 | 粟国村 | 161 |
| 南城市 | 86 | 渡名喜村 | 164 |
| 国頭村 | 93 | 南大東村 | 165 |
| 大宜味村 | 97 | 北大東村 | 167 |
| 東村 | 99 | 伊平屋村 | 169 |
| 今帰仁村 | 101 | 伊是名村 | 173 |
| 本部町 | 105 | 久米島町 | 176 |
| 恩納村 | 109 | 八重瀬町 | 180 |
| 宜野座村 | 110 | 多良間村 | 184 |
| 金武町 | 113 | 竹富町 | 186 |
| 伊江村 | 115 | 与那国町 | 190 |
| 読谷村 | 116 | | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 那覇市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|---|--------------------------|---------|--|--|--|-------------|------|
| 1 | 1 | 観光プラザ整備事業 | H24～H25 | 観光都市としての国内・国外観光客の受入機能の充実を図るため、「てんぷす那覇」に観光案内所を整備する。 | 新たな観光案内所(観光プラザ)開設 | 新たな観光案内所(観光プラザ)開設 | | |
| 1 | 2 | 那覇港観光客利便性向上施設整備事業 | H24～H25 | 観光都市としてのグレードアップを図るため、クルーズ船から旅客船ターミナルへ観光客を迎え受けるボーディングブリッジの整備を行う。 | クルーズ船観光客の安全性・利便性の確保に向けた施設の強化 ・ボーディングブリッジ設置 1基 | - | 繰 | |
| 1 | 3 | 奥武山野球場人工芝整備等イベント対応機能強化事業 | H24～H25 | スポーツコンベンションの観光地としてのグレードアップを図るため、奥武山野球場と屋内運動場及び関連する周辺施設整備等の機能強化を行う。 外野ファールゾーンの人工芝設置に伴い、接する天然芝の部分が目土により5cmから10cm盛り上がっているため、段差をなくするため天然芝を張り替える委託業務である。 | 外野ファールゾーン部分等の天然芝張替及び段差の復旧工事 | 外野ファールゾーン部分等の天然芝張替及び段差の復旧工事 | | |
| 1 | 4 | 那覇市伝統工芸ブランド確立事業 | H24～H33 | 那覇市の伝統的工芸品を国内外にアピールして那覇発世界ブランドとして確立させ、その伝統工芸品の唯一の販売店及び体験工房である那覇市伝統工芸館を観光施設として整備し機能強化を図る。 | ・販売場の改築 ・市の伝統工芸品における理念のもと、デザイン・販売戦略等の方向性を確立 | ・販売場の改築 ・市の伝統工芸品における理念のもと、デザイン・販売戦略等の方向性を確立 | | |
| 1 | 5 | 公設市場環境整備事業 | H24～H25 | 観光地としての魅力を高めるため、観光資源であるマチグラーの良さを活かしつつ、中心地である公設市場の環境整備を行う。 | 第一牧志公設市場空調設備の改良工事の実施 | - | 繰 | |
| 1 | 6 | プラネタリウム番組開発等事業 | H24～H28 | 観光施設として、牧志駅前ほしぞら公民館のプラネタリウムをグレードアップするため、番組制作システムを導入し、集客力のある番組を委託制作する。 | プラネタリウム年間観覧者数:24,000人 | プラネタリウム年間観覧者数:20,000人 | | |
| 1 | 7 | クルーズ客船ターミナル等における伝統工芸PR事業 | H25 | 本市の伝統工芸品の品質・伝統・個性等を、来沖する外国人観光客にPRし認知度を高め、販路拡大を目的に、那覇クルーズターミナルの工芸品展示スペースに本市の伝統工芸品を展示する。 具体的には、展示するための那覇市の伝統工芸品(首里織・壺屋焼・琉球ガラス・琉球漆器・琉球びんがた)製作及びディスプレイのためのショーケース類の製作。 | 展示する伝統工芸品の製作:5品目 | 展示する伝統工芸品の製作:5品目48個 ショーケース4個 | | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 那覇市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|----|--------------------|---------|--|--------------------------------|--------------------------------|------|
| 1 | 8 | 展示資料「那覇の屏風」複製制作事業 | H25 | 本市観光施設・歴史博物館に展示資料として、「那覇の屏風」の複製を製作し、県内外からの誘客を図る。 | 「那覇の屏風」複製作製 「那覇の屏風」複製展示 | 「那覇の屏風」複製作製完成 | 未 |
| 1 | 9 | 「昭和のなは」復元模型製作事業 | H25 | 本市観光施設・歴史博物館に展示資料として、王国時代から都市として発展してきた戦前の那覇の街並みを再現した縮小模型を製作し、県内外からの誘客を図る。 | 復元模型作製 復元模型展示 | 復元模型作製 | 未 |
| 1 | 10 | 観光案内所外国人対応スタッフ配置事業 | H25～H33 | 観光案内所を運営する那覇市観光協会に対し、英語、中国語、韓国語の話せるスタッフを配置するための費用及び観光案内所の施設賃借料を補助する。 | 外国人観光客の案内所(1箇所)の利用人数 3,801人 | 外国人観光客の案内所(1箇所)の利用人数 7,472人 | |
| 1 | 11 | 那覇市旧跡・歴史的地名標示事業 | H24～H25 | 観光地としてグレードアップを図るため、琉球王国時代から都市として発展してきた那覇のかつての姿を想起させる媒体として、戦前の写真や絵図を用いて、その場所場所に説明表示板を設置し、その旧跡・歴史地名標示の内容を盛り込んだガイドブックを製作する。 | ガイドブックの作製 標示板企画展の開催 | ガイドブックの作製 標示板企画展の開催 | |
| 1 | 12 | バス停上屋整備事業 | H24～H26 | 観光都市としてのグレードアップを図るため、観光客等が沖縄の強烈な日差しや風雨を避け快適に公共交通機関を利用してもらえるよう、バス停上屋を整備する。 | バス停上屋の設置:13基 | - | 繰 |
| 1 | 13 | 交流オアシス整備事業 | H24～H27 | 観光都市としてのグレードアップを図るため、公有地及び道路残地等を活用した小広場、オープンスペース(交流スペース)の整備を行い、観光客と市民との交流・憩いの場を創出する。 | 交流オアシスの設置:6箇所 | - | 繰 |
| 1 | 14 | 観光散歩道ネットワークづくり事業 | H25～H26 | 市内を快適に観光散策等できるように、主要な路線及び交差点等に道路案内板を設置する。 | 道路案内板の設置:10箇所 | - | - |
| 1 | 15 | 歴史散歩道整備事業 | H24～H27 | 観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、壺屋地区 当蔵1号 うしゅがなしーめーまい等の道路の公共空間において、路面改良、道路緑化・美化を行う。 | 歴史散歩道設置:4地区 | - | 繰 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 那覇市 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|----|---------|--|---|---|------|
| 1 | 16 | H24～H33 | 観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、幹線市道や観光地周辺市道の街路樹の緑化や美化を推進する。 | ・幹線道路及び観光地周辺市道の除草 ・街路樹剪定:1,350本 ・街路樹の植樹:180本 ・地被植物等植栽:2,600㎡ | - | 繰 |
| 1 | 17 | H24～H33 | 観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、観光地周辺公園の緑化と美化、植栽・トイレ等の整備を行う。また、観光都市として相応しい景観づくりのため漫湖公園にある巨大モニュメント(遊具)の化粧及び観光地に相応しい演出のため新都心公園水の道霧の噴水広場の機能強化の整備を図る。 | ・観光地周辺公園のトイレ整備設計等:4棟 ・観光地周辺公園のトイレ整備等:4棟 ・観光地周辺公園のトイレ清掃等:23棟 ・福州園の樹木植栽:191本 ・漫湖公園巨大モニュメント(遊具)の塗装 ・新都心公園水の道霧の噴水広場の機能強化整備 | - | 繰 |
| 1 | 18 | H24～H33 | 観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、市花木ポウオウボク、市木フクギ、市花ブーゲンビリアにより、公共空間の緑化に取り組む。 | 国営市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の公共空間への植栽:120㎡ | 国営市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の公共空間への植栽:66.3㎡ | 未 |
| 1 | 19 | H24～H33 | 観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、ベランダ緑化推進事業としてブーゲンビリアの苗等の配布を行う。 | 国営市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地へブーゲンビリア苗等の配布:300鉢 | 国営市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地へブーゲンビリア苗等の配布:122鉢 | 未 |
| 1 | 20 | H24～H33 | 観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、自治会、幼保小中学校、ボランティア団体等へ、市域を花でいっぱいにするための種子、草花苗の配布を実施する。 | 国営市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地等へ草花苗の配布:26,000鉢 | 国営市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地等へ草花苗の配布:23,299鉢 | 未 |
| 1 | 21 | H24～H33 | 観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、公共空間の樹木の専門家診断に基づく適切な手当や保全生育を図る。また、必要に応じて樹種の入替え等を行う。 | 樹木の診断本数:120本 | 樹木の診断本数:82本 | 未 |
| 1 | 22 | H24～H27 | 観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、桜の育成環境調査を行い選定した候補地において、桜の植栽等を行う。 | 桜の植栽本数:120本 | 桜の植栽本数:120本 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 那覇市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|----|-----------------------|---------|--|-----------------------------------|------------------------------------|-------------|------|
| 1 | 23 | デイゴ・リュウキュウマツ害虫対策事業 | H24～H25 | 観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、県花であるデイゴや琉球松を守るための害虫駆除及び予防対策を行う。 | ・薬剤の樹幹注入：デイゴ 50本 リュウキュウマツ 600本 | ・薬剤の樹幹注入：デイゴ 110本 リュウキュウマツ 627本 | | |
| 1 | 24 | 那覇爬龍船競漕振興事業 | H24～H33 | 伝統に根ざしたイベントの支援強化と観光イベントとしての事業充実を図るため、「那覇ハーリー」で、「爬龍船競漕」を実施している那覇爬龍船振興会に対して事業支援を行う。 | 那覇ハーリー来場者数：210,000人 | 那覇ハーリー来場者数：204,000人 | | |
| 1 | 25 | 那覇大綱挽振興事業 | H24～H33 | 伝統に根ざしたイベントの支援強化と観光イベントとしての事業充実を図るため、「那覇大綱まつり」で、「那覇大綱挽」を実施している那覇大綱挽保存会に対して事業支援を行う。 | 那覇大綱挽まつり会場来場者数 400,000人 | 那覇大綱挽まつり会場来場者数 382,000人 | | |
| 1 | 26 | 琉球王朝祭り首里振興事業 | H24～H33 | 伝統に根ざしたイベントの支援強化と観光イベントとしての事業充実を図るため、「琉球王朝祭り首里」を開催している首里振興会に対して事業支援を行う。 | 琉球王朝祭り首里観客動員数 60,000人 | 琉球王朝祭り首里観客動員数 80,000人 | | |
| 1 | 27 | 首里城祭「琉球王朝絵巻行列」支援事業 | H25～H33 | 本行列を本市の重要な観光資源として活用し、観光振興・観光誘客を図るため、首里城祭実行委員会へ琉球王朝絵巻行列実施にかかる費用を補助する。 | 琉球王朝絵巻行列観客動員数 33,000人 | 琉球王朝絵巻行列観客動員数 30,800人 | | |
| 1 | 28 | プロ野球キャンプ等支援事業 | H24～H33 | スポーツコンベンションとして観光地の魅力アップを図るため、読売巨人軍春季キャンプの受入体制強化を図るとともに、公式戦の誘致活動を行う。 | 読売巨人軍那覇キャンプ見学者数 8,000人/日 | 読売巨人軍那覇キャンプ見学者数 8,036人/日 | | |
| 1 | 29 | NAHAマラソンランナーリピーター促進事業 | H24～H25 | 観光関連イベントの支援強化を図るため、NAHAMラソンのイメージアップを図り、県外参加者のリピーターを増やすための交流イベントを開催する | NAHAMラソンジョガー交流会参加者数 1,400人 | NAHAMラソンジョガー交流会参加者数 1,200人 | | |
| 1 | 30 | プロ野球キャンプにぎわい創出事業 | H24～H33 | スポーツコンベンションとしての観光地の魅力アップを図るため、読売巨人軍春季キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント等を拡充して設置する。 | 読売巨人軍那覇キャンプ見学者数 8,000人/日 | 読売巨人軍那覇キャンプ見学者数 8,036人/日 | | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 那覇市 | | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|----|----------------------|---------|--|--|--|------|
| 1 | 31 | 国際通りとマチグラーのにぎわい事業 | H24～H33 | ひやみかちマチグラー館を観光施設として充実を図るため、当該施設を拠点としたイベントを開催する。 | イベントへの集客数 30,000人 | イベントへの集客数 51,526人 | |
| 1 | 32 | 国際通りトランジットマイル推進事業 | H24～H33 | 本市の産業の振興発展を図るため、国際通りで実施しているトランジットモールの事業主体である国際通り商店街振興組合に対して事業支援を行う。 | トランジットマイル開催時の通行者数 21,000人/日 | トランジットマイル開催時の通行者数 18,000人/日 | |
| 1 | 33 | 中心商店街活性化支援事業 | H24～H33 | 本市産業の振興発展と観光拠点としての発展を図るため、国際通り等中心商店街の振興組合等が行う活性化のための研修事業やイベント等の支援を行う。 | 中心商店街(マチグラー)が実施するイベント等の支援件数 10件 | 中心商店街(マチグラー)が実施するイベント等の支援件数 12件 | |
| 1 | 34 | 一万人エイサー踊り隊推進事業 | H24～H33 | 伝統と文化に根差した観光誘客イベントとして、国際通りにて開催される「一万人エイサー踊り隊」事業を推進する。 | 一万人エイサー踊り隊来場者数100,000人 | 一万人エイサー踊り隊来場者数 93,000人 | |
| 1 | 35 | 那覇まちまーい推進事業 | H24～H33 | 観光地としての魅力アップを図るため、那覇市観光協会が着地型観光メニューとして実施している「那覇まちまーい」事業を推進する。 | 那覇まちまーいへの参加者数 7,000人 | 那覇まちまーいへの参加者数 9,244人 | |
| 1 | 36 | 「JAZZ Night in 那覇」事業 | H24～H25 | 観光都市として来客者の満足度を高めるため、沖縄独特の「沖縄ジャズ」の魅力に満ちた「JAZZ Night in 那覇」イベントを実施する。 | JAZZイベント来場者数 10,000人 | JAZZイベント来場者数 16,175人 | |
| 1 | 37 | 歴史博物館企画展事業 | H24～H33 | 那覇市歴史博物館を観光施設としてグレードアップさせるとともに、観光集客につなげられるよう歴史文化に関する企画展を開催する。 | 歴史博物館来場者数 14,700人 | 歴史博物館来場者数 16,564人 | |
| 1 | 38 | 観光イベント安全確保事業 | H24～H33 | 伝統に根ざしたイベントの支援強化と、観光客の安全確保等を行うため、「那覇大綱挽まつり」「琉球王朝祭り首里」「NAHAマラソン」における雑踏警備を専門会社に委託する。 | 那覇ハーリー来場者数 210,000人 那覇大綱挽まつり来場者数 400,000人 琉球王朝祭り首里来場者数 60,000人 | 那覇ハーリー来場者数 204,000人 那覇大綱挽まつり来場者数 382,000人 琉球王朝祭り首里来場者数 80,000人 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 那覇市 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|----|---------|---|--|--|------|
| 1 | 39 | H25 | さいおんスクエア及び国際通り商店街への集客を目的に、月に4日～8日程度、イベントを実施する。内容として、音楽ライブ、踊り、お笑いなどを中心に、バーベキューやマルシェ、カヌー体験などを実施した。 | イベントへの来場者数 30,000人 | イベントへの来場者数 68,000人 | |
| 1 | 40 | H24～H26 | 那覇市内を訪れる入域観光客の利便性の向上及び街の魅力の向上等を図るため、国際通り及び市内の主要な観光スポットに、公衆無線LAN環境を整備し、情報発信の強化と中心市街地への滞留時間や回遊性の向上へ向けた取組みをモデル的に実施する。 | 公衆無線LANアクセスポイント及びポータルサイトの運営及び検証 115ヶ所の設置 | 公衆無線LANアクセスポイント及びポータルサイトの運営及び検証 115ヶ所の設置 | |
| 1 | 41 | H24～H33 | 国際観光都市としてグレードアップを図るため、国際通りの中心に設置する屋外型LEDビジョン(320inche/縦4m×横7m)“那覇てんぷすビジョン”を活用し、観光プロモーション映像及びARコンテンツの放映、各種イベントとの連携、パブリックビューイング等を実施することにより、観光リゾート地NAHAのイメージアップ、新たな賑わいの創出及び中心市街地の継続的な発展を目指す。 | 観光PR映像の放映:6時間/日 | 観光PR映像の放映:11時間/日 | |
| 1 | 42 | H24～H33 | 観光情報の発信力を強化するため、県外テレビ番組のバラエティ・観光番組・ワイドショー等で那覇市の観光地、イベント、物産等をPRする。 | 県外テレビ番組の放映回数 2回 | 県外テレビ番組の放映回数 2回 | |
| 1 | 43 | H24～H33 | 観光情報の発信力を強化するため、観光ガイドブック、マップ等を作成するとともに、宿泊客アンケートを実施し、観光地としての改善点を点検する。また、市長を筆頭に県外への観光PR活動を実施する他、沖縄国際映画祭関連イベントを本市で実施する。 | ・県外PR業務開催 2都市 ・観光宣伝誘客委託 10団体 ・宿泊客アンケートの実施 250件 ・沖縄国際映画祭関連イベント観客数 10,000人 | ・県外PR業務開催 2都市 ・観光宣伝誘客委託 2団体 ・宿泊客アンケートの実施 248件 ・沖縄国際映画祭関連イベント観客数 58,000人 | |
| 1 | 44 | H24～H26 | 市内観光地やホテル等を回るオリジナルデザインのラッピングを施した観光周遊バスの運行により、市内滞在型観光モデルとして定着させる。 | 観光周遊バス一日乗車数 300人 | 観光周遊バス一日乗車数 316人 | |
| 1 | 45 | H24～H26 | 地域(観光)資源である那覇らしい風景の保全、再生、創出のため、景観形成地域指定に向けた景観形成(案)の作成、屋外広告物の適正化に向けた推進計画(案)及び公共サインのあり方・基本方針(案)の作成を行う。 | ・首里ニシカタ地区(首里当蔵、首里桃原、首里山川、首里池端の一部)、首里三箇(首里鳥堀、首里崎山、首里赤田)の景観形成(案)作成 ・屋外広告物適正化推進計画(案)及び公共サイン計画(案)作成 ・観光客に配慮された都市景観資源説明板の設置10箇所 | ・首里ニシカタ地区(首里当蔵、首里桃原、首里山川、首里池端の一部)、首里三箇(首里鳥堀、首里崎山、首里赤田)の景観形成(案)作成 ・屋外広告物適正化推進計画(案)及び公共サイン計画(案)作成 ・観光客に配慮された都市景観資源説明板の設置10箇所 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 那覇市 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|----|---------|---|-------------------------------------|-------------------------------------|------|
| 1 | 48 | H25～H26 | 那覇西地域において、目標とするまちづくり構想となるよう課題改善策や地域資源の活用などを示した地域まちづくり計画を作成するための基礎調査を行う。 | 基礎調査の実施 | 基礎調査の実施 | |
| 1 | 49 | H24～H25 | スポーツコンベンションの観光地としてのグレードアップを図るため、市民体育館をプロバスケット等の公式戦及びイベント会場として使用できるよう音響設備及び空調設備を整備し、機能強化を図る。 | サブアリーナの空調機記設置及び音響設備工事 | サブアリーナの空調機記設置及び音響設備工事 | |
| 1 | 50 | H24～H26 | 国際通りのトランジットモールでの定期的なダンスイベントを実施・定着させることで観光振興・観光誘客を図る。 | ストリートダンスバトル来場者数 18,000人 | ストリートダンスバトル来場者数 10,700人 | 未 |
| 1 | 51 | H25 | 那覇市ぶんかテンプス館において、音響や照明等の基幹設備の機能強化、外国語にも対応できるイヤホンガイドシステムの導入等を実施し、文化発信機能を強化することで、観光振興を図る。 | 那覇市ぶんかテンプス館テンプスホール入場者数: 45,000人/年 | 那覇市ぶんかテンプス館テンプスホール入場者数: 37,754人 | |
| 1 | 52 | H24～H25 | 観光情報の発信力強化のため、文化財等の観光情報を多言語化し、観光情報サイト上で公開する。平成24年度は、英語の翻訳を行った。平成25年度は、韓国語及び中国語(簡体字・繁体字)に翻訳する。 | 観光資源データベースの多言語化 韓国語、中国語(簡体字・繁体字) | 観光資源データベースの多言語化 韓国語、中国語(簡体字・繁体字) | |
| 1 | 53 | H25～H31 | 首里金城町は、琉球王朝以来のまちなみや多くの文化財をよく残している地区で、昔ながらの風景を保全及び創出する必要がある。本事業は、電線類を地中化し、観光地の景観の向上を図り快適な歩行空間を確保する「景観強化事業」として取り組んでいくものである。 | ・実施設計 1工区:金城東西線 外4路線 (延長478m) | - | 繰 |
| 1 | 54 | H25 | 観光都市としての景観づくりと、中国福州市との友好都市交流のシンボルとなるよう、巨大龍像を製作し、那覇ふ頭旅客船バスやうみそらトンネルからの観光客を迎え入れる那覇市の新たな玄関口となる若狭緑地へ設置する。 | シンボル施設の製作・設置 | - | 繰 |
| 1 | 55 | H25 | 観光誘客・企業誘致・物産展等における発信力等の強化に資するイメージ戦略ツールとして、本市の魅力が収録された「那覇市シティプロモーション映像」を制作する。 | 那覇市の幅広い魅力を収めた「那覇市シティプロモーション映像」の制作 | 那覇市の幅広い魅力を収めた「那覇市シティプロモーション映像」の制作 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 那覇市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|----|------------------------------|-------------|---|---|---|-------------|------|
| 1 | 56 | 歴史散歩道関連整備事業 (下水道マンホール等設置) | H25～ H27 | 観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、快適に観光散策等ができるよう景観等に配慮した下水道マンホール蓋等を設置する。 | 下水道マンホール蓋等の設置:165箇所 (全体整備計画のうち35%の整備が完了) | - | 繰 | |
| 1 | 57 | 移動式車載大型ビジョン活用事業 | H25～ H33 | 移動式車載大型ビジョンを、巨人軍春季キャンプやクルーズ船で訪れる観光客への歓送迎と那覇市観光情報の提供に使用し、観光資源である市のイベントで活用することで観光振興につなげる。その移動式車載大型ビジョンの運用業務と維持管理業務について委託し、効果的に活用する。 | 移動式車載大型ビジョン活用(県外・国外観光客への観光案内・PR等):6回/月 | 移動式車載大型ビジョン活用(県外・国外観光客への観光案内・PR等):28回/2月～3月 | - | |
| 1 | 58 | 市民演芸・民俗伝統芸能パレード支援事業 | H25 | 観光イベントとしての事業充実を図るため、「那覇大綱挽まつり」で「市民演芸・民俗伝統芸能パレード」を実施している那覇市観光協会に対して事業支援を行う。 | 市民演芸・民俗伝統芸能パレード観客数: 125,000人 (平成24年度 125,000人) | - | - | |
| 1 | 59 | 那覇市観光基本計画策定事業 | H25～ H26 | 沖縄の玄関口である那覇市の観光のさらなる振興を図ることを目的とする観光基本計画を平成26年度に策定するための事前調査を平成25年度に実施する。 | 観光基礎調査(現状分析・課題把握等)を実施し、本市の強み、課題等を検証する。 | 観光基礎調査(現状分析・課題把握等)を実施し、本市の強み、課題等を検証する。 | - | |
| 1 | 60 | 亜熱帯庭園都市の公園魅力向上・活性化事業 | H25 | 観光地としての沖縄・那覇の地域素材を活かした魅力ある公園とするため、民間の専門的な知識を活かした調査書(企画提案書)を作成する。観光施設である福州園の多言語化された案内パンフレットを作成し、外国人観光客に対するサービス向上を図る。 | ・民間の専門的な知識と幅広いアイデアを活かした企画提案書の作成 ・福州園の案内パンフレット作成(多言語): 20,000部 | ・民間の専門的な知識と幅広いアイデアを活かした企画提案書の作成 ・福州園の案内パンフレット作成(多言語): 16,000部 | - | |
| 1 | 61 | 亜熱帯庭園都市の公園施設強化事業 | H24～ H25 | 観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、波の上宮やビーチがある旭ヶ丘公園の施設強化を図り、琉球石灰岩のり面の保護整備及び回遊園路を継続して整備する。 | ・「落石危険箇所の解消」 (観光地周辺の公園である旭ヶ丘公園のため擁壁・園路工事の実施) | - | 繰 | |
| 1 | 62 | 大気汚染情報発信事業 (PM2.5測定装置設置) | H25 | 微小粒子状物質測定装置を設置し、大気汚染状況を常時監視する。測定結果を観光客の往来する国際通りに設置された大型ビジョン等で情報発信し、観光客や市民に広く情報提供する。 | ・測定データの公表、情報発信 | ・測定データの公表、情報発信 | - | |
| 2 | 1 | 市魚マグロ等水産物流通支援事業 | H24～ H33 | マグロを中心とする近海漁業の振興のため、市魚であるマグロの解体ショーなど、水産物の流通と観光的観点を絡めたイベント等の開催や流通設備の整備を行う。 | ・市魚マグロ等イベント開催:5回 ・市魚マグロイベント来場者数:40,000人 | ・市魚マグロ等イベント開催:5回 ・市魚マグロイベント来場者数:80,000人以上 | - | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 那覇市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|---|-------------------------|---------|--|---|---|-------------|------|
| 2 | 2 | 漁船近代化機械設置推進事業 | H24～H33 | 本市産業の振興発展を図るため、本市漁船の近代化装備に対する支援を行い、水産業の振興を行う。 | 漁船近代化機器等設置申請者数:10件 | 漁船近代化機器等設置申請者数:21件 | | |
| 2 | 3 | 那覇市農業振興事業 | H24～H33 | 本市産業の振興発展を図るため、農機具及びビニールハウス、簡易井戸の設置・購入にかかる経費に対する支援を行い、農業振興を行う。 | 農機具、ビニールハウス、簡易井戸等の設置の補助申請者数:50件 | 農機具、ビニールハウス、簡易井戸等の設置の補助申請者数:9件 | 未 | |
| 2 | 4 | 地産地消推進事業 | H24～H26 | 地産地消コーディネーターを配置し学校給食における給食の教育的意義を十分に認識し、生鮮野菜類の生産及び出荷の状況を把握し、学校給食が必要とする食材の情報及び食材の斡旋など生産者と学校給食のコーディネート業務を行う。 | 学校給食における地場産物の使用する割合(野菜類):30% | 学校給食における地場産物の使用する割合(野菜類):31% | | |
| 2 | 5 | ワッター野菜がジョーター事業 | H24～H26 | 本市産業の振興発展を図るため、那覇の伝統野菜の保存・普及および地元の農家がつくった沖縄の伝統野菜のPR活動及び啓蒙活動や亜熱帯農作物の加工品販売を促進する事業である。 | 地元野菜を活用した料理講習会参加者数:60人 | 地元野菜を活用した料理講習会参加者数:115人 | | |
| 2 | 6 | 第3次那覇市水産業振興基本計画基礎調査 | H25 | 本市の水産業振興を図るため、社会状況や水産関係をとり巻く環境に応じた振興計画の策定が必要なため、水産業振興基本計画基礎調査を実施する。 | 「第3次那覇市水産業振興基本計画」策定に向けた那覇市水産業の現況及び課題の把握、基礎資料の整理 | 「第3次那覇市水産業振興基本計画」策定に向けた那覇市水産業の現況及び課題の把握、基礎資料の整理 | | |
| 3 | 1 | 小禄クンジー復元支援事業 | H25 | 伝統産業の振興のため、戦災で途絶えた「小禄クンジー」を復元し、市内の観光施設等に展示することにより、本市の魅力ある観光資源の一つとなるよう支援する。 | ・小禄クンジーの復元 ・着物製作:2着 | ・小禄クンジーの復元 ・着物製作:2着 | | |
| 3 | 2 | 農連市場相対売り継承調査事業 | H24～H25 | 本市産業の振興発展を図るため、マチグラーの象徴である「相対売り」等の歴史的・文化的特徴を生かした商業形態を継承するための調査事業へ補助を行う。(配置計画作成・ルール検討調査、店舗運営方針検討等) | 相対売り等継承調査への支援:1件 | 相対売り等継承調査への支援:1件 | | |
| 3 | 3 | 中小企業事業者の県外・海外向け販路拡大支援事業 | H24～H33 | 本市産業の振興発展を図るため、市内の中小企業事業者が新規開発した商品・サービスを県外・海外への販路拡大する取り組みに対して助成などの支援を行う。 | 助成対象期間内における補助金採択事業者の商談件数及び成約件数:商談件数150件、成約件数20件 | 助成対象期間内における補助金採択事業者の商談件数及び成約件数:商談件数208件、成約件数21件 | | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 那覇市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|----|--------------------------------|---------|---|--|--|-------------|------|
| 3 | 4 | 市内企業活性化推進育成事業 | H25 | 市内中小企業の経営者層を対象に、専門家による経営ノウハウの再構築を内容とした経営者育成事業を実施、経営力の向上を図る。 | 経営者育成事業受講者数:30名 | 経営者育成事業受講者数:27名 | | |
| 3 | 5 | 頑張るマチグラー支援事業 | H25～H33 | 中心商店街の自主的な誘客活動等を支援し、中心商店街の活性化を図る。 | 通り会等が取り組む、中心商店街の活性化に向けた事業への支援 | 通り会等が取り組む、中心商店街の活性化に向けた事業への支援 | | |
| 3 | 6 | 那覇の物産展事業 | H24～H33 | 本市産業の振興発展を図るため、那覇の物産展を開催する。本市の特産品の需要拡大と販路の開拓を促進するためPRして、産業の振興を行う。 | 出展業者数:34店舗以上 | 出展業者数:32店舗 | | |
| 3 | 7 | 沖縄の産業まつり事業 | H25～H33 | 沖縄の産業まつりで本市の特産品コーナーを確保し、本市の地場産業の販路拡大を図るとともに、那覇市長賞(最優秀賞、優秀賞、奨励賞)の受賞企業に対し、その商品のPR活動を支援する。 | 市の特産品コーナー出展店舗数:10件 | 市の特産品コーナー出展店舗数:7件 | | |
| 3 | 8 | 企業誘致活動サポート事業 | H24～H26 | 本市への企業誘致を推進するため、企業誘致専門家による調査分析並びに誘致方針の検討と各種誘致活動の展開を行う。 | 県外企業の意向調査件数:3,000件 企業訪問件数:50件 フォローアップ活動件数:100件 | 県外企業の意向調査件数:3,064件 企業訪問件数:60件 フォローアップ活動件数:100件 | | |
| 3 | 9 | 銘苅庁舎インキュベート施設整備事業 | H25 | 情報通信産業の振興を図るため、銘苅庁舎内にITインキュベート施設を整備し、インキュベート室の供給不足解消や卒業企業の市内立地を促進する。 | 施設内の環境整備 (音響機器・テーブル・プロジェクタ購入等) | - | 繰 | |
| 3 | 10 | 「那覇市中心市街地活性化ビジョン・基本計画」策定基礎調査事業 | H25 | 市民参画による中心市街地商店街の活性化を図ることを目的に、これからの未来像・計画をまとめた「那覇市中心市街地活性化ビジョン・基本計画」(仮称)を策定するための基礎調査を実施する。 | 中心市街地状況等調査の実施 調査結果報告書の作成 | 中心市街地状況等調査の実施 調査結果報告書の作成 | | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 那覇市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|----|---------------------|---------|--|---|--------------------------------------|-------------|------|
| 3 | 12 | 琉球王府首里織再現支援事業 | H25～H33 | 本市産業の振興発展を図るため、琉球王府時代の首里織(古典柄)の着物を再現・展示公開し、伝統的工芸品「首里織」を県内外に広く浸透させる。再現した首里織の技法を文書化し、技術の継承を図る。 | 琉球王府首里織再現:3着 | 琉球王府首里織再現:3着 | | |
| 3 | 13 | 琉球漆器普及推進事業 | H25～H33 | 本市産業の振興発展を図るため、琉球漆器を小学校及び市内宿泊施設で導入・使用することにより、父兄・児童・学校関係者及び宿泊客等にPRし、新たな需要の掘り起こしに努め県内外に普及を図る。 | 宿泊施設への琉球漆器導入:175個(5種類×35個) | 宿泊施設への琉球漆器導入:175個(5種類×35個) | | |
| 4 | 1 | ガントリークレーン整備事業 | H24～H26 | 産業振興の基盤である那覇港の機能強化と臨港型産業の育成に繋げるため、コンテナの取扱能力を増大し、サ・ビス水準の大幅な向上となるガントリークレーンの増設を実施する。また、クレーンの構造強化等を行う。 | コンテナ取扱能力増大等に向けた港湾機能強化ガントリークレーン・3号機製作完了 ・4号機製作工事着手(H26年度完了) | - | 繰 | |
| 4 | 2 | 那覇港総合物流センター整備事業 | H25～H29 | 本県の生活・産業物資の輸送の大部分を担う港湾物流機能を改善し、県全体の物流の効率化を図り、さらに付加価値型ものづくり産業の集積などの国際物流拠点の形成を図るため那覇港総合物流センターを整備する。 | 総合物流センターの基本設計の完了 | - | 繰 | |
| 5 | 1 | なはし就職なんでも相談センター運営事業 | H24～H33 | 市民の就業支援を行うため、民間人材サービス会社のノウハウを最大限に活用した就職相談の実施、各種就職支援セミナーの開催、求人情報の提供等を行う。 | なはし就職なんでも相談センターにおける就職に結びついた相談者数:200人 | なはし就職なんでも相談センターにおける就職に結びついた相談者数:130人 | 未 | |
| 5 | 2 | 訪問介護員(ホームヘルパー)養成事業 | H24～H25 | 市民の就業支援と本県でニーズの多い訪問介護のための人材育成を支援するため、生活保護受給者や失業者等を対象に、介護職員初任者研修(旧:訪問介護員2級)資格を取得するための講座を実施する。 | 訪問介護員養成人数:200人 | 訪問介護員養成人数:220人 | | |
| 5 | 3 | マチグーいなく起業塾事業 | H25 | ひとり親世帯や子育て中の女性、起業を考えている女性を対象に就業意欲を高め、女性の就労支援、女性起業家の育成を目標とした講座を実施する。 | 講座受講者数 20人 | 講座受講者数 44人 | | |
| 6 | 1 | 基礎学力向上のための学習支援事業 | H24～H33 | 将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市内小学校に退職教員等を活用したチーム・ティーチング形式等で小3算数を中心とした学力向上支援を行う。 | 学習支援員配置学校数:小学校37校 支援児童数:3,300人 | 学習支援員配置学校数:小学校37校 支援児童数:3,300人 | | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 那覇市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|---|----------------------|---------|---|--|--|-------------|------|
| 6 | 2 | 小学校英語指導員配置事業 | H24～H33 | 将来の沖縄振興に資する人材育成のため、英語指導員を各校に配置し、長期的な英語指導を通じたコミュニケーション能力の育成と国際感覚の涵養を図る。 | 市内小学校への英語指導員派遣率:100% | 市内小学校への英語指導員派遣率:100% | | |
| 6 | 3 | 中学校英語指導員配置事業 | H24～H33 | 将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市内中学校に英語指導員を派遣し、長期的な英語指導を通じたコミュニケーション能力の育成と国際感覚の涵養を図る。 | 市内中学校への英語指導員派遣率:100% | 市内中学校への英語指導員派遣率:100% | | |
| 6 | 4 | 特別支援教育充実事業(小・中学校) | H24～H33 | 教育の振興を図るため、特別に支援を要する児童生徒に対し、特別支援員を各学校へ派遣し、臨床心理士や認定就学巡回指導員と連携した支援体制の充実を図る。 | 支援児童生徒数:300人 | 支援児童生徒数:349人 | | |
| 6 | 5 | 特別支援教育充実事業(幼稚園) | H24～H33 | 教育の振興を図るため、特別に支援を要する児童生徒に対し、特別支援員を各幼稚園へ派遣し、臨床心理士や認定就学巡回指導員と連携した支援体制の充実を図る。 | ・特別支援教育ヘルパー配置数(幼稚園:48人) ・支援園児数:164人 | ・特別支援教育ヘルパー配置数(幼稚園:48人) ・支援園児数:157人 | | |
| 6 | 6 | 特別支援教育充実事業(幼稚園預かり保育) | H24～H33 | 教育の振興を図るため、特別に支援を要する児童生徒に対し、教育課程に係る時間の終了後に行う午後の教育時間に対応した特別支援員を各幼稚園へ派遣する。 | ・特別支援教育ヘルパー配置数(預かり保育実施幼稚園:22人) ・支援園児数:74人 | ・特別支援教育ヘルパー配置数(預かり保育実施幼稚園:22人) ・支援園児数:78人 | | |
| 6 | 7 | 預かり保育推進事業(ソフト交付金) | H25～H33 | 教育課程に係る教育時間の終了後に行う午後の預かり保育へとつなげる教育活動で、各幼稚園の預かり保育指導員1名を臨時職員とし午前中から配置することで、きめ細かに安心安全な保育を実施する。 | ・預かり保育担当臨時職員配置数(預かり保育実施幼稚園:35人) ・預かり保育利用園児数:1441人 | ・預かり保育担当臨時職員配置数(預かり保育実施幼稚園:35人) ・預かり保育利用園児数:1512人 | | |
| 6 | 8 | 学習支援事業 | H24～H33 | 将来の沖縄振興に資する人材育成のため、不登校等や巡回指導時に支援が必要と判断した児童生徒及び過卒生を対象に、臨時教諭による学習支援を行い、高校進学率の向上に取り組む。 | ・学習支援生徒数:50人 ・高校入試合格率:9.2%(那覇市が実施する学習支援事業の高校入試受験者数に占める合格率の割合) | ・学習支援生徒数:42人 ・高校入試合格率:100%(那覇市が実施する学習支援事業の高校入試受験者数に占める合格率の割合) | | |
| 6 | 9 | 学習ボランティア支援事業 | H24～H33 | 将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、退職教員等を活用した学習ボランティアによる学習支援の取り組みを行う。 | 学習ボランティア派遣人数:50人 | 学習ボランティア派遣人数:58人 | | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 那覇市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|----|------------------|---------|--|--|---|-------------|------|
| 6 | 10 | 学校サポートチーム支援員活用事業 | H24～H33 | 将来の沖縄振興に資する人材育成のため、自立支援教室を設置し、学校の中では対応の難しい児童生徒に対する体験学習等を通じた登校復帰を促す取り組みを行う。 | ・支援児童生徒数：30人 | ・支援児童生徒数：33人 | | |
| 6 | 11 | 教育相談支援事業 | H24～H33 | 将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、教育相談支援員を全小中学校に配置し、不登校や保護者の相談、支援に取り組む。 | ・相談支援件数：1,000件 ・相談支援回数：20,000回 | ・相談支援件数：1,415件 ・相談支援回数：24,970回 | | |
| 6 | 12 | メンタルヘルスカウンセリング事業 | H24～H33 | 将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、不登校等の悩みを持つ児童生徒や保護者及び教師に対して、臨床心理士等による教育相談及び支援を行う。 | ・教育相談(延)件数：5,800件 | ・教育相談(延)件数：6,621件 | | |
| 6 | 13 | 青少年旗頭事業 | H24～H33 | 将来の沖縄振興に資する人材の健全育成のため、那覇の伝統文化である旗頭を活用した文化活動を立ち上げ、青少年の居場所づくりや地域との絆づくり、そして文化の継承・発展に取り組む。 | 旗頭フェスタに参加した児童生徒数：1,210人 | 旗頭フェスタに参加した児童生徒数：1,071人 | | |
| 6 | 14 | 那覇市児童生徒県外交流事業 | H24～H33 | 将来の沖縄振興に資する人材育成のため、他県との交流が少ない離島県である本市の児童生徒を県外へ派遣し、派遣先との交流を行う。 | 交流事業で県外に派遣した児童生徒数：38人 | 交流事業で県外に派遣した児童生徒数：40人 | | |
| 6 | 15 | 街頭指導事業 | H24～H33 | 将来の沖縄振興に資する人材育成のため、指導員による日中及び夜間の巡回指導活動を行い、青少年の非行防止に取り組む。 | ・街頭指導実施回数：1,050回 ・青少年の指導人数：2,400人 | ・街頭指導実施回数：1,008回 ・青少年の指導人数：1,935人 | | |
| 6 | 16 | 生徒サポーター派遣事業 | H24～H33 | 将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、学校内教育支援室を設置して、非行傾向の生徒の居場所を作り、自立支援、学級復帰に取り組む。 | 市内中学校への生徒サポーター派遣率：100% | 市内中学校への生徒サポーター派遣率：100% | | |
| 6 | 17 | スポーツ広場整備事業 | H24～H25 | スポーツコンベンションとしての本市の機能拡充と、今後のスポーツツーリズムの振興を支え沖縄振興に資する人材育成に有益な施設として、スポーツ広場を整備する。 | 広場利用の活性化を図るため、施設を整備する。 ・機具格納庫設置：1棟 ・パーゴラ設置：6基 ・草刈機購入：1台 | 広場利用の活性化を図るため、施設を整備する。 ・パーゴラ3基 ・草刈機1台 ・自動散水機1基 | | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 那覇市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|----|-----------------------------|---------|---|--------------------------------------|-----------------------|-------------|------|
| 6 | 18 | 児童のスポーツ県外派遣補助金 | H24～H33 | 将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市・県を代表する児童及び少年チームのスポーツ活動に対して、県外大会派遣費用の助成を行う。 | 大会等派遣児童生徒数(累計):290人 | 大会等派遣児童生徒数(累計):373人 | | |
| 6 | 19 | 児童・生徒の県外派遣旅費補助金(大会派遣) | H24～H33 | 将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市・県を代表する児童・生徒の文化活動を含む部活動に対して、県外大会派遣費用の助成を行う。 | 大会等派遣児童生徒数(累計):400人 | 大会等派遣児童生徒数(累計):505人 | | |
| 6 | 20 | 離島等自然体験学習事業 自然教室 | H24～H33 | 将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市内全小学校5年生を対象に、自然体験活動を行う。 | 自然体験活動を実施した児童数:3,000人 | 自然体験活動を実施した児童数:3,004人 | | |
| 6 | 21 | 幼稚園冷房機設置事業 | H24～H26 | 気温の高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、幼稚園舎に冷房機を設置する。 | 冷房機設置園数:4園 | 冷房機設置園数:9園 | | |
| 6 | 22 | 小学校施設環境整備事業 (冷房設置) | H24～H28 | 気温の高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、小学校施設に冷房機を設置する。 | ・小学校冷房施設整備:21校 | ・小学校冷房施設整備:21校 | | |
| 6 | 23 | 中学校施設環境整備事業 (冷房設置) | H24～H28 | 気温の高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、中学校施設に冷房機を設置する。 | ・中学校冷房施設整備:6校 | ・中学校冷房施設整備:6校 | | |
| 6 | 24 | 幼稚園施設老朽化抑制事業 (塩害防止・長寿命化) | H24～H26 | 塩害による学校校舎等の劣化問題に対応するため、園舎外壁面の塩害防止・長寿命化のための塗装工事を行う。 | 外壁塗装実施園数:4園 | 外壁塗装実施園数:4園 | | |
| 6 | 25 | 小学校施設老朽化抑制事業 (塩害防止・長寿命化) | H24～H33 | 塩害による学校校舎等の劣化問題に対応するため、小学校校舎外壁面の塩害防止・長寿命化のための塗装工事を行う。 | 小学校校舎等外壁整備:3校 (垣花小学校、大道小学校、金城小学校) | - | 繰 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 那覇市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|----|-------------------------|---------|--|---|--|-------------|------|
| 6 | 26 | 中学校施設老朽化抑制事業(塩害防止・長寿命化) | H24～H33 | 塩害による学校校舎等の劣化問題に対応するため、中学校校舎外壁面の塩害防止・長寿命化のための塗装工事を行う。 | 中学校校舎等外壁整備:1校(金城中学校) | 中学校校舎等外壁整備:1校(金城中学校) | | |
| 6 | 27 | 校舎等剥離補修業務事業(小学校) | H24～H25 | 塩害による学校校舎等の劣化に基因する剥離に対応するため、塩分規制以前の老朽化小学校校舎の剥離防止、腐食防止並びに断面欠損部の修復を含めた剥離補修を行う。 | 小学校剥離補修施設整備:13校 | 小学校剥離補修施設整備:6校 | 未 | |
| 6 | 28 | 校舎等剥離補修業務事業(中学校) | H24～H25 | 塩害による学校校舎等の劣化に基因する剥離に対応するため、塩分規制以前の老朽化中学校校舎の剥離防止、腐食防止並びに断面欠損部の修復を含めた剥離補修を行う。 | 中学校剥離補修施設整備:3校 | 中学校剥離補修施設整備:3校 | | |
| 6 | 29 | 老朽化校舎解体工事事業(神原小学校) | H25～H26 | 塩分規制以前の海砂使用による学校校舎等の劣化に対応するため、神原小学校の老朽化校舎を解体撤去し、児童の安心・安全の確保を図る。 | 神原小学校老朽化校舎解体 | 神原小学校老朽化校舎解体 | | |
| 6 | 30 | 老朽化校舎解体工事事業(高良小学校) | H25～H26 | 塩分規制以前の海砂使用による学校校舎等の劣化に対応するため、高良小学校の老朽化校舎を解体撤去し、児童の安心・安全の確保を図る。 | 高良小学校老朽化校舎解体 | 高良小学校老朽化校舎解体 | | |
| 6 | 31 | 幼稚園熱中症対策事業(ミスト発生機設置) | H25 | 気温の高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、屋外活動の熱中症対策としてミスト発生機を設置し、より良い教育環境を確保する。 | 全幼稚園へミスト発生機設置完了(ミスト発生機購入設置:公立幼稚園36園) | 全幼稚園へミスト発生機設置完了(ミスト発生機購入設置:公立幼稚園36園) | | |
| 6 | 32 | 教育の情報化推進タブレット端末導入事業 | H25 | 電子黒板配置に合わせて、小学校及び中学校にタブレット端末を導入し、児童生徒の学習意欲、コミュニケーション能力の向上と協働学習による学力向上を図る。 | ・小学校、中学校とも半数以上の教室でタブレット端末を使った学習ができるよう指導する。 | ・タブレット導入時期が年度末だったため、小学校2校は目標を達成したが、残りの4校は継続して支援・指導を行う。 | 未 | |
| 6 | 33 | 学力向上に向けた調査研究事業 | H25～H33 | 学力調査を小学校で実施し、調査結果の分析を基にした基礎資料を得て、教師や児童生徒の学習への取組の強化を図り、指導法や学習効果を高めるため調査研究を実施する。 | ・那覇市内37全小学校の2年生・4年生を対象とした調査を実施し、全国学力学習状況調査において市平均正答率と全国との差を縮めることを目標とする。 | 調査実施結果:2年:75.9(全国平均との差が-2.5ポイント)4年:62.6(全国平均との差が-4.9ポイント)目標値に届かなかつたが、教科別で、特に小4の算数の落ち込みが大きいこと等が把握できた。 | 未 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 那覇市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|---|------------------|---------|---|--|--|-------------|------|
| 7 | 1 | 伝統芸能公演事業 | H24～H33 | 沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、組踊、沖縄芝居等の本県伝統芸能の公演会を行う。 | ・伝統芸能公演実施回数:2回 ・来場者数:1,800名(2回合計) | ・伝統芸能公演実施回数:2回 ・来場者数:2,180名(2回合計) | | |
| 7 | 2 | 市民文化発信事業 | H24～H33 | 沖縄振興に資する市民文化の創造と発展のため、ジャズや平和劇等を通じた市民文化活動の発表と発信に取り組む。 | 平和劇、ジャズ音楽公演実施:各1回 | 平和劇、ジャズ音楽公演実施:各1回 | | |
| 7 | 3 | なは市民芸術展 | H25～H33 | 沖縄振興に資する市民文化の発展のため、市民から文化芸術作品の公募をして作品展を開催し、本市文化の振興発展と県内外からの観光誘客に繋げる。 | ・応募作品:100点以上 ・芸術展開催期間の来場者数:1,200名 | ・応募作品:139点 ・芸術展開催期間の来場者数:1,382名 | | |
| 7 | 4 | 文化芸術発信事業(パレット) | H25～H33 | 著名な舞台芸能、音楽家等を招いて演劇、演奏会等を開催し、県内外から誘客促進に繋げるとともに、市民文化の発展を促進する。 | ・舞台演劇、演奏会等の公演実施回数:3回 ・来場者数:900名(3公演合計) | ・舞台演劇、演奏会等の公演実施回数:4回 ・来場者数:1,142名(4公演合計) | | |
| 7 | 5 | 創作エイサー発信事業 | H25 | 沖縄の伝統文化であるエイサーの創造発展を推進することにより、文化の振興発展とコンテスト開催による本市への誘客推進を図る。 | ・創作エイサーコンテスト参加団体:10団体 ・創作エイサーコンテスト来場者数:1,300名 | ・創作エイサーコンテスト参加団体:12団体 ・創作エイサーコンテスト来場者数:1,300名 | | |
| 7 | 6 | うちなーぐち発信事業 | H25 | 市内の小中学校と一般市民を対象にウチナーグチを用いた舞台公演を行うことで、伝統文化の基本となる言語文化の継承を推進するとともに、公演会を通じた誘客促進を図る。 | ・ウチナーグチ講座参加者数:100名 (一般、小学生、中学生合計) | ・ウチナーグチ講座参加者数:40名 (一般、小学生、中学生合計) | 未 | |
| 7 | 7 | 壺屋焼物博物館企画展事業 | H25 | 沖縄振興に資する伝統産業の振興発展のため、本市の観光施設である壺屋焼物博物館で、企画展を開催し、市内内外からの誘客促進と壺屋焼の継承発展に取り組む。 | 企画展観覧者数:2,000人 | 企画展観覧者数:2,414人 | | |
| 7 | 8 | 伝統芸能・文化の継承発展補助事業 | H24～H33 | 沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、市内各地の伝統芸能文化の掘り起こしと保存・継承に関わる活動に対して補助を行う。 | 伝統芸能文化の保存継承活動団体支援数:10団体 | 伝統芸能文化の保存継承活動団体支援数:5団体 | 未 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 那覇市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|----|----------------------|---------|---|---|---|-------------|------|
| 7 | 9 | 那覇市舞台芸術体験事業 | H24～H33 | 沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、ウチナーグチを使った舞台劇を小中学生に実演体験させ、成果発表会を開催する。 | 舞台芸術体験参加児童生徒数：50名 | 舞台芸術体験参加児童生徒数：47名 | | |
| 7 | 10 | 伝統文化継承種まき事業 | H24～H33 | 沖縄振興に資する伝統文化の発展のため、保育所へ伝統文化の専門講師を派遣し、継承に取り組む。 | 専門講師派遣回数：108回 | 専門講師派遣回数：214回 | | |
| 7 | 11 | 子どもが輝くまちづくり事業 | H24～H33 | 沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、子ども達の伝統芸能活動等についての発表の場づくりに取り組む。 | 子どもフェスタ参加児童生徒数：650人 | 子どもフェスタ参加児童生徒数：750人 | | |
| 7 | 12 | 郷土資料整備事業 | H24～H33 | 沖縄振興に資する伝統文化等を継承するため、郷土資料を購入し充実を図る。沖縄関係、地元出版の図書を豊富にそろえることで、沖縄に関する質の高い情報を観光客等を含めた利用者へ提供し活用を図る。 | 郷土関係資料の購入及び貸出：約900点 | 郷土関係資料の購入：約1,148点、貸出：延べ6,988点 | | |
| 7 | 13 | 文化芸術発信拠点施設整備事業(パレット) | H24～H25 | 沖縄振興に資する文化発信拠点としてパレット市民劇場、パレット市民ギャラリーの改修を行い、文化発信拠点として機能強化を図る。 | パレット市民劇場の施設整備実施 ・舞台機構改修工事 ・舞台照明改修工事 ・デジタルシネマ機器改修工事 | パレット市民劇場の施設整備実施 ・舞台機構改修工事 ・舞台照明改修工事 ・デジタルシネマ機器改修工事 | | |
| 7 | 14 | 文化芸術発信事業(市民会館) | H24～H25 | 沖縄振興に資する文化発信拠点施設として、ピアノを愛好する市民に演奏体験の機会を提供し、本市の文化芸術の振興を図る。 | 演奏体験参加者：30組(2日間) | 演奏体験参加者：77組 | | |
| 7 | 15 | 新文化芸術発信拠点施設整備事業 | H24～H30 | 沖縄振興に資する文化発信拠点を整備するため、本市の新しい新文化芸術発信拠点施設建設に向けた基本計画の策定を行う。 | 新しい文化芸術発信拠点施設建設に向けた基本計画の策定 | - | 繰 | |
| 7 | 16 | 崎山樋川修復工事 | H25 | 沖縄振興に資する伝統文化を継承するため、市指定文化財(史跡)「崎山樋川」の整備を行い、観光資源としても活用を図る。 | 修復工事の実施 | - | 繰 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

[凡例]
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 那覇市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|----|----------------------------------|---------|---|--|--|-------------|------|
| 7 | 17 | 観光資源文化財整備事業 | H25 | 沖縄振興に資する伝統文化を継承するため、市指定文化財(民俗文化財)「内金城嶽」の石畳道の整備、県指定文化財(史跡)「弁ヶ嶽(小嶽)」の整備を行い、観光資源としても活用を図る。 | 修復工事の実施 | 修復工事の完了 | | |
| 7 | 18 | 歴史博物館デジタルミュージアム構築事業 | H25～H27 | 那覇市歴史博物館が所蔵する県内唯一の国宝「琉球国王関係資料」等をインターネット上で公開するデジタルミュージアムを構築し広く発信する。また資料解説を多言語化し観光の国際化や多様なニーズに対応する。 | ・ホームページ構築(リニューアル) ・美術工芸品の修理及びデジタル化 ・文書資料の修理 ・インターネット上の公開 | ・ホームページ構築(リニューアル) ・美術工芸品の修理及びデジタル化 ・文書資料の修理 ・インターネット上の公開 | | |
| 7 | 19 | 壺屋の歴史・文化発信事業(特別展事業) | H25～H26 | 沖縄振興に資する伝統文化の振興発展及び市内外からの誘客促進のため、昨年度購入した厨子資料群の平成26年度特別展開催に向けた調査及び資料整理を行う。 | ・厨子資料個々の調査・撮影及び解説原稿作成 ・展示会開催に向けた、県外及び県内習俗資料の調査及び借用等の調整 ・破損している石厨子2基の修復 | ・厨子資料個々の調査・撮影及び解説原稿作成 ・展示会開催に向けた、県外及び県内習俗資料の調査及び借用等の調整 ・破損している石厨子2基の修復 | | |
| 7 | 20 | 文化芸術発信拠点施設整備事業(壺屋焼物博物館サイン及び監視機器) | H25 | 沖縄振興に資する文化発信拠点を整備するため、壺屋焼物博物館の正面及び側面の壁面等に施設サインを施すとともに、展示室内監視機器の整備を行い、施設のグレードアップ及び観光施設としての機能強化を図る。 | ・案内サービス向上のための施設正面、壁面への施設名称サイン及び駐車場案内板の設置 ・文化財資料及び観覧者への安全対策強化のための展示室監視カメラ8台設置及び監視モニターのリニューアル | ・案内サービス向上のための施設正面、壁面への施設名称サイン及び駐車場案内板の設置 ・文化財資料及び観覧者への安全対策強化のための展示室監視カメラ8台設置及び監視モニターのリニューアル | | |
| 7 | 21 | 国宝尚家関係資料「金簪」複製品作製事業 | H25 | 琉球国王の「王冠」の付属品である金簪の複製品を作製する事業。琉球王国時代を代表する金工品の一つであるため、複製品を作製し、展示公開に供し、文化資源を活用した観光資源を図る。 | ・「金簪」の複製品の作製の完了 ・「金簪」の作製工程の記録の完了 | ・「金簪」の複製品の作製の完了 ・「金簪」の作製工程の記録の完了 | | |
| 8 | 1 | 認可外保育施設的环境整備事業 | H24～H33 | 戦後、アメリカの統治下において保育環境の整備が遅れた。その遅れに対応する子育て施設の拡充を図るため、指導監督基準を満たしている認可外保育施設の改修費に対して補助を行う。 | ・認可外保育施設改修:10園 | ・認可外保育施設改修:8園 | | |
| 8 | 2 | 児童クラブ賃借料補助金 | H24～H33 | 共働き世帯の多さに対応した子育て支援策の拡充を行うため、賃借料等を負担し民間施設等で活動している児童クラブへ、家賃等の補助を行う。 | 賃借料補助を行っている児童クラブ数:18ヶ所 | 賃借料補助を行っている児童クラブ数:18ヶ所 | | |
| 8 | 3 | ナハノホイク・保育施設情報総合サイト設置運営事業 | H25～H28 | 保育所の条件による絞り込み、所在地のマッピング、保育料金帯や保育の特徴など、認可外保育所の情報を中心とした保育所情報を積極的に発信し、保護者の保育所選びのための情報提供を図る。 | サイトの開設と仮運用の開始(本運用は年度空け) | サイトの開設と仮運用の開始(本運用は年度空け) | | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 那覇市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|---|------------------------------|---------|---|---|---|-------------|------|
| 8 | 4 | ナノホイク案内人(ナビイ)設置事業(コンシェルジュ設置) | H25～H28 | 認可外保育所を含めた本市の保育資源の最大活用のために、保育相談をきめ細かに行うための専門的相談員を常駐させることにより、待機児童の解消を図る。 | 案内件数 700件(7件/日) | 案内件数 470件(4.8件/日) | 未 | |
| 8 | 5 | 認可外保育施設・絵本読み聞かせ実施事業 | H25～H33 | 認可外保育施設において、保育従事者による『絵本の読み聞かせ』を位置づけるため、専門講師による「読み聞かせ」研修会を実施し、入所している児童に対し絵本等を配付する。 | 知識の共有、モチベーションの向上を図る集合研修の開催(首里、小禄、本庁・真和志の3地区) | 知識の共有、モチベーションの向上を図る集合研修の開催(首里、小禄、本庁・真和志の3地区) | | |
| 8 | 6 | 認可外保育施設熱中症対策支援事業 | H25 | 認可外保育施設が行う熱中症予防対策に対して冷房機、扇風機、空気清浄機等の設置について支援(補助)を行う。 | 熱中症対策等保育環境の改善に取り組む認可外保育施設に冷房機、空気清浄機等設置完了 (市内全認可外保育施設:89施設) | 熱中症対策等保育環境の改善に取り組む認可外保育施設に冷房機、空気清浄機等設置完了 (市内全認可外保育施設:64施設) | | |
| 8 | 7 | 児童館熱中症対策事業(ミスト発生機設置) | H25 | 気温の高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、屋外に体力増進指導のための広場を備える市立児童館にミスト発生機を設置する。 | 屋外に広場を備える児童館へミスト発生機設置完了(ミスト発生機購入設置:児童館4館) | 屋外に広場を備える児童館へミスト発生機設置完了(ミスト発生機購入設置:児童館4館) | | |
| 8 | 8 | 保育所熱中症対策事業(ミスト発生機設置) | H25 | 気温の高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、屋外活動の熱中症対策として、公立保育所にミスト発生機を設置する。 | 全公立保育所へミスト発生機購入、設置完了(公立保育所:9ヶ所) | 全公立保育所へミスト発生機購入、設置完了(公立保育所:9ヶ所) | | |
| 9 | 1 | 海外移住那覇市出身者研修受入事業 | H24～H33 | 本市と歴史的、文化的に関連が深い国や地域と、沖縄の振興に資する交流関係を広げるため、南米各国の那覇市民会の2世・3世らを研修生として受け入れる。 | 南米からの研修受入人数:2人 | 南米からの研修受入人数:2人 | | |
| 9 | 2 | 那覇長崎平和交流事業 | H25～H33 | 平和に対する意識を高め、今後の平和活動に貢献できる人材育成を目的とし、7月には沖縄において長崎県の中学生と本市中学生が共に南部戦跡を巡る平和学習を行い、8月には長崎市にて開催される「青少年ピースフォーラム」に中学生を派遣する。 | 沖縄での平和学習参加生徒:40人 長崎への平和学習派遣生徒:8人 | 沖縄での平和学習参加生徒:40人 長崎への平和学習派遣生徒:8人 | | |
| 10 | | 未来にはばたく臨港型都市再開発事業 | H24～H33 | 市内に残された米軍基地問題の解決のため、那覇軍港の跡地利用計画策定に向け取り組む。 | (1)跡地利用計画策定に向けた合意形成活動の推進 (2)那覇軍港への進出企業可能性調査 | (1)跡地利用計画策定に向けた合意形成活動の推進 (2)那覇軍港への進出企業可能性調査 | | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 那覇市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|---|----------------------------|---------|--|--|--|-------------|------|
| 11 | 1 | 離島連携事業 | H24～H26 | 県都・那覇の持つ集客力等を活かして離島の振興発展を支援するため、泊港発着の渡嘉敷、座間味、粟国、渡名喜、久米島の5つの離島と連携事業を行い、4村1町との交流強化に取り組む。 | ・離島5町村(渡嘉敷村、座間味村、粟国村、渡名喜村、久米島町)への渡航費及び宿泊費を助成した市民数:5,550名 | ・離島5町村(渡嘉敷村、座間味村、粟国村、渡名喜村、久米島町)への渡航費及び宿泊費を助成した市民数:3,635名 | 未 | |
| 11 | 2 | 離島体験学習支援事業 | H24～H33 | 県都・那覇の持つ集客力、情報発信力等を活かして県内離島の振興発展を支援するため、市内小中学生及び引率者を対象に、県内離島体験学習を行う際の交通費と宿泊費に対する助成を行う。 | 離島等派遣延べ人数:160人 | 離島等派遣延べ人数:184人 | | |
| 12 | 1 | モノレール沿線ベランダ緑化支援事業 | H24～H25 | 沖縄の豊かな自然環境保全を目的として、H24年度に緑のカーテンや屋上緑化のためのプランター等をモノレール沿線地域に無料配布した。今年度は、配布したプランター植物の維持管理に必要なアドバイス等のアフターフォローを行い、亜熱帯をイメージさせる都市景観の形成に取り組む。 | モノレール沿線の建築物緑化面積2415.6㎡の維持 | モノレール沿線の建築物緑化面積2412㎡の維持 | | |
| 12 | 2 | 水資源有効利用推進事業 | H24～H33 | 沖縄の豊かな自然環境保全のため、水資源の有効利用及び地下水の涵養に資する雨水貯留・浸透施設の設置に対して補助を行う。 | 雨水貯水・浸透施設の設置補助件数:30件 | 雨水貯水・浸透施設の設置補助件数:20件 | 未 | |
| 12 | 3 | 市内湧水水質調査業務 | H24～H25 | 沖縄の豊かな自然環境保全のため、市内の井泉・湧水・井戸の現況調査結果を基に水質調査を実施し、今後の水資源有効利用、豊かな都市環境保全に向けた基礎資料とする。 | ・生活環境項目についての湧水水質分析調査 対象:118地点 | ・生活環境項目についての湧水水質分析調査 対象:138地点 | | |
| 12 | 4 | 観光振興に資する亜熱帯・島嶼地域型環境保全・創造事業 | H24～H25 | 沖縄の豊かな自然環境保全のため、亜熱帯・島嶼地域の豊かで独自の自然環境を活かした環境基本計画を策定する。 | 環境基本計画の策定 | 環境基本計画の策定 | | |
| 13 | 1 | 救命講座普及啓発推進事業 | H24～H33 | 自然災害並びに米軍基地が集中するが故に想定される人為的災害等に強い安心安全なまちづくりを推進するため、応急手当講習を開催するなどして、市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組む。 | 応急手当講習受講者数:6,000人 | 応急手当講習受講者数:6,260人 | | |
| 13 | 2 | 津波避難ビル建設事業 | H24～H26 | 地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、海拔の低い若松市営住宅跡地(那覇市松山2丁目22-1)に避難困難者のための津波避難ビルを建設する。 | 津波避難ビル建設に係る実施設計実施 | - | 繰 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 那覇市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|----|-----------------------|---------|---|---|---|-------------|------|
| 13 | 3 | 小学校防災避難施設整備事業(校舎屋上) | H24～H26 | 地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、低地帯の小学校校舎の屋上に手摺を設置して、緊急避難施設となるように整備する。 | 小学校校舎屋上手摺整備:2校(開南小学校、壺屋小学校) | - | 繰 | |
| 13 | 4 | 中学校防災避難施設整備事業(校舎屋上) | H24～H26 | 地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、低地帯の中学校校舎の屋上に手摺を設置して、緊急避難施設となるように整備する。 | 中学校校舎屋上手摺整備:1校(仲井真中学校) | - | 繰 | |
| 13 | 5 | リアルタイム水運用システム整備事業 | H25 | 日常生活や社会活動に大きな影響を与える災害時等の断水被害を軽減するため、漏水等の被害箇所を迅速に把握する中ブロック通信装置を設置する。 | ・配水系統中ブロック化に伴う通信施設設置:48箇所(那覇市内一円) | - | 繰 | |
| 13 | 6 | 津波緊急一時避難施設誘導看板設置事業 | H25 | 災害発生時に速やかな避難ができるよう、津波緊急一時避難施設への案内誘導表示を充実させ、防災体制を強化する。 | ・津波緊急一時避難施設の表示看板設置完了(55施設) ・一時避難施設への誘導看板の設置完了(200箇所) | ・津波緊急一時避難施設の表示看板設置完了(76施設) ・一時避難施設への誘導看板の設置完了(200箇所) | | |
| 13 | 7 | 地域(防災)案内付き掲示板設置改修補助事業 | H25～H26 | 自治会所有の掲示板について、住民や観光客等の安全安心・景観に資する沖縄らしいデザインの制作と、次年度の設置等に向けた現況調査等の経費を補助する。 | ・地域(防災)案内付き掲示板のデザイン作成 ・掲示板設置に向けた現況把握 | ・地域(防災)案内付き掲示板のデザイン作成 ・掲示板設置に向けた現況把握 | | |
| 13 | 8 | 那覇市コンビニAEDステーション設置事業 | H24～H33 | 地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、24時間営業のコンビニにAEDを貸与し、市民の救命能力の向上と意識啓発に取り組む。 | 那覇市内24時間営業コンビニにおけるAED設置店舗数(設置率):100% | 那覇市内24時間営業コンビニにおけるAED設置店舗数(設置率):97.6% | | |
| 13 | 9 | 防災や学力向上等に向けた情報共有支援事業 | H25 | 地域防災計画に基づく市の各機関の役割周知及び防災訓練の実施前後における指導助言、小中学校における学力向上に資する教育指導法の研究や学校間及び教育委員会との情報交換等、情報共有化を推進支援するためのWeb会議システムを導入する。 | ・Web会議システムサーバーの整備完了 ・パソコン、マイクスピーカ等機器(85台)の整備完了 ・モニター(5台)、書画カメラ(4台)の整備完了 | ・Web会議システムサーバーの整備完了 ・パソコン、マイクスピーカ等機器(85台)の整備完了 ・モニター(5台)、書画カメラ(4台)の整備完了 | | |
| 13 | 10 | 防災ボランティア中央センター等整備事業 | H24～H25 | 地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、災害ボランティア中央センターに配置する備品の整備を行う。 | 災害ボランティアセンター備品の整備(MCA無線機、トイレ Tent) | 災害ボランティアセンター備品の整備(MCA無線機、トイレ Tent) | | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 那覇市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|---|-------------------------------|---------|---|---|---|-------------|------|
| 14 | 1 | 地下壕対策事業 | H24～H33 | 沖縄の抱える様々な特殊事情(地下壕)に対応するため、陥没、落盤等による建築物等の危険度軽減を目的とした壕の埋戻等を行う。 | 地下壕の埋戻等の実施:6ヶ所 | - | 繰 | |
| 14 | 2 | 戦略的交通まちづくり推進事業 | H24～H33 | 公共交通機関利用についての意識啓発イベントである「なほモビリティウィーク&カーフリーデー」の実施及び自動二輪車駐車場実証実験を行う。 具体的には、自動二輪車駐車場の本格運営に向けて、自動車5台分のスペースを二輪車駐車場として転用、運用し、その設置効果を確認する実証実験である。 | ・なほモビリティウィーク&カーフリーデーの実施 ・泉崎7号における自動二輪車駐車場実証実験の実施 | ・なほモビリティウィーク&カーフリーデーの実施 ・泉崎7号における自動二輪車駐車場実証実験の実施 | | |
| 14 | 3 | 亜熱帯庭園都市形成推進調査(道路) | H24～H33 | 戦後無秩序に居住化されてきた特殊な地域も含め、道路基盤等の整備が遅れている地域に、新たなまちづくりと連動させた道路の整備を推進すべく基礎調査を行う。 | まちづくり基礎調査実施 | まちづくり基礎調査実施 | | |
| 14 | 4 | 亜熱帯庭園都市形成推進調査(市街地再生) | H25 | 沖縄の抱える様々な特殊事情(軍用地接収により生じたまちづくりの課題)のために都市機能の更新が進まない中心市街地の区域について、地域に即したまちづくりの方針を定めるための基礎調査を実施する。 | まちづくり基本方針(案)の策定(環境改善方策) | まちづくり基本方針(案)の策定(環境改善方策) | | |
| 14 | 5 | まちづくり拠点施設整備事業 | H24～H25 | 沖縄の抱える様々な特殊事情(軍用地接収により生じた地域コミュニティの課題)に対応するため、まちづくりのための団体等の育成拠点と、産業振興と雇用拡大に資するITインキュベーター施設を整備する。 | まちづくり拠点施設・ITインキュベーター施設の建設着手 | - | 繰 | |
| 14 | 6 | 良好な市街地形成に向けた共同墓(納骨壇及び合葬室)整備事業 | H24～H25 | 沖縄の抱える様々な特殊事情(墓地問題)に対応し、良好な市街地形成を図るため、識名霊園内北納骨堂の整備及び拡充を実施する。 | ・施設の外構工事 ・霊園旧管理事務所の解体 ・施設運用に要する備品類購入 | - | 繰 | |
| 14 | 7 | 亜熱帯庭園都市形成推進調査事業(密集住宅市街地再生方針) | H24～H26 | 沖縄の抱える様々な特殊事情(軍用地接収により生じたまちづくりの課題)に対応するため、平成24年度に実施した基礎調査の成果報告を踏まえ、平成25年度は、密集市街地再生方針案(基本的な方向性の決定)を策定する。 | 密集市街地再生方針案(基本的な方向性の決定)策定 | 密集市街地再生方針案(基本的な方向性の決定)策定 | | |
| 14 | 8 | アメリカ統治下議会議事録電子化事業 | H25～H26 | 祖国復帰前のアメリカ施政権下における本市議会の記録・議事録(1970年～1972年祖国復帰まで)を電子化し、本土とは異なる政治形態下における議会の記録として市民ならびに沖縄の歴史研究等に提供できるよう整備する。 | 電子化した議事録をホームページで公開する | 電子化した議事録をホームページで公開する | | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 那覇市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|---|------|-------------------------|---------|---|--|--|------|
| 14 | 9 | | 那覇市まちづくり基礎調査のための資料整備事業 | H25 | 本市のまちづくりの推進、地域の活性化に寄与する事業や施設建設等を検討する際に利用するため、本市全域を撮影した航空写真資料を整備し、企画、都市計画、建設、教育部門等々、多岐にわたる行政分野で活用する。 | ・本市全域を撮影した航空写真資料の作製完了 | ・本市全域を撮影した航空写真資料の作製完了 | |
| 15 | | | 戦災滅失沖縄関係戸籍の電算化事業 | H24～H25 | 沖縄の抱える様々な特殊事情(戦争により失われた戸籍等の問題)に対応するため、戦災により滅失し、再製等された沖縄関係戸籍を電算化する。平成24年度に読み込んだ沖縄関係戸籍(紙媒体)の原票データを電算化するために業務委託を行い、沖縄関係戸籍のシステムを構築する。 | 沖縄関係戸籍のシステム構築 電算化率:100% | 沖縄関係戸籍のシステム構築 電算化率:100% | |
| 16 | 1 | | 歯科保健予防対策モデル事業 | H25～H27 | モデル地区を設定し、まちづくり協議会等の協力のもと、校区内の児童生徒や、保護者、地域住民に対して歯みがき教室やフッ化物洗口等の総合的な健康づくりを実施し、効果的な歯予防や歯科保健の推進を図る。また、妊婦に対し歯科健診を実施し、出産後の乳幼児期や妊産婦本人に対する口腔の健康管理の向上を図る。 | ・モデル地区を2地区設定 ・推進会議を設置 ・歯科健診・歯みがき教室実施計画を策定 ・歯科健診・歯みがき教室の実施 ・フッ化物洗口実施計画を策定 ・妊婦歯科健診実施計画を策定 | ・モデル地区を2地区設定 ・推進会議を設置 ・歯科健診・歯みがき教室実施計画を策定 ・歯科健診・歯みがき教室の実施 ・フッ化物洗口実施計画を策定 ・妊婦歯科健診実施計画を策定 | |
| 16 | 2 | | 職場が主体的に取り組む健康づくり支援モデル事業 | H25～H27 | 職場での健康づくりの現状(実態やニーズ)を分析し、職場が主体的に取り組める環境(メニュー提供等)をつくる。 | 職場の健康づくりの実態把握 健康づくりメニューブックの完成 モデル事業の実施要領の完成 | 職場の健康づくりの実態把握 健康づくりメニューブックの完成 モデル事業の実施要領の完成 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 宜野湾市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H24成果目標(指標) | H24成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|---------------------|---------|--|---|--|------|
| 1 | | | はごろも祭り・カチャーシー大会運営事業 | H24～H33 | 市民意識の高揚と親睦を図りつつ、地域活性化及び商工・観光振興の観点から「はごろも祭り・カチャーシー大会」を支援する。 | はごろも祭り・カチャーシー大会来場者数 来場者数:14万人 基準値:(平成22年 13万人) | はごろも祭り・カチャーシー大会来場者数 来場者数:14万人 | |
| 1 | | | 風景づくり推進事業 | H24～H25 | 観光振興の観点から、自然景観や伝統的景観など様々な景観資源の保全・活用や新しい建物等と調和した仕組みの構築を図るため、平成24年度において景観計画(素案)を策定したが、平成25年度において景観計画(原案)景観条例(原案)を策定し、潤いと安らぎある景観づくりを推進する。 | 景観計画(原案)の策定 景観条例(原案)の策定 景観ガイドラインの策定 | ・景観計画(原案)の策定 ・景観条例(原案)の策定 ・景観計画運用ガイドラインの策定 | |
| 1 | | | 企画展開催事業 | H24～H33 | 市民や観光客に宜野湾市の歴史・文化への理解を深めてもらうことを目的とした企画展を開催する。 | 宜野湾市の歴史・文化・自然的な特色を活かした企画展を開催する(年間7本開催の内、交付金に係る企画展は3本)。 | 歴史・文化・自然的な特色を活かした企画展の開催8回 (8回中一括交付金対象分は3件) | |
| 1 | | | 宜野湾市産業まつり | H24～H33 | 市の特産品のPR及び産業振興を図るため、宜野湾市産業まつりの開催を支援する。 | 宜野湾市産業まつりの開催 動員者数:1万人 基準値:平成24年8千人 | 宜野湾市産業まつりの開催 動員者数:25,000人 | |
| 1 | | | 文化財説明板・標識設置事業 | H24～H33 | 観光振興及び文化教育に資するため、市登録・指定文化財の所在地に標識や説明板を設置するとともに、自治会事務所等に「地域文化財案内板(ふるさと案内板)を設置する。 | 文化財標識・説明板設置件数:5件 地域文化財案内板設置件数:1件 | 文化財標識・説明板設置件数:4件 地域文化財案内板設置件数:1件 | |
| 1 | | | ぎのわん車いすマラソン大会補助事業 | H25～H33 | 本市西海岸に位置する海浜公園及びその周辺において、毎年12月に開催されるぎのわん車いすマラソン大会(宜野湾市社会福祉協議会が事務局)に対して、事業運営の補助を行う。 | 大会参加者目標数 全体220名(内県外参加者30名) | 大会参加者 全体 249人 内県外参加者 37人 | |
| 1 | | | プロ野球キャンプ野球場施設整備事業 | H24～H25 | 観光振興の観点から、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である市立野球場のスタンドベンチ・フェンス等の整備を行い、施設の機能向上を図る。 | ・プロ野球キャンプ見学者数 目標値(H25年度):25,000人 基準値(H24年度):22,300人 | プロ野球キャンプ見学者数25,100人 | |
| 1 | | | 琉球海炎祭支援事業 | H25～H33 | 日本の夏の風物詩である花火と沖縄音楽・文化の融合によるオリジナリティに溢れた沖縄最大の一大イベントであり、本市の観光振興に寄与しているため、イベントを支援し、観光・コンベンション機能の充実を図る。 | 琉球海炎祭有料エリア来場者数 来場者数:1万人 | 有料観覧エリア来場者数:1.6万人 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 宜野湾市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H24成果目標(指標) | H24成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|---------------------------|---------|---|--|--|------|
| 1 | | | 観光振興情報発信事業 | H25～H29 | 市内の魅力や多彩な観光資源を広く知ってもらうため、ぎのわんガイドマップを作成し県内外から訪れる方々に「ねたての都市(まち)」をアピールする。 | 宜野湾ガイドマップ作成部数 (5,000部) | 宜野湾ガイドマップ作成部数 10,000部 | |
| 1 | | | 横浜DeNAベイスターズグリーンコミュニティー事業 | H25～H33 | プロ野球キャンプは、温かい沖縄を全国にアピールする絶好機会であり、キャンプ地である宜野湾海浜公園を南国に花で埋め尽くし、美ら島沖縄を全国へ発信し、観光・経済に大きな効果が期待できる。 | キャンプ期間中における来場者数 来場者数:2.5万人 | キャンプ期間中における来場者数25,100人 | |
| 1 | | | 宜野湾市西海岸地域開発検討調査事業 | H25～H33 | 観光・リゾート産業の振興及びコンベンション支援機能の充実整備等に向けて、西海岸地域のあり方について検討調査を行い、その調査等に基づき、施設整備を行う。 | 宜野湾市西海岸地域開発基本構想の策定 | 宜野湾市西海岸地域開発基本構想の策定 (検討調査報告書作成完了) | |
| 1 | | | トロピカルビーチ防犯カメラ設置事業 | H25 | 県内外から年間28万人が訪れるトロピカルビーチの周辺に防犯カメラを設置して、安心・安全な状況を確保し、観光資源の拡充を図る。 | 防犯カメラ10台設置 | 防犯カメラ7台設置 | |
| 2 | | | スクールカウンセラー活用事業 | H24～H33 | 不登校やいじめ等の教育問題について、学級担任、児童生徒、保護者等が連携して取り組めるよう相談業務を充実させるため、市内4小学校に定期的にスクールカウンセラーを派遣する。 | 小中学校における不登校出現率 小学校 0.3%以内 中学校 2.5%以内 (出展)『平成25年度宜野湾市の学校教育』P28参照 | 小中学校における不登校出現率 小学校 0.46% 中学校 3.84% | 未 |
| 2 | | | スクールソーシャルワーカー活用事業 | H24～H33 | 不登校児童生徒の復学を支援するため、スクールソーシャルワーカーを配置する。 | スクールソーシャルワーカー配置 第一相談室(3名)SSWコーディネーター 市内4中学校SSW(4名) | スクールソーシャルワーカー配置 第一相談室(3名)SSWコーディネーター 市内4中学校SSW(4名) | |
| 2 | | | 適応指導教室事業 | H24～H33 | 不登校児童生徒の学校適応を促進するため、児童生徒の居場所づくりとして宿泊学習、自然体験学習及び他校との交流体験活動を実施するほか、不登校児童生徒の適応指導に関わる調査研究や教育相談等を実施する。 | 小中学校における不登校出現率 小学校 0.3%以内 中学校 2.5%以内 (出展)『平成25年度宜野湾市の学校教育』P28参照 | 小中学校における不登校出現率 小学校 0.46% 中学校 3.84% | 未 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 宜野湾市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H24成果目標(指標) | H24成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|----------------|---------|---|--|--|------|
| 2 | | | 児童生徒相談事業 | H24～H33 | 教育問題の解決に向けて相談業務の充実を図るため、青少年教育相談指導員、臨床心理士、教育相談指導員、自立支援指導員を配置する。 | 青少年教育相談指導員配置：4名(第二相談室) 臨床心理士配置：1名(第二相談室) 教育相談指導員配置：3名(市内3小学校) 自立支援指導員配置：5名(市内4中学校) | 青少年教育相談指導員配置：4名(第二相談室) 臨床心理士配置：1名(第二相談室) 教育相談指導員配置：3名(市内3小学校) 自立支援指導員配置：5名(市内4中学校) | |
| 2 | | | 非行防止等巡回活動事業 | H24～H33 | 児童生徒の健全育成を図る観点から、関係機関や地域と連携して青少年の問題行動に対して必要な指導・助言を行うため夜間街頭指導員を配置する。 | 夜間街頭指導員配置・活動人数 16人 | 夜間街頭指導員配置・活動人数 16人 | |
| 2 | | | 学習支援員活用事業 | H24～H33 | 学習の遅れがちな児童生徒に対して、学習支援をすることにより、基礎的・基本的知識技能の習得を図り、主体的に学習に取り組む態度を養うことを目的として学習支援員を配置する。 | 全国学力・学習状況調査を全国平均並みとする。 全国調査 小学校 国語A:62.7 国語B:49.4 算数A:77.2 算数B:58.4 中学校 国語A:76.4 国語B:67.4 数学A:63.7 数学B:41.5 | 全国調査 小学校 国語A:58.4 国語B:45.7 算数A:74.8 算数B:54.3 中学校 国語A:68.5 国語B:61.1 数学A:51.5 数学B:27.8 | 未 |
| 2 | | | 派遣費補助金交付事業 | H24～H33 | 児童生徒の文化活動及びスポーツを奨励するため、学校教育の一環として県外に派遣される場合に要する旅費等を補助する。 | 派遣補助団体数：30団体 (文化活動団体数：5団体 スポーツ活動団体数：25団体) | 派遣補助団体数：23団体 (文化活動団体数：9団体 スポーツ活動団体数：14団体) | |
| 2 | | | スポーツ少年団派遣費補助事業 | H25～H33 | スポーツ活動による児童の健全育成を図るため、スポーツ少年団等に登録している市内在住の小中学生が一定の基準を満たして県外に派遣される場合に要する旅費等を補助する。 | 大会等派遣生徒数：141人 | 大会等派遣生徒数：32人 | 未 |
| 3 | | | 文化財保存整備事業 | H24～H33 | 宜野湾市では、市が指定する文化財保存及び活用が課題である。平成25年度は、市指定有形民俗文化財「我如古ヒージャーガー」の安全対策工事を実施する。また、琉球王族の墓である本部御殿墓の石積修復、整備に必要な実施設計を行う。 | 指定文化財の保存整備件数：1件 | 指定文化財の保存整備件数：1件 | |
| 3 | | | 歴史公文書等整理・活用事業 | H24～H33 | 歴史的価値を有する宜野湾市(村)の公文書等を整理し、市民サービスに資するため検索システムの構築等を行う。 | 歴史的価値を有する公文書等の保存整理冊数：150冊 | 歴史的価値を有する公文書等の保存整理冊数：110冊 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 宜野湾市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H24成果目標(指標) | H24成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|-----------------|---------|--|---|---|------|
| 4 | | | 預かり保育事業 | H24～H33 | 地域の実態及び保護者の要請に応じて、公立幼稚園において、通常の保育時間の終了後や長期休業期間中等に預かり保育を実施する。 | 預かり保育利用者数:1,500人 一時預かり保育利用者数:400人 | 預かり保育利用者数:1,650人 一時預かり保育利用者数:326人 | |
| 5 | | | 中国廈門理工学院留学生派遣事業 | H24～H33 | 中国に対する理解を深め、国際的視野を持った人材育成を図るため、友好合作都市である中国福建省廈門市の市立大学に1年間研修留学生を派遣する。 | 派遣留学生数:1人 | 派遣留学生数:1人 | |
| 5 | | | 平和市民啓発事業 | H24～H33 | (平和学習派遣事業) 全国の青少年と交流し、命の尊さや平和意識について学ぶため、8/9に長崎で開催される「平和記念式典」及び「青少年ピースフォーラム」に市内生徒8名を派遣する。 | 平和学習派遣生徒数:8人 | 平和学習派遣生徒数:8人 | |
| 5 | | | 小学校英語教育課程特例校事業 | H24～H33 | 本市は、平成15年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成16年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、外国人英語指導助手及び日本人英語教師を小学校に派遣する。 | 小学校児童英語検定受験者数の増 H24年度は約2000名の受験者数 | 小学校児童英語検定受験者数の増 受験者数 2032名 | |
| 5 | | | 外国人教師招致事業 | H24～H33 | 本市は、平成15年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成16年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、外国人英語指導助手を中学校に派遣する。 | 中学校英語検定受験者数の増 H24年度は約1200名の受験者数 | 中学校英語検定受験者数の増 受験者数 1287名 | |
| 5 | | | 学校ICT活用指導支援事業 | H24～H33 | 児童生徒の情報活用能力向上を図るため、ITサポート支援員を派遣し、教育用PC、電子黒板及びプロジェクターなどを活用した情報教育授業を実施する。 | 教師用アンケート「授業にICTを活用して指導できる」率:(H25年度より調査実施) 成果目標:小学校90%以上、中学校60%以上 | 教師用アンケート「授業にICTを活用して指導できる」率:(H25年度より調査実施) 成果目標:小学校90%、中学校67% | |
| 6 | | | 特殊災害対応資機材整備事業 | H24～H25 | コンベンションエリアや普天間米軍基地など本市に重要拠点があり、特殊災害等の発生が危ぶまれている。その特異性を含んだ災害に対し、特殊災害対応資機材を整備することにより消防力の強化が図られ、迅速な対応が可能となる。 | 特殊災害対応資機材の整備 | 特殊災害対応資機材の整備 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 宜野湾市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H24成果目標(指標) | H24成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|---------------------------|---------|--|--|-------------------------------|------|
| 7 | | | 宜野湾市基地返還跡地転用推進基金事業 | H24～H33 | 普天間飛行場、キャンプ瑞慶覧は、民有地の占める割合が大きく返還後の跡地利用を行う際、公共施設用地がかなり不足することが予想されるため返還前の段階から計画的用地確保を目的に行う。 | 普天間基地の市の取得面積(253,000㎡)に対し、(16,229㎡)を取得する。(達成率23%を目標とする。) * キャンプ瑞慶覧は25年度は積立のみで26年度に購入予定。 達成率:市の取得目標面積(253,000㎡)に対する取得面積 | 普天間飛行場13,490.38㎡を取得した。 | |
| 8 | | | 普天間飛行場跡地利用計画策定事業(地権者意向調査) | H24～H33 | 普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、市民によって構成される「NBミーティング」や若手地権者等によって構成される「若手の会」の活動を助成し、合意形成についての取り組みを行う。 | 普天間飛行場跡地利用計画策定 | 平成25年度関係地権者等の意向醸成・活動推進調査報告書作成 | 未 |
| 8 | | | 普天間飛行場跡地利用計画策定事業(県市共同調査) | H24～H33 | 宜野湾市と沖縄県が平成24年3月に策定した「全体計画の中間取りまとめ」について、市民・県民・地権者等に対して情報発信及び意見の聴取を行い、普天間飛行場跡地利用計画に反映させるための取り組みを行う。 | 普天間飛行場跡地利用計画策定 | 平成25年度普天間飛行場跡地利用計画策定調査報告書作成 | 未 |
| 8 | | | 普天間飛行場跡地利用計画策定調査(自然環境調査) | H24～H33 | キャンプ瑞慶覧(宜野湾市地区)の跡地利用計画の見直しを踏まえ当該地区の特殊地形等踏査や植生調査、湧水調査・普天間基地周辺の湧水調査等を行い宜野湾市の自然的特性に関する調査を行い、跡地利用計画の推進を図る。 | 普天間飛行場跡地利用計画策定 | 平成25年度宜野湾市自然環境調査報告書作成 | 未 |
| 8 | | | キャンプ瑞慶覧跡地利用計画策定事業 | H24～H33 | 平成25年4月に発表された「沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画」によって速やかな返還が明記された西普天間住宅地区について、地権者等の意向を把握しながら、平成16年度に策定した基本計画の見直しを含め、まちづくりについての検討を行う。 | キャンプ瑞慶覧(宜野湾市地区)跡地利用計画策定 | キャンプ瑞慶覧宜野湾市地区跡地利用計画策定 | |
| 8 | | | 埋蔵文化財発掘調査支援検討調査事業 | H24～H33 | 埋蔵文化財調査の情報と進捗する試掘・確認調査の関連情報が、地権者等に広く提供・公開できる「仕組み」を整備する。合わせて、平成23年度に作成した普天間飛行場の「重要遺跡保存整備基本構想」を基に、『遺跡(重要文化財)以外の文化財』と『基地外文化財』も統一的に見据えた「重要文化財保存整備基本方針」を作成する。 | 重要文化財保存整備基本方針の策定 | 重要文化財保存整備基本方針の策定 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 宜野湾市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H24成果目標(指標) | H24成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|---------------------------|---------|--|---|-------------------------|------|
| 8 | | | キャンプ瑞慶覧文化財保護マスタープラン策定調査事業 | H24～H33 | 返還が予定されているキャンプ瑞慶覧地区の跡地利用の促進及び円滑化等に向けて、文化財等の利用・管理運営・まちづくりなどに興味・関心の高い人を地権者や関係地域、市民等から一般公募や推薦により集め、「ズケランゆんたく会」を発足にて、運営主体づくりに向けて意見交換を行い、事例視察や周知、啓発活動等を実施する。 | キャンプ瑞慶覧文化財保護マスタープラン策定調査 | キャンプ瑞慶覧文化財保護マスタープラン策定調査 | |
| 9 | | | 市民会館施設整備事業 | H24～H29 | 宜野湾市民会館は文化活動の拠点として、市民の発表の場や芸術の鑑賞の場として活用されているが、建設から30年経過し老朽化が進んでいる。しかし、普天間飛行場の移設、跡地利用に目途がつかない状況下では、建替計画の策定が難しいため、現在の設備等を改修し、市民がより利用しやすい施設として機能向上を図る。 25年度は屋上防水及び外壁の改修を行い、台風、豪雨時の漏水を防ぎ、市民会館施設の安定的な運営と長期利用を図る。 | 屋上防水及び外壁改修工事 (漏水回数 H23:3回、H24:5回 H26:0回) | 屋上防水及び外壁改修工事完了 | |
| 11 | | | 市民図書館施設整備事業 | H24～H28 | 宜野湾市民図書館は、生涯学習の施設の拠点として市民に活用されているが、開館から20年経過し、図書館の施設整備及び備品拡充を図る必要がある。しかし、普天間飛行場の移設、跡地利用に目途がつかない状況下では、建替計画の策定が難しいため、現在の施設を整備し市民サービスの向上を図る。 25年度は空調設備改修工事、外壁補修設計及び工事を実施する。 | 施設の整備箇所 2か所 (空調設備、外壁) | 外壁等防水補修工事及び空調機等改修工事完了 | |
| 12 | | | 普天間飛行場周辺における航空機騒音測定事業 | H25 | ・普天間飛行場周辺において航空機の騒音測定機器を設置し、騒音データを測定する。測定したデータを基に騒音環境の適正化を求める。 ・新基準値(エルデン)での測定が可能となる。 | ・騒音測定機器(真志喜局1機)を設置し、騒音測定を実施。 ・騒音の新基準値(エルデン)での測定が可能となる。 | 騒音測定器の設置、新基準での測定の実施 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 石垣市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|-----------------------|---------|--|---|---|------|
| 1 | | | 観光誘客プロモーション事業 | H24～H33 | 県外の主要都市及び沖縄県内において地元観光関係団体と連携した観光誘客プロモーションを展開し、新規観光客の獲得につなげる。 | 観光キャラバン、観光物産展実施:9都市 観光セミナーにおけるプレゼンテーション(3回) | 観光キャラバン、観光物産展実施 11都市 セミナー実施回数 2回 | |
| 1 | | | スポーツ！ウェルカム！石垣島！事業 | H24～H33 | スポーツツーリズムを促進し離島振興につなげるため、国際大会、プロスポーツキャンプ、体育系教育機関の合宿等を誘致するための営業活動を実施する。また、プロモーションビデオやホームページ等を作成して誘致活動を展開していく。 | ・スポーツ情報サイトへ広告掲出(2週間×2枠) ・webページの充実 ・プロモーションビデオを活用した営業活動(関東地方2カ所、関西地方1カ所) ・誘致目標として、プロスポーツキャンプ、体育系教育機関の合宿等に2団体以上 | ・スポーツ雑誌等 掲載2カ所 ・webページ維持管理 ・プロモーションビデオを活用した営業活動(関東6カ所、関西2カ所) ・プロスポーツキャンプ、体育系教育機関の合宿等 2団体 | |
| 1 | | | 石垣島観光物産PR事業 | H24～H33 | 新石垣空港開港を中心とした大々的なPRを行い、観光誘客につなげる | ・新空港を軸にしたPR ・物産PR(10アイテムのリデザイン) ・ターゲット毎のPR ・観光入客数 80万人 | ・新空港を軸にしたPR ・物産PR(10アイテムのリデザイン) ・ターゲット毎のPR ・観光入客数 98万人 | |
| 1 | | | 美ら島情報発信事業 | H24～H28 | 新空港国際線開港後によるインバウンド促進と来島後のきめ細やかなホスピタリティを醸成するため、石垣市公式ウェブサイトの多言語化を図り、行政が発信する安心・信頼性のある観光情報や外国人観光客向けのコンテンツを充実させる。 | 国外利用者が市公式ウェブサイトを訪問する回数:月平均訪問数:800回 | 国外利用者が市公式ウェブサイトを訪問する回数:月平均訪問数:289回 | 未 |
| 1 | | | 八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業 | H24～H33 | 八重山博物館が所蔵する資料の内、劣化が進み修復を要する資料を年次的に修復する。修復後は、公開・活用を図る。また、狭隘な収蔵施設を有効に使用するため、収蔵棚を制作し、資料の管理を図る。 | 文書等修復数 148点 新聞資料修復数 1000枚 収蔵棚製作数 4点 | 文書等修復数 3点 新聞資料修復数 5,455枚 資料収納用筆筒製作2点、資料収蔵用棚設置1件 | |
| 1 | | | 石垣島シネマフェスティバル事業 | H24～H33 | 5.1chの立体音響、3Dの映像等最新上映システムを使用して上映会を開催し、劇場で鑑賞する醍醐味を味わってもらい、八重山をロケ地として撮影された映画作品を上映することにより、島の魅力を広くPRする。 | ・石垣島シネマフェスティバルの入場者:8,000人 (大ホール1,000席、中ホール200席、展示ホール50席 計1,250席×8回上映で8割の入場者) | 石垣島シネマフェスティバル入場者 6,050人 | |
| 1 | | | プロ野球キャンプ受入基盤強化事業 | H24～H30 | 観光客や選手等の安全性と快適性を図るため、キャンプ期間中における見学者の誘導員及び飛球対策に係る警備員の配置を行うとともに、スムーズな誘導線を確保するためにプラスチックフェンスを購入する。また、総合案内所を設置し、来場者等へキャンプ開催とタイアップした取り組みを行って地域活性化につなげる。また、離島初の試みであるオープン戦を開催することにより、さらなる地域の盛り上がりを目指す。 | プロ野球キャンプ見学者数:17,000人 | プロ野球キャンプ見学者数 14,730人 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 石垣市 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--------------------------|---------|---|---|---|------|
| 1 | いしがきの原風景写真等デジタル化事業 | H24～H28 | 市史編集事業により収集された写真・ネガフィルム等75,000点の内、15,000点のデジタル化を行う。 | いしがきの原風景写真等デジタル化実施率：20% | いしがきの原風景写真等デジタル化実施率：22% | |
| 1 | 大浜地区歴史遺産活用事業 | H25～H27 | 大浜地域に存する歴史遺産を連絡する目的で公園広場を整備する。今年度は広場の用地(1970㎡)を取得する。 | 用地(1,970㎡)の取得。 | 用地の取得 1432㎡ | |
| 1 | 石垣市民会館設備改修事業 | H25～H26 | 会館設備を改修し、良好な環境を提供し利用しやすい施設として整備する。島内外のアーティスト及び団体による多くの公演の誘致につなげる。それらの公演団体やイベントツアーで誘客し、島の魅力をPRすることでリピーターにつなげたい。 | ・石垣市民会館屋根防水改修工事の完了 ・石垣市民会館舞台袖幕の取替改修工事の完了 | 防水改修工事未実施 大・中ホールの袖幕・一文字幕取替 | |
| 1 | 指定文化財活用事業 | H25～H27 | 石垣市に存する指定文化財を紹介する「石垣市の文化財」を刊行する。合わせて文化財所在地に説明板を設置する。 | ・「石垣市の文化財」の刊行。 ・説明板の設置 21基 | ・「石垣市の文化財」の刊行。 ・説明板の設置 8基 | |
| 1 | 新石垣市立八重山博物館建設に係る基本構想策定事業 | H25～H26 | 開館40年を経、老朽化する八重山博物館の新築に向けた基本構想の策定を行う。策定作業は2年を予定しており、平成25年度は初年度となる。 | 基本構想に係る調査と基本構想策定委員会の開催 (平成25年度は、主に調査業務を実施) | 基本構想策定に係る調査、基本構想検討委員会開催 | |
| 1 | 石垣島ミュージックフェスティバル事業 | H25～H27 | 本市の観光魅力を国内及び近隣国にアピールして地域の経済インパクトを活性化させる施策として、本市の有するリゾート性と音楽の力を結びつけた誘客イベントを開催する。新空港開港による国内外の運行路線とタイアップした広報や近隣国のアーティストや集客力のあるアーティスト及び石垣島出身のアーティストをラインアップする事により集客し、イベントを通じて新しい石垣島イメージの形成を図る。 | ・石垣島ミュージックフェスティバル目標集客数1万人 | 約5千人 | 未 |
| 1 | 南ぬ島空港観光案内所運営事業 | H25～H33 | 本市の玄関口となる石垣空港ターミナル内において、国内外からの旅行者を対象とした観光案内所サービスを実施する観光案内所を設置して観光情報の発信を積極的に行うことで、観光受入環境の強化と向上を図り観光振興につなげる。 | ・観光案内所スタッフの配置(2名) ・案内内容の整理、集約を行い利便性向上に反映する会議等の開催(2回) | ・観光案内所スタッフの配置(2名) ・案内内容の整理、集約を行い利便性向上に反映する会議等の開催(2回) | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 石垣市 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|-------------------|---------|--|-------------------------------|-----------------------------------|------|
| 2 | 水族館建設推進事業 | H24～H28 | 新たな観光資源を創出するため、水族館建設の基本計画の策定を行う。 | 基本計画の策定 | - | 繰 |
| 2 | クルーズ船寄港誘致支援事業 | H24～H33 | 大型クルーズ船寄港誘致のため、大型タグボートの経費の一部支援を行う | タグボート経費支援:4回 | タグボート経費支援:2回 | 未 |
| 2 | フラワーロード整備事業 | H24～H25 | 観光客が訪れて良かったと感じられるような街づくりを推進するため、市道の植樹帯へ花や樹木の植栽を実施する。 | 観光施設及びキャンプ場誘客整備事業と連携し2路線を整備。 | - | 繰 |
| 2 | 美ら島ファミリーサポート整備事業 | H24～H28 | ファミリーで訪れる観光客に癒しのスポットを提供するために、石垣島らしさを演出する遊具等の設置を行い、子どもたちの遊び場を確保する。 | 遊具施設を設置した公園:2箇所 | - | 繰 |
| 2 | 観光施設及びキャンプ場誘客整備事業 | H24～H33 | 観光客の受け入れ基盤の強化を図るため、海水浴場や展望台等の観光施設の整備、改修を行う。 | ・観光地整備計画の策定 ・米原ビーチ等の整備、改修等 | ・観光地整備計画の策定 ・米原ビーチ等の整備、改修等 未実施 | |
| 2 | バス停上屋整備事業 | H24～H25 | 新空港の開港に伴い、より快適な観光地としてのまちづくりを進めるため、石垣市の猛烈な日差しや雨天時においてもそれらを選ばず、快適にバスを利用してもらうためにバス停留所上屋を整備する。 | バス停上屋整備:1箇所 | バス停上屋整備:1箇所 | |
| 2 | 観光地アクセス道路安全安心推進事業 | H24～H25 | 本市の観光スポットである「エメラルドの海を見る展望台」へアクセスする道路は、山岳を走る路線で崩壊等の危険性があるため、道路を整備し、観光地としての安全・安心を確保する。 | アクセス道路整備工事(パンナ公園内市道)の完了 | アクセス道路整備工事(パンナ公園内市道)の完了 | |
| 2 | 於茂登岳登山道開設事業 | H25～H27 | 於茂登岳山頂への登山道(トッキングルート)を開設するため、登山ルートの調査検討と整備を行う。 | 登山ルートの路線測量の実施 | 登山ルートの路線測量の実施 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 石垣市 | | | | | | |
|------|---------------------|---------|---|--|--|------|
| 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
| 2 | 川平風致公園観光利便性向上施設整備事業 | H25～H30 | 観光客の利便性の向上、地域振興のため、物産販売所やグラスボードチケット売場を統合した施設の設置検討業務、修学旅行、クルーズ船寄港時の一時的な混雑緩和のための公園外市有地の利活用を含めた調査検討業務を行う。 | 観光利便性向上施設の基本計画策定 | - | 繰 |
| 2 | 平久保半島エコロード整備調査事業 | H25～H28 | 平久保半島は、国立公園区域に指定されており、手付かずの自然景観が残っている。未整備道路の整備の在り方について、自然景観や、環境共生型の道路整備について調査検討を行う。 | 市道平久保半島東線エコロード整備計画策定に向けた自然景観や、環境共生型の道路整備についての調査の実施 | 市道平久保半島東線エコロード整備計画策定に向けた自然景観や、環境共生型の道路整備についての調査の実施 | |
| 2 | 亜熱帯都市公園整備促進事業 | H25～H29 | 街区公園整備に関し、拝所を中心とした石垣特有の公園整備に関する調査委託業務 | 亜熱帯都市公園整備の基本構想策定 | - | 繰 |
| 2 | 石垣漁港フィッシャリーナ | H25 | フィッシャリーナの整備を行い遊漁船等を集約することにより漁船との棲み分けが可能となり安全な漁業活動に寄与するとともに、遊漁船やプレジャーボート等の受入環境を改善し、地域の活性化及び観光産業の振興に貢献する。 | 係留施設(浮桟橋)(L=47m、収容隻数=14隻)の設置 | 係留施設(浮桟橋)(L=47m)の設置 | |
| 3 | 石垣市エコアイランド事業 | H24～H27 | 市内既設の防犯灯のLED化 街路灯を省エネ性能が高いLED化し、低酸素島嶼社会の実現に向けた取り組みを推進し、市民の意識向上を図り、エコアイランド構想に推進する。 | 防犯灯LED化数:423基 道路街路灯のLED化:170基 | - | 繰 |
| 3 | オニヒトデ駆除・サンゴ保全事業 | H24～H33 | ここ数年、大量に発生しているオニヒトデの駆除を行い、サンゴの保全に努める。 | オニヒトデの駆除:3,000ダイブ | オニヒトデの駆除:3,456ダイブ | |
| 3 | 南の島の猫アイランド事業 | H24～H27 | 新港地区緑地公園の衛生・環境保全のため、猫の捕獲・保護及び避妊、去勢等を実施する。新港地区に捨てられる原因となっている街中の飼主のいない猫も一斉捕獲避妊・去勢をし、新港地区の環境保全を図る。 | 新港地区緑地公園内に生息する猫の全体頭数(約60頭)に対する8割以上の猫に避妊・去勢治療を施す。 | 75匹 | |
| 3 | 赤土等流出防止対策事業 | H24～H28 | 農地からの赤土流出を防止するため、グリーンベルトの設置、緑肥の提供、堆肥を撒く小型すじまき機械を購入し、貸与する。 | 緑肥種子播種目標面積:165ha | 89ha | 未 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 石垣市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|---------------------|---------|---|--|--|------|
| 3 | | | エコカー公用車導入事業 | H24～H29 | 石垣島全体をエコ化に向けた取り組みとして、環境の保全及び魅力ある観光地を形成することで沖縄振興に繋げる。具体的にEV車を公用車として導入することにより、環境保全を先導的なエコアイランド化を推進する。 | EV公用車導入台数:4台 | - | - |
| 3 | | | 石垣市資源循環アイランド推進事業 | H24～H27 | 市の第4次総合計画における柱の1つ、“島の自然環境を守り生かす「いしがき」-環境と風景-”及び「石垣市エコアイランド構想」を強力に推進するツールとして、「石垣市資源循環産業都市構想(仮称)」を策定する必要がある。 この構想策定により、石垣市内外の産官学連携を一層強化し、循環の島の構築と環境と調和した農業を確立する。これにより新たな産業(雇用)の創出、地域の活性化、循環石垣島ブランドの確立を図る。 | 石垣市バイオマス産業都市構想の策定 | バイオマス利活用推進計画の策定 | 未 |
| 4 | | | ものづくり・マーケティング総合支援事業 | H24～H26 | 製造加工品等の販路拡大のため、国内各都市において物産展等を行うとともにバイヤーマッチング事業や商談会を企画する。また、出展者に対して、必要な助成をする。共同加工施設整備については、調査に基づく基本方針作成に取り組む。 | 物産展出展支援事業所:20事業所 | 物産展出展支援事業所:23事業所 | |
| 4 | | | 就業支援マッチング事業・人材育成事業 | H24～H26 | 特産品の振興及び工芸産業の振興を図るため人材育成事業を実施する。具体的には、セミナーや講習会等を実施する。就業支援(繰越分)、人材育成(今年度分)。 | ・特産品開発セミナー 企画シートの作成に至った参加者数:5人 ・やきもの講座 八重山焼の技法を学んだ参加者:3人 ・八重山上布技術者育成講習 服地作成に至った参加者:3人 | ・特産品開発セミナー 企画シートの作成に至った参加者数:14人 ・やきもの講座 八重山焼の技法を学んだ参加者:18人 ・八重山上布技術者育成講習 服地作成に至った参加者:0人 | |
| 4 | | | 商店街・中心市街地並びに商業振興事業 | H24～H26 | 平成24年度に実施した先進地視察、セミナー、フォーラム等の実施に伴う成果をもとに、関係者による協議会、検討委員会等の立ち上げ・運営等により本市の商店街及び中心市街地活性化に資する行政計画(アクションプラン)の策定を行う。 | 商業地及び中心市街地活性化計画(仮称)策定 | 商業地及び中心市街地活性化計画(仮称)未策定 | 未 |
| 4 | | | 経済振興プラン策定事業 | H25 | 新石垣空港開港後の石垣市の経済振興の方向性や本市における産業基盤の様々な実態を調査し、中長期的な経済全体の計画を策定する。 | 経済振興プランの策定 | - | 繰 |
| 4 | | | 文化産業創出事業 | H25～H28 | 独特で豊富な地域資源を持つ本市において、それらを国内外へ広くPRし、文化産業の振興を図る。具体的な取り組み案として、本市に所縁のあるクリエイターの紹介をおこなう書籍やインターネット上でのアーカイブ化(人材バンク化)をおこない、これらの人材を国内、アジア圏域へ派遣し、PRする事により、地域資源のブランド化やマーケット化、関連産業を巻き込んだ複合展開を視野に入れ、文化産業(第4次産業、第5次産業)の創出を図る。 | デザイナー・やクリエイターら(デザイン・イラスト/写真・映像/工芸品/プロダクト・空間/ファッション/CG・WEBデザイン/その他)の人材のアーカイブ化とその周知活動 | - | 繰 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 石垣市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|----------------------|---------|--|---|--|------|
| 4 | | | 石垣市農水産物等流通戦略構築調査実証事業 | H25～H26 | 新空港が開港し航空輸送能力や新規ルートが開拓されたことに着目し、本市の特産品を従来の流通チャネルとは違う手法により県外消費地へ届けることが可能かどうか、特に実需者と呼ばれる卸売、小売業者やホテル、飲食店関係者等を対象に、そのニーズに合った形で消費してもらうにはどのような取り組みが必要かについて、「調査」及び「実証」する。平成25年度は、実証事業の実施に必要な調査事業を行う。 | (1)戦略品目の決定 (2)事業実施場所の決定 (3)輸送手段、ルート、料金等の決定 | (1)戦略品目の決定 (2)事業実施場所の決定 (3)輸送手段、ルート、料金等の決定 | |
| 5 | | | 熱帯果樹栽培研究事業 | H24～H28 | 熱帯果樹産業の振興を図るため、パパイヤをはじめ熱帯果樹を使った食材の研究、商品化や栽培研究を行う。 | ・熱帯果樹の苗の配布(年間800本)により普及を図り、アンケート実施により熱帯果樹のニーズを確認する。 ・「地中根域制限方法(マンゴー)」を実証圃で試験実施し新栽培方法を確立する。 | パパイヤの種苗800本を配布 アンケート調査を実施 「地中根域制限方法(マンゴー)」を実証圃で試験実施 | |
| 5 | | | さとうきび振興事業 | H24～H28 | さとうきびの安定性を図ることを目的に、新たな機能を有する農薬を用いて防除体系を確立し、生産農家を対象に農薬購入補助を行う。また、さとうきびの輪作品目としての石垣島での蕎麦栽培の可能性を探る。 | ・農薬補助件数目標値 1,183件 春植え 申請866件 夏植え 申請317件 ・さとうきび輪作作物の蕎麦の適正品種の確立 ・蕎麦の適期植付けを確認する。 | ・農薬補助件数 747件 ・さとうきび輪作作物の蕎麦の適正品種の確立 ・蕎麦の適期植付けを確認(45a) | |
| 5 | | | "石垣産の牛"生産推進事業 | H25～H33 | 優良繁殖雌牛拠点産地計画交配事業 育種価の高い繁殖雌牛に計画交配を実施し、地域内母牛群の改良を図る。関係機関が認める当該雌牛産子を母牛として自家保留した農家へ補助金を交付する。 高齢繁殖母牛早期淘汰奨励事業 地元食肉加工施設(八重山食肉センター)へ高齢母牛を出荷(淘汰)した農家へ補助を行い、地域内母牛群の早期淘汰・更新を図る。 石垣牛販促宣伝事業 新石垣空港ターミナルビル到着口に、石垣市が誇る観光目玉商品「石垣牛」の電光掲示板を設置し、観光客の皆様がいち早く認知していただき、観光業も含めた消費拡大に寄与する。 | 自家保留牛 100頭 淘汰牛頭数 300頭 新空港への電光掲示板の設置数 1台 | 自家保留牛 9頭 淘汰牛 147頭 新空港への電光掲示板設置 1台 | |
| 5 | | | アカジン(スジアラ)養殖実証試験事業 | H24～H26 | 沖縄県の三大高級魚であるアカジンを、新たな養殖魚種として確立するための、養殖実証試験を引き続き行う。今年度は紫外線殺菌装置等を設置し、アカジン試食会等を行う。 | ・アカジン(スジアラ)養殖の実証試験の実施(アカジン養殖の可能性を探るための実証試験) | ・アカジン(スジアラ)養殖の実証試験の実施(アカジン養殖の可能性を探るための実証試験) | |
| 5 | | | 林業活性化促進事業 | H25 | 木材需要の拡大及び林業活性化と振興の基盤強化を図るため、間伐材等の利用に必要な伐倒、搬出、集材のための林業機械を購入する。 | 林業機械購入(グラッフル付きバックホウ 1機) | 林業機械購入(グラッフル付きバックホウ 1機) | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 石垣市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|---------------------|---------|--|---|---|------|
| 5 | | | ヤシガニ生息実態調査事業 | H25 | 郷土の食文化及び観光資源であるヤシガニの枯渇を予防し、持続的に活用できるよう、保護区域や捕獲禁止期間等の設定に科学的知見を反映させるため、ヤシガニの繁殖場所、生息環境及びヤシガニの含有機能成分の分析等を実施する。 | 生息実態調査の実施(保護区エリア候補地調査、野外調査、分析試料採集) | 生息実態調査の実施(保護区エリア候補地調査、野外調査、分析試料採集) | |
| 5 | | | 水産振興事業 | H24～H33 | 漁場保全を図るため、オニヒトデ駆除を実施する。また、種苗購入の際に漁業者の負担を軽減するために沖縄本島・本部からの輸送費を補助する。 | オニヒトデ駆除：5海域 ヤイトハタ種苗輸送費の補助 | オニヒトデ駆除：4海域 ヤイトハタ種苗輸送費の補助 | |
| 5 | | | 漁船用衛星船舶電話通信機器設置補助事業 | H25 | 現在使用している衛星船舶電話がH24年度末にアナログからデジタル化に移行するため、H26年度から使用不能となる。それに備えて漁協所属漁船33隻に衛星船舶電話通信機器(デジタル機器)の設置補助を行い、遠方操業漁船の安全確保を図る。 | 漁船用衛星船舶電話通信機器の設置補助の実施 | 漁船用衛星船舶電話通信機器の設置補助の実施 | |
| 5 | | | 生鮮水産物流通条件不利性解消補助事業 | H25～H33 | 生産量の増加に向け、石垣市から沖縄本島への出荷する生鮮水産物の輸送が、陸路なみの輸送費となるよう支援を行う。 | 生鮮水産物57,451kgの輸送費補助の実施 | 生鮮水産物18,822kgの輸送費補助の実施 | 未 |
| 6 | | | 地域防災力強化育成事業 | H24～H28 | 各地域、または公民館ごとに地震・津波・火災対応型の救急救助資機材収納倉庫を設置し、災害時の際、消防及び公的機関の支援が届くまでの間、消防団及び自主防災組織に消火活動や救助活動等に活用してもらい一人でも多くの救える命を救う基盤を構築するとともに、自主防災組織の設置率を上げ、防災意識の高い安心安全な町、石垣市を広く広報し観光振興に繋げる。 | 新規自主防災組織の立ち上げ:10か所 | 新規自主防災組織の立ち上げ:10か所 | |
| 6 | | | 防災避難道路整備事業 | H24～H26 | 予想される大地震時における津波避難道路を整備し、安全な農村集落の環境を整える。 | 明石地区防災避難道路整備工事 L=270m | 明石地区防災避難道路整備工事 L=270m | |
| 6 | | | 防災体制整備事業 | H24～H33 | 地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、未整備地区や難聴地区への屋外拡声子局を整備する。また、迅速かつ確かな避難ができるようにハザードマップの全世帯配布や高台避難に有効な市内電柱への海拔表示シート設置を行う。 | 防災無線設置カバー数:76% 海拔表示シート設置数:200か所(設置率40%) ハザードマップ配布数:100% | 防災無線設置カバー数:76% 海拔表示シート設置数:200か所(設置率40%) ハザードマップ配布数:100% | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 石垣市 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|-------------------|---------|--|--|---|------|
| 6 | 福祉避難所ふれあい交流施設整備事業 | H25～H28 | 平成24年度に策定した施設整備の「基本計画」に沿って、平成25年度は「基本設計」に取り組む。事業概要は、地震、津波、台風等の大規模災害時に要援護者が安心・安全で避難所生活が送れる特別な配慮がなされた「福祉避難所」を整備し、平常時は、児童・高齢者・障がい者等のふれあい交流施設として有効活用を図る。 | 施設の基本設計(建設場所、施設規模、地質調査、測量)の実施 | - | - |
| 6 | 災害対応機材整備事業 | H25 | 地震や津波などによる停電時において給水ポンプの電源を確保するため、発電機搭載型投光機を整備し、災害に強いまちづくりを推進する。 | 発電機搭載型投光器 2台購入 | 発電機搭載型投光器 2台購入 | |
| 6 | 防災無線設備整備事業 | H25 | 現在、埋立地で標高2.5mの水道部庁舎にある無線設備(基地局)を高台にある石垣浄水場に整備することにより、津波による被災を防止し、災害時におけるライフラインの早期復旧を図ることができる。 | 無線設備整備の完了 | 無線設備整備の完了 | |
| 7 | ICT教育強化事業 | H24～H33 | 児童・生徒の学力向上を図るため、デジタル教科書、デジタル教材の充実を図り、ICT教育を有効活用した教育環境整備を行う。 | 全小中学校にデジタル教科書(3教科)及び学習プリント作成ソフト等を整備 | 全小中学校へのデジタル教科書(3教科)の整備 全小中学校に学習プリント作成ソフト等を整備 | |
| 7 | 外国語学習支援事業 | H24～H33 | 小学校5年生、6年生による外国語活動が必修科目になったことに伴い、市立小中学校へ外国語学習指導員の配置等の活動を支援をする。 | 1ヶ月に一度は外国語学習支援員との授業を島内の全5、6年生が受けられるようにする。20校 | 1ヶ月に一度は外国語学習支援員との授業を島内の全5、6年生が受けられるようにする。17校 | |
| 7 | 児童・生徒派遣費助成事業 | H24～H33 | 児童・生徒がスポーツ・文化活動に参加する際の派遣費を補助する | 県内大会等派遣人数:2,000人 県外大会等派遣人数:295人 | 県内大会等派遣人数:2294人 県外大会等派遣人数:203人 | |
| 7 | ユースアドバイザー事業 | H24～H33 | 不登校、引きこもり、ニート等問題や困難を有する児童生徒・若者への支援体制を整え、ユースアドバイザーを配置し、家庭・学校を中心に相談、助言、指導を行い、児童生徒・若者の自立支援により、不登校児童生徒等の低減を図る。 | 不登校児童生徒数 小学校:15人(対前年度4%減) 中学校:38人(対前年度4.8%減) | 不登校児童生徒数 小学校:15人 中学校:35人 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 石垣市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|----------------------|---------|---|---|---|------|
| 7 | | | すこやか子育て支援事業 | H25～H33 | 子育て支援の振興に向けて、幼稚園の教育時間終了後、同園において希望する園児を対象に預かり保育を実施する。保護者が安心して預けられる環境整備のため、預かり担当者の配置及び施設整備を図る。 家庭的な雰囲気の中での教育的活動が主となるため、おやつ作り等に使用する備品を購入する。 | ・市内全園預かり保育の実施 ・幼稚園における預かり利用者の増加数：受入増数：130名見込み(24年実施4園も含めて) ・市内預かり保育4園実施に伴う4園備品購入 | ・市内全園預かり保育の実施 ・受入増数：113名 ・市内預かり保育4園実施に伴う4園備品購入 | |
| 7 | | | 「八重山の歴史と文化」編集・発刊事業 | H25～H28 | 「八重山の歴史と文化」の発刊に向け、編集委員長及び編集委員会を組織し調査研究を行う。 | ・平成25年度の指標(項目)に添い、調査研究と執筆を行う。 ・編集委員会の開催：2回 | ・調査研究 ・編集委員会の開催：3回 | |
| 7 | | | 地域交流子育て支援事業 | H25～H27 | 市内の幼稚園5園に相談員を配置し、多様なニーズに対応した育児相談などの地域子育て支援、保育サービスの充実、児童の幼児期の教育に関する相談を実施することにより、地域における幼児期の教育センター的役割等を実施する。 | ・地域子育て相談員を市内3園、農村地区2園の幼稚園に配置 ・25年度 相談件数 50件 | ・地域子育て相談員を市内3園、農村地区2園の幼稚園に配置 ・25年度 相談件数 24件 | |
| 7 | | | 平和推進事業 | H24～H33 | 次世代を担う児童生徒を対象に、平和について学ぶ機会をつくる。また「沖縄慰霊の日」に「全戦没者追悼式並びに平和祈念式」等を執り行い、石垣市民の平和への願いを市内外へ発信するとともに、後世へ繋ぐため諸事業への取り組みを強化する。 | ・平和を考える作文・絵画募集：30点 ・『八重山戦争マリア犠牲者追悼式』『石垣市全戦没者追悼式並びに平和祈念式』の挙行 ・広島・長崎平和大使の派遣：4人 ・「平和フォーラム」等の開催：3回 | ・平和を考える作文・絵画募集：27点 ・『八重山戦争マリア犠牲者追悼式』『石垣市全戦没者追悼式並びに平和祈念式』の挙行 ・広島・長崎平和大使の派遣：4人 ・「平和フォーラム」等の開催：3回 | |
| 7 | | | 尖閣諸島関係資料収集事業 | H25～H30 | 尖閣諸島に関するこれまでの動きを概観できるように、戦前・戦後の新聞等から関連する記事の収集を行い、「尖閣諸島関係資料集成(仮称)」として取りまとめる。 | 戦前の新聞等から資料収集を行なう。 | 戦前の新聞等から資料収集 『琉球新報』97件、『官報』18件 | |
| 7 | | | ICT教育充実事業(情報端末器配備事業) | H25～H26 | 情報端末器(タブレット型PC)を活用することにより、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応えた特別支援教育の充実とICT教育の推進による学力の向上、さらに主体的な活動及び遠隔協働学習を取り入れた「21世紀型スキル」を身に付けた人材の育成。 | 特別支援学級及び全小学校に1学級分のタブレット型PCを整備する。 | 特別支援学級及び全小学校に1学級分のタブレット型PCを整備する。 | |
| 7 | | | オオゴマダラ地域交流事業 | H25～H29 | 奈良県橿原市の昆虫館と連携して、小学校3年生の教材である「チョウを調べる」単元でオオゴマダラに特化した教材と評価の問題を作成する。また、本市の蝶に指定されているオオゴマダラを温室を利用して育成している奈良県橿原市の昆虫館へ児童を派遣し、取材と学びの体験交流を行うことによって、日本の最南西に位置する石垣島の地理と気候の特異性を教材化する。 | オオゴマダラの生態と飼育に関する教材作成。 児童が橿原市昆虫館で取材活動を行うための派遣実施。 昆虫館取材後の学習報告会の開催 | オオゴマダラの生態と飼育に関する教材作成。 児童が橿原市昆虫館で取材活動を行うための派遣実施。 昆虫館取材後の学習報告会の開催 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 石垣市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|---------------------|---------|---|--|--|------|
| 7 | | | 学力底上げ推進支援に係る支援員派遣事業 | H25～H33 | 各小中学校における授業等をサポートし、学校の状況に応じた適切な学習や体験活動の支援を行うことにより児童生徒の学力の向上を図り、地域との連携及び家庭への支援活動を行うことにより、学校と地域の信頼関係を深めるとともに、家庭教育の向上と児童生徒の健全育成を図るために学校教育支援員を配置する。 | 小中学校に学校教育支援員を18人配置 目標:支援員導入率72% | 支援員導入率 58.3% | |
| 7 | | | 高等教育機関等誘致可能性調査事業 | H25 | 本市における高等教育機関等の誘致の可能性を探るべく調査をコンサルに委託する。教育機関等の規模や学部の種類、立地場所の有無、用地や施設に対する支援策、受け入れに伴う諸問題に対する対策等を含めて検討し、受け入れの可能性を探る。 | 石垣市の特性と市民ニーズの把握、立地の制度上の条件と計画課題の整理、本市での立地可能性の検討・評価、実現に向けての課題の整理 | 石垣市の特性と市民ニーズの把握、立地の制度上の条件と計画課題の整理、本市での立地可能性の検討・評価、実現に向けての課題の整理 | |
| 7 | | | 体験学習助成事業 | H25～H30 | 交通手段が空路のみである、本市の児童・生徒の体験学習が限定されているため、他の都道府県に比べて児童・生徒の体験学習の機会が格差が生じている。「多様な体験学習」を体験することにより、学習の向上とコミュニケーションスキルを学ぶ。 | 体験学習 児童:20人 体験学習 生徒:30人 事後学習後、市民向けの報告会及び報告書の作成 | 体験学習 児童:20人 体験学習 生徒:30人 事後学習後、市民向けの報告会及び報告書の作成 | |
| 7 | | | 文化資産収蔵庫整備事業 | H25～H26 | 戦災を逃れた貴重な地域の史料を収蔵保管する為、八重山圏域で唯一の図書館の4階に収蔵庫を増設する事により、適切な管理と津波被災から防除を行うことが可能となり、過去の貴重な資料、文化資産を次世代へつなぐことができる。 | 貴重資料の収蔵保管場所確保、移転準備 | 貴重資料の収蔵保管場所確保、移転準備 | |
| 8 | | | 国際定期便誘致事業 | H24～H27 | 行政、地元経済団体が一体となり、台湾、香港、上海、韓国等の東アジア圏の各航空会社及び航空局に路線開拓の要請を行う。 | ・定期便実現に向けた日本人需要を発掘するために、非石垣居住者の石垣経由出国需要のポテンシャルの把握 ・島内のインバウンド受入体制を整備していくために、島内事業者を対象としたセミナーの実施 | ・事例調査(ポテンシャル把握は未達成) ・島内のインバウンド受入体制を整備していくために、島内事業者を対象としたセミナーの実施 | |
| 8 | | | 石垣港国際交流拠点形成事業 | H24～H26 | 寄港回数が増加している大型クルーズ船を受け入れるため、レクリエーション施設や商業施設等を整備した国際交流拠点となる旅客ターミナルビルの基本設計を実施する | 旅客ターミナルビル基本設計の実施 | 基本計画策定実施 | 未 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 浦添市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|----------------------------|---------|---|---|--|------|
| 1 | | | 浦添市来り来り推進事業 | H24～H25 | H24年度調査にて抽出された課題をもとにまちづくりの検討。及び、新たな地区での観光資源を創出するための基礎調査を実施する。 | 抽出された課題をもとに基本構想の検討 ・新たな地区の観光資源、まちづくりの課題抽出 | 抽出された課題をもとに基本構想の作成 ・新たな地区の観光資源、まちづくりの課題抽出(基礎的調査) | |
| 1 | | | 浦添市歩いて楽しいまち探検推進事業 | H24～H28 | 観光地としての価値向上に資するため、植栽設置工事や草花配布等を行う。 | ・市民への草花配布件数 50件 ・植付面積: 1,600㎡ ・植付延長: 1,200m (参考: H24年度植付面積: 1,408㎡ 植付延長: 1,076m) | ・市民への草花配布件数 50件 ・植付面積: 3,001㎡ ・植付延長: 2,301m (参考: H24年度植付面積: 1,408㎡ 植付延長: 1,076m) | |
| 1 | | | てだこの都市・浦添「あまくま歩っちゅん浪漫ウォーク」 | H24～H33 | スポーツ・リズム推進を図り、「いきいき生涯健康づくり」を推進するとともに、本市の歴史・文化・地域特性を活かした交流の輪を広げるため、「てだこウォーク～あまくま歩っちゅん浪漫ウォーク」を開催する。 | てだこウォーク参加人数 7,600人 (平成23年 7,542人) | てだこウォーク参加人数 7,678人 (平成23年 7,542人) | |
| 1 | | | ありんくりんクリーン事業 | H24～H33 | 史跡浦添城跡などの古城跡や石畳道、石橋、歴史的人物の墓、地域の御嶽や湧水等の文化財を観光資源として活用するために美化や安全対策等の環境整備を図る。 | 文化財の美化活動・安全対策等環境整備の実施: 9箇所 | 文化財の美化活動・安全対策等環境整備の実施: 11箇所 | |
| 2 | | | てだこ市民によるウラオソイ風景づくり推進事業 | H24～H33 | 沖縄県らしい景観・風景を次世代に守り継ぎ、風土を育む礎とするため、世界遺産追加登録を目指す浦添城エリアを中心に、景観法に基づく景観地区指定を行うとともに、街なみ美装化事業等の基本構想を策定する。 | ・風景づくり推進調査業務による方針の検討 ・浦添市景観向上行動計画の策定 ・風景街なみ形成に資する建築技術の提案 ・古民家の実態調査と活用方法の検討 ・茶山中通り美装化の検討 | ・風景づくり推進調査業務 カーミーシ・港川城間地区の風景づくり ・整備方針等の検討 都市モノ沿線地区(グスク周辺地区)の風景づくり: 基本方針案の策定 ・浦添市景観向上行動計画の方向性を検討 ・風景街なみ形成に資する建築技術の標準案に基づく提案 ・古民家の実態調査と活用方法の調査、検討 ・茶山中通り美装化の調査・検討 | |
| 2 | | | 浦添グスク周辺緑化推進事業 | H24～H25 | 沖縄らしい景観を形成するため、市民と協同で茶山地区の緑地保全や浦添グスク周辺の風景づくりを行う。 | 茶山緑地整備整備面積 403㎡ | 茶山緑地整備整備面積 494㎡ | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 浦添市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|------------------------|---------|---|---|--|------|
| 2 | | | 地域資源復元推進事業 | H25～H28 | 歴史的景観の再生を図るため、中頭方西海道石畳舗装整備工事の実施、及び「安波茶樋川」を復元整備するための実施設計を行う。また、沖縄らしい風景づくりの効果的な推進を図るためクバサーヌ御嶽の発掘調査及び復元整備の実施設計業務委託を実施する。 | ・安波茶樋川の実実施設計業務 ・クバサーヌ御嶽の発掘調査および実施設計業務委託 ・中頭方西海道ルート上への石畳舗装（舗装長400m）。 | ・安波茶樋川の実実施設計 ・クバサーヌ御嶽の発掘調査および実施設計 ・中頭方西海道ルート上への石畳舗装（舗装長400m）。 | |
| 2 | | | 前田トンネル周辺修景事業 | H24～H25 | 沖縄らしい風景や景観を守るため、前田トンネル両側のコンクリート壁のレリーフや壁面緑化等、一体的な集計保存を行う。 | 緑化面積：650㎡ | 緑化面積：540㎡ | |
| 2 | | | 浦添グスクの城下まちにふさわしい道路美化事業 | H24～H25 | 浦添グスクの城下まちにふさわしい道路景観を創出するため、浦添グスクの麓に位置し、歴史、文化の拠点である仲間地区の主要な市道について、コーラル舗装をイメージしたカラーアスファルト舗装を施す。 | 仲間地区主要道路のカラーアスファルト舗装：2,475㎡ | 仲間地区主要道路のカラーアスファルト舗装：2,028㎡ | |
| 3 | | | 悠々ロマン漆に出会うまち浦添推進事業 | H24～H28 | 全国でも2館しかない漆芸の美術館としての特徴を活かし、浦添の観光コースの一つとして観光客を誘致、来館者増を図る。漆に関する企画展・常設展を充実させ、国内外への情報発信を強める。また、漆芸体験などの事業を行い、体験型観光や産業振興にも結びつける。 | 美術館来館者数：100,000人 常設展観覧者数：2,200人 (平成24年 美術館来館者数58,668人 常設展観覧者数2,139人) | 美術館来館者数：72,192人 常設展観覧者数：3,335人 (平成24年 美術館来館者数58,668人 常設展観覧者数2,139人) | |
| 3 | | | 9月3日踊り観光・文化振興事業 | H24～H28 | 沖縄に古くから伝わる「組踊」は、世界文化遺産として認定されており、その組踊を絡めたイベント及び鑑賞機会を設け、国立劇場おきなを拠点に戦略的観光振興を展開するとともに文化振興を行う。 | イベント参加人数 1,500人 | イベント参加人数 2,272人 | |
| 4 | | | 浦添「よしみち」観光振興事業 | H24～H28 | 琉球王統発祥の地であり、文化的施設、県内有数の製造業、西海岸に広がる自然の海岸線、市特産品など様々な「魅力」を活用しつつ、体験型観光に見られるような「観光客ニーズ」に沿って観光商品を開発、併せてヤクルトキャンプ地を生かした観光客誘客事業、市産品展示販売と観光展等のイベントを実施し、「うらそえ」の認知度向上を図る。 | ・既存観光資源発掘と磨き上げ及び紹介 1件 ・新たな観光商品の開発を委託 1件 ・観光商品の事業所向け提案 1件 | ・既存観光資源発掘と磨き上げ及び紹介 1件 ・新たな観光商品の開発を委託 1件 ・観光商品の事業所向け提案 0件 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 浦添市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|------------------------------|---------|--|--|--|------|
| 4 | | | 来て・見て・楽しい"まるごと浦添"観光情報発信事業 | H24～H28 | グルメ、アート、スポーツなど観光情報を一元的に発信するため、ポータルサイトを構築する。また、観光客の利便性を高めるため、モバイルソフトの開発等を行う。 | 観光ポータルサイト開発 1件 観光用モバイルアプリ開発 1件 観光情報の編纂・発信 1件 | 観光ポータルサイト開発 1件 観光用モバイルアプリ開発 1件 観光情報の編纂・発信 1件 | |
| 4 | | | ここにおいて浦添タウン事業 | H24～H28 | 市内への観光誘客を図るため、各商店街や通り会でのイベント開催、観光ルートの美化・緑化等に取り組む。 | 市域誘客イベント参加人数 1,200人 | 市域誘客イベント参加人数 222人 | 未 |
| 4 | | | 浦添うまれの絹が彩る観光特産品ブランド強化事業 | H24～H28 | 「うらそえ織」の観光特産品としてのブランド力を強化するため、広報活動、販売促進活動等を実施する。 | うらそえ織売上額 23,690千円 (平成23年:9,911千円) | うらそえ織売上額 12,928千円 (平成23年:9,911千円) | 未 |
| 4 | | | 浦添特産品の県外・国外への販路拡大事業 | H24～H28 | 生産地「うらそえ」をアピールし、特産品の知名度向上及び販路拡大を図るため、県外や国外で開催される見本市や物産展等へ市の特産品等を出展する。 | 県外物産展等のイベント参加企業 40社 | 県外物産展等のイベント参加企業 13社 | 未 |
| 4 | | | 島桑オージー&オーバーで観光・産業・街おこしプロジェクト | H24～H28 | 特産品開発のため、沖縄特有の桑品種である「シマグワ」を活用し、養蚕業(繭の生産)のほか、お茶や桑の実、繭の化粧品、絹糸等の商品化に取り組む。高齢者を活用することで、コスト圧縮と事業者への安定的供給を図る。 | 事業に要する桑木の作付け面積:4,800坪 | 事業に要する桑木の作付け面積:4722.47坪 | |
| 4 | | | 浦添市農業フェスタ支援事業 | H24～H28 | 「農協まつり」における黒糖作り体験、集客イベント開催、会場整備等を支援することで、まつりの充実を通じ、県内だけでなく県外観光客誘致に取り組み観光振興・産業振興を図る。 | 農協まつり来場者数:2,700人 (平成23年 1,800人) | 農協まつり来場者数:2,609人 (平成23年 1,800人) | |
| 5 | | | 創業者等相談事業 | H24～H28 | 新規に事業を起こしたい方及び事業を起こして3年未満の方の経営相談、事業計画相談等に対応するため、インキュベーション・マネージメントを民間事業者等に委託し、創業、経営革新、販路開拓などの相談業務等を行い、企業の拡大・雇用者の増を図る。 | 創業・経営革新・販路開拓などの相談件数 260件 | 創業・経営革新・販路開拓などの相談件数 363件 | |
| 5 | | | 経済人材育成事業 | H24～H28 | 企業人を育て業績に直結する最新のマネージメントセミナー、経営講習など、沖縄経済の人材を育成する講習会、研修会、セミナーを開催する。 | 人材育成研修受講者数 100人 | 人材育成研修受講者数 102人 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 浦添市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|---------------------------|---------|--|---|---------------------|------|
| 5 | | | IT人材研修事業 | H24～H28 | 厳しい雇用情勢の中で、沖縄県内の産業振興に資する人材を育成するべく、企業実務に即したソフトウェア関連の研修、県内企業でのニーズが高い専門研修等を開催し、実社会でのニーズに対応できる人材育成に取り組む。 | エクセル・ワードなどの資格取得 20人 | エクセル・ワードなどの資格取得 22人 | |
| 5 | | | スーパー・コミュニケーション・スクール事業 | H24～H28 | 国際社会に対応できる人材を育成するため、英語と中国語を集中的にマスターするための教育機関としてスーパー・コミュニケーション・スクールを設置し、人材育成を目指す。 | 生徒受入:20人 | 生徒受入:20人 | |
| 6 | | | ガントリークレーン整備事業 | H24～H26 | 輸出貨物の積み残しが生じていることから、港湾機能強化を図るため、現在2基のガントリークレーンを、2基増設する。 | コンテナ取扱能力増大等に向けた港湾機能強化 ガントリークレーン ・3号機製作完了 ・4号機製作工着手 | - | 繰 |
| 6 | | | 観光客利便性向上施設整備事業 | H24～H25 | 観光旅客が安全で快適に移動できるなどの利便性向上を実現するため、ボーディングブリッジを整備するための費用を補助する。 | ・那覇港のボーディングブリッジ設置 1基 | - | 繰 |
| 6 | | | 那覇港総合物流センター整備事業 | H25～H29 | 本県の生活・産業物資の輸送の大部分を担う港湾物流機能を改善し、県全体の物流の効率化を図り、さらに付加価値型ものづくり産業の集積などの国際・国内物流拠点の形成を図るため那覇港総合物流センターを整備する。 | 総合物流センターの基本設計の完了 | - | 繰 |
| 7 | | | 未来へ翔たく太陽っ子育成事業 | H24～H33 | スポーツ・文化活動の全国で活躍できる体制を強化するため、九州大会や全国大会など県外派遣に要する費用の一部を補助する。 | 大会等派遣生徒数:480人 | 大会等派遣生徒数:473人 | |
| 8 | | | エコアイランドに向けた人材育成及びキャリア教育事業 | H24～H33 | 社会性・協調性を養い、エコアイランド沖縄に向けた人材育成を図るため、小学生を対象とした自然・農業・漁業等の体験学習を行なう。 | 体験学習に参加した児童数:1,404人 | 体験学習に参加した児童数:1,397人 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「 - 」

| 浦添市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|----------------|---------|---|---|---|------|
| 8 | | | 学力等底上げ推進支援事業 | H24～H33 | 児童生徒の学力の底上げを図り、沖縄振興を支える人材を育成するため、学校教育支援員、日本語教育支援員、教育相談員を各学校へ配置する。担当課に青少年相談員、臨床心理相談員、教育相談員を配置し、青少年の環境浄化・教育相談を行う。 | (学校配置)学校教育支援員33名、日本語教育支援員2名、教育相談員16名 (担当課配置)臨床心理相談員2名、教育相談員6名、青少年相談員10名 | (学校配置)学校教育支援員33名、日本語教育支援員2名、教育相談員16名 (担当課配置)臨床心理相談員2名、教育相談員6名、青少年相談員10名 | |
| 9 | | | 浦添の歴史文化整備保存事業 | H24～H30 | 浦添市の収集・保有している資料の写真、証言記録をもとに『浦添市移民資料・証言編』を刊行し、浦添の歴史を語る知的財産として浦添出身者の移民・出稼ぎ・移住の実態をまとめる。移民・出稼ぎ・移住に関する講演会・展示会を開催する。 | ・移民史編集委員会の開催:3回 ・市内聴き取り調査 ・『浦添市移民資料・証言編(仮題)』の編集・刊行:750部 ・講演会・展示会の開催:各1回 | ・移民史編集委員会の開催:3回 ・市内聴き取り調査:5回 ・『浦添市移民資料・証言編(仮題)』の編集・刊行:600部 ・講演会・展示会の開催:各1回 | |
| 9 | | | 歴史にふれる館整備事業 | H24～H26 | 市内の遺跡出土の土器や石器等の遺物、市民寄贈の民具、近世浦添が窺える厨子甕や銘書などの展示活用及び保管収蔵の為、市立港川共同調理場移転後の施設を展示収蔵施設に改修する工事を実施する。 | 「歴史にふれる館」の改修工事を実施 | 「歴史にふれる館」の改修工事を実施 | |
| 9 | | | 琉球空手のルーツを探る事業 | H24～H26 | 文化と観光の振興に資するため、琉球固有の武術「手(ティー)」と中国武術の関連性について調査するとともに、相互の武術交流を実施する。 | ・琉球空手と中国武術の関連性の調査 ・琉球空手と中国武術の交流の実施 | ・琉球空手と中国武術の関連性の調査 ・琉球空手と中国武術の交流の実施 | |
| 9 | | | 琉球オペラ創出事業 | H25 | 沖縄振興に資するため、琉球史を題材にした琉球オペラを創出公演し、観光客誘致や文化財の周知等まちづくりに寄与する。 | 琉球オペラ公演の開催:2回 | 琉球オペラ公演の開催:2回 | |
| 9 | | | てだこホール引割幕設置事業 | H25 | 沖縄振興に資するため、てだこホールの機能拡大となる舞台引割幕を設置し、観光客向けのMICE誘致や顧客満足度の向上を図る。 | 引割幕の設置 | 引割幕の設置 | |
| 9 | | | 歴史・文化ガイダンス強化事業 | H25～H32 | 国指定史跡「浦添城跡」や「中頭方西海道及び普天満参詣道」をはじめとする市内の文化財を浦添市の観光資源としての活用推進につなげるため、歴史・文化ガイダンスの充実を図る。 H25年度は、展示物の作成や文化財案内マップ等の作成、ガイド体制の充実と情報発信強化を行う。 | ・展示物の作成 4件 (展示パネル、浦添グスク模型、高麗系瓦再現模型、市域全体航空写真) ・文化財案内マップ等の作成 1件 ・ガイド体制の充実および情報発信強化 1件 (歴史ガイドによるガイダンス施設の案内、浦添市の歴史・文化、市内文化財等に関する情報発信や情報提供等の実施、浦添グスクおよび浦添ようどれを巡回し見学者へのガイダンス施設案内) | ・展示物の作成 4件 (展示パネル、浦添グスク模型、高麗系瓦再現模型、市域全体航空写真) ・文化財案内マップ等の作成 1件 ・ガイド体制の充実および情報発信強化 1件 (歴史ガイドによるガイダンス施設の案内、浦添市の歴史・文化、市内文化財等に関する情報発信や情報提供等の実施、浦添グスクおよび浦添ようどれを巡回し見学者へのガイダンス施設案内) | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 浦添市 | | | | | | |
|------|-------------------|---------|---|--|--|------|
| 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
| 10 | 浦添市南米移住者子弟研修生受入事業 | H25～H33 | 戦前戦後を通して南米へ移住した浦添出身者やその子弟とのネットワークを強化するため、浦添出身の子弟を招聘し日本語研修、文化研修等を通して、本市及び本県と移住先国との友好親善、沖縄文化の振興・発展に貢献しうる人材を育成する。 | 南米移住者子弟研修生受入:2人 帰国後に、現地市人会及び県人会の行事等の場において、三線や琉舞など沖縄で学んだ成果を報告する。 | 南米移住者子弟研修生受入:2人 帰国後に、現地市人会及び県人会の行事等の場において、三線や琉舞など沖縄で学んだ成果を報告する。 | |
| 11 | 浦添市学童っ子応援プロジェクト | H24～H33 | 保護者の負担軽減を図り子育て環境を整備するため、公的施設に居していない放課後児童クラブに対し、公的施設移行までの間、家賃補助を行なう。 | 学童クラブへの家賃補助 : 9箇所実施 | 学童クラブへの家賃補助 : 9箇所実施 | |
| 12 | 災害時備蓄食糧購入強化促進事業 | H24～H28 | 災害に備え、防災計画に基づき、市の人口の1/20の住民の食料3日分を備蓄する。 | 非常用食糧の目標値率:(市の人口の5%の3食3日分の食糧の20%) | 非常用食糧確保率:17.2% | |
| 12 | 災害時備蓄食糧保管倉庫等整備事業 | H24～H28 | 備蓄食糧等を保管するため、備蓄食糧保管倉庫等の整備や発電機等電源の確保、また簡易トイレ等の設置等を行う。 | 備蓄倉庫:4棟 発電機:4機 造水機:4機 簡易トイレ:4箇所 | 備蓄倉庫:4棟 発電機:4機 造水機:4機 簡易トイレ:4箇所 | |
| 13 | 航空機騒音基礎調査事業 | H24～H33 | 普天間飛行場に隣接する本市において、日常的に航空機騒音が発生し、市民生活に大きな影響を与えていることから、市内3箇所に騒音測定器を設置し、騒音被害の具体的なデータを収集分析する。 | ・発生する航空機騒音のうち、昼間(7:00～19:00)、夕方(19:00～22:00)、夜間(0:00～7:00、22:00～24:00)の各時間帯における騒音レベルを測定。 | ・発生する航空機騒音のうち、昼間(7:00～19:00)、夕方(19:00～22:00)、夜間(0:00～7:00、22:00～24:00)の各時間帯における騒音レベルを測定。 | |
| 13 | 浦添市中学生平和交流事業 | H25～H33 | 平和への願いを風化させることなく次代に引き継ぐため、中学生を対象に平和学習を実施する。県内では浦添市での戦争や平和記念資料館等を活用した沖縄戦に関する研修を行い、長崎市では原子爆弾の実相を学ぶとともに、平和を希求する心を培う。 | 市立中学校5校より中学生平和交流団として長崎市へ派遣:10人 ・長崎市への派遣後は、研修報告を提出させ、報告書としてまとめる。 ・報告書と研修中に作成した平和に関する壁新聞を市役所内及び市立中学校に展示し、市民や各中学校の生徒に平和について考える機会としてもらう。 | 市立中学校5校より中学生平和交流団として長崎市へ派遣:11人 ・長崎市への派遣後は、研修報告を提出させ、報告書としてまとめる。 ・報告書と研修中に作成した平和に関する壁新聞を市役所内及び市立中学校に展示し、市民や各中学校の生徒に平和について考える機会としてもらう。 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 浦添市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|-----------------------|---------|--|--|--|------|
| 13 | | | 里道及び水路の境界確定復元事業 | H25 | 戦後、地籍が確定されないままに家屋等が建築された箇所等について、境界問題を解決し、公共用地を適正に管理するため、里道及び水路の用地測量を実施し、境界の復元・確定を行う。 | ・約125kmの里道及び水路表示登記延長率:10% | ・約125kmの里道及び水路表示登記延長率:4% | 未 |
| 13 | | | 牧港補給地区跡地利用まちづくり活動支援事業 | H24～H33 | 牧港補給地区の跡地利用を円滑に進めるためには、計画段階から地権者との協働を図る必要がある。そのため、地主会と連携を図り、地主会の若手が組織を自立化できるよう支援する目的で、跡地利用に関する勉強会等を実施する。 | ・牧港補給地区の地主による跡地まちづくり活動の支援(3回) | ・牧港補給地区の地主による跡地まちづくり活動の支援(3回) | |
| 13 | | | 牧港補給地区情報システム事業 | H24～H33 | 平成24年度に構築した牧港補給地区情報システムを活用し、土地所有者等の最新情報を把握することで、跡地利用に関する業務に役立てる。 | ・牧港補給地区の所有権の変化に対応した情報の把握・管理 | ・牧港補給地区の所有権の変化に対応した情報の把握・管理 | |
| 13 | | | 浦添市「未買収道路用地取得」基金造成事業 | H24～H33 | 戦後及び本土復帰の動乱期において、権利の補償をせずに整備した市道の用地補償措置を計画的及び柔軟に対応するため、基金を造成し、補償を行う。 | 用地測量委託業務:1,200筆 不動産鑑定委託:33路線 用地取得:1,530㎡ | 用地測量委託業務:21筆 不動産鑑定委託:0路線 用地取得:0㎡ | 未 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 名護市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|----------------------------|---------|---|--|--|------|
| 1 | | | 学習指導支援者配置事業 | H24～H33 | 児童生徒の学力向上のために、学習指導支援者を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら児童生徒の支援を行うことで教育環境の充実を図る。 | 支援児童数(小学校4校の3・4年生):580人 | 支援児童数(小学校4校の3・4年生):580人 | |
| 1 | | | 生徒指導支援者配置事業 | H24～H33 | 個別の指導や相談を必要とする不登校児童生徒に対応するため、教職員を補佐し、継続的な支援活動や様々な体験活動を通じた個別指導を行う生徒指導支援者を小・中学校へ配置し、児童生徒の自己存在感を育み、自立するための支援体制を構築することで教育環境を充実させ、基礎学力等の向上を図る。 | 当該事業でサポートした児童生徒のうち、学校復帰など改善がみられた人数:5人 | 当該事業でサポートした児童生徒のうち、学校復帰など改善がみられた人数:11人 | |
| 1 | | | 小中学校英語支援員配置事業 | H24～H33 | 小・中学校の英語を中心とした外国語活動の授業における指導補助、教材作成や英語スピーチコンテスト等の指導補助として、各小・中学校に小中学校英語支援員を配置することで教育環境の充実を図り、児童生徒の国際理解やコミュニケーション能力、基礎学力等の向上に繋げる。 | 支援児童数(小学校):1,439人 支援生徒数(中学校):2,202人 計:3,641人 | 支援児童数(小学校):1,441人 支援生徒数(中学校):2,211人 計:3,652人 | |
| 1 | | | 中学生海外短期留学派遣事業 | H24～H33 | 小さな世界都市をめざす本市の中学生を英語圏に短期間派遣し、英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際感覚豊かな人材育成を目指す。 | 海外短期留学派遣生徒数:12人 | 海外短期留学派遣生徒数:12人 | |
| 1 | | | 適応指導教室支援員配置事業 | H24～H33 | 適応指導教室に支援員を配置し、不登校児童生徒の個々の状況に応じた体験活動や学習指導、教育相談等の支援活動を行うとともに、人間関係の改善と児童生徒の自立心を高め、社会性を身につけさせることで、学校生活への適応を図り、学校復帰を支援する。 | 当該事業でサポートした児童生徒のうち、学校生活への適応や学校復帰等の面で改善がみられた人数:6人 | 当該事業でサポートした児童生徒のうち、学校生活への適応や学校復帰等の面で改善がみられた人数:12人 | |
| 1 | | | 名護市児童生徒等の県外派遣等に関する補助金交付事業 | H24～H33 | 小・中学校の児童生徒等や県立高等学校及び高等専門学校等の生徒が、県外で開催される運動競技会又は文化関係大会に参加する際の派遣費用を補助する。 | 大会等派遣生徒数 H25年度:80人 | 大会等派遣生徒数 H25年度:74人 | |
| 2 | | | 農産物6次産業化支援拠点施設整備事業(アグリパーク) | H24～H26 | 名護市の農家所得の減少、就農者数の減少、農産物全体の粗生産額の著しい低下等の課題解決を目的に、6次産業化と観光とを融合したアグリパークを整備する。 | 観光農園施設の敷地造成設計、土質調査、建築設計等及び土木工事並びに建築工事の実施 | - | 繰 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 名護市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|-------------------------------|---------|--|---|---|------|
| 2 | | | 羽地地域直売加工施設整備事業 | H24～H25 | 羽地地域に農産物、畜産物、水産物等の直売加工施設を整備し、生産者の所得向上及び生産意欲向上による担い手の確保や新規雇用効果により、同地域の経済・産業の活性化を促進する。 | 敷地造成の実施及び直売加工施設建築の実施 | - | 繰 |
| 2 | | | 名護市堆肥センター機能高度化施設整備事業 | H25～H26 | 堆肥の活用による田畑の土づくりや、家畜の糞尿処理などの環境保全により、畜産業等と地域との調和を保ち農産物の生産向上に寄与する名護市堆肥センターを整備する。 | 基本設計及び実施設計の実施 | - | 繰 |
| 3 | | | ファイターズ・キャンプ支援事業 | H24～H33 | 北海道日本ハムファイターズのキャンプ期間中における、駐車場の確保、球場までのシャトルバスの運行、球場周辺等に警備員・誘導員を配置し、見学者並びに車両を安全スムーズに誘導する。また、札幌ドームにて「名護デー」イベントを開催し、キャンプ見学者の誘致を図る。 | プロ野球キャンプ見学者数 H24年度:17,799人 H25年度:20,000人 | プロ野球キャンプ見学者数 H24年度:17,799人 H25年度:17,125人 | |
| 3 | | | 轟の滝周辺整備事業 | H24～H27 | 貴重な文化財である轟の滝の豊かな自然環境を保全・活用し、やすらぎと潤いある自然空間の実現に向けた整備を行い、魅力ある観光スポットとして、まちの活性化、観光振興に繋げる。 | ・用地測量 1件 ・用地買収 10筆 ・補償設計 1件 ・物件補償 1件 | - | 繰 |
| 3 | | | 名護さくらのまち推進事業 | H24～H25 | 名護さくら祭り会場となる名護城(ナングスク)及びその近隣の緑道並びに観光資源となっている勝山(安和岳、嘉津宇岳、八重岳)へのアクセス道路に桜を植樹し、桜であふれる景観づくりを行い観光資源として活用する。 | 名護城跡地周辺の桜400本の開花促進のため、桜の健康度調査に基づく土壌改良の実施 | 名護城跡地周辺の桜400本の開花促進のため、桜の健康度調査に基づく土壌改良を実施した | |
| 3 | | | (仮称)やんばる広域物産交流センター等整備基本計画策定事業 | H25 | 平成21年度に整備された「名護漁港水産物直販所」と連携し、名護漁港を利活用した北部の農産物や特産品の販売による観光振興を目的とした「やんばる広域物産交流センター」整備を検討するための基本計画を策定する。 | (仮称)やんばる広域物産交流センター等整備基本計画策定(物産センター必要機能の設定) | (仮称)やんばる広域物産交流センター等整備基本計画策定(物産センター必要機能の設定) | |
| 3 | | | 市内安全対策防犯カメラ設置事業 | H25 | 本市及びやんばる地域への観光客等の安全安心確保のため、市内の観光地に防犯カメラを設置する。 | 観光地(飲食街)への防犯カメラ補助件数:1件 | - | - |
| 3 | | | 名護市特産品販路拡大支援事業 | H25～H27 | 特産品の販路拡大のため、商品改良(品質表示、加工技術等)、商談会、展示会、販路開拓を実施し、地場産業の育成と観光産業の活性化を図っていく。 | 物産展の来場者数:2,550人 物産展の売上高:2,550千円 | 物産展の来場者数:1,400人 物産展の売上高:1,152千円 | 未 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 名護市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|-------------------------|---------|---|---|---|------|
| 3 | | | 観光情報発信事業 | H25～H27 | 観光地としてのコンセプトを明確に打ち出した観光宣伝ツールの作成、広告宣伝(マスメディア、イベント等)、セールス誘致活動を行い観光情報発信力を強化し観光客の誘致拡大を目指す。 | 観光宣伝物の作成(秋、冬版) ポスター 500部 パンフレット 6,000部 映像(DVD) 100枚 | 観光宣伝物の作成(秋、冬版) ポスター 2,000部 パンフレット 24,000部 映像(DVD) 400枚 | |
| 3 | | | 嵐山地域周辺整備に係る調査事業 | H25 | 羽地内海が見渡せる絶景スポットである嵐山地域を新たに観光エリアとして整備するにあたり、完成後の運営ランニングコスト、集客のシミュレーション等を調査し実効性の高い整備計画を作成する。 | 嵐山地域周辺整備に係る調査及び基本設計の実施(嵐山地域基礎調査、事業効果の検討(集客可能性調査)、整備コスト、ランニングコストの検討、関連動向を踏まえた基礎設計) | 嵐山地域周辺整備に係る調査及び基本設計の実施(嵐山地域基礎調査、事業効果の検討(集客可能性調査)、整備コスト、ランニングコストの検討、関連動向を踏まえた基礎設計) | |
| 3 | | | 真喜屋運動広場整備事業 | H24～H27 | 真喜屋運動広場において様々なスポーツが快適かつ安全に行えるよう拡張整備を実施し、スポーツコンベンションの開催や、合宿利用等にも対応できるような多目的広場としての利用環境を改善する。 | 県資材ヤード代替地の測量及び造成工事 | - | 繰 |
| 3 | | | 名護市営市場機能強化整備事業 | H25～H26 | 観光施設としての機能を強化することにより、名護中心市街地の「にぎわい」回復に資するため、イベント対応天幕、周辺商店街への連絡通路、大型モニター等の整備を実施し、市営市場及び観光施策が抱える課題の解決を図る。 | 整備工事に係る実施設計完了:1件 | 整備工事に係る実施設計完了:1件 | |
| 3 | | | 名護市ICT利活用モデル事業「WiFi化計画」 | H25～H28 | 名護市役所周辺に無料公衆無線LAN環境を構築し、名護市の情報発信など、ICTを利活用し、外国人を含む観光客等の来訪者への対応、まちあるき観光等の情報発信を促進するモデル事業を実施する。 | WiFi化に係る調査及び計画策定(ネットワーク調査、構築手法等の基本計画の策定)完了 | WiFi化に係る調査及び計画策定(ネットワーク調査、構築手法等の基本計画の策定)完了 | |
| 4 | | | 行政区単位版ハザードマップ作成事業 | H24～H26 | 暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、津波、地すべり等の各種災害から市民等の被害を軽減するため行政区単位版ハザードマップを作成する。 (H24年度:5地区(9行政区)、H25年度:23行政区、H26年度:23行政区、名護市全体で55行政区) | ハザードマップ作成数:23行政区分 | - | 繰 |
| 4 | | | テレビ共同受信施設ケーブル張替え事業 | H25 | 災害時に必要な情報が取得できるよう難視聴解消施設の耐用年数を過ぎたテレビケーブルを更新し、共同受信施設の受信障害を未然に防ぐ。 | 経年劣化によるケーブル断線の発生件数:0件 | 経年劣化によるケーブル断線の発生件数:0件 | |
| 5 | | | 名護市自転車まちづくり推進事業 | H24～H27 | 温室効果ガスの排出削減による低炭素社会の構築を目指し、良好な「環境」の創出に寄与する「自転車まちづくり」を推進するため、自転車のモデルレーン(自転車指導レーン)整備を実施する。 | 自転車レーンの整備:720m | - | 繰 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 名護市 | | | | | | |
|------|--------------------------|---------|--|--|--|------|
| 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
| 6 | 金融・情報特区企業招聘セミナー等広報イベント事業 | H24～H25 | 金融・情報通信関連企業の立地による雇用創出や定住人口増加の基盤となるまちづくりや人材育成・就労支援等を効果的に推進するため、企業招聘セミナーなどの広報イベント・誘致活動を実施し、金融・情報関連企業の誘致を促進する。 | 金融・情報通信関連企業の経営者等の招致:15人 | 金融・情報通信関連企業の経営者等の招致:18人 | |
| 6 | 企業立地戦略策定事業 | H25 | 就業率向上に向けた企業誘致を促進するため、屋部地区工場適地の条件分析及び市内・県内等の企業立地条件整理を行い、企業誘致活動プログラムを策定する。 | 企業立地戦略の策定 (整備手法・助成制度・誘致活動手法等の基本方針の策定) | 企業立地戦略の策定 (整備手法・助成制度・誘致活動手法等の基本方針の策定) | |
| 6 | 豊原地区光ケーブル地中化事業 | H25 | 台風等の自然災害時においても安定した通信環境を維持するため、国道329号線の情報ボックスから名護市マルチメディア館、みらい1号館、みらい2号館、みらい3号館までの光ファイバの地中管路による接続を実施し(通信網(光ファイバ、電話線)の地中化)、企業の事業継続に寄与する。 | 名護市マルチメディア館 みらい1号館 みらい2号館 みらい3号館 の計4施設について、通信回線の地中化を実施。 | 名護市マルチメディア館 みらい1号館 みらい2号館 みらい3号館 の計4施設について、通信回線の地中化を実施。 | |
| 6 | 金融・IT産業等基盤施設等機能強化事業 | H25 | 雇用拡大による産業振興及び地域活性化を図るため、既存の基盤施設の機能強化(無停電装置設置、入退室システム設置、トイレ・シャワー室の改修工事、倉庫設置、駐車場増設、PC購入、ブース分割)を実施するとともに、キャリア教育向けパンフレット及び広報DVDを作成する。 | ・名護市マルチメディア館改修 ・名護市マルチメディア館駐車場増設 ・みらい1号館改修 ・マルチメディア館、みらい1号館、みらい3号館のUPS設備設置実施設計 ・キャリア教育用パンフ・DVD作成 | ・名護市マルチメディア館改修 ・名護市マルチメディア館駐車場増設 ・みらい1号館改修 ・マルチメディア館、みらい1号館、みらい3号館のUPS設備設置実施設計 ・キャリア教育用パンフ・DVD作成 | |
| 6 | 豊原地区養鶏場跡地利用整備計画策定事業 | H25 | 更なる企業誘致、安定した就業の場の確保のため、金融・情報特区に相応しい就業施設の更なる充実を図る必要がある。そのため、移転の計画がある養鶏場跡地について地域の活性化を実現するための計画づくりを実施する | ・養鶏場跡地利用計画策定 ・館内道路概略設計 ・みらい15号館概略設計 ・みらい15号館造成基本設計 | ・養鶏場跡地利用計画策定 ・館内道路概略設計 ・みらい15号館概略設計 ・みらい15号館造成基本設計 | |
| 7 | 名護市地域力発信交流拠点施設整備事業(運天原) | H25～H26 | 近年盛んな沖縄観光の目玉である「芸能」や「食」の発信・交流の拠点になるとともに、エイサー等の練習や特産品開発など、地域の産業・文化・生活を活性化・再生する拠点となる施設を整備する。 | 建築設計及び土質調査の実施 | 建築設計及び土質調査の実施 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 糸満市 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--------------------|---------|---|--|--|------|
| 1 | 沖縄らしい風景づくり事業 | H24～H25 | 本市は、農村と漁村の風景が残る他に類を見ない地域である。この魅力的な地域の風景を活かした観光地づくり等を進めるため、風景づくり計画の策定を実施する。 | 糸満市風景づくり計画策定 糸満地区風景づくり行動計画策定 | 糸満市風景づくり計画策定 糸満地区風景づくり行動計画策定 | |
| 1 | 昔ながらの原風景写真デジタル保存事業 | H24～H25 | 市史編集事業の一環で収集したフィルム等の写真資料は、地域の歴史を記録する貴重な文化資源であり、今後「市史」等刊行物での活用だけでなく、教現場や観光関連産業等、本市についての情報発信するあらゆる機会を活用できることから、資料のデジタル形式による保存を図る。 | 所蔵写真資料等のデジタル化及びデータベース化率100% | 所蔵写真資料等のデジタル化及びデータベース化率100% | |
| 1 | 新しい公共交通検討事業 | H24～H26 | 市への観光客の誘客を図るため、平成24年度に実施した本事業で示された那覇空港直行バスルートについて、実証実験の詳細計画を作成する。 | 報告書の作成 (実証実験詳細計画書) | 報告書の作成 (実証実験詳細計画書) | |
| 1 | 生活感幸(観光)環境づくり事業 | H24～H33 | 観光地としての魅力の向上を図るため各地域の民俗地図等を作成する。本年度は、糸満町時代の民俗調査について記録された資料(伝語)の翻訳及び民俗地図を作成。また、市民等を対象に地域の風土、文化、歴史などについて学ぶ市史講座を開催する。 | ・旧糸満町民俗地図の作成 ・伝語調査ノートの日本語翻訳資料作成 ・市史講座の参加者数 50人 | ・旧糸満町民俗地図の作成 ・伝語調査ノートの日本語翻訳資料作成 ・市史講座の参加者数 72人 | |
| 1 | 地域散策道路整備事業 | H24～H33 | 市まるごと博物館事業に取り組んでいるが、観光資源を有する各ムラ(農漁村)に観光客等が訪れる際、未整備の生活道路が数多く存在しており、レンタカーでの移動または散策の際に支障をきたしていることから、地域の移動を快適で安全なものにするためムラの道路を整備する。 | 設計委託及び工事の実施 整備延長 980m | - | - |
| 1 | 冬場のエコスポーツ拡大事業 | H24～H28 | 冬場(冬季)の観光振興を図るために、全国的なマウンテンバイク競技大会の開催が可能なコースの整備及び大会プロモーションを実施する。 | 大会来場者数 400人 | 大会来場者数 627人 | |
| 1 | 高嶺間切番所跡公園整備事業 | H25～H26 | 高嶺間切番所跡地の歴史的役割等の情報揭示により地域を散策する観光資源を創出し、観光客の誘致につなげるとともに地域住民の郷土愛を育むため、高嶺間切番所跡地の整備を実施する。 | 高嶺間切番所跡公園整備の設計完了 | 高嶺間切番所跡公園整備の設計完了 | |
| 1 | ハーリー・ハーレー舟造舟事業 | H24～H25 | 沖縄の夏を告げる行事として、さらに沖縄独特の旧暦文化を体感できる観光資源として名高い糸満ハーレー・名城ハーリー・喜屋武ハーレーを一層魅力ある観光資源とするため、木製のサバニを年次的に整備する。 | ・喜屋武ハーリー舟(3隻)の委託製作 | - | 繰 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 系満市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|-----------------|---------|--|---|---|------|
| 2 | | | 省エネ設備化推進事業 | H24～H29 | 市の環境にやさしい(CO2削減)取り組みを進めるため、学校を含む公共施設の照明をLED対応の器具を導入する。平成25年度は小・中学校の体育館照明、市庁舎照明、自治会防犯灯をLED化する。 | 小学校体育館LED照明設置:4校 中学校体育館LED照明設置:3校 市庁舎LED照明設置 自治会防犯灯LED照明設置800個 | 小学校体育館LED照明設置:4校 中学校体育館LED照明設置:3校 市庁舎LED照明設置 自治会防犯灯LED照明設置769個 | |
| 2 | | | 電動式塵芥収集車導入事業 | H24～H25 | クリーンなまちづくりを啓発するため、塵芥収集車に電気自動車を導入する。 | ・電動式塵芥収集車 1台導入 | - | 繰 |
| 2 | | | 燃料ごみ処理モデル事業 | H24～H29 | 最終処分場を保有していない本市では、区内処理ができず、廃棄物の減量化及び資源化を推進する必要があるため、モデル地区の可燃ごみの固形燃料化を支援するとともに、同モデル地区との連携による他自治体への説明会等を行うなど同事業の拡大に取り組む。 | ・H25年度 再資源化(RPF)量118トン | ・H25年度 再資源化(RPF)量107トン | |
| 3 | | | スポーツ観光分野開拓事業 | H24～H26 | 生涯スポーツを推進するスポーツ都市宣言のまちとして、さらに他自治体と異なるアマチュアスポーツのメッカの地としてPRし市外からの誘客をもたすため、海洋スポーツフェスティバルやウォーキング大会を開催する。 | スポーツイベント参加者数1,500人/年 | スポーツイベント参加者数2,724人/年 | |
| 3 | | | 地域スポーツ施設の拡充事業 | H24～H26 | 市政運営の一つの柱として「アマチュアスポーツのメッカ」事業を推進し県内大会、九州・全国大会の誘致に取り組んでおり、当該事業のさらなる推進に向けて、選手受け入れ環境を拡充するため、地域に散在するスポーツ施設を年次的に改善する。 | ・真栄里屋外運動場整備設計、工事の実施 | - | 繰 |
| 3 | | | 運動公園・体育施設機能強化事業 | H24～H27 | 本市は、アマチュアスポーツのメッカのまちとしてPRし、合宿や大会参加など県外から多くの選手を受け入れており、スポーツ観光の一層の充実を図るため、本市の拠点施設である運動公園・体育施設の機能強化に取り組む。 | ・陸上競技場・野球場の設計及び工事の実施 | - | 繰 |
| 4 | | | 海拔表示委託事業 | H24～H25 | 観光戦略を展開するうえで、安心安全対策は必須であることから、本市を訪れた人にも住む人にも安心な環境を整えるため、観光地をはじめ市内各地に海拔表示を行う。 | 海拔表示の設置数 230箇所 | 海拔表示の設置数 230箇所 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 系満市 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|----------------|---------|---|--------------------------------------|--------------------------------------|------|
| 4 | 海洋レジャー客等安心確保事業 | H24～H25 | スーサイドクリフ等のサーフポイントやスキューバダイビングポイント、ビーチ、港等を有する本市では、海洋レジャーで訪れる観光客も多い。また、サーフィン大会が開催されるなど海上イベント等も拡大傾向にあることから、水難事故等の不測の事態への対応力強化が急務となっている。このことから、観光客等の安心を担保する環境を整備するため、水難救助艇のけん引搬送、潜水資機材搬送用の資機材運搬車及び移動式呼吸器用高圧空気圧縮機(エア・コンプレッサー)を整備する。 | 資機材運搬車の配備:1台 移動式呼吸器用高圧空気圧縮機の整備:1台 | 資機材運搬車の配備:1台 移動式呼吸器用高圧空気圧縮機の整備:1台 | |
| 4 | 避難誘導標識整備事業 | H25 | 災害発生時に、地理に不慣れな観光客が迅速かつ安全に避難場所へ移動できるよう、観光客の安心・安全を図るため、低地から避難所に向けて避難誘導標識を設置する。 | 避難誘導標識設置数 60箇所 | 避難誘導標識設置数 60箇所 | |
| 4 | 観光地危険生物駆除事業 | H25～H30 | 本市に多くある慰霊碑や塔は、山間部や岩場等ハブなどの危険生物が生息する箇所にも多く建立されており、そこを訪れる観光客等のハブ咬傷の危険性を除去し安全を確保するため、ハブ生息地域を把握し、ハブ捕獲・駆除及び注意喚起看板を設置する。 | ハブの捕獲器100基及び注意喚起看板40基を三和地区10カ所に設置 | ハブの捕獲器100基及び注意喚起看板50基を三和地区10カ所に設置 | |
| 5 | 多言語観光案内マップ作成事業 | H24～H26 | 大型ホテルの営業に伴い増加傾向にある外国人観光客のさらなる誘客に向けて、外国人観光客の市内散策ができるよう、多言語マップを作成する。 | 多言語観光ガイドマップ(ブック)配布数 2,000部 | 多言語観光ガイドマップ(ブック)配布数 2,000部 | |
| 5 | 糸満ふるさと祭推進事業 | H24～H29 | ふるさと祭りを夏場の観光資源化と誘客力を高めるため、実行委員会へ補助金を交付する。 | 糸満ふるさと祭り来場者 33,000人 | 糸満ふるさと祭り来場者 49,369人 | |
| 5 | 平和の光イベント推進事業 | H24～H29 | 冬場は本県並びに本市の観光客が閑散とするため、市内外の誘客を図るため、本県冬場の一大イベントである平和の光(イルミネーション)を実施する。 | 平和の光イベント来場者数 80,000人 | 平和の光イベント来場者数 79,140人 | |
| 5 | 体験交流促進事業 | H24～H29 | 一次産業が盛んで体験型観光の最適地である本市の利点を生かし、観光客のさらなる誘客を図るため、体験型観光メニューの開発及び実施に取り組む。 | 体験交流指導員等の育成 5人 体験交流事業参加者数 200人 | 体験交流指導員等の育成 5人 体験交流事業参加者数 2,903人 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 系満市 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--------------------|---------|--|---|---|------|
| 5 | 接客スキルアップ事業 | H24～H26 | 商業及び商店街の活性化に向けて、系満市を訪れる中国及び東南アジア観光客が商店街へ回遊した際の接客技術等の向上を図るため、販売促進講座等を開催する。 | 講習会実施回数 19回 講習会参加人数 160人 | 講習会実施回数 15回 講習会参加人数 57人 | 未 |
| 5 | 伝統行事観光化事業 | H24～H29 | 市内の伝統行事を市内外からの観光客の誘客に活用するため、誘客マネジメント、体験ツアー実証実験、観光客用観覧席の設置を行う。 | 誘客マネジメント(系満大綱引行事観覧席設置) 体験ツアー実証実験(観覧者90名) | 誘客マネジメント(系満大綱引行事観覧席設置) 体験ツアー実証実験(観覧者90名) | |
| 5 | 民泊受入体制強化事業 | H24～H29 | 市を訪れる観光客のさらなる増加を目指し、民泊事業の市民への周知と受け入れ世帯の開拓による教育旅行の拡充を図るため、安心・安全な受け入れに向けた研修や知識向上などの民泊受入体制の整備に取り組む。 | 民泊受入民家向け講習会受講者数(延)150人 | 民泊受入民家向け講習会受講者数(延)203人 | |
| 5 | 地域の祭りの観光資源化事業 | H25～H28 | 地域の祭りの魅力を高め、観光客の誘客に結びつけるため、姉妹都市で開催される祭り和本市2大祭の一つである系満大綱引との連動を図るとともに、姉妹都市祭りの参加者を本市観光の魅力等のPR活動を担う市宣伝員(仮称)に任命する。 | 宣伝員のPR活動 ・道の駅つの物産展及び各種祭りにて物産紹介と販売促進活動を行う ・各種イベント時に本市より寄贈された衣装をきて本市のPRを行う。 ・本市地域の祭りに参加しての感想文を都農町HPに掲載する | 宣伝員のPR活動 ・道の駅つの物産展及び各種祭りにて物産紹介と販売促進活動を行う ・各種イベント時に本市より寄贈された衣装をきて本市のPRを行う。 ・本市地域の祭りに参加しての感想文を都農町HPに掲載する | |
| 5 | 道の駅いとまんアーケード上屋建築事業 | H25～H26 | 観光客のさらなる誘客を目指し、市内で最も多くの観光客が来場する「道の駅いとまん」と周辺施設との連携強化を図り、雨天時や強い直射日光を避けて周辺施設の移動が可能となるよう、アーケード上屋の設置のため同施設管理組合を支援する。 | アーケード上屋建築設計事業の完了 | アーケード上屋建築設計事業の完了 | |
| 5 | 文化交流・情報発信拠点施設整備事業 | H25～H29 | 観光客のさらなる誘客と訪れる観光客の市内回遊を高めるため、地域の歴史的の魅力や文化芸術活動等を内外に発信する文化交流・情報発信拠点施設を設置する。 | 文化交流・情報発信拠点施設基本計画の策定 | 文化交流・情報発信拠点施設基本計画の策定 | |
| 5 | 農園観光拠点事業 | H25～H26 | 農業の振興と地域活性化を目指すために作られたテーマパークである系満市観光農園は、県内有数の観光スポットの動線上にあるとともに、県内に数少ない地域の「農業」とリンクした観光施設であり、同施設のさらなる活性化と同施設を活用した地域の観光振興を図る目的で、施設の潜在力・可能性をフィジビリティスタディ(実行可能性調査)を実施する。 | 基本方針等の作成 | 基本方針等の作成 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 糸満市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|------------------|---------|--|---|---|------|
| 5 | | | 糸満漁港整備事業 | H25～H28 | 海水交流の促進による水質の改善及び施設の利便性向上のため、糸満漁港ふれあい地区内ビーチを浚渫するとともに、養浜・通路・波除堤等を整備する。また、観光漁業の推進を図るための調査及び施設整備を行う。 | 糸満漁港ふれあい地区の浚渫及び養浜等に係る現況調査及び実施設計 | 糸満漁港ふれあい地区の浚渫及び養浜等に係る現況調査及び実施設計 | |
| 6 | | | 糸満市水産業振興センター設置事業 | H24～H32 | 「漁業のまち」、「海人のまち」として市内外に知られ、市の発展に大きく貢献してきた水産業の振興に向けて、新たな水産技術の習得と応用による養殖・水産加工業等の新たな水産業の確立のための施設を整備する。 | 基幹インフラ・建築設計の実施 事業計画の実施 | 基幹インフラ・建築設計の実施 事業計画の実施 | |
| 7 | | | 耕作放棄地対策事業 | H24～H33 | 農業振興に向けて土地の流動化を促進するため、耕作放棄地の実情を把握し、規模拡大希望農家への農地斡旋を推進する。 | 耕作放棄地の実態調査 350,000㎡ 権利者名簿作成 300筆 | 耕作放棄地の実態調査 364,405㎡ 権利者名簿作成 309筆 | |
| 7 | | | 糸満和牛群改良整備事業 | H24～H29 | 農家の経営の安定化に向けて、仔牛のブランド化を進めるため、優良母牛導入に向けて支援を行う。 | 優良母牛導入率: 33% | 優良母牛導入率: 45.4% | |
| 7 | | | 小規模農家支援事業 | H24～H29 | 小規模農家の作業の効率化と農家経営の安定化に向けて、減農薬、減肥料及び鳥獣対策を推進するため、簡易パイプハウスの施設整備支援を行う。 | 防風ネット設置数 10箇所 簡易パイプハウス設置数 40基 | 防風ネット設置数 29箇所 簡易パイプハウス設置数 29基 | |
| 7 | | | 農業機械リース支援事業 | H25 | 遊休地等の解消でさとうきびを中心とした農作物の作付面積及び単収の向上に向けて、深耕作業(土づくり)に取り組むため、油圧ショベルを導入する。 | H25深耕面積: 50,820㎡(約15,373坪) 1,155㎡/日 × 2.2回/週 × 20週 = 50,820㎡ | H25深耕面積: 24,189㎡ | 未 |
| 8 | | | 姉妹都市等物産交流事業 | H24～H29 | 市内工業団地内で製造された商品等の県外の販路が脆弱なため、宮崎県都農町(姉妹都市)及び北海道網走市(友好都市)において販路拡大を目的とした物産展を開催する。 | 物産交流会参加事業者数(延) 60事業者 物産交流展来場者数(延) 30,000人 | 物産交流会参加事業者数(延) 41事業者 物産交流展来場者数(延) 209,000人 | |
| 8 | | | 報得川タマン祭・西崎フェスタ | H24～H29 | 市内(西崎)の商業地域と住民を結びつけるとともに、市内農水産加工物等のPR及び販路拡大を図るため、商業地域において、報得川タマン祭り及び西崎フェスタを開催する。 | 西崎フェスタ・報得川タマン祭り来場者数: 6,000人 | 西崎フェスタ・報得川タマン祭り来場者数: 6,000人 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 糸満市 | | | | | | |
|------|----------------------|---------|--|---|---|------|
| 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
| 8 | 糸満フェア開催事業 | H25～H29 | 本市の商工業の振興に向けて、多くの市民並びに県民へ地場産品をアピールし販路拡大を図るため、糸満フェアを開催する。 | 参加事業者数 10事業者 糸満フェア来場者数 10,000人 | 参加事業者数 20事業者 糸満フェア来場者数 25,000人 | |
| 9 | 平和の語り部育成事業 | H25～H29 | 戦争を身をもって体験した語り部が減少する中、苛烈を極めた地上戦が行われた沖縄県糸満市として、平和の尊さと戦争の悲惨さを後世に継承するために、新たな「平和の語り部」を育成する。 併せて、広く市民等に平和の啓発・発信するため、平和講演会並びにイベントを実施する。 | 語り部育成研修会受講人数 第1課程:18名 第2課程:17名 計35名 講演会観客数:約400名 | 語り部育成研修会受講人数 第1課程:18名 第2課程:18名 計36名 講演会観客数:約400名 | |
| 10 | 確かな学力を育むサポート事業 | H24～H29 | 学習の遅れからくる劣等感等で不登校になる事案もあり、学習支援や学校生活への不応の児童生徒を指導するなど学力向上と登校復帰を図るため、学校現場へ学習・自立支援員を配置する。 | 学習指導支援児童数 小学校:175人 生徒数 中学校:107人 | 学習指導支援児童数 小学校:161人 生徒数 中学校:130人 | |
| 10 | 英語指導事業 | H24～H29 | 英語指導を通じたコミュニケーション能力と国際感覚を身につけた人材育成を図るため、小中学校の英語授業における英会話指導、発音指導や学級での質の高い英語指導をサポートする英語指導助手を配置する。 | 英語指導助手配置クラス数 小学校:45クラス、中学校:61クラス | 英語指導助手配置クラス数 小学校:45クラス、中学校:61クラス | |
| 10 | 障がい児支援ヘルパー派遣事業 | H24～H29 | 発達障害を含む様々な障害を持つ児童生徒に支援ヘルパーを配置するとともに、ヘルパーの資質向上を目的とした研修会を開催する。 | 支援園児・児童・生徒数 50人(15校(園)) | 支援園児・児童・生徒数 66人(19校(園)) | |
| 10 | 学習ボランティア推進事業 | H24～H29 | 学力向上を目的として、退職教諭や学生等による「学習ボランティア」を活用し、学校現場へ学習ボランティアを派遣するとともに、運営者の指導の充実を図るため、学習指導ボランティアの連絡協議会を開催する。 | 学習ボランティア員の派遣回数:270回 | 学習ボランティア員の派遣回数:591回 | |
| 10 | 学びの体験事業 | H24～H26 | 学力調査で全国一低い沖縄県の状況を改善するため、学習に対する心構えや学校生活・放課後の過ごし方など、先進地の学校における“学び”を体験し、派遣元の生徒や地域に波及させ、学力向上を図るため、学力向上で成果を上げている秋田県に直接児童等を派遣する。 | 報告書作成し、各学校及び報告会で配布(16校、1000部) 実践発表のため報告会の開催 | 報告書作成し、各学校及び報告会で配布(16校、500部) 実践発表のため報告会の開催 | |
| 10 | 特別支援教育指導コーディネーター配置事業 | H25～H29 | 障がいのある児童生徒に関し、保育所等他機関との連携や学校での取り組みなどを多方面から支援する特別支援教育を行うため、特別支援教育指導コーディネーターを配置する。 | 市内幼稚園・小中学校・保育園及び保護者への指導・相談 年120回 | 市内幼稚園・小中学校・保育園及び保護者への指導・相談 年152回 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 系満市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|----------------|---------|---|--|--|------|
| 10 | | | 教育用コンピュータ整備事業 | H25～H29 | 学校のICT環境整備を行うことでパソコン・校内LANを通じたインターネットの活用等により、分かりやすい授業の実現、子どもたちの情報活用能力の育成を図るため、コンピュータを導入する。 | 市内小中学校における教育用コンピュータの整備率:16% | 市内小中学校における教育用コンピュータの整備率:55% | |
| 10 | | | 適応指導教室設置事業 | H25～H29 | 心理的・情緒的要因による不登校の児童生徒の登校復帰を図るため、適応指導教室を設置し、授業支援・登校支援及び教育相談を実施する。 | サポート児童生徒の平均登校日数:80日 | サポート児童生徒の平均登校日数:80日 | |
| 10 | | | 情報教育支援員配置事業 | H25～H29 | 児童生徒のコンピュータ授業支援及び教諭に対するコンピュータ教育の指導及び支援を行い、情報化時代に対応しうる人材を育成する情報教育を推進するため、市内小・中学校に情報教育支援員を派遣する。 | 市内小中学校16校へ派遣 | 市内小中学校16校へ派遣 | |
| 10 | | | 教育環境整備事業 | H25～H29 | 児童の教育環境改善を目的に、劣化した小学校校舎屋根の断熱防水工事、空調設備設置工事、ハブ侵入防止対策工事及び中学校の空調設備設置工事を行う。 | 屋根断熱防水施工:2校 小学校空調機設置:2校 ハブ防護フェンス設置:1校 中学校空調機設置:3校 | 屋根断熱防水施工:2校 小学校空調機設置:2校 ハブ防護フェンス設置:1校 中学校空調機設置:2校 | |
| 11 | | | 子育て応援NPO活動支援事業 | H24～H33 | 子育ての困難な親などの養育支援を行うため、NPOを活用して相談や学習会などを開催する。 | ・相談活動 80件 ・訪問活動 70件 ・親対象の学習会 7回 ・支援者対象研修 9回 | ・相談活動 80件 ・訪問活動 70件 ・親対象の学習会 7回 ・支援者対象研修 9回 | |
| 11 | | | 公立保育所環境整備事業 | H24～H25 | 亜熱帯気候である沖縄特有の自然環境から保育所に入所している乳幼児を守り、安心して保育ができる環境を確保するため、保育園舎に断熱塗装を行う。 | 対策工事を実施した施設利用児童数 65名 | 対策工事を実施した施設利用児童数 66名 | |
| 12 | | | 障がい者就労支援事業 | H24～H28 | 障がいのある方の雇用は極めて厳しい状況にあり、住み慣れた地域での雇用の確保に向けて、障がいのある方が従事する施設で製造する商品等を自ら販売するため、移動式販売所を設置するとともに、商品開発、商品PR等物販に係るノウハウを習得するための支援を行う。 | 新商品開発件数:10件 | 新商品開発件数:15件 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 沖繩市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|-------------------|---------|---|--|--|------|
| 1 | | | 観光基盤整備事業 | H24～H29 | 魅力ある観光資源の情報発信および観光客等の利便性の向上を図ることを目的とし、終日気軽に本市の観光情報等が入手できるよう、Wi-FiスポットやAR基盤アプリケーションの整備・拡充などを行う。 | 主要イベント来場者数:663.3千人 主要施設来場者数:2,280千人 | 主要イベント来場者数:633.9千人 主要施設来場者数:2,321千人 | |
| 1 | | | k o z aフィルムオフィス事業 | H24～H29 | 伝統文化や景観など本市の地域資源を観光情報として発信し、誘客の拡大を図るため、魅力ある地域のロケ情報の発信や撮影の誘致等を支援する。 | 撮影誘致 15件 | 撮影誘致 29件 | |
| 1 | | | 音楽資源収集事業 | H24～H26 | 音楽資源を活かした観光振興を図るため、沖縄民謡をはじめ戦後のアメリカ文化の影響によるロックやジャズなど多彩な本市の音楽・芸能資源の収集・整理、関係者への聞き取り調査、概要版映像を作成するなど、音楽資料の常設展示に向け取り組む。 平成25年度は沖縄民謡を中心に、写真、音源、映像、その他関連グッズの収集、沖縄市ゆかりのミュージシャンへ聞き取り調査として座談会を開催し、記録映像を作成。展示会と連携し当時の楽曲の再現演奏等を行った。 また、「オキナワロック50周年記念史」の発刊に対する補助を行い、戦後沖縄の歴史や人間模様が描かれた貴重な資料の作成を行った。 | 音楽・芸能資源収集数:650点 展示会の開催:2回以上 | 音楽・芸能資源収集数:757点 展示会の開催:3回 | |
| 1 | | | 音楽観光誘客事業 | H24～H28 | 本市の音楽資源を活かした観光を振興するため、観光資源であるライブハウスを活用した定期イベントや沖縄の伝統音楽及び民俗芸能などを中心とした音楽イベントを開催する。また、誘客を図るため、観光産業や音楽産業との連携によるプロモーションなどを実施する。 | ライブハウス入場者数:11,770人 ライブハウス集客率:70% 野外音楽イベント集客数:3,300人 ワークショップ参加者数:80人 | ライブハウス入場者数:12,615人 ライブハウス集客率:103% 野外音楽イベント集客数:3,600人 ワークショップ参加者数:130人 | |
| 1 | | | 外国人誘客推進事業 | H24～H29 | アジア地域からアーティストおよびマスメディアの招聘等により、誘客の拡大を図ることを目的とし、本市発祥のオキナワロックなどを中心とした多彩な音楽イベントを実施する団体に支援を行う。 | ピースフルラブロックフェスティバル 来場者数:4,000人 | ピースフルラブロックフェスティバル 来場者数:4,100人 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 沖縄市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|--------------|---------|--|---|---|------|
| 1 | | | 文化活動拠点施設改修事業 | H24～H30 | 観光誘客の拡大を図るため、伝統芸能や演劇等に加え、県外有名アーティストのコンサートも開催される文化活動拠点施設である市民会館の舞台音響など設備の機能充実を図る。 平成25年度は、大ホール舞台照明設備改修工事設計業務、大ホール音響設備改修工事にかかる物価単価調査、市民会館大ホール舞台音響設備・入力系改修工事、大、中ホール難聴者向けFM補聴誘導システム導入等の事業を実施した。 | (沖縄市民会館)稼働率:70% | (沖縄市民会館)稼働率:60.07% | |
| 1 | | | 国際交流事業 | H24～H28 | 市内に住む多様な国籍の住民等が交流できる国際交流拠点施設において、情報発信、生活・法律相談、各種語学講座、異文化理解講座等を行う。 | (受講者等人数) 語学講座(英・中・スペイン):2,500名 多言語相談窓口(英・中・スペイン):120名 日本語交流会:1,100名 異文化理解講座:350名 情報発信、生活相談、法律相談:120名 | (受講者等人数) 語学講座(英・中・スペイン):4,038名 多言語相談窓口(英・中・スペイン):123名 日本語交流会:476名 異文化理解講座:927名 情報発信、生活相談、法律相談:5,598名 | |
| 1 | | | エイサー文化発信事業 | H24～H29 | エイサーを活用した観光振興や地域活性化を図るため、エイサーの拠点となる(仮称)青年エイサー会館の整備に向けた取り組みを推進するとともに、エイサー関連資源のブランド化の支援、「沖縄全島エイサーまつり」におけるシャトルバスの運行やエイサーの担い手の育成、エイサーによる文化交流活動への支援などを行う。 また、エイサーのまちづくり基本計画を策定するとともに、バナー掲揚等によるPR活動、エイサー体験等による観光誘客等に取り組む。 | 沖縄全島エイサーまつり来場者数:320千人 エイサーナイト来場者数:11千人 主要イベント来場者数:663.3千人 主要施設来場者数:2,280千人 | 沖縄全島エイサーまつり来場者数:310千人 エイサーナイト来場者数:12千人 主要イベント来場者数:633.9千人 主要施設来場者数:2,321千人 | |
| 1 | | | エイサーサイン整備事業 | H24～H28 | 本市は「コザらしい生活ができるまち～商店街から交流街へ～」を活性化のテーマに、音楽・芸能など、豊富な地域資源を積極的に活用し、商店街の活性化をはじめ、住環境と都市機能の向上により、暮らしやすく、にぎわいのあるまちづくりを目指している。 エイサーの絵柄を取り入れた下水道マンホール蓋を設置することで、エイサーを活用した観光振興や地域活性化へと波及することを目的とする。 | 市内観光施設付近におけるエイサー絵柄のマンホール設置:100基 | 市内観光施設付近におけるエイサー絵柄のマンホール設置:107基 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 沖繩市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|--------------------|---------|--|---|---|------|
| 1 | | | 伝統文化観光推進事業 | H24～H29 | 本市の伝統文化や工芸を魅力ある観光資源として活用し、伝統文化の継承発展と観光誘客の拡大を図るため、伝統行事である「ンマハラシー(美ら競馬)」の復活へ支援を行う。 | ンマハラシー観覧者:3,000人 | ンマハラシー観覧者:4,685人 | |
| 1 | | | 地域自然環境調査事業 | H24～H27 | 嘉手納弾薬庫等により市域が分断され貴重な自然環境が現存する嶽山原地域等の自然環境実態を把握するため、動植物の調査を行うとともに、本市で見られる野鳥の標本製作等により展示資料の充実を図る。特に、平成25年度は市内北部地域を中心に調査を行い、その成果は各種講座の形で還元することに力を入れた。 | 市内陸域の動植物調査実施率(市内緑地に占める割合):60% 採集した標本を活用した展示会 来館者数:1,000人 郷土博物館来館者数:15,500人 | 市内陸域の動植物調査実施率(市内緑地に占める割合):60% 採集した標本を活用した展示会 来館者数:3,598人 郷土博物館来館者数:12,861人 | |
| 1 | | | 戦後文化資料等展示事業(デジタル化) | H24～H29 | 沖縄市戦後文化資料展示室「ヒストリート」のさらなる誘客の拡大に努め、観光振興、商店街振興に寄与することを目的とする。具体的には、本市の最大の歴史個性である戦後(沖縄戦直後から)の新聞記事資料のデジタル化及び本市に関する映像資料の調査・収集を行う。本市の戦後文化情報を発信し、併せて市民をはじめ修学旅行生、大学研究者、ゼミ生、地域研究者、自治体まちづくり担当等へのデータ提供を行い、本市への誘客をより積極的に展開する。 | 新聞記事デジタル化作業進捗状況:100% 沖縄市戦後文化資料展示室「ヒストリート」 来場者数:13,000人 | 新聞記事デジタル化作業進捗状況:100% 沖縄市戦後文化資料展示室「ヒストリート」 来場者数:13,700人 | |
| 1 | | | 観光宣伝事業 | H25～H29 | 観光誘客の拡大を図るため、観光プロモーション活動や観光情報誌の製作等による情報を発信するとともに、観光実態調査の実施などに取り組む。 | 主要イベント来場者数:663.3千人 主要施設来場者数:2,280千人 | 主要イベント来場者数:633.9千人 主要施設来場者数:2,321千人 | |
| 1 | | | 自主文化事業 | H25 | 沖縄市をPRし、さらなる誘客を図るために、沖縄市発の市民ミュージカル「コザ物語」を市内外で公演する。 | 来場者数:800人 | 来場者数:470人 | 未 |
| 2 | | | スポーツ推進整備事業 | H24～H28 | スポーツ環境を生かした観光を推進するため、沖縄市総合運動場における運動器具等の備品を充実する。平成25年度はスポーツ備品を2件、芝整備車両を1件整備する。 | コザ運動公園利用者数:771,800人 | コザ運動公園利用者数:643,875人 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 沖繩市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|---------------------------|---------|---|--|-------------------------|-------------|------|
| 2 | | スポーツコンベンション推進事業 | H25～H29 | スポーツコンベンションシティの推進による観光振興を図るため、プロスポーツ等団体のPRをはじめ、関係団体や地域等とのスポーツ交流・体験及びイベントの開催など、「スポーツコンベンションシティ沖縄市」の定着に向け取り組む。 | スポーツ合宿述べ宿泊者数:12,000人 | スポーツ合宿述べ宿泊者数:13,849人 | | |
| 2 | | 商店街スポーツイベント等連携促進事業 | H25 | 商店街等とスポーツイベントとの連携を促進し、地域への波及効果を創出する仕組みを構築することで、観光振興による商店街等の活性化を図るため、市内で開催されるスポーツイベントに訪れる観光客等を商店街等に誘導・回遊させるための調査・実証業務を行う。 | 商店街等利用ポイント発行数:5,000ポイント | 商店街等利用ポイント発行数:1,565ポイント | 未 | |
| 3 | | 道路景観形成推進事業 | H24～H33 | 観光地周辺の道路の快適性の向上や安全性の確保のため、道路の植栽整備設計をはじめ、街路樹の剪定や道路紙の設置工事、道路照明器具の整備等をおこなう。 | 沿道美化業務 L=13,000m 道路植栽等整備実施設計 照明灯LED化 取替10基、新設4基 道路植栽等整備 2路線 | - | 繰 | |
| 3 | | 観光地周辺道路整備事業 | H24～H33 | 観光地周辺の道路の快適性の向上や安全性の確保のため、歩行空間の整備をはじめ、観光地の各種案内サイン、ゲートモニュメント、ストリートファニチャー、横断防止柵等の整備等をおこなう。 | 道路整備実施設計 モニュメントゲート 1基 歩道照明 64基 横断防止柵設置 1,990m | - | 繰 | |
| 4 | | 国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ推進事業 | H24～H28 | 世界の優れた舞台芸術を提供する「国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ(キジムナーフェスタ)」を開催し、子どもたちが優れた文化芸術にふれ、体験・交流できる機会を創出する。 | キジムナーフェスタ観客動員数:33,000人 | キジムナーフェスタ観客動員数:32,000人 | | |
| 4 | | 沖縄こどもの国施設整備事業 | H24～H32 | 沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の機能強化のため、動物園の充実を図るとともに、琉球弧動物展示施設整備を行う。 | 動物舎施設設計:1棟 琉球弧動物舎等施設工事:10棟 | - | 繰 | |
| 4 | | こどものまち推進事業 | H24～H28 | 子どもたちが夢に向かって元気にたくましく育つ環境をつくるため、本県を代表する人材育成施設である沖縄こどもの国のチルドレンズセンター(えほんの国)において、こどものまち推進拠点としての機能を強化することを目的に、こどもの育成や子育て支援に関する情報提供ブースを設置し、さらに、こどもの主体的な活動を応援し、子どもに優しいまちづくりにむけて市民の意識高揚を図るため、講演会等を開催する。 | 沖縄こどもの国来場者数:351,000人 | 沖縄こどもの国来場者数:436,020人 | | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 沖縄市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|-------------------------|---------|--|---|---|------|
| 5 | | | こども科学力育成事業 | H24～H28 | こどもたちが科学の面白さや学ぶことの楽しさを体験する科学企画展、科学実験イベント、体験ワークショップ、出前科学教室を開催する。 【事業内容】 科学企画展…沖縄こどもの国で昆虫のひみつ展や磁石のひみつ巡回展の開催 科学実験イベント…沖縄こどもの国で恐竜、磁石、宇宙、科学工作に関するイベントを実施 体験ワークショップ…沖縄こどもの国で動物の体、化石、生き物、水、電気、地震、超伝導などに関するワークショップを開催 出前科学教室…市内小中学校に出向いて、動植物、空気、真空、磁石、食物連鎖など、特別な実験装置などを使用して体験できる科学授業を実施 | 科学関連イベント参加者数:60,000人 | 科学関連イベント参加者数:44,850人 | |
| 5 | | | 児童生徒の「わかる・意欲・学ぶ」を支援する事業 | H24～H28 | 児童生徒のわかる・意欲・学ぶを支援するため、学校支援教育補助者の配置によるきめ細やかな学習支援、キャリア教育コーディネータによる職場見学や職場体験の指導・支援、教科コーディネータによる授業改善の指導・支援、児童生徒への外国語指導、外国人児童生徒への日本語指導、情報教育機器の整備を行う。 | 各種授業改善の指導及び補助者の配置 キャリア教育コーディネーターの配置:2名 対応可能児童生徒数(1,270名) 研修会・講演会等(5回) 教科コーディネーターの配置:3名 対応可能児童生徒数(1,280名) 授業日数202日 日本語指導員の配置:3名 対応可能児童生徒数(26名) 授業回数(1,630回) 外国語指導助手(ALT)の配置:25名 対応可能児童生徒数(14,814名) 授業日数(202日) 情報通信機器の整備率:100% | 各種授業改善の指導及び補助者の配置 キャリア教育コーディネーターの配置:2名 対応可能児童生徒数(1,815人) 研修会・講演会等(8回) 教科コーディネーターの配置:3名 対応可能児童生徒数(1,121人) 授業日数(202日) 日本語指導員の配置:4名 対応可能児童生徒数(26人) 授業回数(1,630回) 外国語指導助手(ALT)の配置:25名 対応可能児童生徒数(15,097名) 授業日数(202日) 情報通信機器の整備率:100% | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 沖縄市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|-------------------|---------|---|--|--|------|
| 5 | | | 気になる子等の学びを支援する事業 | H24～H28 | 特別な支援が必要な子に対し、幼稚園、小中学校までの継続的な支援を行う。また、不登校や学力不振の児童生徒への登校支援、学習支援を行う。 | 臨床心理士(対応園児数):148名 准看護師(対応園児数):1名 幼稚園特別支援担当(対応園児数):133名 心理士(検査件数):160件 保健師(相談等件数60回及び検診件数16回) 看護師(対応児童数):1名 市スクールカウンセラー(対応件数):650件 心の教室相談員(相談件数):650件 市スクールソーシャルワーカー(対応件数):150件 学校支援教育補助者(支援回数):1,800回 特別支援教育補助者(支援生徒数):110名 教育相談員(相談活動件数):300件 適応指導教室指導員(普通教室就学割合):70% 巡回支援指導員(巡回支援回数):500回以上 基準値(23年度)及び24年度は、「園児、児童、生徒の行動や学習のサポートする者の配置数を指標としている。」 | 臨床心理士(対応園児数):203名 准看護師(対応園児数):1名 幼稚園特別支援担当(対応園児数):203名 心理士(検査件数):152件 保健師(相談等件数77回及び検診件数16回) 看護師(対応児童数):1名 市スクールカウンセラー(対応件数):2,293件 心の教室相談員(相談件数):210件 市スクールソーシャルワーカー(対応件数):215件 学校支援教育補助者(支援回数):1,062回 特別支援教育補助者(支援生徒数):117名 教育相談員(相談活動件数):365件 適応指導教室指導員(普通教室就学割合):36.6% 巡回支援指導員(巡回支援回数):552回 基準値(23年度)及び24年度は、「園児、児童、生徒の行動や学習のサポートする者の配置数を指標としている。」 | |
| 5 | | | 青少年指導育成事業 | H25～H29 | 青少年の非行防止および健全育成を図るため、青少年教育相談指導員を配置し、電話・来所・訪問相談、登下校の巡回指導等を行う。また、青少年指導員を配置し、夜間の巡回指導や卒業式、全島エイサーまつり等の特別巡回を行う。 | 青少年教育相談指導員配置:8名 青少年指導員配置:126名 登下校の巡回指導:200回 夜間の街頭指導:250回 | 青少年教育相談指導員配置:8名 青少年指導員配置:132名 登下校の巡回指導:282回 夜間の街頭指導:256回 | |
| 5 | | | 中学生海外短期ホームステイ派遣事業 | H25～H29 | 国際社会で活躍できる人材育成を図るため、市立中学生の海外短期ホームステイ活動を支援する。 | 派遣後のアンケートによる意識調査 本市で主催する行事等において通訳ボランティア補助として活用する。 | 派遣後のアンケートによる意識調査:実施 本市で主催する行事等において通訳ボランティア補助として活用する。:未実施 | |
| 6 | | | こどもいきいき安心事業 | H24～H28 | 人口に占めるこどもの割合が高い沖縄市において、こどもたちが安心して過ごすことのできる場の確保・充実のため、放課後児童支援センターによる放課後児童の多角的な支援を図るほか、ニーズ調査等を通して児童館の整備計画を策定する。 | 放課後児童クラブへの訪問回数:420回 放課後児童クラブ研修会参加者数:150人 | 放課後児童クラブへの訪問回数:422回 放課後児童クラブ研修会参加者数:316人 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

| |
|----------------------|
| 【凡例】 |
| 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」 |
| 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」 |
| 「繰越」…「繰」 |
| 「廃止(中止)」…「-」 |

| 沖縄市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|-------------------|---------|--|--|--|------|
| 6 | | | 園児の健やかな成長を支える保育事業 | H24～H28 | 子育て家庭の保育ニーズに対応するため、幼稚園において、教育時間の終了後も引き続き園児を預けることのできる、「預かり保育」を実施する。 | 預かり保育学級数:23学級 預かり保育利用園児数:430人 | 預かり保育学級数:23学級 預かり保育利用園児数:494人 | |
| 7 | | | 若年者就労等支援事業 | H24～H28 | 雇用の創出および失業者対策を図るため、若年求職者及び保護者、企業等を対象に、支援員等による就労支援、ワークショップ・サロンの定期開催等を実施する。また、心因性の理由等により就職が困難な若者を対象に、社会的・経済的自立支援を図るため、就労へ向けた支援やインターンシップ、職業訓練等を実施する。 | アウトリーチ人数:50人 生活支援人数:300人 巡回就労相談人数:100人 | アウトリーチ人数:57人 生活支援人数:1,070人 巡回就労相談人数:125人 | |
| 7 | | | 中城湾港新港地区物流促進支援事業 | H24～H26 | 港湾機能の充実により、地元中小企業の振興と雇用の創出を図るため、中城湾港新港地区において運送費等にかかる支援の実施および物流促進に関する調査・検討を行う。 | 中城湾港における実証実験船貨物量:750t/回 | 中城湾港における実証実験船貨物量:529t/回 | |
| 7 | | | 就労支援センター運営事業 | H25～H28 | 雇用の対策を図るため、沖縄市就労支援センター等において、求職者を対象に、就労相談や就労支援講座等の開催および職場体験のコーディネート、職業斡旋などをおこなう。 | 就職決定者数:700人 | 就職決定者数:637人 | |
| 7 | | | 中小企業人材育成支援事業 | H25～H29 | 市内中小企業者に対し、技術力の向上や能力開発のための人材育成支援をはじめ、在沖米軍発注業務の受注にかかる通訳・翻訳などの契約業務を支援することにより、本業務にかかるノウハウを持った人材を育成し、産業の振興や新たな雇用の創出を図る。 | 人材育成講座受講者数:162人 入札参加件数:10件 | 人材育成講座受講者数:200人 入札参加件数:0件 | |
| 8 | | | 伝統工芸産業支援事業 | H24～H29 | 工芸産業の振興を図るため、本市の伝統工芸、工芸産業振興の中核である知花花織事業協同組合の生産体制の強化や担い手の育成および販路拡大等に対し支援を行う。 | 知花花織生産後継者育成数:10名 スキルアップ研修参加者数:20名 | 知花花織生産後継者育成数:10名 スキルアップ研修参加者数:22名 | |
| 8 | | | 工芸による街づくり事業 | H24～H29 | 工芸品の販路拡大をはじめ、工芸従事者の生産意欲の高揚および工芸に対する市民の意識啓発など、工芸産業の振興を図るため、沖縄市工芸フェアの開催等を支援するとともに、工芸産業の全般的な振興に寄与することを目的として、(仮称)沖縄市伝統工芸館の整備に向けた取り組みや伝統工芸(知花焼)の産業化への可能性調査等を実施する。 | 沖縄市工芸フェア来場者数:20,000人 県内外出展業者数:74店舗 伝統工芸(知花焼)産業化可能性調査 | 沖縄市工芸フェア来場者数:18,736人 県内外出展業者数:67店舗 伝統工芸(知花焼)産業化可能性調査:調査の実施及び報告書の作成 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「」 「概ね達成」…「」
 「一部達成」…「」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 沖縄市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|------------------|---------|---|--|--|------|
| 8 | | | 地域ブランド推進事業 | H24～H29 | 魅力ある沖縄市ブランドの確立によるものづくり産業を振興するため、市内の優れた地域資源(二次加工品等)を沖縄市ブランドとして認定する沖縄市地域ブランドとして認定する沖縄市地域ブランド認定制度等を実施し、沖縄市ブランドの広報活動等を行うとともに、新商品の開発または販路開拓等に対し支援する。 | コザスター商品認定数:3商品 コザチョイス商品選定数:10商品 新商品開発:5件 | コザスター商品認定数:2商品 コザチョイス商品選定数:11商品 新商品開発:3件 | |
| 9 | | | アグリビジネス推進事業 | H24～H26 | 農業生産および農業経営の安定化を図るため、台風等の自然災害に影響を受けにくい宿根アスター(キク科)の栽培施設(強化型パイプハウス)の整備費用について、事業を行う「沖縄県農業協同組合」へ支援を行う。 | 宿根アスター強化型パイプハウス設置農家戸数:3戸 宿根アスター強化型パイプハウス設置面積:3,630㎡ | 宿根アスター強化型パイプハウス設置農家戸数:3戸 宿根アスター強化型パイプハウス設置面積:3,438㎡ | |
| 10 | | | コミュニティーパーク整備事業 | H24～H27 | 市民の健康増進の場を増やし、健康・長寿としてのイメージアップを図り、観光誘客に寄与できるような整備をおこなう。 また、都市公園事業として補助採択基準未達であるため、一括交付金にて整備をおこなう。 | 園基本計画・実施設計 園造成工事 | - | 緑 |
| 11 | | | 地域防災対策事業 | H24～H33 | 災害等に備えるため、災害用備蓄品の確保をはじめ、防災行政無線デジタル整備や避難場所標識の設置等に取り組むとともに、自主防災組織の結成を促進する。 | 災害用備蓄品:15,000食 防災行政無線局のデジタル化(実施設計) :実施設計書作成 津波避難ビル・タワー調査・研究 :設置可能性調査 自主防災組織結成:7組織 | 災害用備蓄品:11,000食 防災行政無線局のデジタル化(実施設計) :実施設計書作成完了 津波避難ビル・タワー調査・研究 :設置可能性調査完了 自主防災組織結成:3組織 | |
| 11 | | | 災害時緊急避難通路整備事業 | H24～H33 | 津波等の自然災害に対し防災力の向上の為、東部地域における里道を活用した緊急避難通路の整備を実施する。 | 災害時緊急避難通路実施設計:3カ所 | 災害時緊急避難通路実施設計:3カ所 | |
| 11 | | | 救命処置普及強化事業 | H25～H29 | 災害時等において、市民等に重篤な傷病者が発生した場合、居合わせた方が救急処置をおこなえるよう、救急講習会の開催を増やすとともに、24時間営業のコンビニにAEDを設置し、市民等の救命能力の向上と意識啓発に取り組む。 | 応急講習会の実施回数:156回 受講者数:3,300名 コンビニへのAED設置:市内43店舗 | 応急講習会の実施回数:143回 受講者数:2,756名 コンビニへのAED設置:市内43店舗 | |
| 12 | | | 里道および水路の境界確定復元事業 | H24～H33 | 戦後の米軍統治下の影響による不明確な里道および水路の位置を確定するため、境界の確定測量および復元作業をおこなう。 | 計画策定及び発注 100カ所 用地交渉 100カ所 台帳整備 100カ所 | - | 緑 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 沖繩市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|------------------------------|---------|---|---|---|------|
| 12 | | | 沖縄関係仮戸籍等電子化事業 | H25 | 沖縄関係戸籍(仮戸籍申告書、臨時戸籍、福岡戸籍等)原本の劣化・滅失防止および、業務の迅速化による市民サービス向上を図るため、電子化を実施する。 | 沖縄関係戸籍の電子化率:100% 情報資産の劣化・滅失防止 | 沖縄関係戸籍の電子化率:100% 情報資産の劣化・滅失防止 | |
| 12 | | | 沖縄市特定駐留軍用地内土地取得事業基金 | H25～H33 | 特定駐留軍用地の指定を受けたキャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を促進するため、基金を創設し、公用地の先行取得を行う。平成25年度は、先行取得に備え、基金を創設し、基金へ5億円の積立を行う。 | 基金条例の制定 基金の積立:5億円 達成率(基金積み立て額に係る取得予定面積の割合):約60% | 基金条例の制定 基金の積立:5億円 達成率(基金積み立て額に係る取得予定面積の割合):約60% | |
| 13 | | | 「沖縄市民平和の日を定める条例」制定20周年記念行事事業 | H25 | すべての人が等しく平和で豊かな生活がおくれるまちづくりを進めるために定めた「沖縄市民平和の日定める条例」が、平成25年度で制定20周年の節目を迎えることから記念行事を実施する。 | 式典来場者数:2,000名 | 式典来場者数:1,641名 | |
| 14 | | | 東部海浜地区開発事業 | H25～H28 | スポーツコンベンション拠点をめざす東部海浜開発地区の海域利活用調査等に取り組む。 平成25年度は、中城湾における現在の海域の利用状況や規制等を把握し、また、湾内にどのような資源があり、ダイビングや遊漁、クルージング等に活用できるかなど、本地区の魅力を高めるための調査を行い、海域の利活用調整や小型船だまり、マリナーを利用する事業者の誘致などに活用できる資料を整理する。 | 海域利用の現況、資源、規制等に関する調査報告書を作成 | 海域利用の現況、資源、規制等に関する調査報告書を作成 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 豊見城市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|--|---------|---|--|--|------|
| 1 | | | 瀬長島観光拠点整備事業 | H24～H28 | 本市の観光振興の発展のため、策定済の瀬長島観光拠点整備基本計画を踏まえ、歴史的、文化的価値を保全しつつ、必要な施設並びに設備等の整備を行い、観光拠点施設として機能の向上を図る。 | 瀬長島内の施設及び設備等の設計及び整備を行う。 | - | 繰 |
| 1 | | | 文化観光創出事業 | H24～H28 | 本市の観光振興の発展を図るため、豊見城城址公園とその周辺について、前年度に策定した土地利用基本構想を基に、自然環境・歴史文化・観光が調和する、実現可能で具体性のある「豊見城城址跡地利用基本計画」を策定する。 | 豊見城城址跡地利用基本計画の策定(豊見城城址公園とその周辺に係る土地利用計画の策定) | 豊見城城址跡地利用基本計画の策定(豊見城城址公園とその周辺に係る土地利用計画の策定) | |
| 1 | | | 観光関連団体支援事業 | H25～H29 | 観光事業等の振興を図るため、当該事業を行う観光協会等の団体へ補助金の交付を行い、市内観光団体の育成を行うとともに観光商品の充実や新たな事業の創造を促し、更なる観光客誘致を図る。 | 主要観光施設における観光客数(243万人) | 主要観光施設への観光客数(413万人) | |
| 1 | | | 観光振興地域環境美化強化事業 | H25～H29 | 南国沖縄らしい景観や、魅力ある観光地づくりを図るため、豊崎、瀬長地域の市道植栽樹の除草清掃や美らSUNビーチ、レンタカーステーション、沖縄アウトレットモールあしびなー、瀬長島ホテルへ繋がる市道沿いにプランターを設置し、花木等の植栽により美化強化に努め、魅力ある観光地づくりに取り組む。 | 植栽樹の除草清掃 プランターの設置及び花木等の植栽 | 植栽樹の除草清掃 プランターの設置及び花木等の植栽 | |
| 1 | | | 西海岸観光地域利用促進事業 (豊崎周辺海域漂着海藻・海草対策検討事業) | H25～H29 | 本市西海岸の豊崎地内に所在するビーチに大量に漂着する海藻藻類の発生原因を調査し、その抑制方法及び処理又は活用を研究することによりビーチを含む西海岸一帯の良好な環境を整備する。 | 漂着海藻・海草に係る調査及び対策の検討 | 漂着海藻・海草に係る調査及び対策の検討 | |
| 1 | | | 豊見城市景観計画策定事業 | H25～H27 | 地域独自の風景を活かした景観像を明確にし、観光地にふさわしい景観形成を実現するために現況及び課題を抽出し、基本方針を検討するための基礎調査を行う。 | 基礎調査報告書の策定 | 基礎調査報告書の策定 | |
| 1 | | | 西海岸活性化構想事業 | H24～H27 | 平成24年度に策定された「西海岸地区整備基本構想」を踏まえて、「コミュニティゾーン」に位置する与根地区の地理的特性を活かし、観光振興、企業誘致、開発計画、周辺アクセス道路の整備など西海岸地区一帯の活性化に繋がる総合的な土地利用基本計画を策定する。今回は、コミュニティゾーンの核となりうる与根漁港を中心とした活性化方策の検討、漁民との話し合いなどを行った。 | 土地利用基本計画の策定 | 与根漁港及び漁業者を中心とした活性化方策の調査検討 | 未 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 豊見城市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|---------------------|---------|---|-----------------------------------|--|------|
| 1 | | | とみぐすく産業まつり事業 | H25～H29 | 豊見城市産品を一堂に会したイベントを実施することにより、豊見城市民および近隣市町村、観光客に対し市内の各種産業のPRを行い、産業の振興、地域活性の起爆剤とする。また、異業種間での情報交流や交流の場とすることで、産業間の連携を産み出し、新たな産業の創出を図る。 | 産業まつりの来場者数(20,000人) | 産業まつりの来場者数(30,190人) | |
| 1 | | | 西海岸観光地域利用促進事業 | H24～H25 | 質の高いリゾート地を形成し利用促進するため、観光振興地域のビーチにおいて、マリンスポーツの快適な実施に必要な栈橋の購入、シャワー設備の増設を行う。 | 主要観光施設における観光客数(243万人) | 主要観光施設への観光客数(413万人) 【参考指標】 ビーチ利用者数(38万人) | |
| 2 | | | 防災備蓄整備事業 | H25～H28 | 台風や地震など大規模な自然災害に備え、観光客も含めた非常食等の備蓄品を整備することにより、安心・安全なまちづくりに資する。 | 蓄数量 非常食:13,520食 保存水:3,000本 | 蓄数量 非常食:13,520食 保存水:3,000本 | |
| 2 | | | 那覇空港周辺における航空機騒音測定事業 | H24～H25 | 那覇空港周辺地域は航空機騒音があり、騒音測定を行うことにより実態を把握する必要がある。当該地域の任意の3地点において航空機騒音測定を行い、その結果を基に空港と共生するまちづくり等について検討することにより、将来の快適な住民環境の形成を目指す。 | 那覇空港周辺における航空機騒音測定の実施 (3地点×2回) | 那覇空港周辺における航空機騒音測定の実施 (3地点×2回) | |
| 3 | | | 豊見城市いきいき野菜生産支援事業 | H24～H25 | 市場や量販店の求める定時・定量・定品質な野菜の安定生産を図るため、生産組合が設置する耐候性野菜栽培施設(パイプハウス)の設置費の一部を補助する。 | 耐候性野菜栽培施設の整備(24,540㎡) | 耐候性野菜栽培施設の整備(24,540㎡) | |
| 3 | | | 豊見城産マンゴー販売促進事業 | H24～H27 | 県の拠点産地に認定されるなど、高い評価を得ている豊見城産マンゴーのさらなる販売促進を図るため、県内外において試食アンケート等の販売促進活動を実施する。 | 豊見城産マンゴー販売促進活動回数6回 (県内3回、県外3回) | 豊見城産マンゴー販売促進活動回数6回 (県内5回、県外1回) | |
| 4 | | | 預かり保育事業 | H24～H28 | 低所得県であるため、ひとり親世帯や共働き世帯が多いことから、当該世帯の園児を午後または、長期休暇時に市立幼稚園全7園で預かることで、子育て支援を行った。 | 預かり保育した園児数(400人) | 預かり保育した園児数(438人) | |
| 4 | | | 認可外保育園環境整備事業 | H24～H25 | 子育て世代の人口増に伴い、待機児童数の増加が課題になっていることから、待機児童解消の一翼を担っている認可外保育園の施設整備(修繕等)を図ることで、児童の保育環境向上に寄与する。 | 認可外保育施設改修費補助:3施設 | 認可外保育施設改修費補助:1施設 | 未 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 豊見城市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|-----------------|---------|--|--|---|------|
| 5 | | | 学力向上サポート事業 | H24～H28 | 児童生徒の学力向上のために児童生徒1人ひとりにきめ細かな自立支援、学習支援を行うため、豊見城市立小中学校に学力向上推進補助員を配置し、授業にあたる教師と連携しながら教育環境の充実を図った。 | H25:学力調査における県平均との差の改善(全教科平均+0.8点) | H25:学力調査における県平均との差の改善(全教科平均-0.27点) | 未 |
| 5 | | | 情報教育補助員派遣事業 | H24～H28 | 情報教育補助員を各小中学校へ巡回派遣し、PC教室、電子黒板を活用し授業を行う教員の支援や児童生徒へ直接支援することで、教員や子どもたちの情報リテラシーの向上を図った。 | ICT機器等活用率(操作・理解) 小学校:80% 中学校:50% | ICT機器等活用率(操作・理解) 小学校:84.6% 中学校:49.56% | |
| 5 | | | 適応指導教室学習支援員配置事業 | H24～H28 | 適応指導教室に支援員を配置し、心因的不登校児童生徒の個々の状況に応じた体験活動や学習指導、教育相談等の支援を行い、人間関係の改善と児童生徒の自立心を高め、社会性を身につけさせることで、学校生活への適応を図り、引きこもり解消や学校復帰を支援した。 | 適応指導教室学習支援員配置率(100%) | 適応指導教室学習支援員配置率(100%) | |
| 5 | | | 自立支援教育指導員配置事業 | H25～H28 | 遊び非行型不登校生徒等の学校復帰及び社会的自立を支援するため、指導員を配置し相談活動や学習支援を行うほか、地域や関係機関と連携し職場体験活動等を行うことにより学校復帰を支援した。 | 市立中学校への自立支援教育指導員配置率(100%) | 市立中学校への自立支援教育指導員配置率(100%) | |
| 5 | | | 登校支援員配置事業 | H25～H28 | 登校支援員を小学校へ巡回配置し、不登校や不登校傾向にある児童及びその対応に悩みを持つ保護者に対する適切な指導や相談を充実させることで学校復帰に向けた支援を行った。 | 市内小学校への登校支援員派遣率(100%) | 市内小学校への登校支援員派遣率(100%) | |
| 5 | | | パソコン教室整備事業 | H25～H28 | 将来の情報化社会に対応する人材育成のため、パソコン教室の機器更新等の環境整備を行い、児童生徒のコンピューターを活用した授業の推進を図った。 | パソコン教室パソコン整備台数(42台) | パソコン教室パソコン整備台数(42台) | |
| 5 | | | 電子黒板整備事業 | H25 | 将来の情報化社会に対応する人材育成のため、各小中学校普通学級に電子黒板を整備し、わかりやすい授業をおこなう事で児童生徒の関心を向上させ、学習の向上を図った。 | 小中学校全教室に電子黒板の整備(228台) LAN工事5校 | 小中学校全教室に電子黒板の整備(228台) | |
| 5 | | | デジタル教科書整備事業 | H25 | 将来の情報化社会に対応する人材育成のため、各小中学校の電子黒板にデジタル教科書を整備し、わかりやすい授業をおこなうことで児童生徒の関心を向上させ、学力の向上を図った。 | 教育用ソフトの導入学校数(10校) 小学校7校、中学校3校 | 教育用ソフトの導入学校数(10校) 小学校7校、中学校3校 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 豊見城市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|-------------------------------|---------|---|---|---|------|
| 5 | | | 外国人英語講師配置事業 | H25～H28 | 外国人講師を配置し、児童生徒の国際化社会に必要な外国人との実践的なコミュニケーション能力の基礎を養った。 原則的に、3名を3中学校、1名を小学校へ配置。小中学校における外国語授業の補助を行った。 | 市内小中学校への外国人英語講師配置率(100%) | 市内小中学校への外国人英語講師配置率(100%) | |
| 5 | | | 小学校英語活動講師派遣事業 | H25～H28 | 小学校からの長期的な英語指導により、児童の実践的なコミュニケーション能力の向上を図り、国際化社会に対応できる人材育成を行った。 高学年においては、外国語活動を優先して授業に参加し、中学年以下については、総合的な学習の時間を活用し、国際理解と関連づける授業を行った。 | 市内小中学校への英語講師派遣率(100%) | 市内小中学校への英語講師派遣率(100%) | |
| 5 | | | 幼小中学校長寿命化事業 | H24～H25 | 沖縄特有の潮風による塩害や紫外線、度重なる台風の影響により劣化した校舎屋根や壁面等を改修することにより、安全・安心を確保し校舎の断熱など機能を向上させるとともに長寿命化を図り、学習環境の向上を図る。 | 長寿命化等の安全対策を実施した校舎数 小学校：2校(とよみ小校舎・伊良波小校舎・体育館) 中学校：1校(伊良波中学校・体育館) | 長寿命化等の安全対策を実施した校舎数 小学校：2校(とよみ小校舎・伊良波小校舎・体育館) 中学校：1校(伊良波中学校・体育館) | |
| 5 | | | 小中学校クーラー設置事業 | H24～H25 | 亜熱帯気候である沖縄は、年間を通して高温多湿な状況が長期間続くことから、児童・生徒の学習環境を改善し学習に集中できる環境を整備する必要があることから、空調設備を設置する。 | 空調設備設置校数 小学校：5校(とよみ・伊良波・長嶺・豊見城・豊崎小学校) | 空調設備設置校数 小学校：5校(とよみ・伊良波・長嶺・豊見城・豊崎小学校) | |
| 5 | | | 児童生徒派遣費補助事業 | H25～H28 | 将来の沖縄振興に資する人材育成のため、児童生徒のスポーツ活動及び文化活動に対し、県外派遣費の一部を補助する。 | 大会派遣児童生徒数(185人) | 大会派遣児童生徒数(276人) | |
| 5 | | | 青少年国際交流事業 | H25～H28 | 市内在住の中高校生をハワイ州に派遣し、英語環境で生活することを通して、英語に対する興味関心を更に高め、主体的に学習する機会を与え、次代を担う国際的人材を育成する。 | 中学生12人、班長として高校生(子ども会ジュニアリーダーより)2人 計14人を派遣 | 中学生12人、班長として高校生(子ども会ジュニアリーダーより)2人 計14人を派遣 | |
| 6 | | | 文化のまちづくり推進事業(豊見城市内文化財説明板設置事業) | H24～H27 | 本市に存する文化財を始めとする歴史資源の説明板を設置し、それらに対する地域住民等の理解・関心を深め、保全・継承を促すとともに、新たな文化、観光資源として活用を目指す。 | 市内文化財説明板設置(5基) | 市内文化財説明板設置件数(5基) | |
| 7 | | | 沖縄特殊戸籍システム導入事業 | H25 | 沖縄戦で滅失し、再編された仮戸籍等(紙原本)の劣化に対応するため、データベース化し磁気ディスクへ保存することで、長期保存の可能な状態にする。 | 沖縄特殊戸籍のシステム構築(電算化率100%) | 沖縄特殊戸籍のシステム構築(電算化率100%) | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| うるま市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|--------------------|---------|--|---|--|------|
| 1 | | | 企業誘致推進業務委託事業 | H24～H33 | 当市への企業立地を効果的に促進するために、国内外の経済動向分析や企業情報を収集するとともに、本県へ進出を検討している企業に対し企業誘致を働きかけていく。 | 目標企業誘致件数(2社) | 目標企業誘致件数(6社) | |
| 1 | | | コンカレントエンジニア人材養成事業 | H24～H27 | 企業立地を促進するためには、技術者などの人材養成が重要であることから、ものづくりに関する人材養成事業(コンカレント人材養成事業など)を実施する。具体的には、製造業の技術者を育成する人材養成事業、事業化の可能性を検証する実現事業、さらに県内外企業との事業連携を図るネットワーク事業を行いものづくりのすそ野を拡大する事業を展開する。 | 製造業技術者人材育成数(32人) | 製造業技術者人材育成数(47人) | |
| 1 | | | 中城湾港新港地区物流促進支援事業 | H24～H27 | 中城湾港新港地区の国際物流拠点産業集積地域としての基盤構築と定期船就航実現を図るため、新たな物流システムの構築及び貨物集積の仕組みづくりを実施する。具体的には昨年度、抽出した「集荷・配送・混載・保税・動産担保融資などの機能を有する高機能施設及びICD(内陸コンテナターミナル)を有する商業港としての発展」、「自動車・建機のローローターミナル、フェリーターミナルとしての発展」を具現化するための調査を行う。 | 物流貨物集積計画策定の中心となる物流高機能施設及びローローターミナル等の整備に向けた重点課題の抽出及び対策の検討 | 物流貨物集積計画策定の中心となる物流高機能施設及びローローターミナル等の整備に向けた現状認識及び課題抽出 | |
| 1 | | | 商品開発プロモーション事業 | H25～H27 | 市内中小企業の商品開発の強化及び販路拡大を図るため、県内外をはじめ中国・台湾などにおける市産品の物産展やアンテナショップ事業を実施する。また、本市の豊かな農畜水産物を活かし、農商工連携による6次産業化を推進するため、戦略的な商品開発と販路拡大に取り組む。さらに開発商品及び食のグルメなどのプロモーション活動を展開していく。 | 物産展等売上額(600万円) 商品開発数(5品) 商品展示商談会参加数(5社) グルメ等販売数(15,000食) | 物産展等売上額(930万円) 商品開発数(6品) 商品展示商談会参加数(9社) グルメ等販売数(4,852食) | |
| 1 | | | うるま市人材育成産業拠点整備調査事業 | H25 | グローバルに活躍する高度な人材を育成することを目的とした人材育成拠点を整備するために、旧学校施設等の公共施設の利活用について、施設利用の可能性と運営方法について調査研究し、さらに、民間資金も活用した人材育成拠点整備の可能性を含めた調査研究を実施する。 | IT人材育成拠点整備に係る可能性調査の実施 | IT人材育成拠点整備に係る可能性調査の実施 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| うるま市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|----------------------|---------|---|---|---|------|
| 1 | | | EV自動車コミュニティ構築事業 | H25～H27 | 中城湾港新港地区では、エンジニア養成事業を通じて多くの企業間の連携により小型EV及びコンバートEVを製造するなど、新たな成果を納めている。 「うるま市EV普及促進委員会」(仮称)を設立し、EVを本地域で製造・普及させるため調査を実施し、そのニーズを把握するための社会実験も合わせて実施することにより、ローカルニッチの新たなビジネスモデルの構築を目指す。 | EV普及のための調査の実施 啓発のためのシボジウム開催(1回) | EV普及のための調査の実施 啓発のためのシボジウム開催(1回) | |
| 2 | | | うるま市地域雇用人材育成事業 | H24～H33 | 当市の厳しい雇用情勢を踏まえ、市内における雇用及び就業機会を創出するため、未就職卒業者を含む失業者に対して、民間企業との連携による人材育成(OJT等)を実施する。 | H25年度当該事業における新規雇用量(100人) | H25年度当該事業における新規雇用量(100人) | |
| 2 | | | 街角コンタクトセンター設置運営事業 | H24～H33 | 雇用の拡大を図るため、街角コンタクトセンターを設置し、相談員による就業相談、中小企業等の事業主に対する各種支援制度の案内、求人・求職等の情報提供、就業者のスキル向上のための交流事業等を実施するとともに、FM放送局などを活用した求職情報等の発信を実施する。 | 年間利用者数(4,100人) 年間相談件数(1,400件) | 年間利用者数(9,500人) 年間相談件数(1,383件) | |
| 2 | | | うるま市グッジョブ連携推進事業 | H25～H33 | 将来のまちづくりの担い手となる児童生徒の勤労観・職業観と学校をはじめ地域全体の連携による雇用問題の解決や就業意識の向上を図るため、ジョブシャドウイングをはじめとするキャリア教育を実施する。 | キャリア教育受講者数(1,000人) | キャリア教育受講者数(1,443人) | |
| 3 | | | 観光商品開発流通促進事業 | H24～H33 | 地域特性や地域資源を生かした観光振興・地域活性化を図るため、リゾートウェディングをはじめとする観光商品の企画運営等を行うとともに、「世界遺産勝連城跡」や自然・伝統芸能をはじめとした歴史・文化素材を活用し観光商品を開発する。 | リゾートウェディング商品参加者数(20組) 感動産業商品参加者数(300名) 新規着地型観光商品開発数(3商品) 新・観光スポット創造(1ヶ所) | リゾートウェディング商品参加者数(0組) 感動産業商品参加者数(121名) 新規着地型観光商品開発数(12商品) 新・観光スポット創造(未実施) | 未 |
| 3 | | | うまんちゅ健康文化交流広場整備事業 | H24～H25 | 観光地としての魅力を県内外向けにPRし、効果的な観光誘客を図るため、雑誌やテレビなどのメディアを有効活用した観光情報発信等による観光誘客を実施する。 | 観光情報コンテンツの作成件数 5件 | - | 繰 |
| 3 | | | メディア活用による戦略的観光誘客促進事業 | H25～H28 | 観光地としての魅力を県内外にPRし、効果的な観光誘客を図るため、雑誌やテレビなどのメディアを有効活用した観光情報発信等による観光誘客を実施する。 | 観光情報コンテンツの作成件数(5件) | 観光情報コンテンツの作成件数(7件) | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| うるま市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|----------------------------|---------|--|--|---|------|
| 3 | | | うるま発！冬季観光誘客促進イベント創出支援事業 | H25～H29 | 冬季における新たな観光誘客を図るため、沖縄文化を象徴するチャンプルー文化を進化させ、新しい文化産業の確立を目指した、文化芸能イベント開催への支援を行う。 | 来場者総数(3,000人) うるま市外来場者数(500人) 市内団体出演数(3組) | 来場者総数(2,500人) うるま市外来場者数(1,725人) 市内団体出演数(3組) | |
| 3 | | | ゆいゆいウォーク事業(環金武湾ウォーキングフェスタ) | H25～H33 | 「健康長寿」と「観光振興」を結びつけた地域活性化の観点から、県内外のウォーカーが集い交流する「環金武湾ウォーキングフェスタ」による西海岸リゾート地域との差別化を図ってきた。プロモーション等による新たな参加者を掘り起し、参加人数を増やすことにより、観光振興及び地域資源の知名度の向上を目指す。 | ゆいゆいウォーキング目標参加人数(2,000人) | ゆいゆいウォーキング目標参加人数(1,420人) | |
| 4 | | | 勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業 | H24～H31 | 世界遺産として登録されている勝連城跡は、毎年多くの観光客が来場するものの、周辺施設の整備が不十分であることから観光消費及び地域活性化につながっていない状況にある。そこで、勝連城跡の世界遺産としての価値を保全しつつ、文化を軸とした観光振興を図るため、体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点の整備を実施する。 | 文化観光拠点整備に向けた基本設計基礎調査 | 文化観光拠点整備に向けた基本設計基礎調査の完了 | |
| 4 | | | 生涯学習・文化振興拠点整備事業 | H24～H26 | 当市には、エイサーをはじめ、闘牛、ウスデーク、獅子舞、豊年祭など多種多様な伝統文化・行事が残されている。それらは、「うるま市ならでは」の地域資源であり、文化振興及び生涯学習を振興するための拠点施設を整備し、世界遺産勝連城跡を中心に、文化の薫るまちづくりを推進する。 | 生涯学習・文化振興拠点施設の建設着手(擁壁工事、敷地造成の完了) | - | 繰 |
| 4 | | | 市内文化財総合整備調査活用事業 | H24～H28 | 文化の薫り高いまちづくり推進のために、市内の歴史資産の環境整備と総合的な調査を実施する。また、その整備と調査を基に活用事業を実施し、市民に対して歴史遺産への愛着心を醸成し、市民自身が歴史遺産を再評価できる環境の構築に取り組む。 | 勝連城跡整備基本計画の調査分析、中間報告の作成 市内文化財環境整備 3箇所(石川部落事務所等(市文化財)の整備、伊計グスク昇降階段整備、仲原遺跡竪穴住居復元) 平敷屋トウバル出土品レプリカ製作数 1点 | - | 繰 |
| 4 | | | 全島獅子舞フェスティバル事業 | H24～H33 | 沖縄に伝わる獅子は旧暦の8月15日を中心に、悪霊を払い五穀豊穡と地域の繁栄を祈願する伝統文化である。全島獅子舞フェスティバルを開催し、民俗芸能としての獅子舞の保存・継承・発展に寄与するとともに、沖縄らしい新たな文化観光を構築する。 | 全島獅子舞フェスティバルの入場者数(3,200人) | 全島獅子舞フェスティバルの入場者数(3,000人) | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| うるま市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|-----------------|---------|---|--|--|------|
| 4 | | | ふるさと芸能デー事業 | H24～H33 | 伝統文化を保全・継承し、沖縄文化を軸とした付加価値の高い観光を振興するため、ふるさと芸能デーを開催する。 | ふるさと芸能デーの入場者数(1,700人) | ふるさと芸能デーの入場者数(1,735人) | |
| 4 | | | 文化施設機能強化事業 | H24～H26 | 当市の多様な伝統芸能・文化を発信し、優れた芸術文化鑑賞の機会を提供するとともに、「うるま市ならではの文化観光商品」を展開し、本市の文化観光振興を展開するため、うるま市民芸術劇場の設備を整備する。 | うるま市民芸術劇場の音響卓機能強化に係る設計及び工事 | うるま市民芸術劇場の音響卓機能強化に係る設計及び工事の完了 | |
| 4 | | | 文化施設環境整備事業 | H24～H25 | 地域芸術文化の振興を図るため、うるま市民芸術劇場の機能強化を図る。 | 市民芸術劇場外壁リニューアルに向けた設計及び工事 | 市民芸術劇場外壁リニューアルに向けた設計及び工事の完了 | |
| 4 | | | 南風原文書整理翻刻事業 | H24～H28 | 当市の文化振興、人材育成を図るため、「南風原文書」の整理、修復、デジタル化、複製本を作成するとともに翻刻を行い、生涯学習や学校教育の郷土学習教材として提供する。 | 南風原文書の翻刻件数(15冊) 事業関連の講座開催数(1回) | 南風原文書の翻刻件数(17冊) 事業関連の講座開催数(4回) | |
| 4 | | | マールン船等復元活用事業 | H24～H28 | 当市では、船大工のマールン船建造技術を指定文化財とし、伝統文化の保存・継承に取り組んできた。その結果マールン船は映画やドラマ、多くの番組に採用され、当市の広告媒体となっている。その人材を活用し、木造船(マールン船・琉球伝馬船・サバニ)を復元することで、造船技術の継承と後継者育成を図り、うるま市ならではの郷土教育の実践を推進する。 | マールン船の復元建造(1艇) 企画展の入館者数(3,000人) | マールン船の復元建造(1艇) 企画展の入館者数(未開催) | |
| 4 | | | 景観調査活用事業 | H24～H28 | 勝連城跡及びその周辺の自然・民俗文化財、具志川及び照間のい草水田、海中道路とその周辺の干潟に依存する生業・伝統行事・生物等を記録・保存し、郷土教育や観光案内に活用できる資料を発刊・提供することにより、教育及び観光の振興を図る。 | 自然標本(50点) 文化的景観等記録(2件) 講座等に伴う学校教育及び生涯学習の件数(5件) | 自然標本(200点) 文化的景観等記録(3件) 講座等に伴う学校教育及び生涯学習の件数(16件) | |
| 4 | | | 新沖縄型エンターテイメント事業 | H24～H33 | 沖縄の結婚式で行なわれる「ニービチ余興」は、ダンスやショートコント、合唱、寸劇、舞踊など様々なジャンルがあり、非常にユニークな取り組みが多い。「ニービチ余興」は沖縄独自のコンテンツであることから、沖縄の観光イベントとして開催・情報発信し、観光誘客に取り組む。 | にーびち余興王決定戦の来場者数(10,000人 予選会を含む) 予選会へのエントリー数(30組) | にーびち余興王決定戦の来場者数(推定31,000人 予選会を含む) 予選会へのエントリー数(12組 126人) | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| うるま市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|---------------------------------|---------|--|---|---|------|
| 4 | | | 文化財標柱等設置事業 | H24～H27 | 市内の文化財・旧跡等に標柱等を設置し、市民・観光客が広く活用しやすい環境を作る。 | 文化財標柱等設置数 35箇所 | - | 繰 |
| 4 | | | サイタイイ「イクムラウリウ」蔡大鼎「伊計村遊草」等調査研究事業 | H24～H26 | 「伊計村遊草(イクムラウリウ)」と著者である蔡大鼎(サイタイイ)に関する調査・研究を進め、難解な漢文体の歴史史料を現代の教育文化に活用できるようカラー複製版や翻刻解説本などを刊行することによって、伝統文化の保全・継承を図る。 | 蔡大鼎関連史料展示会の来場者数(600人) 翻刻解説本の発刊数(600冊) | 蔡大鼎関連史料展示会の来場者数(1,007人) 翻刻解説本の発刊数(600冊) | |
| 5 | | | 沖縄らしい風景づくり推進事業 | H24～H33 | 当市の多彩で美しい景観・風景を守り、潤いと癒しのある住みよい住環境の保全・創造を図るため、景観地区の指定、その指定に向けた地域検討会の開催や景観地視察等の景観・風景づくり推進に関する事業並びに次候補地区における景観資源及び地域住民の意向調査を実施する。 | 景観地区の指定(勝連南風原地区) | 景観地区の指定(未実施) | 未 |
| | | | 伊計海岸周辺環境整備事業 | H24～H25 | 伊計海岸西側付近の砂浜は、当市の貴重な観光財産であるが、台風等の高波による砂浜の浸食が進行しており、砂浜と後背地の保全措置及び、観光地としての景観を保全するため、自然石被覆護岸を整備する。 | 自然石被覆護岸工事の完了 (整備状況 高さ3.0m 延長35.0m) | - | 繰 |
| 6 | | | 島アートプロジェクト事業 | H24～H33 | 島の良さを再発見し、ゆったりとした島の空間を楽しんでもらう新たな観光スタイルの創出と島独自の地域活性化を図るため、若手芸術家や美術家、そして地元住民とのワークショップを開催し、アート(造形物、オブジェ、美術など)による島おこしを実施する。 | イベントの合計来場者数(10,000人) | イベントの合計来場者数(17,597人) | |
| 6 | | | 津堅・島おこし支援事業 | H24～H26 | 津堅島において、安心して暮らせる島づくりを推進するために、ワークショップを開催し、地域資源を活用した島民主体の地域おこしに繋げていく仕掛けづくりとサポートを実施する。 平成25年度は、平成24年度事業により提示された課題などについて、引き続き住民が主体として取り組める仕組みづくりなどへの支援を行った。 | 住民WS参加人数(延べ45人) 清掃活動イベントの参加人数(200人) | 住民WS参加人数(延べ72人) 清掃活動イベントの参加人数(150人) | |
| 7 | | | 具志川野球場及び周辺環境整備事業 | H24～H25 | 韓国プロ野球SKワイパズの本拠地である具志川野球場は、オープン戦や交流戦等の開催条件が整備されていない状況であるため、内外野芝生張替など施設の機能強化を実施する。 | 具志川外野芝生張替工事(9,200㎡) (スポーツ施設に適したティフトン芝への張替) | 具志川外野芝生張替工事(9,730㎡) (スポーツ施設に適したティフトン芝への張替) | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| うるま市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|---|----------------------|---------|---|--|---|-------------|------|
| 8 | ① | 農水産業振興戦略構築及び拠点施設整備事業 | H24～H26 | 当市は第1次産業が盛んな地域である。地域特性を發揮し、農水産業の6次産業化を推進するため、マーケットや複合施設の運営等に精通している民間事業者等と連携し、農水産業の戦略的展開を構築するとともに、豊かな農水産物の加工・流通施設、直売所及びレストラン等を併せ持つ複合施設を整備する。 | ①農家・漁家などの参画による基本設計の作成 ②施設運営に関わる人材の発掘 ③物件補償 2件 ④用地取得 13,206㎡ | - | 繰 | |
| 10 | ① | 小学校外国人英語助手派遣事業 | H24～H33 | 国際性豊かな地域振興に向け、国際的視野を持ち外国語によるコミュニケーション能力を備えた人材育成を図るため、小学校に外国人英語助手の派遣を実施する。 | 「英語が楽しい」と回答した児童生徒の割合(65%) | 「英語が楽しい」と回答した児童生徒の割合(96%) | ◎ | |
| 10 | ② | 中学校外国人英語助手派遣事業 | H24～H33 | 国際性豊かな地域振興に向け、国際的視野を持ち外国語によるコミュニケーション能力を備えた人材育成を図るため、中学校に外国人英語助手の派遣を実施する。 | 英語検定5級から準2級の合格者(170人) | 英語検定5級から準2級の合格者(393人) | ◎ | |
| 11 | ① | 小学校学力向上対策推進事業 | H24～H33 | 小学校児童に対して、基礎学力の向上を図るため、学習支援員を配置し学習支援を実施する。 | 沖縄県学力向上到達度調査 国語・算数の平均正答率30%未満の割合(沖縄県との差) -2.0(3年) -2.0(5年) | 沖縄県学力向上到達度調査 国語・算数の平均正答率30%未満の割合(沖縄県との差) -0.7(3年) 1.6(5年) | 未 | |
| 11 | ② | 中学校学力向上対策推進事業 | H24～H33 | 中学校の生徒に対して、学習の基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着等を図るため、学習支援員を配置し、学習支援を実施する。 | 沖縄県の平均点との差(中学校数学A - 1.0) ※ 正答率との差 | 沖縄県の平均点との差(中学校数学A - 0.3) ※ 正答率との差 | ◎ | |
| 11 | ③ | 島しょ地域小学校基礎学力向上対策事業 | H24～H28 | 平成24年度より島しょ地域の小規模校の小中学校が統合し、複式学級から単式学級での授業が可能になった。基礎・基本の確実な定着を図るため、非常勤講師を配置し児童の学習支援を実施する。 | 支援児童生徒数(114人) | 支援児童生徒数(114人) | ◎ | |
| 11 | ④ | 島しょ地域中学校基礎学力向上対策事業 | H24～H28 | 平成24年度より島しょ地域の小規模校の小中学校が統合し、複式学級から単式学級での授業が可能になった。基礎・基本の確実な定着を図るため、非常勤講師を配置し生徒の学習支援を実施する。 | 支援児童生徒数(68人) | 支援児童生徒数(68人) | ◎ | |
| 12 | ① | きむたかこどもセンター建設事業 | H24～H25 | 地域の中で安心して子どもを育てることができる環境づくりを目指すために、地域特性を活かした伝統芸能・文化を基調とした施設整備を実施し、児童健全育成を図る。 | きむたかこどもセンター建設の完了 | - | 繰 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| うるま市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|----------------------|---------|---|--|--|------|
| 12 | | | 気になる子巡回相談事業 | H24～H33 | 公立・法人・認可外保育施設における「気になる子」への保育の充実ときめ細かい対応を図るため、臨床心理士・認定心理士・保健師等の専門指導員を配置し、相談・支援を行う。 | 巡回相談実施施設数(延数) 75園 (園訪問含む) 研修参加者の理解度(70%) | 巡回相談実施施設数(延数) 91園 (園訪問含む) 研修参加者の理解度(97%) | |
| 12 | | | 放課後児童クラブ支援事業 | H24～H28 | 放課後児童クラブ運営の適正化や指導員の資質向上を図るため、運営に関する専門員と保育に関する専門員を担当課に配置し、市学童連絡協議会や学校などと連携し、子育てネットワークの形成を図る。 | 学童クラブ指導員等研修会 参加人数(175人) | 学童クラブ指導員等研修会 参加人数(444人) | |
| 12 | | | 母子生活支援モデル事業 | H25～H29 | 母子保護が必要な母子家庭の中でも自立する意欲のある家庭に対し、民間アパート等の居室を提供し、一定期の就労や児童の学習支援等を行い自立に向け支援する。 | 就労スキルアップ講座資格取得者(2人) 学習支援後の学習理解度向上(70%) (対象児童アンケート実施) | 就労スキルアップ講座資格取得者(0人) 学習支援後の学習理解度向上(83%) (対象児童アンケート実施) | |
| 13 | | | 問題を抱える子ども達の自立支援員配置事業 | H24～H28 | 問題を抱える児童生徒に対して未然防止、早期発見、早期対応に取り組み、学校復帰や立ち直りに向けた支援や指導を行う。また、学校の生徒指導係と連携し、校内でのいじめ、暴力行為、授業は受けず徘徊している生徒等への声かけや指導を行う。 | 問題を抱える生徒に対する相談及び支援の件数(800件) | 問題を抱える生徒に対する相談及び支援の件数(565件) | |
| 13 | | | 中学校教育指導推進事業 | H24～H28 | 教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を有するスクールソーシャルワーカーを活用し、問題を抱えた生徒に対し、当該生徒が置かれた環境へ働きかけたり、関係機関等とのネットワークを活用したりするなど、多様な支援方法を用いて課題解決への対応を図っていく。 | 問題を抱える生徒に対する相談及び支援延べ件数(2,000件) | 問題を抱える生徒に対する相談及び支援延べ件数(2,491件) | |
| 13 | | | 教育相談事業 | H24～H28 | 教育相談室に嘱託員を配置し、市内の幼稚園及び小中学校の幼児児童生徒の不登校や教育上の問題や悩みの相談に対応する。 | 教育相談の件数(1,400件) | 教育相談の件数(1,665件) | |
| 13 | | | 適応指導教室事業 | H24～H28 | うるま市立小・中学校に在籍する心理的・情緒的要因による不登校児童生徒に対して、個々の状態に応じた指導支援を行い、人間関係の改善を図るとともに、自立心を高め社会性を身につけさせ、学校適応を促進するため、適応指導教室を実施し支援する。 | チャレンジ登校できた割合(80%) 【参考指標】 チャレンジ登校できた人数6 / 7人 | チャレンジ登校できた割合(43%) 【参考指標】 チャレンジ登校できた人数3 / 7人 | 未 |
| 14 | | | 防災避難通路整備事業 | H24～H27 | 当市は沖縄本島内の市町村で最も長い海岸線を有しており、低地帯地域に居住する市民や企業等、また多くの観光客の安全・安心を確保するため、防災避難通路を整備し、きめ細かな防災基盤を構築する。 | 防災避難通路整備(3地区(4路線))に係る用地買収及び建設工事の完了 避難通路の整備率 40% | - | 繰 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| うるま市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|-------------------|---------|--|---|---|------|
| 14 | | | 津波対策緊急事業 | H25～H26 | 東日本大震災以降、全国的に津波災害対策が取り組まれている中、当市においても低地帯地域に居住する市民や企業をはじめ、観光で訪れた多くの観光客が津波災害発生時に円滑な避難行動が行えるよう「津波対策緊急事業計画」に基づく海拔表示板等の設置を実施する。 | 海拔30m以下の地域への海拔表示板設置率(75%) 海拔30m以上の地域への海拔表示板設置率(25%) 海拔30m以下の地域への避難誘導看板の設置率(96%) 海拔30m以上の地域への避難誘導看板の設置率(4%) | 海拔30m以下の地域への海拔表示板設置率(74%) 海拔30m以上の地域への海拔表示板設置率(26%) 海拔30m以下の地域への避難誘導看板の設置率(95%) 海拔30m以上の地域への避難誘導看板の設置率(5%) | |
| 14 | | | 防災倉庫等整備事業 | H25～H29 | 当市は沖縄本島中部東海岸に位置し東に金武湾、南に中城湾に接しているほか、東南に伸びる半島部の海上には有人5島があり、風光明媚な自然景観と観光資源が残されており観光客も多く訪れる。本事業は、大規模災害等に備え、市民や観光客等の生命と身体、財産の安全性を確保するため、市内に防災倉庫(防災資機材や備蓄食糧等を備蓄する。)を整備し防災活動基盤を構築する。 | 防災倉庫の整備率 29% 防災倉庫整備数 / 市内17箇所 備蓄品の整備率 非常用毛布と非常用タオルの整備率 20% 備蓄食料と備蓄飲料水の整備率 20% 非常用毛布・非常用タオル整備数 / 各5,000枚 備蓄食糧の整備数 / 50,000食 備蓄飲料水の整備数 / 50,000本 | - | 繰 |
| 14 | | | うるま市自主防災組織資機材整備事業 | H25～H33 | 観光立県である本県の自主防災組織活動カバー率は全国平均75.8%に対し、8.9%と全国最低水準となっており、防災体制の充実を図る必要がある。 市民や地理的情報に乏しい観光客の避難支援情報提供所としても機能する自主防災組織に対し資機材整備等の支援を実施する。 | 自主防災組織4団体への防災資機材整備率 栄野比自主防災会 100% 宮城地区自主防災会 100% 新赤道自主防災会 100% 塩屋自主防災会 100% | 自主防災組織4団体への防災資機材整備率 栄野比自主防災会 100% 宮城地区自主防災会 100% 新赤道自主防災会 100% 塩屋自主防災会 100% | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 宮古島市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|-----------------|---------|--|---|----------------------------|------|
| 1 | | | 緊急物資備蓄事業 | H24～H27 | 災害時の市民の生活を支援するため、緊急物資の備蓄を行う。 | 非常食、飲料水等 約2,000人×3日分の備蓄 | 非常食、飲料水等 約2,000人×3日分の備蓄 | |
| 1 | | | 海拔表示委託事業 | H24～H27 | 市民が居住地付近の標高を的確に把握し、災害時に迅速に避難出来るよう、海拔表示を市内各地区に設置する。 | 海拔表示の設置 70箇所 | 海拔表示の設置 66箇所 | |
| 1 | | | 与那覇地区防災センター整備事業 | H24～H25 | 海沿いに面した海拔の低い与那覇地区に防災センターを整備し、地域住民の災害時における避難場所を確保する。 | 避難施設の整備 避難所指定箇所数1箇所 「約400人の避難場所の確保」 | - | 繰 |
| 1 | | | 伊良部地区防災センター整備事業 | H25～H26 | 海沿いに面した海拔の低い伊良部地区(南区)住民の、災害時における避難場所としての防災センター整備に向け実施設計を委託する。 | 実施設計委託業務 | 実施設計委託業務 | |
| 1 | | | 無電柱化推進事業 | H25～H28 | 上野海岸線及び新里21号線周辺地域の無電柱化を行うことにより、台風等による電柱倒壊による道路の寸断を防ぎ、電力、通信の安定供給や信頼性の向上、景観の向上を図り、安心・安全・快適な環境を提供する。 | 実施設計委託業務 | - | 繰 |
| 1 | | | 災害活動用の空気充填機購入事業 | H25 | 本市を訪れる観光客の多くがマリンレジャーを楽しんでおり、海難事故に対する迅速な救助体制を構築することは、観光振興上非常に重要である。 また、本州から離島である沖縄本島のさらに離島である本市においては、大規模災害時等が発災した際に、本州及び沖縄本島から支援を受ける間の初動体制を構築しておく必要がある。 このような海難事故や大規模災害等の消防活動を適切に行う為、移動式空気充填機を整備する。 | 空気充填機設備の整備 | 空気充填機設備の整備 | |
| 2 | | | スポーツ観光交流拠点整備事業 | H24～H28 | 年間を通して、軽スポーツが楽しめ、地域の伝統文化に親しむことができる全天候型のスポーツ・伝統文化交流拠点施設を整備する。 | 実施設計委託業務 | 実施設計委託業務 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 宮古島市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|--------------------|---------|---|---|---|------|
| 2 | | | 熱帯植物園再生事業 | H24～H26 | 熱帯植物園の集客機能を向上させる為、遊歩道の設置と熱帯花木の植栽等を実施し、集客力のある施設として再生を図る。 | 熱帯植物園の来客数の増加50,000人 | 熱帯植物園の来客数の増加51,721人 | |
| 2 | | | 伊良部島・下地島間入江整備事業 | H24～H27 | 伊良部島・下地島間の入江を観光資源として最大限に活用するため、周辺水域の水質調査を踏まえて、入江の再生及び利活用を推進するため平成25年度は、調査測量、排水処理施設の検討を行った。 | 基本計画策定 | 調査測量 | |
| 2 | | | 宮古島市neo歴史文化ロード整備事業 | H24～H28 | 「宮古島らしさ」に特化した文化財を中心に伝説と民話に彩られたロマンあふれる散策コースを整備し、新たな観光資源として広く活用する。 平成25年度は、下地・来間地区を中心とした新規コースの策定及びコース物件の整備を行う。 | 歴史・文化ロードの整備 1)新規コースの策定2件 2)コースパンフレットの配布12,000部 3)コース案内板等の設置20基 4)文化財web公開システムの構築1件 5)物件の復元1件 | 歴史・文化ロードの整備 1)新規コースの策定2件 2)コースパンフレットの配布24,000部 3)コース案内板等の設置31基 4)文化財web公開システムの構築1件 5)物件の復元1件 | |
| 2 | | | 与那覇湾環境総合整備事業 | H24～H33 | ラムサール条約に登録された与那覇湾の利活用についての総合的な整備計画を策定し、貴重な自然環境の有効活用を図る。 | ・与那覇湾利活用基本計画策定 | ・与那覇湾利活用基本計画策定 | |
| 2 | | | ハブクラゲネット設置事業 | H24～H33 | 夏場のビーチ内で猛毒を持つハブクラゲが発生し、海水浴客が刺される被害があったことから、ハブクラゲ防止ネットを設置し、海水浴客の安全を確保する。 | ハブクラゲ刺傷被害者数 (みやこサンセットビーチ) 0人 (バイナガマビーチ) 0人 | ハブクラゲ刺傷被害者数 (みやこサンセットビーチ) 0人 (バイナガマビーチ) 0人 | |
| 2 | | | オニヒトデ駆除事業 | H24～H26 | 環境保全と観光客の安全性を確保するため、宮古島周辺に生息するオニヒトデ駆除を実施する。 | オニヒトデの駆除数9,000匹 | オニヒトデの駆除数7,617匹 | |
| 2 | | | 観光施設改修事業 | H24～H26 | 観光拠点施設である「うえのドイツ文化村」の老朽化が進み危険であるため、施設の改修を行い、観光客の安全性を確保するとともに、快適な施設利用を推進し、観光地としての宮古島のイメージアップを図っていく。 | リフレッシュパーク(プール施設)の改修の完了 | リフレッシュパーク(プール施設)の改修の完了 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 宮古島市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|---------------------|---------|--|--|--|------|
| 2 | | | 伝統工芸館整備事業 | H24～H26 | 国の無形文化財に指定されている「宮古上布」の歴史が学べ、機「八夕」を使っての織物体験ができる伝統工芸館を新たに整備する。 | 伝統工芸館外構整備 | - | 繰 |
| 2 | | | 屋外体育施設管理機械配備事業 | H25 | スポーツキャンプ受入体制の強化のため、天然芝、野球グラウンドの整備に必要な機械を購入し、年間を通して芝生とグラウンドの質向上を図る | 天然芝管理機械の導入 | 天然芝管理機械の導入 | |
| 3 | | | 観光地アクセス道路環境美化強化事業 | H24～H33 | 美しい島づくりを推進するため、観光地へのアクセス道路の環境美化を図る。 | 観光アクセス道路の環境美化路線数(33路線) | 観光アクセス道路の環境美化路線数(33路線) | |
| 3 | | | 観光地公園環境美化強化事業 | H24～H34 | 美しい島づくりを推進するため、観光地として多く利用されている4公園の環境美化を図る。 | 観光地の公園の環境美化箇所数 4箇所(東平安名崎公園・パイナガマ公園・カママ嶺公園) 定期的美化作業:月1回以上 | 観光地の公園の環境美化箇所数 4箇所(東平安名崎公園・パイナガマ公園・カママ嶺公園) 定期的美化作業:月1回以上 | |
| 3 | | | 大嶽城址公園環境整備事業 | H24～H26 | 本市で最も高台に位置する大嶽城址公園内に花木を植栽し、観光公園としての整備を図る。 | 観光地の形成(観光公園の整備) 観光公園内の花木植栽整備に係る実施設計及び植栽整備 | 実施設計 | |
| 3 | | | 花と緑のあふれる島づくり事業 | H24～H33 | 花と緑のあふれる島づくりを推進するため、花木、苗木等を安定的に供給できる施設を整備する。 | 苗畑施設の基盤強化に係る基本計画の策定(施設管理面積の確定) | 測量委託業務 | 未 |
| 3 | | | イムギャーマリンガーデン遊歩道改修事業 | H25 | 宮古島の美しい海岸線や入江を利用した海浜公園で、島内でも有数の観光地であり、遊歩道や展望台からは美しい海を見ることができ、散策にも最適である。 しかしながら平成5年の完成以来約20年が経過しているため、経年劣化の著しい遊歩道や手すり等の修復を行う為の測量設計を委託する。 | 遊歩道や手すり等修復にかかる測量設計の実施 | 歩道や手すり等修復にかかる測量設計の実施 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

[凡例]
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 宮古島市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|------------------------|---------|--|--|--|------|
| 4 | | | 誘客プロモーション事業(広告宣伝) | H24～H25 | 観光地としての情報を積極的に発信し、入域観光客数50万人を達成するため、県外の鉄道車両等への広告宣伝活動を行うとともに、日本各地の地方都市で発刊されている地方紙を活用して、観光誘客のための宣伝活動を行う。 | 【広告宣伝】 北海道・名古屋地区への広告宣伝 【新聞広告】9社 釧路新聞社・北羽新報社・庄内日報社・常陽新聞社・長野日報社・東愛知新聞社・紀伊民報社・宇部日報社・南海日日新聞社 | 【広告宣伝】 名古屋地下鉄 札幌地下鉄 JR北海道 さっぽろ雪まつり会場 【新聞広告】8社 | |
| 4 | | | 観光振興事業補助金(観光協会) | H24～H28 | 観光協会の活動を支援し、観光振興を図るため、観光協会に対し補助金を交付する。 | 誘客活動等への支援 誘客宣伝活動数 県内2回県外2回 イベント事業:1回 印刷物製作事業:宣伝ツール2回 研修事業:講習会1回 観光地浄化対策事業:3回 観光案内所パンフ送付回数:120回 調査研究事業:12回 | 誘客活動等への支援 誘客宣伝活動数 県内2回県外2回 イベント事業:1回 印刷物製作事業:宣伝ツール2回 研修事業:講習会0回 観光地浄化対策事業:1回 観光案内所パンフ送付回数:185回 調査研究事業:12回 | |
| 4 | | | 南部忠平杯グラウンド・ゴルフ宮古島大会補助金 | H24～H33 | 島外から多くの参加者が訪れる「南部忠平杯グラウンド・ゴルフ宮古島大会」の開催を支援するため、補助金を交付する。 | 南部忠平杯グラウンド・ゴルフ宮古島大会の参加者数 400人 | 南部忠平杯グラウンド・ゴルフ宮古島大会の参加者数 415人 | |
| 4 | | | エコアイランド宮古島マラソン大会補助金 | H24～H33 | 島外から多くの参加者が訪れる「エコアイランド宮古島マラソン大会」の開催を支援するため、補助金を交付する。 | エコアイランド宮古島大会の参加者数 1,000人 | エコアイランド宮古島大会の参加者数 1,261人 | |
| 4 | | | サニツ浜カーニバル補助金 | H24～H33 | 夏期シーズンのイベントとして定着している「サニツ浜カーニバル」の開催を支援するため、補助金を交付する。 | サニツ浜カーニバル参加者数 1,500人 | サニツ浜カーニバル参加者数 1,256人 | |
| 4 | | | 宮古島100kmワイドマラソン大会補助金 | H24～H33 | 島外から多くの参加者が訪れる「宮古島ワイドマラソン大会」の開催の支援をするため、補助金を交付する。 | 宮古島100kmワイドマラソン大会の参加者数 1300人 | 宮古島100kmワイドマラソン大会の参加者数 1,317人 | |
| 4 | | | 宮古島物産展開催事業 | H25 | 地域の特産品を取り扱う業者をとりまとめ、東京三越本店にて「宮古島フェストと【物産展】」を開催する。 | イベント開催による来場者数 5,000人 | イベント開催による来場者数 1,300人 | 未 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 宮古島市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|-----------------------|---------|--|---|---|------|
| 4 | | | 宮古島フラダンス全国大会支援事業 | H25 | 観光客の誘致拡大や地域経済の活性化を図るため、フラダンス全国大会の開催を支援する。 | 来場者数 1,200人 | 来場者数 1,500人 | |
| 4 | | | 観光プロモーション事業 | H25～H26 | 県内外へ観光地としての情報を積極的に発信し、観光入域客数の増加を図るため、本市の観光情報を効果的に発信できるWEBサイトの制作と誘客活動に必要なプロモーションビデオを制作し、より効果的な観光プロモーションを展開する。 | 観光プロモーションビデオの制作(多言語版) 観光WEBサイトの構築(多言語版) | 観光プロモーションビデオの制作(多言語版) 観光WEBサイトの構築(多言語版) | |
| 5 | | | エコアイランド宮古島周遊エコツアー整備事業 | H24～H25 | 本市のエコ関連施設において、観光客や市民等が設備を見学できる設備を整備し観光振興を図る。 | メガソーラー展望施設の整備 PR館(仮称)の整備 | - | 繰 |
| 5 | | | バイオエタノール高効率製造・流通事業 | H24～H28 | 本市の基幹作物であるサトウキビのカスケード利用を通じた循環型社会の構築及び沖縄産バイオエタノールの事業化を目指す。 | バイオエタノールの製造 | - | 繰 |
| 5 | | | 観光産業連携型低炭素モデル事業 | H25 | 観光産業連携型低炭素モデル事業 | 第30回全日本トライアスロン大会におけるカーボンオフセットの実施に係る資金調達を含めたパッケージ化の調査・検討を実施。 カーボンオフセットについて、音楽イベント等のスポーツ以外のイベントに係る波及について調査・検討を実施。 すまエコ事業におけるCO2削減量の把握及び削減インセンティブについて調査・検討を実施。 | 第30回全日本トライアスロン大会におけるカーボンオフセットの実施に係る資金調達を含めたパッケージ化の調査・検討を実施。 カーボンオフセットについて、音楽イベント等のスポーツ以外のイベントに係る波及について調査・検討を実施。 すまエコ事業におけるCO2削減量の把握及び削減インセンティブについて調査・検討を実施。 | |
| 6 | | | ヤソ防除事業 | H24～H28 | さとうきびを野その被害から守るため、地上防除及び航空防除を実施する。 | ヤソ被害からの防除 1)航空防除 宮古島・伊良部島 2)地上防除 池間島 | ヤソ被害からの防除 1)航空防除 宮古島一円(池間島、伊良部島含む) 2)地上防除 宮古島一円(池間島、伊良部島含む) | |
| 6 | | | さとうきび病害虫防除用農薬購入補助事業 | H25～H25 | さとうきび病害虫の被害を防止することを目的に、新たな農薬を用いた防除体系を確立し、生産性の向上を図るため、生産農家を対象に農薬購入補助を行う。 | 【防除面積】 3,447ha 【実施地区】 宮古島市全域 | 【防除面積】 2,700ha 【実施地区】 宮古島市全域 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

[凡例]
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 宮古島市 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|-------------------|---------|--|--------------------------------------|--------------------------------------|------|
| 6 | 生鮮水産物流通条件不利性解消事業 | H24～H33 | 離島という地理的事情から生じる流通条件の不利性を解消し、水産業の活性化を図るため、宮古島市に在する漁業協同組合(宮古島漁業協同組合、伊良部漁協同組合、池間漁業協同組合)が沖縄本島へ出荷する生鮮水産物の空路輸送料金に対し、補助金を交付する。 | 沖縄本島への生鮮水産物の出荷250トン | 沖縄本島への生鮮水産物の出荷13.8トン | 未 |
| 6 | 資源循環型農業推進事業 | H25～H26 | 本市は、資源リサイクルセンターにおいて、家畜糞尿や枝葉等を利用して有機質肥料を製造し、農地へ還元するとともに化学肥料の低減や地下水の保全につなげている。しかし、宮古島市内で発生する堆肥化原料量に対し、既存の発酵槽では処理能力が十分ではないため、処理能力を上げるため発酵プラントを増設し、施設の機能強化を図る。 | 生活環境影響調査報告書の作成 | 生活環境影響調査報告書の作成 | |
| 7 | 子育て環境整備事業 | H25 | 地域の子供達に健全な遊びを与え、健康増進と情操を豊かにすることを目的として児童館建設にかかる設計業務を委託する。 | 児童館建設のための実施設計の完了 | - | 繰 |
| 8 | 「結いの島」推進事業 | H24～H26 | 伊良部島及び大神島において定期航路や定期航路時間外に宮古本島の病院へ移送を要する急患が発生した場合、定期船及び備船による搬送を行う。 | 急患搬送体制の安定確保 | 急患搬送体制の安定確保 | |
| 9 | スクールソーシャルワーカー活用事業 | H24～H33 | 本市児童生徒の個々に応じた支援の充実に向けて、スクールソーシャルワーカーを教育委員会に配置し、学校からの要請に応じて、学校及び対象児童生徒などを訪問し、保護者を交えた相談活動を通しニーズを把握した上で、学校、関係機関、地域の協力者等と連携・協働しながら、同児童生徒の生活環境改善のための支援を行う。 | スクールソーシャルワーカー配置数 小中学校4人 (校区別) | スクールソーシャルワーカー配置数 小中学校4人 (校区別) | |
| 9 | 問題行動等学習支援者配置事業 | H24～H33 | 本市の不良行為や不登校等の問題を抱えた児童生徒への適切な指導・支援の取り組み強化に向けて、問題行動等学習支援者を対象児童生徒の在籍する学校に配置する。 | 問題行動等学習支援者配置数 中学校3人 | 問題行動等学習支援者配置数 中学校3人 | |
| 9 | 選手派遣補助金交付事業 | H24～H33 | 本市児童生徒のスポーツ・文化活動において、地区選抜代表選手として、県大会や全国大会への派遣旅費について補助を行う。 | 大会等派遣児童生徒数 :小学校756人 :中学校1,239人 | 大会等派遣児童生徒数 :小学校680人 :中学校1,082人 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「 - 」

| 宮古島市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|---------------|---------|---|--|--|------|
| 9 | | | 宮古島市こども劇団設立事業 | H24～H33 | こども劇団を設立し、演技を通して児童生徒の人格形成を図りながらコミュニケーション能力を高め、社会性を理解する力を育むと共に、オリジナル作品を発表し、宮古島を表現することで、地域のアイデンティティを共有し、地域の誇りを伝承する礎とする。 | オリジナル創作劇の発表会の入場者数 800 | オリジナル創作劇の発表会の入場者数 988 | |
| 10 | | | 地下水保全事業 | H24～H26 | 本市の水道水源流域のうち、最も重要な白川田・東添道地下水流域は、その北側において隣接する他の地下水流域との境界が不明瞭であるので、電気探査・ボーリング調査等を実施し、厳正な地下水保全を図るべき地域を明らかにする。また、これにより地下水の流域面積が明らかになり、そこでの地下水貯水量を正確に推定するため、降水の何%が地下水になるのかを明らかにするための蒸発散量調査も併せて行う。これらの流域保全調査が完了した後、水道水源保全地域であることを示し地下水保全を呼びかける啓発のための表示版を設置する。 | 第3次宮古島市地下水利用基本計画改定案の策定 | 第3次宮古島市地下水利用基本計画改定案の策定 | |
| 11 | | | 博物館図録等作成事業 | H24～H28 | 本市の博物館には、約8,000点に及ぶ資料が収蔵されており、資料の幅広い活用を図るため収蔵資料を整理しデータベース化、デジタル化し図録を作成する。 | 目録等作成500部 データベースの整備率40% | 目録等作成300部 データベースの整備率40% | |
| 11 | | | 地域色豊かな精神事業 | H25 | 本市特有の御嶽を、島内外に発信しながら観光資源としての活用を図り博物館の機能を強化する。 | 宮古の代表的な御嶽を30箇所映像と音声で紹介するための、御嶽映像コンテンツの制作完了 | 宮古の代表的な御嶽を30箇所映像と音声で紹介するための、御嶽映像コンテンツの制作完了 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 南城市 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|---------------------------|---------|---|--|--|------|
| 1 | 観光物産拠点整備強化事業 | H24～H25 | 物産館整備に伴い、多くの観光客等の来訪者が予想されるが、既存の駐車場においては、駐車スペースが手狭なため、駐車場の拡張等を行う。 | 地域物産館駐車場整備拡張工事の実施・完了 | 地域物産館駐車場整備拡張工事の実施・完了 | |
| | 市域景観形成強化事業 | H24～H26 | 魅力的な観光地、まちづくりを形成するため、市内の道路・歩道のカラー舗装、コンクリート吹付等の工法用いて、市道の景観形成を行う。また周辺の空きスペース等には地域住民による色彩豊かな花の植栽等の緑化活動を実施する。 | 市道植栽帯防草工事実施 整備路線2か所(整備延長 L=0.8Km) | 市道植栽帯防草工事実施 整備路線2か所(整備延長 L=0.8Km) | |
| | 海外移住者子弟研修・国際交流推進事業 | H24～H25 | 本市と移住国との国際交流を推進するため、本市出身の海外移住者子弟の研修生を受け入れ、本市の文化・伝統・各種技術等の研修や研修生と市内小中学校との交流授業を行う。 | 海外移住者子弟の研修生受入実施 ・アルゼンチン共和国研修生1名受入 | アルゼンチン共和国研修生1名受入 | |
| | 世界遺産「斎場御嶽」周辺整備事業 | H24～H26 | 散策道、木製階段等を整備し広く一般公開することにより、世界遺産「斎場御嶽」の更なる魅力を伝え、観光客等誘致促進を図る。 | 世界遺産「斎場御嶽」周辺整備 ・遺構検出及び測量 ・土質及び地下水調査 | 世界遺産「斎場御嶽」周辺整備 ・遺構検出及び測量 ・土質及び地下水調査 | |
| | なんじょうハートプロジェクト推進事業 | H24～H25 | 地域資源を活かした南城市のイメージアップを図るため、南城市の地形である「ハート」を一体的に捉えたまちづくり、市キャラクター「なんじい」を活用したグッズ等による観光PR等を実施する。 | ・商品パッケージの開発(2品目以上) ・PRグッズ等の制作(3点以上) ・PRイベントへの誘客(3,000人以上) ・ラッピングカーでの出動回数(10回以上) | ・商品パッケージの開発(3品) ・PRグッズ等の制作及び配布(8点) ・PRイベントへの誘客(19,500人) ・ラッピングカーでの出動回数(76回) | |
| | 南城ツーリズム「元気を取り戻す旅」誘客モニター事業 | H24～H25 | 本市の特徴を活かしたメンタルヘルス対応の社員研修のモニターツアーを行い、体験滞在交流型観光を推進する。 | モニターツアー実施 1回 (県外企業の社員20名受入) | モニターツアー実施 3回 (県外企業の社員60名受入) | |
| | 尚巴志関連展開調査事業 | H24～H25 | 観光客等の誘客を促進するため、琉球王国を興した尚巴志に関連する事業展開の可能性やその戦略についての調査研究を行い、尚巴志関連事業展開基本プランを確立する。 | 尚巴志関連事業の展開可能性調査を踏まえた基本プランの策定 | - | 繰 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 南城市 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|-------------------------|---------|---|---|--|------|
| 事業番号 | 事業名 | | | | | |
| | スポーツツーリズム推進事業 | H24～H26 | 本市陸上競技場はスポーツキャンプ等が数多く開催されており、観光客等の誘客促進及び青少年の健全育成を図るため、天然芝の良質な状態を保持を図り、芝生管理を図るための人材を育成する。 また、透水性の乏しい芝生フィールドの排水設備整備を行い、スポーツキャンプ受入れに適した施設整備を行う。 | 芝生維持管理に精通した人材の育成 フィールド内暗渠排水整備 | 芝生維持管理に精通した人材の育成 1名 フィールド内暗渠排水整備 1件 | |
| | 観光交流・防災機能拠点整備事業(ムラヤー構想) | H25 | 住民と観光客との交流拠点や防災拠点施設としての利用、伝統芸能継承、青年会活動などの多様な活動を推進するため、観光交流・防災機能拠点の整備を行う。 | 観光交流拠点施設の実施設設計及び整備工事 | - | 繰 |
| | 観光交流サイン整備事業 | H25～H29 | 来訪者にとってわかりやすい誘導案内や周辺案内、解説板、名称板等のサインを整備することにより、スムーズな案内誘導を進めるとともに都市景観の向上や、歴史文化遺産の顕在化と魅力の充実、市民と来訪者との交流促進、観光の振興を図る。 | 各字調査(63字) 整備計画書の策定 道路愛称選考委員会の設置 道路愛称の決定 観光案内板の整備:20ヶ所 | 各字調査(63字) 整備計画書の策定 道路愛称選考委員会の設置 道路愛称の決定 観光案内板の整備:22ヶ所 | |
| | 奥武島体験交流施設整備事業 | H25 | 漁業が盛んな玉城奥武島に体験交流施設及び農水産物直売店を整備し、島の豊かな自然を活かした体験プログラムを実施し、観光客等の誘客促進及び島の活性化を図る。 | 奥武島体験交流施設の建設 | - | 繰 |
| | デマンド交通実証実験事業 | H24～H27 | デマンド交通の運行実施計画案(H24策定)に沿って、試験運行(H25～H27年度)を実施しながら、必要車両台数、運行時間の分析と既存交通機関との連携等について検討し、南城市型の交通システムの確立を図る。 | ・地域公共交通会議の開催(3回) ・運行管理システムの構築 ・試験運行の実施 (登録者数:830人 延べ利用者数:100人/日) | ・地域公共交通会議の開催(3回) ・運行管理システムの構築 ・試験運行の実施 (登録者数:1,144人 延べ利用者数:57.8人/日) | |
| | 南城市観光誘客対策事業(お新下り活用事業) | H25 | 平成24年度に南城市まつりで実施したお新下り再現事業の備品等(衣装・道具類)を活用し、県外での観光客の誘客及び南城市特産品の販売促進を図る。 | 聞得大君お新下り～古の島祈りのしま琉球～公演来場者数 500名 | 聞得大君お新下り～古の島祈りのしま琉球～公演来場者数 450名 | |
| | 第二次コミュニティFM放送施設整備事業 | H24～H25 | 南城市では、平成24年度に総合防災情報を補完するとともに観光客等へ防災情報等を伝達するため、コミュニティFM放送の施設整備を行ったが、一部地域で電波の不感地域があることから、これを解消するため、市内全域の電波調査及び解消工事を実施する。 | 市内の電波受信可能エリア 95% | - | 繰 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 南城市 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|----------------------|---------|--|---|---|------|
| | 南城市ハーブフェスティバル観光客誘客事業 | H25 | 南城市はハーブの一種である「ウコン」の発祥地であり、ハーブを活用した健康食品製造業者も存在します。今年の11月22日に「第21回全国ハーブサミット南城市大会」を開催することが決定しており、南城市では11月22日から24日までの3日間、「南城市ハーブフェスティバル」を同時開催します。期間中の観光客の更なる誘客を図り、県内外に南城市のハーブ産業をPRする目的でイベントを開催する。沖縄県内では初めてとなる「プロジェクションマッピング」の開催と、「高輝度蓄光材料」を使用して幻想的な空間の演出を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・期間中の観光客誘客総数：1万人 ・南城市のハーブ産業のPR (新聞告知、ラジオ出演、チラシ配布) ・「プロジェクションマッピング」や「高輝度蓄光材料」を使用したハーブPRイベントの開催 | <ul style="list-style-type: none"> ・期間中の観光客誘客総数：15,725人 ・南城市のハーブ産業のPR (新聞告知、ラジオ出演、チラシ配布) ・「プロジェクションマッピング」や「高輝度蓄光材料」を使用したハーブPRイベントの開催 | |
| | 観光振興将来拠点地整備事業 | H25～H28 | 本県南部地域及び本市の体験交流・滞在型観光の促進等、新たな観光振興に向け、空港や沖縄自動車道、那覇市からの交通アクセスが大きく改善される南部東道路IC周辺地において、公共駐車場や観光情報施設、台風等の災害時における、観光外来者等の避難の為に防災センターの整備を行うと共に、民間の観光施設(宿泊施設・レンタカー営業所等)の誘致、各種イベント等との連携を強化し、観光交流拠点の形成を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本設計業務(測量、地質調査、環境調査)の実施 ・用地取得(15,000㎡)の実施 | - | 繰 |
| 2 | 雇用サポートセンター就労支援事業 | H24～H25 | 新たな雇用の機会を創設するため、就労を希望する市民を人材として登録し、人手不足に悩む農家や事務所等に人材情報を提供する。 | 雇用創出サポートセンター登録数(100人) | 雇用創出サポートセンター登録数(150人) | |
| 3 | 平和発信プロジェクト事業 | H24～H28 | 戦後68年が経過し、沖縄戦の記憶が薄れていく中、改めて市民一人ひとりが平和や命の大切さを考える機会とするため、南城市独自の平和の日を制定し、講演会、コンサート等を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・講演会参加者数 400名 ・映写会参加者数 300名 | <ul style="list-style-type: none"> ・講演会参加者数 431名 ・映写会参加者数 292名 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 南城市 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--------------------------|---------|---|--|--|------|
| | 系数壕平和学習施設整備事業 | H25 | 系数アブチラガマとは、沖縄本島南部の南城市玉城字系数にある全長270mの自然洞窟(ガマ)で、沖縄戦当時、系数集落の避難指定壕であった。戦場が南下するにつれて南風原陸軍病院の分室となり、軍医、看護婦、ひめゆり学徒隊が配属され、600人以上の負傷兵で埋め尽くされた。現在は、平和学習の場として利用され年間約11万人余の修学旅行生等が訪れているが、壕内では、天井からの漏水、壁底面からの流入水等がある。また、手摺の腐敗や劣化が起きていることから、早急に見学者の安全対策の強化及び対策を図る必要がある。 | 手摺工事の実施 | 手摺工事の完了 | |
| 4 | さとうきび優良種苗安定確保事業 | H24～H28 | 沖縄県の基幹作物であるさとうきびについては、平成6年度からの品質取引制度の導入に伴い多収性品種から高糖性品種への転換が推進されている。安定した農家所得の向上、さとうきびの生産向上を図るため、優良品種作付の普及を推進する。 | さとうきび優良種苗植付面積(アール)2040a 夏植:600a 春植:1,440a | さとうきび優良種苗植付面積(アール)1964.2a 夏植:601a 春植:1,363.2a | |
| | 蔬菜花卉園芸施設整備事業 | H24～H28 | 産物の安定生産、農家所得の向上を推進するため、施設栽培を奨励し、ビニールハウス導入経費を助成する。 | 既存ハウス等施設の整備:20ヶ所 | - | 繰 |
| | 漁港巻上機・施設機能強化事業 | H24～H25 | 水産業の振興を促進するため、巻き上げ機施設の機能強化事業を実施する。 | 海野上下架可能漁船の台数:9隻 | 海野上下架可能漁船の台数:14隻 | |
| | 全国ハーブフェスティバル(ハーブ普及・促進事業) | H25 | 南城市産ハーブ商品の展示、即売会、ハーブカフェ、講演会等ハーブに重点を置いたハーブフェスティバル(サミット)を開催し、農業の振興を図る。 | 来場者数:300名 | 来場者数:327名 | |
| | 水溶性天然ガス利活用案策定事業 | H25 | 市内から採掘される水溶性天然ガスを利用した、一次産業分野への利活用案を策定する。 | 南城市水溶性天然ガス利活用案策定報告書の作成 | 南城市水溶性天然ガス利活用案策定報告書の作成 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 南城市 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|-------------------|---------|---|---|---|------|
| 5 | 災害に強いまちづくり推進事業 | H24～H25 | 災害が発生した場合の住民や観光客への安心安全を確保するため、海拔表示板を設置する。 | 海拔表示板の設置(270ヵ所) | 海拔表示板の設置(420ヵ所) | |
| | 台風・大雨浸水被害対策事業 | H24～H26 | 災害に強いまちづくりの実現を図るため、地域の排水路における雨水の流入・流出ルート調査を実施する。 | 西部地区雨水流域調査(調査面積 810ha) | 西部地区雨水流域調査(調査面積 810ha) | |
| | 観光客及び市民向け放送拡張事業 | H25 | 防災情報インターフェイスサーバーを介して自動連携させることにより、24時間対応でJ-ALERT検知した災害緊急情報を即時に観光客等へ配信し、市民や観光客等の安全、安心を確保する。 | インターフェイスサーバー構築及びシステム構築 | インターフェイスサーバー構築及びシステム構築完了 | |
| 6 | 太陽光採光システム普及事業 | H24～H25 | 環境にやさしい南城市のまちづくりを推進するため、自然エネルギー・再生可能エネルギーの普及拡大、沖縄の豊かな太陽光を利用した照明システムを企業及び一般家庭等へ導入する。 | 太陽光採光システムの設置台数 100台 電気使用量削減量 4,200kw | - | 繰 |
| 7 | 英語コーディネーター配置事業 | H24～H25 | 国際性豊かな人材を育成するため、外国人や英会話能力の優れた講師を教育委員会に配置し、英語教諭及びALT等への授業改善や、小学校において英語の授業を実施する。 | 支援園児・児童数: 幼稚園1クラス13人、小学校4クラス(1～4年生)105人 | 支援児童・生徒数: 1幼稚園支援園児数13名 1小学校支援児童数106名(4クラス) | |
| | 幼小中学校学習教室空調設備整備事業 | H24～H25 | 児童・生徒の感受性豊かな人格形成を図るため、夏場においても、安全・快適な学習環境を保持できるよう空調設備を整備する。 | 空調機設置工事 (幼稚園 保育室 4室 6台 小学校 理科室 1室 2台 中学校 家庭科室 2室 5台 音楽室3台 美術室 2台) | 空調機設置工事完了 (幼稚園 保育室 4室 6台 小学校 理科室 1室 2台 中学校 家庭科室 2室 5台 音楽室3台 美術室 2台) | |
| | 受水走水田園体験事業 | H24～H25 | 将来を担う感受性豊かな児童の育成を図るため、沖縄の稲の発祥地とされる受水走水において、体験学習プログラムの一環として稲栽培を実施する。 | 田園体験学習参加者 448人 | 田園体験学習参加者 448人 | |
| | スポーツ・文化活動県外派遣事業 | H25～H29 | 離島県である沖縄の地理的条件により、県外への大会派遣については多大な負担があるため、費用の一部を助成する。負担を減らす事で、県外への派遣の機会を増やし、次代を担う児童生徒の可能性を引き出し、教育の振興、学力向上を図る。 | 県外派遣実績 25件 | 県外派遣実績 21件 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 南城市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|----------------------|---------|---|--|---|------|
| | | | 小中学校パソコン機器整備事業 | H25～H29 | 情報化社会に即応した技能を身につけ、児童・生徒の学力向上を図るため、小・中学校にパソコン機器等を整備する。 | 市立小中学校へのパソコン機器等の整備(パソコン計302台) | 市立小中学校へのパソコン機器等の整備完了(パソコン計255台) | |
| | | | 学習支援員配置事業 | H25 | 一斉指導による学習についていけない児童・生徒への教科支援として、習熟度別の学習形態や個別課題としての反復練習・反復訓練や実物の教材・教具による学習、パソコン学習の取り入れにより学習意欲の回復を図る。 | 小学校: 8校、支援児童数294名 (支援員1名当り週25時間授業を行う。 1授業当たり3名程度の児童を支援する。) 中学校: 4校、支援生徒数135名 (支援員1名当り週25時間授業を行う。 1授業当たり3名程度の生徒を支援する。) | 8小学校、支援児童数223名 4中学校、支援生徒数158名 | |
| | | | 学習支援教材ソフト導入事業 | H25～H28 | 市内各小中学校へ、学習支援教材ソフトを導入しICT環境を整備することにより、児童・生徒の学力の向上を図る。 | デジタル教科書導入率の向上 ・市内9小学校: H24年度4%(7冊) H25年度100% (必要冊数:9校×20冊=計180冊) ・市内5中学校: H24年度48%(53冊) H25年度100% (必要冊数:5校×22冊=計110冊) | デジタル教科書導入率の向上 ・市内9小学校 100% ・市内5中学校 100% | |
| | | | 特別支援教育・障害児支援ヘルパー配置事業 | H24～H29 | 市立幼・小・中学校に在籍する教育上特別の支援を必要とする児童・生徒等に対し適切な教育を行うため、特別支援教育支援員や障がい児支援ヘルパーを配置することにより学習環境の整備を図る。 | 特別支援教育・障害児ヘルパー配置数 ・幼稚園:障害児ヘルパー(保育)10名、(預かり保育)4名 ・小学校:特別支援教育支援員2名、障害児ヘルパー23名 ・中学校:障害児ヘルパー8名 | 特別支援教育・障害児ヘルパー配置数 ・幼稚園:障害児ヘルパー(保育)12名、(預かり保育)6名 ・小学校:特別支援教育支援員2名、障害児ヘルパー26名 ・中学校:障害児ヘルパー8名 | |
| 8 | | | 文化のまちづくり実行委員会支援事業 | H24～H25 | 地域伝統文化の継承及び観光振興を図るため、南城市文化センターを拠点に芸能公演、夏休み短期音楽スクール、ボランティア育成事業等の各種公演、研修事業を実施する。 | 下記、主要イベントを実施する。 シュガーホール発!! 地域めぐり出前ステージ 1,150名(H24年度1,100名) 8th' Jazz in Nanjo 450名(H24年度414名) 組踊スイミー 400名(H24年度0名) 新崎誠美ピアノコンサート 400名(H24年度0名) | シュガーホール発!! 地域めぐり出前ステージ 1,150名 8th' Jazz in Nanjo 450名 組踊スイミー 400名 新崎誠美ピアノコンサート 400名 | |
| | | | なんじょう歴史文化保存継承事業 | H24～H29 | 本市は神の島久高島や世界遺産「斎場御嶽」、国指定文化財「グスク等」の多くの歴史遺産、琉球王朝時代から引き継がれた精神文化が今も数多く残る地域である。これら貴重な文化遺産を後世に引き継ぐことを目的になんじょう歴史文化保存継承事業を実施する。 | 専門委員会の回数 ・御嶽・グスク5回 ・資料集戦争5回 | 専門委員会の回数 ・御嶽・グスク8回 ・資料集戦争3回 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 南城市 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--------------------|---------|--|---|---|------|
| | 文化センター機能強化事業 | H25～H29 | 本市における地域伝統文化及び市内イベントの拠点として文化芸術創造の発信を行っている文化センターの機能強化を図るため、ホールの音響及び照明並びに空調機器の整備を行う。 | 文化センター機能強化の整備実施 | 文化センター機能強化の整備完了 | |
| 9 | 戦災滅失戸籍等沖縄関係書類電算化事業 | H25 | 劣化が進んでいる紙原本の沖縄関係書類の滅失防止を図り、戸籍システムでの検索及び証明発行を可能とし、円滑な管理・運用を整備するため電算化を実施する。 | 戸籍システムの電算化 | 戸籍システムの電算化完了 | |
| 10 | 健康づくり支援調査検証事業 | H25～H28 | 市民への健康づくりを支援するため、健康教室等の開催、公園等への健康器具の設置及び生活習慣病予防対策、保健指導等を実施するとともに、その効果等について調査検証する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・講演会、健康体操等の実施(24回) ・公園等への健康器具等の設置(1カ所) ・中学2年生(約500名)を対象とした調査の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・講演会、健康体操等の実施(23回) ・公園等への健康器具等の設置(1カ所) ・中学2年生(約436名)を対象とした調査の実施 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 国頭村 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--------------------------|---------|--|--|---|------|
| 1 | 産業まつり誘客推進事業 | H24～H28 | 産業まつりにおいて、観光客を含めた参加型のイベントを開催し、村民と県内外の観光客との交流の場を提供することにより、国頭村の魅力や認知度の向上を図り、リピーターの増大につなげる。 | 産業まつり会場への来場者数 H23年度:3,000人 H25年度:4,000人 | 産業まつり会場への来場者数 H23年度:3,000人 H25年度:3,346人 | |
| 1 | スポーツコンベンション観光振興事業 | H25～H26 | 本村でのスポーツキャンプによる滞在人口の増加を図り観光振興に向けて、受入施設の充実・強化を図るため、H25年度はくしがみ球場に隣接したクラブハウスを整備する。また、サッカーの誘致を図るには、施設内の芝を良好な状態で管理する必要があり、刈った芝や練習等により擦り切れた芝を取り除く機械を購入する。 | クラブハウス整備の完了 | クラブハウス整備の完了 | |
| 1 | 観光拠点施設機能強化事業 | H25 | 国頭村の観光拠点である、国頭村観光物産センター(道の駅ゆいゆい国頭)を、多様化する観光客ニーズに対応していくための体制整備(ふるさと市施設増設・全ての商品管理を電子一元化など)、オンラインの販売商品開発、地域食材を活用した食事メニュー開発などを実施し、更なる観光客誘致を図る。 | ・特産品開発、備品整備 ・ふるさと市施設増設 ・電子の一元化(販売商品・施設情報管理ネットワーク整備) | ・特産品開発、備品整備 ・ふるさと市施設増設 ・電子の一元化(販売商品・施設情報管理ネットワーク整備) | |
| 2 | ヤンバルクイナの森観察センター(仮称)等整備事業 | H25 | 平成24年度に策定した構想を下に、「ヤンバルクイナ観察小屋」等の既存施設の連携と、観光地域づくり及び環境教育の有効な利活用を図るため、既存施設に隣接する位置に、集客用カフェ及び地域特産品販売所を兼ねたヤンバルクイナの森観察センター(仮称)や、ヤンバルクイナの飼育観察、ヤンバルクイナの生態を知ってもらい保全のための教育及び普及、啓発の促進のため、カメラシステムを導入する他、既存クイナふれあい公園の進入道路の改修を図り、計画期間内で関連施設を整備する。 | ・ヤンバルクイナの森観察センター(仮称)の建設完了 ・ヤンバルクイナの観察情報施設の整備 ・くいなふれあい公園侵入道路の改修(幅員3.5mを5mへ拡幅) | - | 繰 |
| 2 | クイナパークゴルフ場改修整備事業 | H25 | 平成24年度に策定した構想を下に、「ヤンバルクイナ観察小屋」等の既存施設と、新たな拠点施設整備による観光地域づくりの有効な利活用を図るため、既存施設のクイナパークゴルフ場の36ホール芝の張り替え及び施設周辺の植栽を整備し、各施設間の連携と観光客の憩いの場や交流の場を提供する。 | クイナパークゴルフ場の改修完了 | クイナパークゴルフ場の改修完了 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 国頭村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|-------------------------|---------|---|--|--|------|
| 3 | | | 比地大滝歩道改修事業 | H24～H25 | 当該施設の歩道は起伏が激しく、階段歩道も多いことから、子供からお年寄り、また健常者以外の利用者も気軽に散策できるように歩道を改修し、環境整備を行う。 | 歩道改修整備工事 W=1.5m L=530m 透水性舗装 L=500m 浅道 L=30m | 歩道改修整備工事 W=1.5m L=530m 透水性舗装 L=500m 浅道 L=30m | |
| 3 | | | 観光地の安全・安心・快適な観光地づくり促進事業 | H25 | 自然資源を利用する観光客やビーチ利用者等へのサービス向上を図るため、観光地内の老朽化した施設(公衆トイレ・シャワー等)を整備し、施設利用者の利便性及び快適性の向上とリピーター確保を目指す。 | 辺土名ビーチ公衆トイレ・シャワー施設工事完了 | - | 繰 |
| 4 | | | 地域資源継承・交流拠点整備事業 | H24～H28 | 国頭村と那地区において、グリーンツーリズムやエコツーリズム、文化ツーリズム(海神祭や豊年祭、田舎の暮らし等)等による観光客との交流・体験活動を促進する拠点整備のための実施設計を行う。 | 実施設計 | 実施設計の完了 | |
| 4 | | | 体験型民泊受入促進事業 | H24～H25 | 旅行者・学校関係者・雑誌社へ国頭村民泊事業のPRのためのモニターツアーを企画実施し、国頭村での民泊事業への誘客を図るとともに、民泊事業者等を対象に講習会や先進地域との交流視察研修等を実施し、民泊受入体制を強化する。 | 民泊受入延人数:1,690人 (H23年度1,135人、H24年度1,383人) | 民泊受入延人数:1,388人 (H23年度1,135人、H24年度1,383人) | |
| 5 | | | 多自然川づくり事業 | H24～H25 | H24年度に実施している自然環境調査及び推進計画策定業務を基に、H25年度は、基本設計を実施するものである。 | 辺土名川河川整備に係る調査業務及び基本設計の実施 | - | 繰 |
| 5 | | | 緑の美ら島づくり環境整備事業 | H24～H28 | 森林セラピーや森林ツーリズムなど、森の癒しの効用や自然観察等に訪れる観光客等への満足度を高めるため、観光地周辺や林道沿いの不法投棄、散乱ゴミの回収や雑草除去等を実施し、快適な観光地としてお客様満足度を高める。 | 不法投棄パトロール・回収:村内全域 アクセスルート雑草除去箇所数:4箇所×2回 | 不法投棄パトロール・回収:村内全域 アクセスルート雑草除去箇所数:4箇所×2回 | |
| 6 | | | 国頭村文化財観光資源活用事業 | H24～H27 | 国頭村内に所在する文化財について、その記録・保存・活用を目的として事業を行うもので、平成25年度については比地の神アサギ等について、その茅葺き修復作業とともに、文化財説明版や案内板の設置・パンフレット等の作成を行い国頭村観光コンテンツとして文化財を活用する。 | 神アシャギ整備(茅葺き替え1棟) 文化行事説明看板等設置(8基) パンフレット作成 | 神アシャギ整備(茅葺き替え1棟) 文化行事説明看板等設置(8基) パンフレット作成 | |
| 7 | | | 平張網掛施設整備事業 | H24～H28 | 国頭村においては、露地栽培作物の柑橘類への有害鳥獣等による被害が多く発生しており、農家の生産意欲を低下させる要因となっている。このため、農家の園地平張網掛施設を整備し、ノグチゲラ、ヒヨドリ、コウモリ等からの被害を防除する。 | 平張網掛施設の整備件数:9件 | 平張網掛施設の整備件数:6件 | 未 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 国頭村 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|---------------------|---------|---|---|--|------|
| 8 | 森林セラピー推進事業 | H24～H26 | 一年を通して森林セラピープログラムが体験出来る環境を整えることで地域再生を図るため、森林セラピーガイドの育成やセラピーロード施設整備等を推進する。 | セラピーガイドの育成 認定人数:5人 | セラピーガイドの育成 認定人数:7人 | |
| 9 | やんばる国頭村木材活用「木育」推進事業 | H24～H28 | やんばる国頭村木材を活用した玩具、勉強机、家具、内装材等を開発して、それらを活用した「木育」活動を推進することにより、子供から大人まで木に触れ合う機会を増やし、「木づかいファン」増加による国頭村木材の利用促進を図るため、人材育成や玩具開発等を行う。 | 「木育」人材養成講座開催 講座修了者数:10人 | 「木育」人材養成講座開催 講座修了者数:5人 | 未 |
| 10 | やんばる「森林業」創出プロジェクト事業 | H24～H28 | 林産業の活力再生のため、「国頭森林組合」や「国頭村林業研究会」を主体に、森の育む資源や機能を様々な面から活用する包括的な森林管理事業「森林業」の創出に向けた有用樹種の開発等の調査・研究及び試行施業を行い、村の林産業発展を目指す。 | 有用樹種苗木開発 開発苗木数:500本 | 有用樹種苗木開発 開発苗木数:700本 | |
| 11 | 国内外水族館「観賞魚」供給体制構築事業 | H25 | 国頭漁業協同組合に対し、「観賞魚」の物流体制構築を図ることを目的に補助金を交付し、空輸用コンテナの開発及び試験搬送(国内外)を実施する。 | 空輸用コンテナの整備 N=2基(大・小)以上 国内外への試験搬送 国内/1箇所、国外/1箇所 | 空輸用コンテナの整備 N=4基(大・小)以上 国内外への試験搬送 国内/1箇所、国外/2箇所 | |
| 12 | 国頭村減災地域社会形成事業 | H24～H28 | 災害発生時の住民と観光客の安全を確保するため、地域防災計画を策定する。危険度評価などを実施したH24に引き続き、H25も地域防災計画の策定を推進する。 | ・国頭村地域防災計画の策定 ・集落の自主防災組織化:3集落 ・集落毎防災訓練の実施数:12集落 | ・国頭村地域防災計画の策定 ・集落の自主防災組織化:1集落 ・集落毎防災訓練の実施数:6集落 | |
| 12 | 集落別減災地域社会形成事業 | H24～H28 | 住民と観光客の安全・安心を確保するために、集落毎の減災・防災計画を作成するとともに、避難路を整備する。 | 桃原地区避難路の整備 避難路延長:320m | 桃原地区避難路の整備 避難路延長:320m | |
| 13 | 学習支援員配置事業 | H25～H33 | 児童生徒の学力向上のために、学習支援員を配置し、授業にあたる教師と連携を取りながら児童生徒の支援を行うことで教育環境を充実させ、基礎学力等の向上を図る。 | 学習支援員を村内小学校3校(対象児童数264人)、中学校1校(対象生徒数150人)に配置 | 学習支援員を村内小学校3校(対象児童数264人)、中学校1校(対象生徒数150人)に配置 | |
| 13 | 中学校英語指導員配置事業 | H25～H33 | 中学校の英語を中心とした外国語活動の授業における指導補助、教材作成や英語スピーチコンテスト等の指導補助として、中学校に英語指導員を配置することで教育環境の充実を図り、生徒の国際理解やコミュニケーション能力の向上に資することで、基礎学力の向上に繋げる。 | 英語指導員を村内中学校1校(対象生徒数150人)に配置 | 英語指導員を村内中学校1校(対象生徒数150人)に配置 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 国頭村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|-----------------------|---------|--|--------------------------------|--------------------------------|------|
| 13 | | | 中学生海外短期留学派遣事業 | H25～H33 | 中学生を英語圏に短期間派遣し英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際感覚豊かな人材育成を目指す。 | 海外短期派遣生徒数 2人 ホームステイ報告発表の実施 | 海外短期派遣生徒数 2人 ホームステイ報告発表の実施 | |
| 13 | | | 小学生県外体験学習派遣事業 | H25～H33 | 小学生を県外に短期間派遣し、気候風土の異なった遠隔の地で見聞を広めるとともに、郷土意識の高揚を図り、新時代を担う視野の広い心身ともに健全なジュニアリーダーの育成を目指す。 | 事前学習・受入・派遣・活動内容展示会・報告会の実施 | 事前学習・受入・派遣・活動内容展示会・報告会の実施 | |
| 13 | | | 児童生等の県外派遣等に関する補助金交付事業 | H25～H33 | 小・中学校の児童生徒が、運動競技または文化関係大会に参加するため、県外に派遣する必要がある場合に補助金を交付する。 | 大会等派遣数 小学生 40人 中学生30人 | 大会等派遣数 小学生 1人 中学生14人 | 未 |
| 13 | | | ひとり親家庭の子育て応援事業 | H25～H33 | 学習福祉支援員を配置し、母子・父子・養育家庭における子育ての相談対応の強化を行うと共に、学校・家庭・地域の連携を強化し、非行・不登校・発達障害や思春期うつなどの精神疾患・自殺対策など子どもが抱える問題に対する支援を行う。 | 学習福祉支援員が村内小学校7校、中学校1校を巡回し支援する。 | 学習福祉支援員が村内小学校7校、中学校1校を巡回し支援する。 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 大宜味村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|-------------------|---------|---|--|--|------|
| 1 | | | 大宜味村観光周遊ルート形成整備事業 | H24～H28 | 大保ダムの湖面を利用した、エコツーリズムを展開するため棧橋設置を行い、活性化センター(道の駅)の機能を活かすため販売促進計画及び特産品開発調査を行う。 | 販売促進施設整備計画の策定 特産品開発調査の実施 | - | - |
| 1 | | | 「長寿と癒しの森」整備事業 | H24～H28 | 長寿の里である本村の特色を活かし、村民が日頃から保健、介護予防、福祉分野で活用しながら、ヘルスツーリズムを受け入れられる機能を持った施設を整備する。 | 長寿の里ウエルネスセンター実施設計完了 | - | - |
| 1 | | | 大宜味村観光情報発信整備事業 | H24～H28 | 観光資源などの情報をより効果的に広く発信するため、閲覧者に対し、見やすいホームページの作成、誘客イベント開催を開催し、大宜味村らしい観光情報発信を展開し誘客を促進する。 | 観光に特化したホームページ作成・公開 (多言語化・村VP(ビデオパッケージ)・観光情報コンテンツの作成) 産業まつり参加者数(3,000名) | 観光に特化したホームページ作成・公開 (多言語化・村VP(ビデオパッケージ)・観光情報コンテンツの作成) 産業まつり参加者数(4,000名) | |
| 1 | | | エコツーリズム人材育成計画作成事業 | H24～H28 | 本村は、世界自然遺産候補地である琉球弧の中核地「やんばる地域」に在している。本村の自然・文化資源を維持しつつ、その魅力を十分に発信して独特でかつ、「持続可能な観光地」にするためには、長期的かつ総合的な「人材育成」が重要である。観光の振興を図る上で、エコツーリズム推進のため地域人材の育成を図り、ガイドやその指導者になれる認定制度を設け、北部やんばる地域の世界遺産登録に寄与できる体制整備と大宜味(やんばる)らしいエコツーリズムを実践する。 | 基本計画の策定 ・人材育成方法の確立 ・エコツーリズム推進体制の確立 ・実行計画の作成 | 基本計画の策定 ・人材育成方法の確立 ・エコツーリズム推進体制の確立 ・実行計画の作成 | |
| 1 | | | 結の浜公園整備事業 | H24～H28 | 平成19年度に完成した公有水面埋立地「結の浜」において、サンセットと緑の山々などの良好な自然環境を生かし、観光振興の受入体制を強化するため、村民や観光客等が交流できる拠点公園を整備する。 | 結の浜公園整備工事の実施(造成・植栽) | 結の浜公園整備工事の実施(造成・植栽) | |
| 1 | | | 大宜味村文化財活用促進事業 | H25～H28 | 大宜味村の歴史、文化に繋がる昔話をわかりやすく、継承できるよう、活字の昔話を絵本化し、文化資源を活かした観光振興及び地域の活性化を図る。 | 大宜味の昔話絵本化 (選定・編集・製作) | - | - |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 大宜味村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|--------------------|---------|--|--|--|------|
| 2 | | | 学習支援員配置事業 | H25～H28 | 将来の大宜味村を担う大宜味村の児童生徒の基礎学力の定着を図る為、村内の小学校4校と中学校1校に学習支援員を配置する。 | 学習支援員 ・村内4小学校各1人=4人 ・1中学校1人配置=1人 | 学習支援員 ・村内4小学校各1人=4人 ・1中学校1人配置=1人 | |
| 2 | | | 地域支援員配置事業 | H25～H28 | 学校と地域の連携を充実させ、不登校やいじめ等のない学校教育を支援する支援員を配置する。 | 不登校者出席率(40%) | 不登校者出席率(44%) | |
| 2 | | | 学校教育ICT環境改善整備事業 | H25 | 村内小学校4校及び中学校1校にデジタル黒板を整備する。 | 4小学校×2台=8台 1中学校×4台 | 4小学校×2台=8台 1中学校×4台 | |
| 2 | | | 「ぶながやの里」地域人材育成支援事業 | H25～H28 | 各種団体の生涯学習及び青少年の学校外活動における学習機会の拡充を図り、本村の自然や文化、社会への基礎的な興味関心を培い、地域リーダーとなる人材の育成を図るため、生涯学習コーディネーターを配置する。 | 生涯学習講座開催(10回) 講座受講者数(100名) | 生涯学習講座開催(10回) 講座受講者数(211名) | |
| 3 | | | 大宜味村地域防災計画作成等業務事業 | H25 | 海洋県沖縄でありながら、防災計画等において津波に対する考えが弱小であり、3.11東日本の教訓を受け、村民及び本村を訪れる観光客に安心・安全を提供するため防災計画を見直し、防災マップの作成、海拔表示板の設置も行う。 | 地域防災計画の見直し実施 防災マップ認知度(0%→100%) 海拔表示板の設置(主要な公共施設、観光地等 50箇所) | 地域防災計画の見直し実施完了 防災マップ認知度(100%) 海拔表示板の設置(主要な公共施設、観光地等 120箇所) | |
| 4 | | | 災害に強い県土づくり事業 | H25 | 大宜味村はグリーンツーリズム、トレッキング、川遊びなどが盛んで域外からの来訪者も多く、安全なレジャー環境確保と下流集落の浸水防止を図るため、河川沿いに自生している雑木の撤去を行い、倒木等による河川の閉塞、冠水等を未然に防止する。 | 雑木等を撤去し、倒木等による河川の閉塞、灌水を未然に防止する。(10河川) | 雑木等を撤去し、倒木等による河川の閉塞、灌水を未然に防止する。(10河川) | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 東村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|----|--|------|----------------------------|---------|---|--|---|------|
| 1 | | | 東村観光振興事業 | H25～H28 | 東村観光振興計画において重点プロジェクトとして位置付けられたエコツーリズム、グリーンツーリズム、ブルーツーリズム等の自然体験型観光の新たなフィールドやプログラムの開発、農業体験の質の充実、エコツアーフィールドの受入容量の設定や利用調整、観光情報の発信、PR活動等を実施する。 | 誘客プロモーション:2回 ポスター、ガイドマップ等作成 自然体験型観光の新たなフィールド開拓 | 誘客プロモーション:2回 ポスター作成、ガイドマップ等作成(未実施) 自然体験型観光の新たなフィールド開拓 | |
| 1 | | | ブルーツーリズム体験施設等整備事業 | H25～H27 | 東村内において新たな観光フィールドを開発するため、宮城地区にブルーツーリズムの体験に必要な便益施設(トイレ、更衣室、シャワー、駐車場等)及び海へのアクセス道の整備を行うため基本計画を策定する。 | ブルーツーリズム体験施設の基本計画の策定(建築場所、施設規模、アクセス道整備) | ブルーツーリズム体験施設の基本計画の策定(建築場所、施設規模、アクセス道整備) | |
| 2 | | | 東村海外移住者子弟研修生受入事業 | H25 | 南米2カ国(ブラジル・アルゼンチン)の東村人会の子弟(2世・3世)を研修生として受入、沖縄県内において技術研修を実施するとともに村民及び県民との交流をとおし、本村と移住先国との友好親善に資するために、研修生受入事業を実施する。 | 研修生受入(3人)及び技術研修の実施 | 研修生受入(3人)及び技術研修の実施 | |
| 3 | | | 東村教育施設環境整備事業 | H25 | 亜熱帯気候である本県は年間を通して高温多湿な状況が長期間続き、特有の虫も多いことから幼児、児童生徒等の学習環境を改善し学習に集中できるよう、村内の幼稚園、小中学校に空調設備等を設置する。 | 網戸及び扇風機・空調機設置一式(村内3校) | 網戸及び扇風機・空調機設置一式(村内3校) | |
| 4 | | | 東村クリーンエネルギー推進事業 | H24～H25 | 本村の豊かな自然資源を利用したクリーンエネルギーの普及による環境に優しいエコな村づくりを推進するため、村内の公共施設に太陽光パネルを設置し太陽光発電を整備する。 | 太陽光発電設備の設計及び設置工事(10箇所) | 太陽光発電設備の設計及び設置工事(10箇所) | |
| 5 | | | 東村観光誘客施設(仮称)整備事業 | H25～H27 | 東村が輩出した多彩な人材の功績や経歴、所有品等の紹介・展示等を行う施設を整備するための基本計画を策定する。 | 東村観光誘客施設(仮称)の基本計画の策定(施設内容、施設規模、管理運営方法) | 東村観光誘客施設(仮称)の基本計画の策定(施設内容、施設規模、管理運営方法) | |
| 6 | | | 東村村民の森(つつじ園・エコパーク)施設機能強化事業 | H25～H27 | 村民の森つつじ園の駐車場、管理棟、展望台等の機能強化を図るため基本計画を策定する。また、つつじエコパークに遊具施設を整備する。 | 東村村民の森施設機能強化基本計画策定 つつじエコパーク遊具設置の設計及び設置工事 | 東村村民の森施設機能強化基本計画策定 つつじエコパーク遊具設置の設計及び設置工事の完了 | |
| 6 | | | 川田福地公園機能強化事業 | H25 | 川田福地公園に自然に親しむための施設(水場、観察池、双眼鏡)や遊具を整備する。 | 公園機能強化の設計及び工事 | - | 繰 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 東村 | | | | | | |
|----------|-------------------|----------|--|------------------------------|------------------------------|------|
| 事業 番号 | 事業名 | 計画 期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
| 6 | 東村指定文化財周辺整備 事業 | H25 | 村指定の文化財(天然記念物)であるサキシマスオ ウノキとオガタマノキ周辺の駐車場や休憩所、展望 デッキ等を整備する。 | 駐車スペース・休憩所・展望デッキの 整備(2箇所) | 駐車スペース・休憩所・展望デッキの 整備(2箇所) | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 今帰仁村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|----------------------|---------|---|---|---|------|
| 1 | | | 今帰仁村健康長寿体験滞在型観光の促進事業 | H24～H27 | ・沖縄県第2の長寿村である今帰仁村は、「ヘルスツーリズム」を推進し、民泊事業等による観光の振興を図ることとしている。本事業では、住民へのアンケートや会議を通し長寿の秘訣を探り、健康長寿基本システムを構築することで、体験滞在型観光を促進する。 | 健康長寿基本システム構築に向けたアンケート調査の実施 地域で共に支えあう健康長寿プログラムの立案 | 健康長寿基本システム構築に向けたアンケート調査の実施(報告書の完成) 地域で共に支えあう健康長寿プログラムの立案 | |
| 2 | | | 指導用情報機器購入事業 | H24～H25 | ・教職員指導用ノートパソコン、タッチパネル等を導入し、電子教科書を活用した学習が可能となり児童・生徒の学習意欲の向上を図る。 | ・村内小学校の教育用ソフト等導入率100% | ・村内小学校の教育用ソフト等導入率100% | |
| 2 | | | 吹奏楽楽器購入事業 | H24～H25 | ・吹奏楽に必要な楽器を整備することにより、村内の祭りやスポーツイベント、式典などの多様な場面において、演奏活動を行うことが可能となり、今帰仁村の教育・文化・観光産業に寄与する。 | 古宇利ハーフマラソン、駅伝大会の開閉式、東ティモール児童との交流会等での演奏活動 | 古宇利ハーフマラソン、駅伝大会の開閉式、東ティモール児童との交流会等での演奏活動の実施(7回) | |
| 2 | | | 人材育成事業 | H24～H33 | ・小学生を対象に、山形県酒田市と将来の指導者育成の為、交流事業を行う。南国沖縄県にとって、本州の北に位置する東北地方はまさに「異文化」であり、異なる環境で生活している同年代との交流は子供達の視野の広がりや将来に向けて刺激を与えることができる。 | 派遣後は、地域及び本村のジュニアリーグの団員として活動 北山ていーだの会団員として「現代版組踊北山の風」のメンバーとして活動 | 派遣後は、地域及び本村のジュニアリーグの団員として活動 北山ていーだの会団員として「現代版組踊北山の風」のメンバーとして活動 | |
| 2 | | | 東ティモールと本村児童の交流推進事業 | H24～H33 | ・東ティモールの児童を招聘し、本村4小学校との交流で国際感覚を育成し、今後村としても人道的支援や姉妹校締結を目指し、交流を通して本村児童の人間性の育成や国際貢献できる人材の育成を図る。 | 国際交流活動による海外からの受入者数:4人、引率:2人 姉妹校の締結 | 国際交流活動による海外からの受入者数:2人、引率:3人 姉妹校の未締結 | 未 |
| 2 | | | 芸術家招聘事業 | H24～H27 | ・本村の小学校校歌の作詞者親族であるソプラノ歌手(講師)を村内の各学校に招聘し、コンサートと東ティモール支援に係る講演会を実施する事によって、本村児童と東ティモールの児童との交流を図る。 | ・公演会に参加した児童生徒数:462人 | ・公演会に参加した児童生徒数:600人 | |
| 2 | | | 未来を担う人材育成事業 | H24～H33 | ・国公立大学に特化した大学進学講座を実施し、進学実績の向上と地域に根ざした特色ある学校づくりの観点から地域教育資源を活用し学力向上と地域の活性化を目指す。 | 講座参加人数:16名 講座参加者16人中・国公立大学合格者8人(50%) | 講座参加人数:9名 講座参加者9人中・国公立大学合格者6人(67%) | 未 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 今帰仁村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|---------------|---------|--|---|---|------|
| 2 | | | 学習支援者配置事業 | H25～H33 | ・学力向上のための学習支援員や、障害のある園児・児童生徒(多動性や情緒も含む)のための特別支援員等を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら支援を行うことで教育環境を充実させる。 | 学習支援者配置人数 ・幼稚園(学)0人(特)2人 ・小学校(学)3人(特)6人 ・中学校(学)1人(特)0人 学力や学習意欲の向上 村内の幼稚園・小学校・中学校への支援員配置率100% | 学習支援者配置人数 ・幼稚園(学)0人(特)2人 ・小学校(学)3人(特)7人 ・中学校(学)1人(特)0人 学力や学習意欲の向上 村内の幼稚園・小学校・中学校への支援員配置率100% | |
| 2 | | | 中高生海外語学留学支援事業 | H25～H33 | 英語を学ぶことへの関心・意欲を高めるとともに、「今帰仁村」の将来を担う、国際感覚豊かな人材育成のため、本村今帰仁中学校に在学する中学校3人及び北山高等学校に在学する本村出身高校生2人を対象に、夏季休学中にアメリカ(ハワイ2週間・シアトル4週間)で学習する機会を与え、世界に羽ばたく人材を育成する。 | ・古宇利ハーフマラソン等で外国人選手との通訳ボランティア活動 | ・古宇利ハーフマラソン等で外国人選手との通訳ボランティア活動の未実施 | 未 |
| 2 | | | 児童生徒等の県外派遣事業 | H25～H33 | ・小・中学校の児童生徒や県立高等学校の生徒が、県外で開催される各種スポーツ大会や文化関係大会に参加する際の派遣費用を補助する。 | 県外少年団野球大会(派遣人数):20人 県外スポーツ大会(派遣人数):156人 県外・国外文化交流事業(派遣人数):18人 | 県外少年団野球大会(派遣人数):19人 県外スポーツ大会(派遣人数):99人 県外・国外文化交流事業(派遣人数):18人 | |
| 3 | | | 景観形成強化事業 | H24～H28 | 村が管理する道路の舗装、粉塵防止、防護柵等を整備し、歩行者が安全で歩きやすい歩行空間を確保することで、集落の深部への観光客受入体制を整える。 | ・快適な観光アクセスルートの整備(4.7km) | - | 繰 |
| 3 | | | 環境保全美化推進事業 | H24～H33 | ・本村の観光拠点となっている今帰仁城跡や観光地及び観光ルートの美化を実施し、観光客受け入れ体制を整える。 | ・今帰仁城跡及び観光地の美化:2.7路線 ・快適な観光アクセスルートの整備:2.7路線 | ・今帰仁城跡及び観光地の美化:2.7路線 ・快適な観光アクセスルートの整備:2.7路線 | |
| 3 | | | 風景づくり推進事業 | H24～H28 | ・今帰仁村らしい景観を保全・継承し、さらに発展させていく景観計画の策定、その実施に向けた推進体制を行政・住民・事業者で構築して、地域振興にも寄与する景観計画を策定後、地域住民の意思を反映させながらその内容をより一層推進していく。 | ・景観条例の施行 | ・景観条例の施行 | |
| 3 | | | 観光力基盤強化事業 | H24～H33 | ・今帰仁村の観光地としての知名度アップを図るため、「現代版組踊 北山の風」などのイベントを実施する。また、今帰仁村総合運動公園を高校駅伝やハーフマラソンの拠点とすることで、民泊事業の導入拡大を図り、村観光協会と連携し、観光関連産業の活性化につなげる。 | 北山の風 イベント開催数:3回 古宇利ハーフマラソン参加者数:2,500人 今帰仁城跡ライトアップ・さくら祭り 来場者数:39,000人 今帰仁村総合まつり来場者数:8,000人 今帰仁ハリー大会出場チーム数:60チーム | 北山の風 イベント開催数:3回 古宇利ハーフマラソン参加者数:2,927人 今帰仁城跡ライトアップ・さくら祭り 来場者数:39,400人 今帰仁村総合まつり来場者数:9,000人 今帰仁ハリー大会出場チーム数:64チーム | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 今帰仁村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|----------------------|---------|--|---|--------------------------------------|------|
| 3 | | | 観光地安全強化事業 | H24～H33 | ・主要観光地である世界遺産今帰仁城跡を訪れる観光客の安全の確保を図るため、イベント時に、車両の誘導及び駐車場、横断歩道等に交通誘導員を配置する。 | ・今帰仁城跡来訪者の安全の確保(12月～3月) | ・今帰仁城跡来訪者の安全の確保(12月～3月) | |
| 3 | | | 今帰仁村総合運動公園施設機能強化事業 | H24～H28 | ・「スポーツ交流むら」は天然芝グラウンド、温水プール、クラブハウスなどが集積され、各種大会、合宿、キャンプ地として高い評価を受けている。しかしながら、夜間照明の改善による夜間トレーニングへの対応や、故障者のコンディショニングへの対応、駐車場等の整備などの課題を抱えており、課題解決のための機能強化を推進する。 | 今帰仁村総合運動公園照明設備改修工事 ・サブグラウンド及びホッケー場 | サブグラウンド及びホッケー場の照明設備改修工事の実施 | |
| 3 | | | バンガロー機能強化整備事業 | H24～H26 | 今帰仁村森林公園のバンガロー・キャンプ場宿泊施設の機能強化を図り、観光客・村民の観光拠点施設としての基盤強化を図る。 | ・遊歩道整備の完成 | ・遊歩道整備の完成 | |
| 3 | | | 観光拠点整備強化事業 | H24～H25 | ・今年度建設予定のワルミ大橋活性化施設(仮称)の建築に伴う観光案内板を設置し、北部観光資源を結ぶ周遊ルートの拠点化を図る。 | ・観光案内板の設置:2カ所 | ・観光案内板の設置:2カ所 | |
| 3 | | | 今帰仁城跡周辺環境整備事業 | H24～H27 | 世界遺産今帰仁城跡をはじめ、国指定文化財及び県指定文化財を保有する重要な地域に位置する今泊港川の整備をすることにより、河川敷などの空間を有効活用、治水安全度の向上を図り、また、城跡さくら祭りの桜を植栽し、緑化や美化を地域ぐるみで推進し、観光客受入体制を強化する。 | ・河川敷きなどの空間を有効利用、治水安全度の向上。 ・観光客の安全・安心な観光基盤構築。 ・平成25年度は延長560mの内90mの工事を実施する。 | - | 繰 |
| 3 | | | 今帰仁城跡駐車場安全強化事業 | H24～H25 | ・世界遺産今帰仁城跡の駐車場をアスファルト舗装し、区画線及び安全対策をする事で利用者の安全性と快適性の向上を図る。 | 今帰仁城跡駐車場のアスファルト舗装工事の完了 乗用車駐車場:80台 | 今帰仁城跡駐車場のアスファルト舗装工事の完了 乗用車駐車場:78台 | |
| 3 | | | 民泊・体験型観光受け入れ基盤整備調査事業 | H24～H26 | ・民泊・体験型観光の運用体制構築・基盤整備のための基本調査を実施する。 | ・運用体制構築・基盤整備のための課題等把握 | 課題を把握し、運用体制構築を進め、予約を獲得できた | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 今帰仁村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|-------------------|---------|--|--|--|------|
| 3 | | | 今帰仁城跡ガイド強化事業 | H25～H33 | ・今帰仁村には世界遺産今帰仁城跡が所在し、今帰仁グスクを学ぶ会によって来城者に無料のガイドが行われている。学ぶ会の更なる充実強化を図ることで、ガイド個々の資質向上が図られ、今帰仁城跡の魅力を観光客にアピールすることが出来るためガイドの強化を行う。 | ガイドの資質向上及び今帰仁城跡のアピール ガイドによる来訪者の案内者数:11,000人 | ガイドの資質向上及び今帰仁城跡のアピール ガイドによる来訪者の案内者数:11,419人 | |
| 4 | | | 地域活動拠点活性化事業 | H25 | 上運天地区は伊是名・伊平屋島の発着点である運天港を有する地域である。今後も地域住民の交流の場でもあり、かつ各種行事・伝統芸能(豊年祭等)の練習や料理教室を通して、観光客とも交流できる拠点としての施設を整備する。 | ・地域活動拠点施設の完成 | - | 繰 |
| 5 | | | 今帰仁村地域安心・安全告知整備事業 | H25～H26 | ・近年では、地震発生・集中雨の頻発による土砂災害への懸念や津波による大規模災害も想定されることから、緊急性の高い情報の伝達、予測段階(注意喚起)での活用、また行政情報等の住民への伝達など防災情報に特化せず幅広く活用するための情報伝達手段を整備する。 | ・効果的な情報伝達手段の調査及びシステム構築調査(19行政区 小学校3校 中学校1校) | ・効果的な情報伝達手段の調査及びシステム構築調査(19行政区 小学校3校 中学校1校) | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 本部町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|-------------------|---------|---|--|--|------|
| 1 | | | 花いっぱい運動の推進事業 | H24～H28 | 観光地としての魅力を高めるため、国道及び県道沿いにプランターの設置や花の植え付けを行う。実施は、本部町観光協会へ委託する。植え付け作業は、町内の各種団体から成る「本部町まちぐるみ花いっぱい推進協議会」で行う。 | 美化作業への参加者数:1,080人 プランター設置数:270個 | 美化作業への参加者数:1,080人 プランター設置数:270個 | |
| 1 | | | 周遊観光実証調査事業 | H24～H28 | 既存のタクシーを活用して、観光客に認知されていない本部町内の穴場的スポットの周遊観光及び、各観光スポットの観光ガイドや各種体験観光のサポートを行う人材の育成を行う。 | 新たな周遊観光コースの創出:2コース | 新たな周遊観光コースの創出:2コース | |
| 1 | | | 外国人対応観光人材育成事業 | H24～H28 | 近年、外国からの観光客が増加してきており、外国人インバウンドを促進するためにもホテルや飲食店、土産物店などの観光業や商工業従事者などの関係者に対し、語学や郷土文化の研修等を実施し、外国人サービス向上を図る。 | 観光人材の育成数:10名 (ホテルや商店街など観光の第一線でお客様に接するスタッフで語学研修を受講し、観光サービスにおいて最低限のコミュニケーション能力を習得した、外国人に対応する人材育成) | 観光人材の育成数:28名 | |
| 1 | | | 本部半島ジオパーク推進事業 | H24～H28 | 本町には、年間約300万人余りの観光客が訪れているにもかかわらず町内への十分な経済効果が得られていないのが現状である。また、1人でも多くの宿泊滞在者を増やすことが喫緊の課題である。そこで、本部半島特有の「熱帯カルスト地形」等をジオパークに登録することで地域振興を図る。 | ジオツアー参加者数:135人 | ジオツアー参加者数:170人 | |
| 1 | | | ハブ咬傷防止事業 | H25～H29 | 台湾ハブ捕獲トラップの購入及び設置・回収を行うことにより、個体数の減少及び拡大する生息域の抑制を図り、地域住民や観光客の咬傷事件を予防し、安全・安心な観光地づくりを目指す。 | ハブ捕獲数年間:150匹 | ハブ捕獲数年間:271匹 | |
| 1 | | | 本部町観光プラットフォーム構築事業 | H25～H27 | 近年、観光客のニーズが多様化している中で、今後の観光推進を図るには、それらに対応した観光プラットフォームづくりが必要となる。そこで今回、本事業を本部町観光協会に委託し、観光コンテンツ開発・地域関連事業者との連携・販路開拓などを行う組織づくりを行う。 | ・事務局体制の構築(実施計画・収支計画の策定)を図る。 ・地域資源調査・地域事業者の連携による新たな観光商品(資源)の発掘 ・ブランド戦略の策定 | ・事務局体制の構築(実施計画・収支計画の策定)完了 ・観光商品(資源)3件の発掘 ・ブランド戦略の検討(未策定) | |
| 1 | | | 八重岳観光拠点整備事業 | H25～H28 | 日本一早い桜祭りとして有名な八重岳には毎年多くの観光客が訪れるが、今後も本部町の主要観光拠点としてアピールしていくためには、観光客に配慮した拠点整備が必要である。本事業において排水路整備を行うことは、法面崩壊と桜(緋寒桜)の倒木防止になり観光資源の保全と観光客の安全確保が図られる。 | 排水設計等の実施 L=4,000m | 排水設計等の実施 L=3,926m | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 本部町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|---------------|---------|--|--|--|------|
| 1 | | | 山里山百合増殖普及事業 | H25～H27 | 在来種の山百合(鉄砲百合)を観光資源として活用した地域活性化を図るため、本部町の山里地域に多く自生している山百合の増殖・補植を行い、同地域を山百合で溢れる地域にする。 | イベント実施による観客数:300人 自生山百合の増殖:20,000株 | - | 繰 |
| 1 | | | 伝統興行観光化事業 | H25～H28 | 沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」を後世へ継承していくために、ナイター闘牛や闘山羊大会を定期開催することで伝統興行の活性化を図る。あわせて観光客へも広く伝統興行が鑑賞できる環境を整備し、観光資源化を促進させることで、伝統興行の担い手の経営安定化につなげていく。 | 伝統興行の実施による観客数(累計):1,500人 | 伝統興行の実施による観客数(累計):1,270人 | |
| 1 | | | 本部町2大まつり事業 | H25～H28 | 本部町の2大まつりである海洋まつりと桜まつりを充実させ、本部町の魅力を観光客に周知し観光産業の活性化を図る。 | 2大まつり来訪者数 ・海洋祭り 10,000人 ・桜まつり 200,000人 過去の来訪者数 ・海洋まつり(H22度6,441名、H23度6,037名、H24度8,629名) ・桜まつり(H22度188,654人、H23度150,792人、H24度154,684人) | 2大まつり来訪者数 ・海洋祭り 11,506人 ・桜まつり 172,943人 | |
| 1 | | | 備瀬観光集落整備事業 | H25～H27 | 昔ながらの集落景観を保全しつつ、備瀬集落の観光資源として整備を行うことで地域の活性化を図る。 | ・観光集落基本構想・計画策定 ・フクギの剪定=約 7,000本 | - | 繰 |
| 2 | | | 本部町キク拠点産地強化事業 | H24～H26 | 本部町のキク栽培における現状は、栽培農家の高齢化による労働力不足や、新たな担い手の確保等が課題となっている。そこで、下葉とり、高さ揃え、重量選別、結束を同一機械で行う花き選別機の整備を図り、一連の出荷作業の機械化体系を確立することにより、品質及び生産性の向上、経営規模の拡大を進め、担い手農家の確保や、農家所得の向上を図る。 | 自動結束ロボット付重量選別機導入数:6台(内訳) 沖縄県農業協同組合:3台 沖縄県花卉園芸農業協同組合:3台 | 自動結束ロボット付重量選別機導入数:6台 | |
| 2 | | | 園芸農業防災施設整備事業 | H24～H25 | 沖縄県では台風の襲来や病害虫の発生により農作物の被害が大きくなるため、農家経営に対する不安や生産意欲の減退などの課題がある。そこで、農業生産物の産地化を図るため、台風対策用のハウス等の施設の導入を行う。 | ビニールハウスの整備件数:5件 | ビニールハウスの整備件数:3件 | 未 |
| 2 | | | 本部町有害鳥獣駆除対策事業 | H24～H28 | 本部町における鳥獣による農林水産業等の被害については毎年のように発生しているため、捕獲箱による駆除及び銃器駆除を行う。また被害防止の為に施策を総合的且つ、効果的に実施するため、みかん木へ網掛け防除を行う。 | 鳥獣駆除数 1,500羽 | 鳥獣駆除数 2,110羽 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 本部町 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|-------------------------|---------|---|--|--|------|
| 2 | もとぶ自産自消推進モデル構築事業 | H24～H28 | 観光文化の町である本町は、観光客向けのホテルやレストラン、飲食店等を数多く有しているが、地元産食材のまとまった出荷組織がなく、個別の生産者単位では定期・定量出荷が困難であるため、地元産の食材はほとんど活用されていない。地元で生産されたものを地元で消費する『自産地消推進モデル』を構築し、年間300万人が訪れる本町の観光業と農業をリンクさせることで地域経済の活性化につなげる。 | ・出品登録者数：40人 ・町内取引先数：20業者 | ・出品登録者数：122人 ・町内取引先数：59業者 | |
| 2 | もとぶピージャー産地確立推進事業 | H25～H26 | 沖縄県内で消費されている山羊肉の約8割が輸入山羊肉であるという事実から、本事業により県内産の山羊を改良増殖することで地産地消を推進する。 | ・共同山羊舎整備(2棟)により、一括管理による出荷体制の構築 ・本部町山羊飼養頭数:450頭 | ・共同山羊舎整備(2棟)により、一括管理による出荷体制の構築完了 ・本部町山羊飼養頭数:537頭 | |
| 2 | もとぶブランド牛基盤づくり支援事業 | H25～H28 | 肉用牛生産農家及び農業生産法人のもとぶ牛ブランド化の基盤創出のため、優良母牛の導入に対する補助を行う。 | 優良母牛導入頭数:20頭 | 優良母牛導入頭数:28頭 | |
| 3 | もとぶのマーサムン・ミジラシムンづくり支援事業 | H25～H28 | 本部町の特産品を開発するため、本部町内の企業等に開発を委託し、より多くの特産品をつくりあげる。また、開発した特産品を紹介し、開発後の販売促進、町のPRを行う。なお、開発した特産品については、その製法・仕様を本部町内の企業等に無償で提供する。 | 特産品の開発:5品 開発した特産品の広告・宣伝:パンフレット作成 | 特産品の開発:9品 開発した特産品の広告・宣伝:パンフレット作成 20,000部 | |
| 4 | 音楽のまちづくり事業 | H24～H28 | 琉球古典音楽、沖縄民謡、クラシック、ポップスなど、ジャンル枠を超えて多数の音楽家を輩出している本町を「音楽のまち」としてイメージを確立し、様々なジャンルの音楽イベントを開催しまちの活性化につなげる。また音楽の持つ感動体験は児童生徒にとってかけがえのない体験であり、この体験を通して豊かな感性を育む。 | 音楽イベント来場者数 300人 | 音楽イベント来場者数 760人 | |
| 4 | モトブンチュ人材育成事業 | H25～H29 | 沖縄の伝統文化である琉球舞踊、琉球民謡、方言、遊び、エイサー等を通して触れ合う場、学ぶ場を提供し、沖縄独自の伝統文化の継承を図る。 | ・伝統文化継承教室への参加者数:2,400人 ・町内イベントでの体験型プレイショッへの参加者数:600人 | ・伝統文化継承教室への参加者数:708人 ・町内イベントでの体験型プレイショッへの参加者数:250人 | 未 |
| 5 | 赤土流出防止検討調査事業 | H24～H28 | 本町をはじめ沖縄県内で以前から問題とされてきている、海洋への土壌流出について、本町内での発生源調査や、その発生源に対する土壌面の被覆、ほ場等周辺へのグリーンベルトの植栽配置及び排水路でのフィルター材の設置など、流出面から河川へ至る線への対策を実施することで赤土の流出抑制を図る。 | 現地調査事業:満名川支線流域:1流域 流出対策工事:大小堀川流域:3箇所 グリーンベルト植栽事業:3箇所 | 現地調査事業:満名川支線流域:1流域 流出対策工事:大小堀川流域:0箇所 グリーンベルト植栽事業:4箇所 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 本部町 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|----------------|---------|---|--|-------------|------|
| 6 | 本部町低地環境整備事業 | H25～H28 | 本部町の地勢は全面が海で囲まれ、背後の山間部に挟まれた狭い平地に自治を形成している。大型の台風時には高潮による床上浸水等が発生しているため、地域住民及び観光客の安心・安全を図るためにも、低地部の排水計画及び施設整備を行う。 | 浸水対策計画等の実施 A= 155,000 m ² | 浸水対策計画策定 | |
| 7 | 上本部飛行場跡地利用推進事業 | H25 | 本事業は返還から44年間、計画的に利用されることなく放置され続けた上本部飛行場跡地の計画的利用を推進することを目的としており、農業振興及び観光振興を連携させた地域活性化策を同跡地で展開するために、跡地内において地域活性化に資する施設の整備促進を図る。 | ・道路網計画の策定 ・跡地の利用率1.9% (6,000m ² /314,923m ²) | - | 繰 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 恩納村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|--|---------|--|--|------------------------------------|------|
| 1 | | | 文化・観光情報発信拠点整備事業 | H24～H26 | 恩納村の歴史・文化並びに地域における各種イベント等の観光関連情報を観光客へ発信するための基盤整備を行い、「文化交流型産業」活動を推進する。平成25年度においては、恩納村文化情報センター建設工事並びに工事施工監理を実施する。 | 恩納村文化情報センターの建設工事の実施 | 恩納村文化情報センターの建設工事の実施 | |
| 1 | | | 恩納村「みどりの回廊」整備事業 | H24～H28 | 魅力ある観光地づくりを行うため、国道58号線周辺の緑あふれる癒しの沿道景観づくりのほか、海浜における漂着ゴミ等の処理などを行い、観光客の誘客促進を図り地域活性化を実施する。 | ・植栽本数 400本 ・漂着ゴミ除去箇所 11か所 | ・植栽本数 2,222本 ・漂着ゴミ除去箇所 11か所 | |
| 1 | | | 県外観光客誘客促進事業(おんな村観光物産展事業) | H24～H26 | 東京池袋(サンシャインシティ)において、本村の観光、文化、特産品を紹介する観光物産展を展開する。エイサーの実演、特産品の販売等を行い物産品の販路拡大、観光PRを実施する。 | サンシャイン「沖縄めんそーれフェスタ」物産展来場者数 82,000人 基準年(H23) 48,000人 | サンシャイン「沖縄めんそーれフェスタ」物産展来場者数 66,637人 | |
| 1 | | | 県内外観光客誘客促進事業(「春や春おんなWEEKでたのしまナイト!!」事業) | H24～H28 | 沖縄県内の若手芸能トップレベルの実力を持つ「沖縄琉球芸能専攻OB会」のメンバーを中心に琉球芸能、組踊り、芝居空手などの舞台公演を実施するとともに会場周辺での地元特産品販売等を実施する。 | 公演入場者数 1,200人 基準年(H23) 910人 | 公演入場者数 788人 | 未 |
| 1 | | | 観光地危険生物駆除事業(ハブ駆除事業) | H24～H25 | ハブ及び外来種のタイワンハブが村内で頻りに捕獲、発見されるようになり、観光地周辺や国頭方西海道(歴史の道)などにおけるハブ出没も多く、観光地周辺や歴史の道の散策者などの咬傷事故が予想されるため、積極的に駆除することを目的とする。 | ハブ捕獲数 180匹 基準年(H23) 516匹捕獲 | ハブ捕獲数 191匹 | |
| 1 | | | 恩納村観光地観光客安全対策事業 | H25 | 観光リゾート地としてのグレードアップと、観光客等観光地を訪れる方々の安心安全確保のため、村内観光地駐車場に防犯カメラを設置し、犯罪の未然防止を図る。 | 防犯カメラ設置 2地域(各1台) | 防犯カメラ設置 2地域(各1台) | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 宜野座村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|--------------------|---------|---|---|---|------|
| 1 | | | 景観維持緑化振興事業 | H24～H33 | 村内に美しい景観を形成するため、村の緑化振興会が中心となって幹線道路の植樹帯や公園等や花壇等の美化作業を行っている。又、植樹帯へ植え付ける花木の育苗も緑化振興会で行っており、育苗するにあたり土作りが重要である。土作りを人力作業で行っており、ミニコンボを導入し、土作りや植樹帯整備に活用することでさらなる緑化・美化の推進を図る。 | 道路植樹帯の美化作業4回 国道329沿い(宜野座村役場周辺約2km) 花プランターの設置に伴う土づくり:1400個分 (観光月間:400個分) (阪神キャンプ:700個分) (産業まつり:300個分) | 国道植樹帯作業4回 ダムまつり600個 阪神キャンプ700個 産業まつり300個 | |
| 1 | | | 阪神タイガース春季キャンプ受入事業 | H24～H33 | 阪神春季キャンプの受入体制の強化を図り、キャンプ中はもちろん年間を通して誘客出来る観光資源として開拓していく。 | 野球場仮設ブルベン及び防球ネット設置、エアアーチ設置、野球場・総合グラウンド黒土搬入。キャンプ来場者(70,000人) | 仮設ブルベン設置 防球ネット設置 エアアーチ設置 黒土搬入 42㎡ 来場者 63,700人 | |
| 1 | | | 宜野座村文化のまちづくり魅力発見事業 | H24～H33 | 宜野座村文化センター「がらまんホール」を中心として、「伝統芸能」「音楽コンサート」「創作演劇」「ワークショップ」など様々な芸術文化・伝統芸能公演を開催し、地域芸能のアピールと文化振興、交流事業を行う。さらに「お出かけ公演」などアウトリーチを積極的に行い、ホールだけでなく地域の各施設とも連携した事業を行い、がらまんホールの宣伝告知、新たな創客を図る。また、人材育成を目的とした「子ども育成事業」を行う。 | 芸術文化・伝統芸能公演の集客数 2500 お出かけ公演実対象者数 800 子ども育成事業人数 40 | 芸術文化・伝統芸能公演の集客数 2233 お出かけ公演実対象者数 2151 子ども育成事業人数 43 | |
| 1 | | | 松田の馬場及び松並木樹勢回復事業 | H25 | 宜野座村指定文化財(史跡)である「松田の馬場及び松並木」の樹勢回復を目的とした薬剤の注入や枯損木の撤去等を実施し、景観を維持させるとともに、松田区内の文化財と一体となった歴史的空間を創出することにより、文化財の保護や活用を図る。 | ・枯枝の剪定(約70本) ・松へ活力剤を注入(83本) ・活力剤の効果がない枯枝の剪定 ・枯損木の撤去(0本) | ・枯枝の剪定(約72本) ・松へ活力剤を注入(83本) ・活力剤の効果がない枯枝の剪定 ・枯損木の撤去(6本) | |
| 1 | | | 宜野座村着地型観光誘客推進事業 | H25～H33 | 宜野座村の着地型観光推進を強化するために、本村の地域資源を活用した地域発の観光事業やPRを展開し、着地型観光商品の取組み、イベント、プロモーション事業等を観光推進協議会並びに地域企業等の連携をとり着地型観光の推進を図る。 | 観光案内所設置 600人 体験学習PR実施(県外観光PR) 5回 ノベルティーグッズ開発(商品開発) 5種類 自然事業(観光体験メニュー開発) 1回 大イベント事業(バーガーフェスタ) 2,000人 文化芸能事業(フォトコンテスト及びカレンダー作成) 1回 観光プロモーション事業(パンフレット作成、情報誌掲載、Web構築) 1回 | 観光案内所設置 1,200人 体験学習PR実施(県外観光PR) 5回 ノベルティーグッズ開発(商品開発) 5種類 自然事業(観光体験メニュー開発) 1回 大イベント事業(バーガーフェスタ) 5,000人 文化芸能事業(フォトコンテスト及びカレンダー作成) 1回 観光プロモーション事業(パンフレット作成、情報誌掲載、Web構築) 1回 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 宜野座村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|-----------------------------|---------|--|--|--|------|
| 1 | | | リバーパーク整備事業(無地番地調査委託事業) | H24～H33 | 漢那福地川周辺においては、自然を活かした土地利用の推進、地域と連携した公園等の整備を推進しているが、その中心ともいうべき未来ぎのぎに隣接する川沿いの用地が無地番地となっている。この用地を利活用する為に必要な測量調査等を実施。 | 無地番地の用途廃止及び財産取得に必要な調査測量等を実施(作業項目数 5) ・4級基準点測量 ・4級水準測量 ・現地測量 ・用地測量 ・公共用地境界確定協議 | 無地番地の用途廃止及び財産取得に必要な調査測量等を実施(作業項目数 5) ・4級基準点測量 ・4級水準測量 ・現地測量 ・用地測量 ・公共用地境界確定協議 | |
| 1 | | | スポーツ施設機能高度化事業(総合体育館機能高度化事業) | H25 | 観光振興の観点からスポーツイベントの誘致を推進するため、また、青少年や競技者の技術向上に寄与し、幅広い年齢層の人々に対して健康増進及び地域のスポーツ振興に貢献するため施設の機能強化を実施する。 | ・設計 ・屋根改修工事 ・床改修工事 ・玄関サッシュ取替工事 ・照明取替工事 | - | 繰 |
| 2 | | | 学力向上及び教育支援等事業 | H24～H33 | 小学校、中学校に学習支援員(習熟度別対応支援員)を配置し、児童・生徒一人一人へ確かな学力を身につけさせ、生きる力を育成するとともにTT(チームティーチング)による指導で判断力、思考力、想像力とねばり強さを育て、学習の基礎・基本の確実な定着を図った。 | 支援児童生徒合計(617名) | 支援児童生徒合計(623名) | |
| 2 | | | 幼稚園預かり保育事業 | H24～H33 | 幼稚園において預かり保育を実施し、親子が健やかで安心して日常生活を送れるような支援を充実させる。 | 預かり保育受入園児数(51名) | 預かり保育受入園児数(72名) | |
| 2 | | | 学校ICT機器整備事業 | H25 | 村内小中学校のICT機器の整備拡充及びその活用により児童生徒の基礎学力の向上充実を図った。 | ノートパソコン購入設置 21台 タッチパネル赤外線ユニット購入設置 12台 液晶テレビ購入設置 2台 電子黒板機能付きプロジェクター購入設置 6台 デジタル教科書購入(小3教科・中3教科) | ノートパソコン購入設置 21台 タッチパネル赤外線ユニット購入設置 12台 液晶テレビ購入設置 2台 電子黒板機能付きプロジェクター購入設置 6台 デジタル教科書購入(小3教科・中3教科) | |
| 3 | | | 有機の里宜野座村確立事業 | H24～H33 | エコビレッジ構想を推進するため、専門技術員による栽培指導を実施し、エコ農産物の有利販売促進を図る。 | エコファーマーの認定数:3名 エコマーク製作 エコマーク袋作成:10万枚 エコマークシール作成8万枚 農業技術官農指導員:2名 販売戦略指導:1名 | エコファーマーの認定数:7名 エコマーク製作 エコマーク袋作成:110,700枚 エコマークシール作成8万枚 農業技術官農指導員:2名 販売戦略指導:1名 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 宜野座村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|-------------------|---------|---|---|---|-------------|------|
| 3 | | 宜野座村エコビレッジ推進事業 | H25～H33 | エコビレッジ構想をするため、宜野座村エコビレッジ推進協議会の開催、宜野座村エコビレッジアドバイザーの設置等を行い、滞在型か日帰り型市民農園開設の検討を行う。 | 宜野座村エコビレッジ推進協議会の開催3回 先進地研修報告書の作成1回 | 宜野座村エコビレッジ推進協議会の開催2回 先進地研修報告書の作成1回 | | |
| 3 | | 浮魚礁設置事業 | H25 | 本村の漁業は主にマグロやカツオ漁、モズク養殖を中心に漁業活動を行っている。それに加え水産物の新たな展開を推進する観点から、浮魚礁を設置し、ブルーツーリズムの受入機能及び地元水産物を扱う直売所等を備えた漁村漁民活性化施設を中心に、魚食普及と漁業経営の安定的向上を図る。 | 浮魚礁2基の新規設置 | 浮魚礁2基の新規設置 | | |
| 3 | | 漁港機能強化車両購入事業 | H25 | 本村のモズク養殖は、北部圏域において沖縄県特産モズクの生産拠点として位置づけられている。フォークリフトを購入することにより荷揚げ作業時の効率化とともに生産性への意欲向上が図られ、漁獲量を増やすことにより漁業経営の安定的向上が図られる。 | フォークリフト1台新規購入 | フォークリフト1台新規購入 | | |
| 4 | | サーバーファーム設備機能高度化事業 | H25～H28 | 平成14年に開所した宜野座村サーバーファームは開所して11年目を迎える。 沖縄は地震も少なく、安定した電力供給ができることで県外企業からバックアップデータセンターの拠点として注目されているが、多様化するデータセンターのニーズに対応する為、特殊な施設であるデータセンター環境の基本調査、実施設計を行い、企業の業務支援、業務拡大を図るため、設備の機能強化を複数年に分けて実施する。 | データセンターの市場ニーズに応えるため、施設の機能高度化を効率かつ具体的に行うために、設備全体の基本調査業務を行い、5年間の設備機能高度化計画を策定。 | データセンターの市場ニーズに応えるため、施設の機能高度化を効率かつ具体的に行うために、設備全体の基本調査業務を行い、5年間の設備機能高度化計画を策定。 | | |
| 4 | | サーバーファーム施設環境整備事業 | H25 | 入居企業が求める「安心安全なデータ管理」、「運営環境への信頼」を強固にし、安定した施設利用、収益UPに繋げるため、空調施設などの施設環境の機能維持・向上を図る。 | 空調設備の設置 就業者支援設備の増設 省電力化設備の設置等 | - | 繰 | |
| 5 | | 宜野座村防災基盤強化整備事業 | H25 | 台風、地震や津波などの自然災害に想定される人為的災害等が起こった際に、村民の被災に対処・管理の強化を図るため、役場庁舎と各避難所へ保管庫の設置をして、災害用資機材及び生活必需品の購入をし、災害に強い安心安全なむらづくりを推進する事業である。 | 有事に備え、防災備蓄倉庫を設置 7箇所 災害に備え、生活必需品の物品や、救助・救出の資機材をそろえる 300人 | 有事に備え、防災備蓄倉庫を設置 6箇所 災害に備え、生活必需品の物品や、救助・救出の資機材をそろえる 300人 | | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 金武町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|----------------|---------|---|--|--|------|
| 1 | | | ぶなしめじ6次産業化事業 | H25 | 付加価値向上と販路拡大により、林業及び商工業の振興を図るため、町内で年間約260トン生産させる「ぶなしめじ」の加工品開発を行う。 | ぶなしめじ加工品開発数(2種類) | ぶなしめじ加工品開発数(2種類) | |
| 2 | | | ウォーキングコース等整備事業 | H24～H25 | 金武地区公園内等にゴム状のチップ舗装を整備し、陸上競技大会の開催や、県外大学合宿等の誘致を図る。 | ウォーキングコースのゴム状チップ舗装等整備実施率:100% | ウォーキングコースのゴム状チップ舗装等整備実施率:100% | |
| 2 | | | 温泉掘削事業 | H25 | ギンバル訓練場跡地に癒しの場となる温泉施設を整備し、周辺住民や観光客を対象とした誘客を図り町の活性化を目指すため、温泉水脈の掘削工事の実施を行う。 | 温泉掘削工事の完了 水脈量、成分の分析 | - | 繰 |
| 2 | | | 億首川周辺環境整備事業 | H25 | ギンバル訓練場跡地開発地に隣接する2級河川の億首川管理用通路を整備することにより、周辺地域一帯となった観光資源の拡充を行うことを目的とし、本年度は、設計及び、工事を行う。 | 億首川管理用通路に遊歩道を整備する。 | - | 繰 |
| 3 | | | 金武町雇用対策事業 | H25～H28 | ギンバル訓練場跡地利用に係る人材を進出企業等へ雇用を促進するため、進出企業等が町民を雇った場合の研修費用等を支援する。 | 雇用・人材育成委託:町民雇用5名 | 雇用・人材育成委託:町民雇用5名 | |
| 4 | | | 小中学校学習等支援事業 | H24～H33 | 児童生徒の学力向上のために、学習指導支援員等を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら児童生徒の支援を行うことで教育環境の充実を図る。 | 町内小中学校における全国学力・学習状況調査の平均正答率: 小学校A問題(国語・算数)71%(H23)72%(H25) 中学校A問題(国語・算数)49%(H23)50%(H25) 小学校B問題(国語・数学)35%(H23)36%(H25) 中学校B問題(国語・数学)35%(H23)36%(H25) | 町内小中学校における全国学力・学習状況調査の平均正答率: 小学校A問題(国語・算数)69%(H23)57.5%(H25) 中学校A問題(国語・算数)49%(H23)56.1%(H25) 小学校B問題(国語・数学)31%(H23)40%(H25) 中学校B問題(国語・数学)35%(H23)42.1%(H25) | |
| 4 | | | 幼稚園預かり保育事業 | H24～H33 | 子育て環境改善を目的に嘱託職員を配置し、預かり保育の充実を図る。 | 預かり保育児童数(50人) | 預かり保育児童数(43人) | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「 - 」

| 金武町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|--------------------------------|---------|--|--|--|------|
| 4 | | | 特別支援教育支援事業 | H24～H33 | 発達障害等を持つ幼児・児童・生徒の学習生活、学校生活等の困難の改善と克服を目的に教育を支援し、適切な指導及び支援を行い、学力向上に資する。 | 特別支援教育支援員充足率:100% (要支援者20名のうち20名支援) 充足率は要支援者に対し、配置している支援の割合としています。 | 特別支援教育支援員充足率:100% | |
| 4 | | | 金武中学校・米国ハワイ州カボレイミドルスクール姉妹校交流事業 | H25～H33 | 国際的な視野を持つ、国際性豊かな人材育成を図るため、2年に一度中学生10名をハワイの姉妹校へ派遣し、異文化での日常生活・学校生活の体験を通じた本格的な英語の習得に向けて、海外姉妹校との交流を行う。 | 国際交流への中学生参加数(10人) 交流後の生徒活動数:12回 (カボレイミドルスクール受入交流報告会) (教育委員会広報で報告) (学校内で報告会を行う) (派遣した生徒によるテレビカメラによる交流) | 国際交流への中学生参加数(10人) 交流後の生徒活動数:12回 (カボレイミドルスクール受入交流報告会) (教育委員会広報で報告) (学校内で報告会を行う) (派遣した生徒によるテレビカメラによる交流) | |
| 4 | | | ICT教育備品整備事業 | H25 | 児童・生徒への情報教育を推進し、学力向上を図るため、IT教室へのパソコンの整備、各教室へ電子黒板等を整備する。 | 学級数における充足率:96.8% (必要数63台、整備数61台) 平成24年度までの整備数58台 | 学級数における充足率96.8% | |
| 5 | | | 金武町青年海外派遣事業 | H24～H33 | 国際交流機会の増加促進に寄与するため、本町の青年を海外に派遣し、本町と海外移住国との有効親善関係及び人材育成の推進に寄与することを目的としている。 | 派遣研修生数(2人) 報告書の作成 派遣後の活動回数:3回(海外移住者子弟等研修生との交流や町が主催するまつり等の諸事業への参加) | 派遣研修生数(2人) 報告書の作成 派遣後の活動回数:3回(海外移住者子弟等研修生との交流や町が主催するまつり等の諸事業への参加) | |
| 6 | | | 文化観光振興拠点施設機能強化事業 | H25 | 自然・スポーツ・各種イベント等、既存の地域観光資源と連携した魅力あるまちづくりの形成及び本島北部地域(やんばる)、本県の観光振興に寄与することを目的に、地域文化の継承発展や生涯学習の振興など文化力の向上を図るため、文化振興拠点施設の機能強化を実施する。 | 舞台照明設備改修工事(調光装置の設置実施) | 舞台照明設備改修工事(調光装置の設置完了) | |
| 7 | | | 金武町防災情報システム整備事業 | H25～H27 | 大規模災害の発生に備え、災害に強く安全なまちづくりに向けて、迅速かつ正確な情報を住民や観光客等に伝達するため、防災情報システムを整備する。 | 防災情報システムの整備に係る基本調査及び基本設計の実施 防災情報システム親局、中継局及び屋外拡声子局の整備(12基) | 防災情報システムの整備に係る基本調査及び基本設計の実施 防災情報システム親局、中継局及び屋外拡声子局の整備(10基) | |
| | | | 避難経路標識設置工事 | H25 | 津波災害に備え、住民や観光客等の安全対策を講じるため、海岸沿いから津波避難場所までの避難経路を示す矢印及び海拔を示す標識を設置する。 | 避難経路標識設置数(93基) | 避難経路標識設置数(65基) | 未 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 伊江村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|-------------------|---------|---|--|----------------------|------|
| 1 | | | 村立診療所人工透析施設整備事業 | H24～H25 | 人工透析患者の住民が、離島である本村で安心して暮らせるようにするとともに、本村に訪れる人工透析が必要な観光客に対し、安全・安心な観光を提供するため、人工透析施設を整備する。 | 人工透析施設整備完了 | 人工透析施設整備完了 | |
| 2 | | | フラワーロードプロジェクト推進業務 | H24～H26 | 年間を通して休耕地や沿道等に四季を通じた植栽を行うとともに、名所・景勝地等案内板を設置する。 | ・主要幹線道への花の苗本数:2,400本 | ・主要幹線道への花の苗本数:2,400本 | |
| 2 | | | 村花・世界のゆり植栽推進業務 | H24～H28 | 村花・世界のゆりを植栽し、花の島づくりを推進する。 | ・ゆり祭り来場者目標:34,000人 (24年度来場者数:33,000人) | ・ゆり祭り来場者目標:31,000人 | |
| 2 | | | 名所・景勝地等案内板設置工事 | H24～H26 | 花の名所・景勝地等に案内板を設置し、観光客受入態勢を強化する。 | ・観光案内板の設置:39箇所 | ・観光案内板の設置:28箇所 | |
| 3 | | | 確かな学力を育む学習支援員配置事業 | H25～H33 | 小、中学校への免許外教科担当者の解消と専科教諭の配置、児童生徒1人1人に「確かな学力」を身につけさせるための学習支援員の配置、更には発達障がいなど様々な障がいがある児童生徒に対し特別支援教育支援員などの配置を行い、自立し生きていくための土台づくりを行う。 | ・支援対象児童数:380人 | ・支援対象児童数:378人 | |
| 3 | | | 各種大会派遣費助成事業 | H25～H33 | 本村の児童生徒のスポーツ、文化活動等において、地区大会や県大会等への派遣旅費について助成する。 | ・各種大会派遣人数:670人 | ・各種大会派遣人数:1,202人 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 読谷村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|------------------------------|---------|--|--|---|------|
| 1 | | | 景観形成事業 | H24～H25 | 地域性にあった景観づくりの実現に向けて、景観法に基づく景観計画のもとの方針を明らかにし、読谷村の地域特性を活かした魅力ある優れた景観形成のための事業を実施する。 | ・都市計画決定図書の作成(ヤチムンの里地区) ・住民意見の集約(座喜味城跡周辺地区) | ・都市計画決定図書の作成(ヤチムンの里地区) ・住民意見の集約(座喜味城跡周辺地区) | |
| 1 | | | スポーツコンベンション誘致促進事業 | H24～H33 | スポーツコンベンションの誘致及び観光客の誘客や物産販売の促進のため、本村でキャンプをしているプロスポーツ団体の本拠地において、キャンプ受入体制のアピールと観光や特産物をPRするイベントを実施する。 | ・誘致PRイベントにてPR演舞の観覧者(40,000人) ・集客イベントの来場者数(2,000人) ・観光PRチラシ配布3,000枚 | ・誘致PRイベントにてPR演舞の観覧者(45,000人超) ・集客イベントの来場者数(2,400人) ・観光PRチラシ配布3,000枚 | |
| 1 | | | 残波岬サッカー場管理棟整備事業 | H25 | 平成24年度に当交付金で整備した残波岬サッカー場に管理棟を建設し、利用者の利便性の向上と管理機能の強化を行う。当施設には、サッカー場利用者の会議室・トイレやサッカー場で使用する用具・芝管理用機械の格納庫等で構成される。 | ・残波岬サッカー場管理棟の建設完了 ・サッカーゴール等の備品購入 7組 | ・残波岬サッカー場管理棟の建設完了 ・サッカーゴール等の備品購入 7組 | |
| 1 | | | 読谷村地域振興センター(仮称)基本実施設計等支援委託業務 | H25 | 平成24年度作成の楚辺通信所跡地地区計画策定調査業務報告書に基づき、地区計画提案を行い、跡地利用の具体化を図る。 | 読谷村地域振興センター(仮称)建設に係る基本実施設計の実施 | 読谷村地域振興センター(仮称)建設に係る基本実施設計の実施 | |
| 1 | | | 海浜海岸等環境美化推進事業 | H25 | 読谷村において点在する海浜海岸環境美化を推進するため、海浜海岸における清掃活動の中心的役割を担っている清掃ボランティア活動を支援するとともに、不法投棄を抑制するため、ビーチクリーナーやその運送車(ごみ運搬車)、リヤカー、移動式監視カメラを購入する。 | ビーチクリーナー(3台)・運搬車(1台)・リヤカー(20台)・監視カメラ(6台)の購入 | ビーチクリーナー(3台)・運搬車(1台)・リヤカー(20台)・監視カメラ(6台)の購入 | |
| 1 | | | 危険生物駆除事業 | H25～H33 | 沖縄において危険生物として駆除の対象となっているハブの咬傷被害が毎年のように発生し、村民はもとより観光客が被害にあう事例も発生している。来村する観光客や行楽客をハブ咬傷から守るため、観光施設等の付近で、ハブが生息している箇所にはハブトラップを設置し、より安全な観光地を目指す。 | ・ハブ捕獲器の設置(約400箇所) ・エサとなるマウスの飼育小屋の設置(1棟) | ・ハブ捕獲器の設置(約400箇所) ・エサとなるマウスの飼育小屋の設置(1棟) | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 読谷村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|-------------------------------------|---------|---|---|---|------|
| 1 | | | ヨミタンJOHO発信事業(読谷観光情報等PRラジオ番組制作・放送事業) | H25～H33 | 那覇から読谷にかけての本島西海岸一帯で聴取可能なコミュニティFM放送局「FMよみたん」を活用し、主にレンタカーを利用する観光客を、国道58号より西側の本村内に誘導することを目的に、観光情報番組を毎日午前中の移動想定時間帯に制作・放送する。また、周波数を明示した読谷村観光情報紙を空港やレンタカー事業所等に配布し、聴取機会の向上を図る。 | FM放送番組の製作・放送(243日) ・チラシ 30,000枚配布 ・情報紙 30,000枚配布 | FM放送番組の製作・放送(243日) ・チラシ 100,000枚配布 ・情報紙 100,000枚配布 ・番組ステッカー4,000枚 | |
| 1 | | | 人口日本一の村PR事業 | H25 | 平成26年1月1日に第2位である読谷村が「人口日本一の村」となる。この機会を活かし、県内外に対する本村の知名度の向上と観光客の誘客を図るため、滝沢村において「人口日本一の村」の引き継ぎ式等を開催し、マスメディアをとおしてPRするとともに、村内国道58号沿線に情報発信大型ビジョンを設置する。 | ・岩手県滝沢村において「人口日本一の村」の引き継ぎ式等を開催 ・村内国道58号沿線に情報発信大型ビジョンを設置(1台) | ・岩手県滝沢村において「人口日本一の村」の引き継ぎ式等を開催 ・村内国道58号沿線に情報発信大型ビジョンを設置(1台) | |
| 1 | | | 世界遺産座喜味城跡管理活用事業 | H25～H29 | 読谷村(沖縄県)の歴史文化の代表的シンボルである世界遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群(座喜味城跡)」の管理活用する事業である。この世界遺産は読谷村(沖縄県)にとって冠としても強力な誘客素材で、この世界遺産の管理を充実させ、これまでにない活用を実践し、誘客を図り、文化振興や地域活性化、観光振興に寄与する。 | ・座喜味城跡のライトアップ(来場者数:16,400人、200人/日) ・座喜味城跡の3次元映像コンテンツ作成 ・座喜味城跡や関連文化財解説パネル作成(17種8セット) | ・座喜味城跡のライトアップ(来場者数:8,595人、84人/日) ・座喜味城跡の3次元映像コンテンツ作成 ・座喜味城跡や関連文化財解説パネル作成(17種8セット) | |
| 1 | | | ヨミタンブランド力パワーアップ大作戦事業 | H25～H26 | 読谷村や読谷村の産物(=ヨミタンブランド)知名度UPを図ることにより、観光誘客促進と読谷村のブランド力向上の取り組みを展開する。イメージキャラクター等は、そのための重要なツールと位置づけ、今年度は、ヨミタンブランドの基本コンセプトを制定と、そのコンセプトに沿ったイメージキャラクターやロゴ、キャッチコピー等を決定した。 | ・ヨミタンブランド基本コンセプト決定 ・イメージキャラクター、ロゴ、キャッチコピーの決定 | ・ヨミタンブランド基本コンセプト決定 ・イメージキャラクター、ロゴ、キャッチコピーの決定 | |
| 1 | | | 残波岬いこいの広場施設機能強化事業 | H25 | 残波岬いこいの広場内で立枯れしている樹木を伐採(除根)し、施設内の見晴らしを良くするとともに緑のフリースペースを創造し、景観を向上させるとともに利用者の安全性の確保を目指す。 | モクマオウ(枯れ木)の伐採、除根(400本) | モクマオウ(枯れ木)の伐採、除根(400本) | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 読谷村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|-------------------------|---------|---|--|--|------|
| 2 | | | 小中学校情報教育支援員配置事業 | H24～H33 | 島しょ県であるハンディを克服し、国際性豊かな人材育成と情報教育を活用した学力向上への環境を整えるため、読谷村内小中学校に情報教育支援員を配置し、パソコン教室の環境整備や機器の管理、授業時の教師の支援を行う。 | ・情報教育支援員配置数 小学校1名、中学校1名 ・配置校数 小学校5校 中学校2校 | 情報教育支援員配置数 小学校1名、中学校1名 配置校数 小学校5校 中学校2校 | |
| 2 | | | 日本語教育支援員配置事業 | H24～H33 | 二重国籍や帰国児童等日本語を習得していない児童生徒への支援体制の強化を目的とし、日本語教育支援員を配置する。 | ・日本語教育支援員配置数 小中学校2名配置 | ・日本語教育支援員配置数 小中学校2名配置 | |
| 2 | | | 読谷村内小学校社会3・4年生副読本作成事業 | H25 | 児童一人ひとりが郷土の「読谷村」の様子や産業などに興味を持ち、自主的・主体的に学習する力を育てるため、小学校3年生・小学校4年生用副読本「私たちの読谷村」を作成し配布する。 今回、平成23年度より新しい学習指導要録に基づき教科書も改訂されたため、教科書にあった新しい副読本「わたしたちの読谷村」を作成することにより、郷土の現状と歴史について正しい理解を図り、伝統と文化を愛し、尊重する態度を養うとともに郷土に誇りを持つ人材を育てる。 | 小学校3年生、4年生用副読本を各小学校へ配布 各800冊 | 小学校3年生、4年生用副読本を各小学校へ配布 各800冊 | |
| 2 | | | 電子黒板配置事業(ICT活用) | H25 | ICT活用により、日常の授業にユニバーサルデザインを取り入れ、誰もが分かりやすい授業を展開する為、村内小学校に電子黒板を配置し、効率的な知識の習得と定着を図る。 | 小学校の全教室に電子黒板を整備 5校 | 小学校の全教室に電子黒板を整備 5校 | |
| 2 | | | 学校施設窓ガラス遮光・遮熱対策事業 | H25～H28 | 児童等の学習環境の改善等を図るため、学校の窓にカーテンを設置し、亜熱帯特有の強い日差しから健康被害をもたらす紫外線と、温度上昇をさせる赤外線など、日中の教室の授業を阻害する無益な太陽光を遮断して、快適で健康的な環境を提供する。 | 中学校1校(普通教室19、特別教室7)へカーテンの設置(中学校への設置完了) | カーテンの設置(中学校1校) 26教室分 | |
| 3 | | | 読谷村道路網計画及び道路整備プログラム策定事業 | H24～H25 | 「読谷村道路基本計画」をもとに、計画の実現に向け、道路整備を戦略的に進める「道路整備プログラム」の策定を行う。 | 「道路整備プログラム」の策定 | 「道路整備プログラム」の策定 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 読谷村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|--|---------|--|--|--|------|
| 3 | | | 楚辺通信所跡地地区計画策定調査事業 | H24～H25 | 平成24年度作成の楚辺通信所跡地地区計画策定調査業務報告書に基づき、地区計画提案を行い、跡地利用の具体化を図る。 | 楚辺通信所跡地の地区計画を都市計画決定するための提案書の作成 | 楚辺通信所跡地の地区計画を都市計画決定するための提案書の作成 | |
| 3 | | | 読谷飛行場跡地村民センター地区都市計画決定支援事業 | H24～H25 | 平成24年度に作成した、第2次読谷補助飛行場跡地村民センター地区跡地利用基本計画に基づき、公園用地としての都市計画決定に向けた支援業務を行う。 | 読谷補助飛行場跡地村民センター地区を公園用地としての都市計画を検討するための報告書の作成 | 読谷補助飛行場跡地村民センター地区を公園用地としての都市計画を検討するための報告書の作成 | |
| 3 | | | 楚辺通信所跡地予備設計等支援委託事業 | H24～H25 | 平成24年度作成の楚辺通信所跡地地区計画策定調査業務報告書に基づき、地区計画の実現に向け予備設計等支援業務を実施する。 | 楚辺通信所跡地道路予備設計の実施 | 楚辺通信所跡地道路予備設計の実施 | |
| 3 | | | 読谷補助飛行場跡地地区広場(基本計画)策定事業 | H25 | 平成16年度に策定された「読谷補助飛行場跡地利用実施計画」に基づき、地区広場の基本計画策定に向けた調査及び報告書を作成する。 | 読谷補助飛行場跡地地区広場の基本計画を策定する | 読谷補助飛行場跡地地区広場基本計画報告書作成 | |
| 3 | | | 読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」実施設計等支援委託業務 | H25 | 平成24年度に実施した読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」予備設計等支援委託業務に基づき、地区計画の実現に向け実施設計等支援業務を実施する。 | 地区計画の実現に向けた実施設計実施 | 地区計画の実現に向けた実施設計完了 | |
| 3 | | | 嘉手納弾薬庫地区一部返還跡地(国道東南部地区及び周辺)に係る土地利用計画検討委託業務 | H25 | 今業務における対象区域は、嘉手納弾薬庫一部返還跡地である。当該地区周辺では、大湾東土地区画整理事業や民間開発によるゴルフ場が建設されている。区画整理地区南部の街区公園と調査対象区域の緑地は、巨木や谷、水系などに恵まれた豊かな自然環境を有している。この南側には返還跡地の長田川の自然と遺跡地区が隣接しているが、現在でも土地利用未計画区域となっている。返還後の発掘調査で確認されたアガリヌウガン遺跡は、比謝川や長田川流域遺跡群とも関連が極めて深い重要な文化財であることが判明した。 当事業は、点在するこれらの地域資源を区画整理地区内の公園緑地と連続させ、観光振興も視野にいたれた「仮称：長田川自然・歴史・文化のサンクチュアリ拠点地区」として形成を図り、大規模駐留軍用地跡地等の利用推進を図るものである。 | ・土地利用計画の策定 ・構想模型の作成 | ・土地利用計画の策定 ・構想模型の作成 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 読谷村 | | | | | | |
|------|---------------------|---------|--|---|--|------|
| 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
| 4 | ユンタガフィールドミュージアム構築事業 | H24～H28 | 読谷村の自然・歴史・文化資源等に関する情報を共有・発信・活用できるように再整理し、村民の文化的生活の向上や人材育成、地域活性化、観光振興に役立てる。 | 文化財ガイドマップ設置 3箇所 | 文化財ガイドマップ設置 3箇所 | |
| 4 | 座喜味城跡駐車場整備事業 | H25～H26 | 世界遺産座喜味城跡への来場者の利便性を図るために駐車場を整備し、本村の観光振興を図る。 | ・駐車場用地購入 825.21㎡ ・駐車場実施設計(普通車30台収容)の完了 | - | 繰 |
| 4 | 読谷村移民・出稼ぎ調査編集事業 | H24～H28 | 国内外へ読谷村をアピールし、海外からの観光客の誘客や国際交流を図るため、移民・出稼ぎについて調査・整理を行う。 | ・被調査者の調査、原稿の整理 ・記録テープ数の反訳 100本 | ・被調査者の調査、原稿の整理 ・記録テープ数の反訳 100本 | |
| 4 | くるちの杜整備事業 | H25 | 三線の始祖と言われる「アカインコ」ゆかりの地である読谷村では、沖縄の三線やその音色がいつまでも継承されるよう「くるちの杜」構想を推進し、くるちの植樹等を実施してきた。持続的な植樹の継承と沖縄文化の発信、観光の振興を推進するため、未整備であった「くるちの杜」の遊歩道を整備し、来場者や植樹作業の利便性の向上を図る。 | 遊歩道整備 約200m | 遊歩道整備 約227m | |
| 4 | 文化センター機能強化事業 | H25 | 伝統文化の保全・継承また、新たな文化の創造を目指し、伝統芸能の拠点である読谷村文化センターにおいて、高度で効果的な演出を行うために、舞台照明機器のマスターフェーダーの本数の増加や音響設備をデジタルミキシングコンソールに変更することでアナログからデジタルに変更するなど機能強化を行う。 | ・音響設備や照明設備のデジタル化 ・舞台の強化工事の完了 | ・音響設備や照明設備のデジタル化 ・舞台の強化工事の完了 | |
| 4 | 沖縄語(しまくとぅば)保存継承事業 | H25～H29 | 沖縄語で伝承されたきた民話を調査・整理し、沖縄語に親しめる教材(民話絵本や民話紙芝居DVD等)を製作し、製作物を村内自治会や保育園、幼稚園、小中学校へ配布する。 | 村内小中学校等へ配布 270冊 | 村内小中学校等へ配布 300冊 | |
| 4 | 波平棒ハワイ公演事業 | H25 | 読谷村の伝統芸能文化の魅力を発信するためにハワイ沖縄フェスティバルに出演する波平区(波平棒)波平伝統芸能保存会に補助を行うとともに、読谷村観光協会会長らもハワイへ赴き州知事等の主要人と面談し、読谷村の伝統文化を紹介する。 | ・波平棒演舞回数 3回 ・州知事等の主要人との面談 ・PR用チラシ10,000枚配布 ・PR用てぬぐい11,000枚配布 | ・波平棒演舞回数 3回 ・州知事等の主要人との面談 ・PR用チラシ10,000枚配布 ・PR用てぬぐい1,000枚配布 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 読谷村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|-------------------|---------|--|--|--|------|
| 5 | | | 長寿調査検証事業 | H25～H26 | 地域の高齢者を支えるボランティア(レク、調理、健康チェック担当)27名と役場担当職員3名を、長寿日本一の長野県に派遣し、長寿先進地域における高齢者の生きがいがづくり、食生活、健康づくりへの取り組みや病院等を調査することにより、地域コミュニティで行われているミニディサービス「ゆいまーる共生事業」の充実を図ると共に、どのようにしたら地域の健康基盤づくりへ活かせるか検証する。 | 調査報告会の実施(「ゆいまーる事業」を実施しているコミュニティ等 21カ所) | 調査報告会の実施(「ゆいまーる事業」を実施しているコミュニティ等 21カ所) | |
| 6 | | | 沖縄関係仮戸籍等電子化事業 | H25 | 戦災により沖縄の戸籍は離島の一部を除きすべて滅失するという前代未聞の状況に遭遇した。戦後沖縄戸籍整備法(昭和28年)に基づき再製された沖縄関係戸籍(仮戸籍、福岡戸籍、臨時戸籍)は、当時の戸主等の記憶に頼る申告をもって作られたため不正確な部分があることは否めず、現在でも戸籍訂正事件の基礎資料として重要な役割を果たしているが、紙媒体による保存であるため劣化が激しい。今後も安定的かつ継続的な沖縄関係戸籍に係る証明書の発行等住民サービスを確保するため、沖縄関係戸籍の電子化を実施する。 | 沖縄関係戸籍の電子化率 100% | 沖縄関係戸籍の電子化率 100% | |
| 7 | | | 中学生海外ホームステイ派遣事業 | H25～H33 | 本村の教育目標である「創造性・国際性に富み社会の貢献できる人材の育成と生涯学習の振興」の実現のため、村内の中学生12人を夏休みの1ヶ月間を利用し、英語圏に短期間派遣し、ホームステイを実施することにより、英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際性豊かな人材育成を目指す。 | 帰国報告会 3回実施 | 帰国報告会 3回実施 | |
| 8 | | | 井泉環境調査事業 | H25 | 読谷村において点在する井泉(カー)は、上水施設が整備されるまで、住民の生活用水として利用され生活基盤を支えるとともに、祭事の場としても利用され続けてきた。このように古くから残されたイセンを本村の貴重な財産としてとらえ、文化財や観光資源等として利用するとともに、災害時における水源としての利用に向けた調査を行った。 | 泉水(カー)の自然環境や水質等の調査 90カ所 | 泉水(カー)の自然環境や水質等の調査 93カ所 | |
| 9 | | | 地産地消推進を図る生産施設設置事業 | H25～H30 | 年間を通して多様な野菜が安定的に生産できる環境が構築されることにより、地域の消費需要(直売所、ホテル、飲食店など)への対応や「食と農」を通じた地域観光のイメージアップ及び農業振興が図られることを目的として、JA等が設置する生産施設の設置費の一部を補助する。 | 野菜の栽培施設設置補助(総面積 5,600㎡) | 野菜の栽培施設設置補助(総面積 3,438㎡) | 未 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 読谷村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|-----------------------|------|--|---|--|------|
| 9 | | | 地産地消推進を図るレンタル機械導入事業 | H25 | 年間を通して多様な野菜が安定的に生産できる環境が構築されることにより、地域の消費需要(直売所、ホテル、飲食店など)への対応や「食と農」を通じた地域観光のイメージアップ及び農業振興が図られることを目的として、農業機械及び格納庫の導入費の一部を補助する。導入した農業機械は、小規模農家等に貸し出しを行う。 | トラクター 1台、堆肥散布機 1台 小型耕運機 2台、管理機 1台 格納庫 57.1㎡ | トラクター 1台、堆肥散布機 1台 小型耕運機 2台、管理機 2台 格納庫 57.21㎡ | |
| 9 | | | 地産地消推進を図る製品荷姿作業施設整備事業 | H25 | 年間を通して多様な野菜が安定的に生産できる環境が構築されることにより、地域の消費需要(直売所、ホテル、飲食店など)への対応や「食と農」を通じた地域観光のイメージアップ及び農業振興が図られることを目的として、生産者が農産物直売所や飲食店などで販売するために行う袋詰等の作業負担を軽減するため製品荷姿作業施設整備費の一部を補助する。 | 製品荷姿作業施設設置補助(面積 138.5㎡) | 製品荷姿作業施設設置補助(面積 138.54㎡) | |
| 10 | | | 衛星船舶電話購入設置補助事業 | H25 | 漁業者が所有する衛星船舶電話は通信方式の変更で平成26年3月末で終了しました。その為、高額な衛星電話の購入は燃油等コストの高騰、漁家の低迷等で、漁業者の経済的負担が大きく危惧するところである。漁業者の安全操業を確保する為、漁船への衛星電話の購入設置の補助を行う。 | 衛星船舶電話設置 10隻 (村内の対象全船舶への設置完了) | 衛星船舶電話設置 10隻 (村内の対象全船舶への設置完了) | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 嘉手納町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|---------------------|---------|--|---|---|------|
| 1 | | | かでな文化センター機能向上事業 | H24～H27 | 滞在型の観光振興推進を図るため、音楽や芸能、講演会など様々な催事に対応できるよう、かでな文化センター施設の機能向上を図る | バリアフリー機能基本設計書作成 空調設備機能向上工事の実施 | - | 繰 |
| 1 | | | 嘉手納町観光史跡等説明板整備事業 | H24～H27 | 地域資源・文化資源を活用した観光振興を図るため、観光基盤の強化に向けて、町内に点在する史跡・旧跡に説明板を設置する。 | 観光史跡等説明板の設置2箇所 | 観光史跡等説明板の設置2箇所 | |
| 1 | | | 嘉手納町比謝川緑地広場整備事業 | H24～H27 | 体験型・滞在型の観光振興の強化を図るため、現在エコツアーを開催している比謝川において観光客や施設利用者の利便性を高める受入基盤の整備を行う。 | 受入施設の設計の実施 (駐車場、カヌー倉庫、トイレ、シャワールーム、ロッカールーム、研修室等) | - | 繰 |
| 1 | | | 道の駅かでな機能拡充事業 | H25 | 嘉手納基地展望のため道の駅かでなに訪れる観光客の更なる誘客と施設内の物品販売所やイベント等へ誘導を図るため、施設前面にある県有地を購入し、道の駅かでなの施設機能強化に向けた整備を行った。 | 用地取得:3,079㎡ | 用地取得:3,079㎡ | |
| 1 | | | 観光施設安全対策推進事業 | H25 | 本町へ訪れた観光客が安全・安心に滞在できる観光地を形成するため、主要観光施設である道の駅かでなへ防犯カメラ、モニター、デジタルレコーダー等を設置し、防犯機能を強化する。 | 防犯カメラ12台 モニター1台 デジタルレコーダー1台を設置 | 防犯カメラ12台 モニター1台 デジタルレコーダー1台を設置 | |
| 1 | | | うたの日コンサート事業 | H25 | 沖縄出身のトップアーティスト「BEGIN」が主体となって開催している「うたの日コンサート」における会場設営に係る経費の一部を補助し、同コンサートを誘致することで多くの観光客を誘客し、町の活性化を図る。 | うたの日コンサート開催日の県外観光客:1,000人 特産品PR:5作品以上 町出店:5店舗以上 | うたの日コンサート開催日の県外観光客:210人 特産品PR:6作品 町出店:9店舗 | |
| 1 | | | 屋良城跡公園総合再整備基本計画策定事業 | H25 | 観光資源に乏しい本町においても、屋良城跡公園及び比謝川沿岸部等風情のある場所を有しており、近年では自然を生かしたエコツアーや川祭りの開催等観光源となりうる素材が増えつつある。 そのようなことから、城跡の名勝や比謝川の自然を体験してもらうことで、観光入域客数の増加や地域活性化を図り、魅力的な嘉手納町の形成を目指す。 | 屋良城跡公園総合再整備基本計画の策定 | 屋良城跡公園総合再整備基本計画の策定 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

[凡例]
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 嘉手納町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|------------------|---------|--|--|--|------|
| 1 | | | 嘉手納町比謝川利活用基礎調査事業 | H25 | 本町には、沖縄県本島で最大流域面積を持つ比謝川が流れており、湿生植物や野生鳥獣の生息地として自然環境が残っている。このような自然環境を活かし、遊歩道の延長や自然体験型の施設を整備することにより、観光地形成を図るため、比謝川流域の基礎調査を行った。 | 比謝川流域の基礎調査の実施(5km) | 比謝川流域の基礎調査の実施(5km) | |
| 1 | | | 観光施設ICT整備事業 | H25 | 嘉手納町の観光情報を発信するため、観光拠点施設道の駅かでなより、情報発信を強化することで、町内全体の観光資源の活用と回遊性の向上を促進する。 | デジタルサイネージの設置 | デジタルサイネージの設置 | |
| 2 | | | 学習支援員配置事業 | H24～H33 | 基礎学力向上対策の上で課題となっている算数・数学、国語、英語の基礎学力定着のため、チームティーチング、習熟度別授業、長期休業中の個別指導及び放課後の補習授業に必要な学習支援員を小・中学校へ配置した。 | 県到達度調査における国語算数正答率を各学年ともに県平均以上(小3)(小5)(中2) | 県到達度調査における国語算数正答率を各学年ともに県平均以上(小3)(小5)(中2)× | |
| 2 | | | 英語力強化事業 | H24～H33 | 本町は平成22年度に教育課程特例校の認定を受け、英語教育に取り組んでいる。町立幼・小・中学校でネイティブスピーカーを活用し、日常的に英語に親しめる環境をつくる。さらに、本町の特例校としての特徴を生かすため、中学校に英語指導員を配置し、習熟に応じた学習個別支援を行い英語力の向上を図る。 | 英語検定3級以上の合格者数 50人 | 英語検定3級以上の合格者数 52人 | |
| 2 | | | ICT活用事業 | H24～H29 | 教科学習や総合的な学習の時間、特別活動の時間において教科担任と連携しパソコン指導にあたり、ICTを活用した授業の促進と情報化時代に対応できる人材の育成を図る。 | (小学校)キーボード操作能力検定目標級の達成 3学年 23級(80%以上) 4学年 17級(60%以上) 5学年 8級(40%以上) 6学年 初段(20%以上) (中学校)パソコン検定目標級の達成 1・2年 5～4級、 3年 3級 | 【小学校】 3学年31% 4学年35% 5学年4% 6学年5% 【中学校】 1・2学年 受験18名 内5級以上合格13名(72%) 3学年 受験9名 内3級以上合格7名(78%) | 未 |
| 2 | | | 不登校対策生徒指導支援員配置事業 | H24～H29 | 継続的な支援活動及び支援体制を構築することで教育環境を充実させ、生徒の自己存在感を育み、基礎学力等の向上を図るとともに、個別指導や相談等を必要とする不登校生徒に対応するため、教職員を補佐する支援員を配置した。 | 不登校生徒数を全生徒数の3.3%以下にする | 4% | 未 |
| 2 | | | スクールカウンセラー活用事業 | H25～H29 | スクールカウンセラー(臨床心理士)を青少年センターへ配置し、心的要因を抱える児童生徒及びこそだてに悩む保護者に対して専門的立場から相談を行う。また、教職員に対しても、発達障害のある児童生徒への対応、関わり型など研修を実施する。 | サポートした児童生徒の学校生活への適応や学校復帰等改善が確認できた人数:10人 | 3人 | 未 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

[凡例]
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 嘉手納町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|-------------------|---------|--|--|--|------|
| 3 | | | 戦災滅失戸籍沖縄関係書類電子化事業 | H25 | 当町の戸籍は第2次大戦により焼失したため、臨時戸籍・仮戸籍申告書・福岡戸籍が作成され、町の耐火金庫にて保管している。これらの書類は戸籍訂正等の際の根拠資料として現在でも交付しているが、紙の劣化が激しく長期保存に耐えないため、今後も国民の身分の公証資料として活用するために電子化する。また戸籍受付帳についても、紙の劣化が激しく150年の長期保存には耐えないため、早急に電子化を実施した。 | 沖縄関係戸籍の電算化率:100% | 沖縄関係戸籍の電算化率:100% | |
| 4 | | | 雇用促進事業 | H25～H29 | 全国に比べ失業率の高い沖縄において雇用情勢の改善を図るため、就職相談窓口を開設する。就職相談窓口により求人・求職者を結び就労支援を行い、求職者へ就職意識の高揚と事業者の雇用拡大に繋げていく。 | 相談人数:200人 相談窓口開設数:99回 セミナー:49回 就職人数:30人 | 相談人数:185人 相談窓口開設数:99回 セミナー:49回 就職人数:23人 | |
| 5 | | | 墓地基本計画策定事業 | H25～H26 | 嘉手納町全域(米軍基地を除く)を対象として、町内に立地する墓地の状況や住民意向を把握し、墓地の集約や適正配置に関する計画を策定するため、基礎調査を行う。 | 墓地整備基本計画策定に向けての基礎調査の実施 | 墓地整備基本計画策定に向けての基礎調査の実施 | |
| 6 | | | 廃棄物リサイクル事業 | H25～H33 | 本町では、一般家庭及び事業者から年間約600トン程度の木くず等(草、剪定枝)が排出されており、また、台風等での公園、街路樹の倒木処理は産業廃棄物として最終処分場で処理をしている状況である。一方、町で策定している一般廃棄物基本計画において、木くず等を焼却せずチップ化し、再資源化することで町内の土地づくりや堆肥に利活用する施策があり、これらの木くず等の再資源化を実施し、本計画の推進を図る。 | 嘉一般廃棄物の減量化(目標約5%削減)処理費の節減 | 草木の搬入量(60%減) | 未 |
| 7 | | | 避難施設防災強化整備事業 | H25 | 嘉手納町内の防災・減災の強化の実現に向けて、避難所(災害時要援護者優先施設)や防災保管施設(道の駅かてな)などにおいて、防災機能強化として、非常食料の備蓄、生活必需品の備蓄、避難所設置応急対策備品の確保を図り、避難所の防災機能を強化した。合わせて、保管用の備蓄倉庫を設置した。 | 災害時要援護者優先施設を中心に9か所避難場所へ備蓄品等の配置 9か所備蓄品配置(平成25年度で全避難所の40%配置完了) | 災害時要援護者優先施設を中心に9か所避難場所へ備蓄品等の配置 9か所備蓄品配置(平成25年度で全避難所の40%配置完了) | |
| 7 | | | 防災啓発事業 | H25 | 嘉手納町内の防災・減災の強化の実現に向けて、海拔表示を海拔の低い地域を中心に、道路に設置されている電力柱、NTT柱信号柱及び現認性高い場所へ掲示した。合わせて、ハザードマップの情報や避難場所等が掲載されている減災リーフレットを作成し、一般町民、児童生徒、来庁者へ配布した。 | 海拔表示版設置 80箇所 減災リーフレット作成 10,000部 | 海拔表示版設置 80箇所 減災リーフレット作成 18,000部 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 嘉手納町 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--------------------|------|---|--|--|------|
| 8 | 沖縄フェスティバルinハワイ派遣事業 | H25 | 継承者が減少している状況にある民俗芸能を広く公開し、その鑑賞を通して民俗芸能への理解と認識を深め、貴重な文化遺産としての保存、伝承を図る。町指定の無形文化財である千原エイサーを沖縄の伝統文化の継承及び推進を目的としてハワイで開催されるフェスティバルへ派遣し、当会場で演舞を披露することにより、本町の歴史ある伝統文化の魅力を多くの方に体感してもらおう。また、県人会会員が最も多いハワイにおいて移住者と交流を深めることで文化振興の場を広げる。 | <ul style="list-style-type: none"> 町内イベントへの参加 2回 派遣報告会の開催 1回 | <ul style="list-style-type: none"> 町内イベントへの参加 2回 派遣報告会の開催 1回 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 北谷町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|--------------------|---------|--|--|--|------|
| 1 | | | 北谷町観光情報センター整備事業 | H24～H25 | 観光客に観光情報を発信するとともに、物産振興と文化振興の推進、地域安全と環境浄化活動の拠点にもなりうる観光振興の拠点とするため、観光情報センターを整備した。 | ・北谷町観光情報センター新築工事の完了 RC2階建て | ・北谷町観光情報センター新築工事の完了 RC2階建て | |
| 1 | | | 北谷町文化発信拠点整備事業 | H24～H30 | 沖縄文化に触れられる観光を提供し、観光振興に寄与することを目的として、約6,500年前からの集落跡として極めて重要とされ、国の史跡に指定された「伊礼原遺跡」を観光資源として活用するために縄文時代の生活空間の具現化をテーマとした伊礼原遺跡を復元整備し、出土品等を展示する博物館を建設する。H24年度事業費では全ての建設予定地の用地購入が出来なかったため、H25年度予算も含めて執行する。 | 土地取得率100% | 土地取得率100% | |
| 1 | | | 北谷町観光物産プロモーション事業 | H24～H25 | 北谷町の知名度を一層向上させ、本町への観光客誘客推進と地域特産品の交流を図るため、県外、国外における、観光誘致対策事業、誘客プロモーション事業を展開する。 | 東京プロモーション 啓発配布 500個及び物販活動 台湾プロモーション 啓発配布 500個及び表敬訪問 | 東京プロモーション 啓発配布 500個及び物販活動 台湾プロモーション 啓発配布 300個及び表敬訪問 | |
| 1 | | | 西海岸歩行者ネットワーク整備事業 | H24～H26 | 夕日や砂浜を見ながら海辺の散策ができる憩いの空間を創設し観光地として魅力の増強を図るため、安良波公園からフィッシャリーナ地区までの地域を一体的に利用できるように遊歩道を整備する。H24年度は擁壁工事、造成工事等を実施しており、H25年度では舗装工事、植栽工事、照明設置工事等を実施する。 | H25美浜2号線歩道整備 ・遊歩道整備完了222.4m ・全体計画のうち72.3%が完了 ・遊歩道整備完了 H25 美浜地区シンボルロード改築工事 ・遊歩道整備完了210m | H25美浜2号線歩道整備 ・遊歩道整備完了222.4m ・全体計画のうち72.3%が完了 ・遊歩道整備完了 H25 美浜地区シンボルロード改築工事 ・遊歩道整備完了210m | |
| 1 | | | 宮城海岸マリンレジャーゾーン整備事業 | H24～H25 | 県内有数のダイビングスポット、サーフスポットである宮城海岸において、居心地の良い空間を提供し観光客の満足度を高めマリン産業の振興を図るため、宮城海岸マリンレジャーゾーンとして海岸護岸の舗装及び休憩舎の整備をする。H24年度からの継続事業であり、H25年度はH24年度で実施できなかった場所を整備する。 | 景観に優れた護岸の整備 ・インタロック舗装:710㎡ ・休憩舎設置 全体計画のうち68%の整備完了 | 景観に優れた護岸の整備 ・インタロック舗装:648㎡ ・休憩舎設置 全体計画のうち68%の整備完了 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 北谷町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|-----------------|---------|---|--|--|------|
| 1 | | | 北谷公園(ビーチ等)活性化事業 | H25～H27 | 既存のサンセットビーチの隣接地に新たな商業施設やホテルの開業、さらに大型ホテル建設がスタートするなかで、観光資源であるビーチへの歩行者導線やビーチ施設、北谷公園施設のグレードアップを図る目的で、今年度は屋外プール屋根設計を実施する。また、年次的に施設整備を行う。 | 北谷町営プール屋根設置設計 基本設計策定 | 北谷町営プール屋根設置設計 基本設計策定 | |
| 1 | | | 海業振興事業 | H25～H26 | 観光客誘客を図る施設整備の一環としてフィッシャリーナ地区へアプローチする道路の付帯施設整備(区画線工事、植栽工事等)及びマリン事業関連施設整備(駐車場・駐艇場等)を実施する。また一体的に整備を進めている浜川漁港内のプレジャーボート保管場の設計を行う。 | 植栽本数:75本、路線延長:1,250m 駐艇場整備:20隻、駐車場整備:48台 オーナ艇38隻(有料)の誘致 緑地面積:2,270㎡ 広場面積:1,824㎡ 及び の照明工事完了 | - | 繰 |
| 1 | | | 特産品開発施設整備事業 | H25 | 本町の地場産業である泡盛産業、泡盛用黒麹製造及び製塩事業などを活用した特産品開発の拠点となる施設を整備するために今年度は必要な調査事業として、町内特産品開発事業者等の先進地視察を行うとともに、施設整備に向けた基本構想を策定する。 | 基本構想の策定 | - | - |
| 1 | | | 観光振興地域活性化事業 | H25 | 本町の観光拠点地域においてイルミネーション装飾による景観形成を展開し、地域活性化と着地型観光の促進を図る。またビーチ及び多目的広場等の観光拠点において、エイサーやハワイアンフラ等の地域エンターテイメント事業を披露し、一層の賑わいをもたらす新たな観光資源を創出する。パンフレット、SNSサイト等の多言語コンテンツにより、当該事業の情報発信を行い、国内外及び県内外からの誘客推進を図る。 | ・イルミネーション装飾日数120日 ・エンターテイメントイベント開催数イベント:4回 ・多言語コンテンツ等を利用したアンケートを実施 300件 ・多言語コンテンツ利用者数の目標指標:5000アクセス/4か月 | ・イルミネーション装飾日数120日 ・エンターテイメントイベント開催数イベント:6回 ・多言語コンテンツ等を利用したアンケートを実施 256件 ・多言語コンテンツ利用者数:102,709アクセス | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 北谷町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|-----------------|------|--|--|--|------|
| 1 | | | 海業観光資源開発事業 | H25 | 水産業と観光業が融合した新たな海業観光資源の創出に向け、ジンベイザメやマンタ・ネコザメを飼育・展示し、新たな観光客層の開拓を図る。 | マンタ等蓄養生簀の設置 | マンタ等蓄養生簀の設置 | |
| 2 | | | 英語指導助手派遣事業(小学校) | H25 | 国際化に対応し、産業振興・観光振興に貢献できる資質・能力を持つ人材を育成するため、各小学校に1人の英語指導助手を派遣する。英語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、英語によるコミュニケーション能力の育成を目標として、学級担任と英語指導助手とのチームティーチングによる授業を行う。 | 支援生徒数: 全小学校合計 2,060人 | 支援生徒数: 全小学校合計 2,102人 | |
| 2 | | | 英語指導助手派遣事業(中学校) | H25 | 国際化に対応し、産業振興・観光振興に貢献できる資質・能力を持つ人材を育成するため、各中学校に1人の英語指導助手を派遣する。英語によるコミュニケーション能力の育成と言語や文化に対する理解を深めること等を目標として、学級担任と英語指導助手とのチームティーチングによる授業を行う。英語スピーチコンテスト等において、生徒への指導補助を行う。 | 支援生徒数: 全中学校合計 1,047人 | 支援生徒数: 全中学校合計 1,062人 | |
| 2 | | | 北谷町ハワイ短期留学派遣事業 | H25 | ハワイでの語学学習やホームステイを通して英語力の向上を図りながら、ハワイに町人会との交流会を実施し、海外で活躍しているウチナーンチュとの親睦を図り世界的な視野を持った人材を育てる。 | ハワイ短期留学派遣生徒数: 12名 ハワイ短期留学派遣事業事後報告会の開催及び報告書の作成 | ハワイ短期留学派遣生徒数: 12名 ハワイ短期留学派遣事業事後報告会の開催及び報告書の作成 | |
| 2 | | | 日本語指導学習支援員派遣事業 | H25 | 日本語指導学習支援員を学校に配置し、日本語が十分に理解できない外国籍児童生徒や帰国児童生徒等への学習支援を行う。日本語の基礎的な読み書き及び会話の指導や、日本語能力が不十分なため授業において問題文を読む力が不足している場合等への学習理解及び生活習慣の習得のために、通級教室により個別指導を行う。 | 支援生徒数: 12人 | 支援生徒数: 13人 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 北谷町 | | | | | | |
|------|---------------------|---------|---|--|--|------|
| 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
| 3 | 跡地利用推進事業 | H24～H28 | 「キャンプ桑江南側地区」の有効かつ適切な跡地利用計画の策定及び円滑な町有地取得を図るため、外国大学設置調査の実施や外国大学誘致検討委員会の開催、地権者意向調査を実施する。また、「キャンプ瑞慶覧(施設技術部地区内の倉庫地区の一部)」及び「陸軍貯油施設第1桑江タンクファーム」の有効な跡地利用計画の策定に向けた基礎調査を実施する。さらに、啓発活動として地権者説明会や跡地利用に関する情報発信を実施する。 | ・「キャンプ桑江南側地区」の外国大学設置に係る効果予測及び跡地利用の考察 ・「キャンプ瑞慶覧(施設技術部地区内の倉庫地区の一部)」及び「陸軍貯油施設第1桑江タンクファーム」における跡地利用基礎的条件的整理 ・跡地利用に対する地権者等の理解促進、地権者意向の把握 | ・「キャンプ桑江南側地区」の外国大学設置に係る効果予測及び跡地利用の考察 ・「キャンプ瑞慶覧(施設技術部地区内の倉庫地区の一部)」及び「陸軍貯油施設第1桑江タンクファーム」における跡地利用基礎的条件的整理 ・跡地利用に対する地権者等の理解促進、地権者意向の把握 | |
| 4 | 防災拠点整備事業 | H25 | 県内有数の観光地である美浜西海岸地域を訪問する観光客や住民など、滞留者の避難・帰宅支援施設として有効な機能を有する防災拠点を整備する。今年度は、アクセス道路並びに構内配置計画を策定するため、基本計画策定業務を実施するとともに、防災広場にあたる用地の取得を行った。 | 土地取得率 100% 防災拠点アクセス道路概略設計の実施 | 土地取得率 100% 防災拠点アクセス道路概略設計の実施 | |
| 4 | 航空機騒音測定装置の更新及び新設事業 | H25～H28 | 米軍基地から派生する航空機騒音の測定を実施することにより、住民生活における騒音被害の実情を把握し、日本政府及び米軍基地へ対応を求める。既存の機器2基(砂辺局、桑江局)の更新及び、新規に1基(北玉局)の設置を行う。 | 新基準(Lden)に対応する騒音測定器の設置3か所 | 新基準(Lden)に対応する騒音測定器の設置3か所 | |
| 5 | 北谷町特定駐留軍用地内土地取得基金事業 | H25～H33 | 駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、特定駐留軍用地内の土地を取得し、公有地拡大を図るための基金積立を行う。 | 特定駐留軍用地内土地取得事業基金積立実施 | 特定駐留軍用地内土地取得事業基金積立実施 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 北中城村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|-------------------|---------|---|---|--|------|
| 1 | | | あやかりの杜滞在型施設活用事業 | H24～H28 | 長期滞在型宿泊施設やキャンプ場等がある「あやかりの杜」を活用した野外活動や沖縄の自然・伝統文化の学習等を実施する。 | 体験交流人口 150人 | 体験交流人口 273人 | |
| 1 | | | 歴史文化散策路ネットワーク整備事業 | H24～H29 | 誘客を図るため、世界遺産「中城城跡」を核として、村内にある歴史文化遺産の活用と、村の魅力を発信するため、徒歩で周遊できる散策遊歩道整備の実施設計を行う。 | ・「喜舎場・仲順」地区の実施設計の完了 ・「島袋・比嘉」地区の基本計画の策定 | ・「喜舎場・仲順」地区の実施設計の完了 | |
| 1 | | | 北中城まつり活性化事業 | H24～H33 | 県内外の誘客及び村民コミュニケーション醸成を図るため、夏場の祭りとして、沖縄の伝統文化である「青年エイサー」、秋場の「北中城まつり」の開催、そして冬場の祭りとして沖縄の温暖な気候を活かした日本一早い「ひまわりIN北中城」を開催する。 | ・三大祭における来場者数 :11万人(H23:9万7千人) ・地元産業事業者及び村内各団体参加数 :40事業所(H23:20事業所及び団体) | ・三大祭における来場者数 11.1万人 ・地元産業事業者及び村内各団体参加数 :38事業所(H23:20事業所及び団体) | |
| 1 | | | 荻道・大城湧水群周辺環境整備事業 | H24～H28 | 平成の名水百選に選ばれた湧水群について、新たな観光資源としての活用を目指し、水質の調査や、世界遺産「中城城跡」のすぐ近くに点在するという環境を活かし、湧水群周辺整備を実施のための基本計画及び一部実施設計を行う。 | 荻道・大城湧水群周辺整備基本計画策定及び実施設計の実施 | 荻道・大城湧水群周辺整備基本計画策定及び基本設計の実施 | |
| 1 | | | 東海岸まちづくり整備事業 | H24～H29 | 本村の東海岸地域における低・未利用地(遊休農地等)の有効的な土地利用を図るため、津波等の災害に強い防災基盤施設等の整備と併せて、魅力ある「食」の資源を活かした特色ある観光地として都市的基盤整備を行うための、基本計画(素案)を策定する。 | 基本計画(素案)の策定 | 基本計画(素案)の策定 | |
| 1 | | | 観光コミュニティバス導入事業 | H24～H29 | 村内の観光資源をターゲットとした観光コミュニティバス導入に向け、導入時及び運用時等の問題・課題を整理し、交流活性化基本計画・実施計画を策定する。 | 観光コミュニティバス導入基本計画の策定 | 観光コミュニティバス導入基本計画の策定 | |
| 1 | | | 地域活性化キャラクター作成事業 | H25～H33 | 本村の認知度向上と地域資源の情報発信・観光客誘客強化を図るため、イメージキャラクターの募集、マスコット化、商標登録、着ぐるみの作成及びARアプリケーションの作成を行い、本村PRのツールとして活用する。 | ・キャラクター着ぐるみ 3体作成 ・キャラクター触れ合いイベント 1回 | ・キャラクター着ぐるみ 3体作成 ・キャラクター触れ合いイベント 4回 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 北中城村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|-------------------------|---------|---|---------------------------------------|---------------------------------------|------|
| 1 | | | 景観計画策定事業 | H24～H25 | 本村における景観特性や目指すべき「将来像」及び「景観形成に関する方針」等を示し、良好な景観形成のための行為の制限等を定めることにより、実現性の高い景観形成を推進するため、景観計画を策定する。 | 景観行政団体への移行 | 景観行政団体への移行 | |
| 1 | | | 公営墓地整備事業 | H25～H28 | 墓地散在化の抑制と整理、景観的な配慮や住環境の改善を図るといったこれまでの取組とあわせて、沖縄独特の墓地問題の解決に取り組むため、公営墓地整備に向けた基本設計及び実施設計を実施する。 | 測量・基本設計、実施設計の完了 | 測量・基本設計、実施設計の完了 | |
| 2 | | | アワセゴルフ場地区観光拠点づくり事業 | H24～H28 | 観光客誘致が期待される駐留軍用地跡地である「アワセゴルフ場地区」の観光拠点まちづくり及び安心安全なまちづくりを推進し、災害にも強く魅力ある観光まちづくりを目指し、災害時及び災害復旧時を想定した避難路、輸送路、物資供給などの調査・計画策定を実施する。 | アワセゴルフ場観光拠点計画の策定 | アワセゴルフ場観光拠点計画の策定 | |
| 2 | | | アワセゴルフ場地区歴史まちづくり映像保存事業 | H24～H30 | アワセゴルフ場地区は、戦前は肥沃な土地に恵まれた比嘉集落が形成され、自作農で生産性も高く豊かな集落であったが、戦後、強制的に土地が収用され60年あまりにわたって米軍娯楽施設のゴルフ場として使用され、平成22年7月に返還された。そのような戦前の営みからゴルフ場利用、返還合意から土地利用までの歴史文化の継承を図るため、映像、記録、編集を実施する。 | ・記録映像の作成 ・記録映像の撮影時間 3時間 | ・記録映像の作成 ・記録映像の撮影時間 3時間 | |
| 2 | | | アワセゴルフ場地区利用推進プロジェクト管理事業 | H24～H27 | 駐留軍用地跡地であるアワセ土地区画整理事業は早期使用収益を目指し今後の跡地利用のモデルケースとなるよう目指している。今年度より工事の着工を予定し、多くの関連工事、複数の関係機関との調整を図る必要がある。昨年度事業行った全体基本計画を基に実際に発注、着工に合わせ段階的に細分化させるため、プロジェクト管理能力のあるプロジェクトマネージャーの助言を得てアワセゴルフ場跡地開発の全体実施計画の作成、事業費基本計画の作成、全体計画の進捗管理に関してステークホルダー(プロジェクトに関係しているあらゆる人々)との調整及び管理を実施する。 | アワセゴルフ場地区利用推進プロジェクト(主に土地造成等)の調整・管理の実施 | アワセゴルフ場地区利用推進プロジェクト(主に土地造成等)の調整・管理の実施 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 北中城村 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|----------------------|---------|--|--|--|------|
| 2 | アワセゴルフ場地区総合整備計画事業 | H24～H25 | 平成24年度に見直ししたアワセゴルフ場地区総合整備計画のうち、「健康増進」・「スポーツ施設」・「スポーツ交流」に係る公共施設整備(多目的アリーナ)の基本設計を行う。 | 公共施設整備(多目的アリーナ)の設計の完了 | 公共施設整備(多目的アリーナ)の設計の完了 | |
| 2 | サウスプラザ地区跡地利用事業 | H24～H25 | アワセゴルフ場地区と当該地区を一体的に整備するため、造成基盤整備(調整池)の設計を実施する。 | 調整池設計完了 | 調整池設計完了 | |
| 2 | 喜舎場ハウジング地区跡地利用推進事業 | H25～H29 | 駐留軍用地キャンプ瑞慶覧「喜舎場ハウジング地区」内における跡地利用推進計画として、喜舎場スマートICのフルインター化に向けた、交通量調査、道路構造、跡地利用などの調査を実施する。 | ・喜舎場スマートICのフル化に向けた交通量観測計画の策定 ・交通量推計(村内ネットワーク)の作成 | ・喜舎場スマートICのフル化に向けた交通量観測計画の策定 ・交通量推計(村内ネットワーク)の作成 | |
| 2 | キャンプ瑞慶覧特定駐留軍用地推進基金事業 | H25～H29 | キャンプ瑞慶覧ロウワープラザ住宅地区の跡地利用を促進するための基金を創設し、公用地の先行取得を行う。今年度は、先行取得に向け基金積立を行う。 | ・基金条例の制定 ・基金の積立 57,000千円 達成率(基金積立額に係る取得予定面積の割合):約15% | ・基金条例の制定 ・基金の積立 57,000千円 達成率(基金積立額に係る取得予定面積の割合):約15% | |
| 3 | 雇用サポートセンター事業 | H24～H33 | 活力ある地域づくりを目指し、高い水準で推移している失業率の改善を図るため、若者や退職者を迎えた団塊の世代の再就職希望対応など、雇用サポートセンターでの継続した雇用支援を実施する。 | ・失業者のマッチング人数 24人 ・新規求人数 150件 | ・失業者のマッチング人数 27人 ・新規求人数 112件 | |
| 4 | 沖縄戦戦後復興調査事業 | H24～H29 | 沖縄戦終戦～復帰までの復興の様子を記録化するため、対象者への聞き取り調査や、関連資料の整理(新聞記事収集、聞き取りテープデジタル化)を行う。 | ・新聞記事収集 5ヶ年分 ・聞き取り調査件数 3自治会 ・聞き取り調査テープデジタル化 1,000本 ・写真資料デジタル化 1,000枚 ・村役場保管資料収集デジタル化 5件 | ・新聞記事収集 10.6年分 ・聞き取り調査件数 2自治会 ・聞き取り調査テープデジタル化 258本 ・写真資料デジタル化 0枚 ・村役場保管資料収集デジタル化 20件 | |
| 5 | 地域ブランド構築事業 | H24～H33 | 産業振興、担い手育成を図ることを目指し、農水産物資源を活かし付加価値を高めるための北中城村独自のブランド化に向けた商品開発を行い、商品選定員会で選定された特産品の販売拡大や県外物産フェアへの出店を行う事業。25年度は商品・ロゴデザインの開発と地域特産品販売所の建設を主に取り組む。 | ・販路拡大の為の県外物産フェア参加(10品目販売モニター調査、販売額目標40万円) ・量販店等への取引契約(チェーン展開する店舗1以上) ・新商品の開発3アイテム以上 ・アンテナショップ什器類(19品目)の整備 | ・販路拡大の為の県外物産フェア参加(8品目販売モニター調査、販売額84.6万円) ・量販店等への取引契約 0社 ・新商品の開発 7アイテム ・アンテナショップ什器類の整備 19品 | |
| 5 | 軟弱野菜生産支援事業 | H25～H29 | 軟弱野菜の安定生産、産地形成に取り組む為、耐候性野菜栽培施設(パイプハウス)を8棟(29.64a)設置する。 | 耐候性野菜栽培施設の設置 30a | 耐候性野菜栽培施設の設置 29.64a | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 北中城村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|--------------------|---------|---|--|---|------|
| 5 | | | 農業経営改善支援事業 | H24～H33 | 生産性の向上と後継者不足及び耕作放棄地の解消を目指し、農業者を支援するために、農業経営改善支援員を二人派遣する。 | 農家への経営指導及び技術支援の実施 40件 | 農家への経営指導及び技術支援の実施 40件 | |
| 5 | | | 再資源化ストックヤード活用推進事業 | H24～H33 | 焼却回避によるゴミ減量化を目指し、青草、伐採木の堆肥化・再資源化を図るとともに、堆肥化された植物ゴミを農業へ再活用し、循環型農業の推進を図る。 | ・青草、伐採木等の減量化 対前年度25%減 ・再資源化による堆肥量 15t | ・青草、伐採木等の減量化 対前年度10%減 ・再資源化による堆肥量 10t | 未 |
| 6 | | | 災害時要援護者避難支援事業 | H24～H27 | 観光客を含む災害時要援護者の円滑な避難を図るため、避難支援事業及び災害時の要援護者情報整備とシステム導入を行う。 | ・災害時要援護者避難支援システム導入 ・災害時要援護者個別支援計画の作成 10件 | ・災害時要援護者避難支援システム導入 ・災害時要援護者個別支援計画の作成 5件 | |
| 7 | | | 全村植物公苑化推進事業 | H24～H33 | 本村まちづくりの基本目標の1つである「全村植物公苑づくり」のもと、村全体を植物公苑とみため、観光拠点周辺の重点的な地域緑化を行う。 | 村内主要道路等の美化・緑化率 2,000㎡ | ・村内主要道路等の美化・緑化率 2,251㎡ | |
| 7 | | | 公共施設等エコアクション推進事業 | H24～H29 | 北中城村全体でCO2削減に向けたエコアクションの先駆けとして、公共施設においてクリーンエネルギー(太陽光)の先行導入と照明機器等の省エネルギー化のためのLEDへの切り替え、エコアクションプログラムの策定に向けた基礎調査を行う。 | ・村道への街灯LEDの設置 L=400m ・太陽光発電システム設置 1ヶ所 | ・村道への街灯LEDの設置 L=400m ・太陽光発電システム設置 1ヶ所 | |
| 8 | | | 総合英会話指導支援事業 | H24～H33 | 国際性豊かな人材育成を目指し、外国人や英会話能力の優れた講師による生きた英語に触れることにより、「総合的な学習の時間」や「特別活動」などの時間において、国際理解教育の一環として、指導員による英会話指導を行う。 | ・英会話指導員の配置 小学校:1人 中学校:1人 幼小兼務:1人 ・英語検定合格率(H24:51% H25:53%) | ・英会話指導員の配置 小学校:1人 中学校:1人 幼小兼務:1人 ・英語検定合格率 58% | |
| 8 | | | アメリカ教育機関ネットワーク形成事業 | H24～H33 | 米国の教育機関(ワシントン州立大学)とインターネット講座ができるWEBシステムを導入し、村内の小・中学生を対象に(定員制)に、米国大学教員による集中講座を行う。 | 受講生人数 前期:20人、後期:20人 | 受講生人数 前期:18人、後期:16人 | |
| 8 | | | 学校ICT活用指導支援事業 | H24～H33 | コンピュータ操作指導やITに関する専門的な知識向上のために、指導員を配置するとともに、操作指導・インターネットモラルなどのIT教育の推進を図る。 | ・PCインストラクター支援員配置数 1人 ・PCインストラクター支援員による授業時間 678時間/年 | ・PCインストラクター支援員配置数 1人 ・PCインストラクター支援員による授業時間 395時間/年 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 北中城村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|---|--------------------|---------|---|---|---|-------------|------|
| 8 | ④ | 南米3カ国青年研修派遣事業 | H24～H33 | 友好親善と国際交流の推進を図るため、本村出身者が多くいる南米3カ国(ペルー、アルゼンチン・ブラジル)に研修生を派遣した。また、北中城村の文化・伝統等を発信と将来を担う人材ネットワークの形成を図り、国内外の観光客誘客強化のための人材育成を図る。 | ・派遣者数2名 ・研修発表会1回 | ・派遣者数2名 ・研修発表会1回 | ◎ | |
| 9 | ① | 琉球歴史風致資産調査事業 | H24～H29 | 村内に所在する旧跡・文化財等の現況を把握するための現地調査(所見作成・写真等記録作成・位置測量等)を実施するとともに、調査成果や既存の資料について情報発信のための資料整理(台帳の整理とPC打ち込み・実測図作成・材質分析等)を行う。 | ・現地調査箇所数 200箇所 ・民俗祭祀行事調査 5件 ・過年度分補足調査 100箇所 ・村収蔵民具等図化、材質・分析 10件 | ・現地調査箇所数 250箇所 ・民俗祭祀行事調査 24件 ・過年度分補足調査 59件 ・村収蔵民具等図化、材質・分析 12件 | ○ | |
| 9 | ② | 中城間切ノロ関係資料集作事業 | H24～H29 | 島袋ノロらが活動していたとされる近世～近代の中城間切(当時の行政単位で現在の北中城村・中城村)に焦点を絞り、ノロが執り行った祭祀実態などを明らかにするため、それぞれのノロが管轄した拝所の現地調査や、関連資料の収集・聞き取り調査を実施する。 | ノロ関連現地調査 3箇所 | ノロ関連現地調査 11箇所 | ◎ | |
| 10 | ① | 幼稚園預かり保育給食対応事業 | H24～H33 | 幼稚園預かり保育(午後)において、小、中学校と同様の学校給食を提供するため、賃金調理員の配置するとともに、幼稚園園児への食育指導を行う。 | ・預かり保育実施幼稚園への給食提供数 600食/月 ・食育授業 3回 | ・預かり保育実施幼稚園への給食提供数:705食/月 ・食育授業 3回 | ◎ | |
| 10 | ② | 特別支援教育支援員配置事業 | H25～H33 | 村内の幼稚園、小学校、中学校に在籍する園児・児童・生徒のうち、特別に支援を要する子ども達に対し、支援員を配置することで該当児の学校(園)生活における介助及び学習支援等を実施する。 | ・特別支援教育支援員配置数 小学校:10人 中学校:6人 幼稚園:4人 ・特別支援教育支援員ひとり当たりの配置される授業数(年間) 小学校:820時間 中学校:895時間 幼稚園:734時間 | ・特別支援教育支援員配置数 小学校:10人 中学校:6人 幼稚園:4人 ・特別支援教育支援員ひとり当たりの配置された授業数(年間) 小学校:975時間 中学校:828時間 幼稚園:793時間 | ○ | |
| 11 | ① | 沖縄関係仮戸籍・福岡戸籍等電子化事業 | H25 | 戦災で滅失した戸籍を再製するため作成された仮戸籍申告書や福岡戸籍等の電子化事業を実施し、身分関係を公証する資料として適正に管理保存をする。 | 沖縄関係戸籍の電子化率100% | 沖縄関係戸籍の電子化率100% | ◎ | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 中城村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|------------------|---------|---|--|--|------|
| 1 | | | 護佐丸歴史資料図書館の整備事業 | H24～H27 | 沖縄や中城村の歴史や文化、世界遺産等について村民等が学ぶ場所として、また、村内外に広く知らしめる情報発信拠点として、護佐丸歴史資料図書館の建設を行う。なお、当該施設は、災害時に地域住民等の身の安全を確保するため、「防災タワー」を兼ねた複合施設とする。 | 護佐丸歴史資料図書館の実施設設計の実施 | 護佐丸歴史資料図書館の実施設設計の策定 | |
| 2 | | | 災害対策避難路整備事業 | H24～H25 | 村民の「安心・安全」な生活環境を確保するため、低海拔地域の学校や既存集落の台風や津波等対策として災害時の緊急避難路の整備築造工事を行う。 | 避難路の測量及び実施設計の実施 避難路整備築造工事の着手 | 避難路の測量及び実施設計の実施(1ヶ所) 避難路整備築造工事の着手(2ヶ所) | |
| 3 | | | 中城城跡ライトアップ事業 | H25 | 風光明媚な世界遺産「中城城跡」を観光振興の目玉として更に推進するため、城跡のライトアップを行い、普段日中しか行えない中城城跡の観光を光の演出により日没後も観覧できる観光メニューを提供するとともに集客増を目指す。 | 中城城跡への来場者数2,000人(ライトアップ事業期間) | ライトアップ事業期間中城城跡への来場者数0人(ライトアップ事業未実施) | 未 |
| 3 | | | マリンレジャーゾーン施設整備事業 | H25～H26 | 本村で各種マリンレジャーの拠点となっている久場崎海岸において、便益及びレジャー施設の整備を行い、観光客などを受入れるための環境を整え、世界文化遺産中城城跡に次ぐ観光施設を目指す。 | ・便益施設の設計 | - | - |
| 3 | | | キャンプ誘致施設整備事業 | H25 | 国内外のプロサッカーチームや日本陸連の強化選手等のキャンプやプロバスケットボールチームの練習場として利用されている吉の浦公園各種施設への今後更なるキャンプ誘致に向けて経年劣化している公園内の各種施設の機能強化整備を行うとともに、県内でも数少ないサッカー専用の芝生を有するサッカー場の適正管理を行い、スポーツコンベンションの推進を図る。 | ・吉の浦公園ごさまる陸上競技場芝生(プロサッカー専用芝)の適正管理 ・吉の浦公園野球場施設(照明・フェンス)機能強化工事 ・中城村民体育館施設(天井張替等内部)機能強化工事 ・吉の浦会館フェンス機能強化工事 | - | 繰 |
| 3 | | | 観光客誘客促進事業 | H25 | 本村や沖縄県の観光客誘客促進のため、本県のサッカーチームの県外試合の際に、試合前やハーフタイムに地域のキャラクターごさまる等を活用して本村・沖縄県の観光PR活動やキャンプ誘致活動を行うことで、観光客誘客促進を図る。また、サッカー教室など地域でのイベント開催を通して、地域のスポーツ振興を図る。 | 観光PR活動の実施:2回 キャンプ誘致活動の実施:5回 特産品開発の実施:1～2種類 | 観光PR活動の実施:2回 キャンプ誘致活動の実施:6回 特産品開発(未実施) | |
| 3 | | | 中城護佐丸まつり事業 | H25 | 本村観光地の目玉である、世界遺産「中城城跡」にて、観光客の誘客とともに村民意識の高揚と親睦による地域活性化及び商工・観光振興の観点からも伝統と文化に根差した観光誘客イベントとして「中城護佐丸まつり」を開催する。 | まつり会場来場者数(8,000人) | まつり会場来場者数(10,352人) | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 中城村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|---|---------------------------|---------|--|---|--|-------------|------|
| 3 | ⑥ | 村HP多言語化事業 | H25 | 本村と歴史的、文化的に関連が深い国や地域との沖縄振興に資する交流関係を広げるため、また、観光振興のための観光情報も含め、外国人向けに本村ホームページを多言語化して情報発信を行う。 | 月平均アクセス数(3,500アクセス) ※アクセス数とはPV数を表しています | 月平均アクセス数(9,776アクセス) ※アクセス数とはPV数を表しています | ◎ | |
| 3 | ⑦ | 海外移住者子弟研修生受入事業 | H25～H33 | 南米諸国等に移住した中城村出身者の子弟を研修生として受け入れ、日本語研修、企業研修、伝統文化・芸能の習得を通して、ウチナーンチュとしてのアイデンティティの形成を図り、各国村人会等のリーダーとして社会の発展に寄与する人材を育成するとともに、移住国との友好親善に努め観光振興への展開として、南米諸国等と沖縄の観光の架け橋になってもらうことを目的として実施する。 | 受入研修生数(3名) | 受入研修生数(3名) | ◎ | |
| 3 | ⑨ | クラブハウス施設整備事業 | H25～H26 | スポーツコンベンションの推進を図る目的で当交付金の平成25年度事業として整備を行っている吉の浦公園周辺施設の一つであるサッカー場に、キャンプ誘致の受入基盤を更に強化整備するため、ミーティングルームやレフリースルーム、更衣室等の設備を兼ね備えた「クラブハウス」を整備する。 | クラブハウス施設の基本計画、実施設計の実施 | クラブハウス施設の基本計画、実施設計の策定 | ◎ | |
| 4 | ① | 中城の歴史と文化を学ぶプロジェクト | H24～H26 | 「郷土の歴史・文化についての学習」を充実させるため、小中学校の教材等を編纂する。今年度は小学生向け教材の企画検討、執筆者編集委員会の設置等を行う。平成25年度末に小学生向け教材の納品を行い、平成26年度末に中学生向けの教材の納品を行う予定である。 | 読み物教材の出版 絵本教材の出版 3年～6年生教材の出版 脚本の出版 教育課程特例校の申請 中学校教材の企画委員会、編集委員会を実施し教材プロットを作成する | 読み物教材の編集、納品 絵本教材の編集、納品 3年～6年生教材の編集、納品 脚本の編集、納品 教育課程特例校の申請、指定 中学校教材の企画委員会(3回)、編集委員会(3回)を実施し教材プロットを作成 | ◎ | |
| 4 | ② | 学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業 | H24～H33 | 児童生徒が、コンピューター等の情報手段に慣れ親しみ適切に活用できるよう、情報支援員の配置やコンピューターの設置等により環境を整備する。 | パソコン設置数(中城小 40台) パソコン設置数(津覇小 40台) 情報教育対応補助者配置数(1人) | パソコン設置数(中城小 60台) パソコン設置数(津覇小 60台) 情報教育対応補助者配置数(1人) | ◎ | |
| 4 | ③ | きめ細かな児童生徒支援事業 | H24～H33 | 特別に支援を要する児童生徒や学習が遅れ気味の児童生徒について、個に応じたきめ細かな支援を行うため、特別教育支援員や学習支援員を各学校に配置する。また、家庭の理由で不登校になる児童生徒が多いため、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを配置し、児童生徒と保護者に対して、精神的にきめ細かく支援する体制を整備する。 | 不登校児童生徒数(0人) | 不登校児童生徒数(4人) | 未 | |
| 4 | ④ | 国際理解人材育成事業 | H24～H33 | 学校の外国語活動及び国際教育を充実させるために英語指導の補助員を配置する。 | 英語指導員配置数(小学校 1人) 英検取得者数(40人) | 英語指導員配置数(小学校 1人) 英検取得者数(75人) | ◎ | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 中城村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|--------------------|---------|--|--|---|------|
| 4 | | | ごさまる学力パワーアップ事業 | H25～H28 | 生徒の学習意欲を引き出し、確かな学力を身につけるためには、その日の学びの定着や繰り返し学習が必要である。そのために、「学習定着のための機会」の提供として土曜講座等を開催する。 | 受講生の事前テスト・事後テストの平均10点の向上(事前テスト・事後テストの平均10点の向上) 県到達調査の数学・英語の平均点を上回る(到達調査の数学・英語の平均を上回る) | 受講生の事前テスト・事後テストの平均10点の向上(1年生数学56%・英語35%、2年生数学52%・英語62%が向上した) 県到達調査の数学・英語の平均点を上回る(受講者平均は県到達調査の平均点を上回った) | |
| 4 | | | 児童館・子育て支援センター強化事業 | H24～H33 | 子育ての不安を解消し、子供たちへの虐待を防ぐため、相談体制の強化を図るとともに、地域のボランティア育成を強化する。 | 地域ボランティアによるイベント開催実施率(活動目標に対して 70%) | 地域ボランティアによるイベント開催実施率(活動目標に対して 270%) | |
| 5 | | | 輪ギクの安定生産に向けた取組 | H24～H25 | 輪ギクの作業効率向上および生産拡大を図るため、施肥作業と選別・調整作業の機械化を実施する。 | 選別機械の導入支援件数(2件) | 選別機械の導入支援件数(2件) | |
| 6 | | | ごさまるエネルギープロジェクト | H24～H25 | 中城村に建設中の吉の浦火力発電所は、沖縄で初めて導入されるLNG(液化天然ガス)を燃料として発電を行う。液化された天然ガスが気化する際に発生する廃熱を中城村の地域振興と地域エネルギーシステムの確立に利用するため琉球大学及び中城村商工会の産官学連携により共同研究を行う。 | 冷凍粉碎した製品を利用した商品開発の提案(サンプル試作) 製氷実験の結果に基づく利用可能性の提案(製氷実験) | 冷凍粉碎した製品を利用した商品開発の提案(サンプル試作 2つ) 製氷実験の結果に基づく利用可能性の提案(製氷実験実施) | |
| 7 | | | 文化財悉皆調査事業 | H25～H29 | 5ヵ年計画で民俗調査専門員(嘱託員)による村内文化財の悉皆調査を行い文化財の位置や現況等を把握し、それを整理公開していくことで村民の文化財の保護意識高揚と活用を図っていく。 | 調査概要の作成(100名程度) | 調査概要の作成(98名) | |
| 7 | | | 村内文化財整備事業 | H25～H33 | 村及び県指定文化財の保存及び活用を図るため修復やサインの設置を行う。 | 「新垣の石橋」の整備 「津覇の竈屋」の整備 「安里のテラ」の整備 | 「新垣の石橋」の整備の実施 「津覇の竈屋」の整備の実施 「安里のテラ」の整備の実施 | |
| 7 | | | 古道ハンタ道保全活用基本計画作成事業 | H25～H26 | 本村では、ハンタ道(旧歴史の道)の道路整備を実施したが、道沿いの駐車場や便益施設、道路周辺文化財のサイン等の整備不足もあり、文化財や景観環境等周辺観光素材の十分な活用が出来ていない。今後の活用を図るために、追加整備や新たな活用方法等の基本計画を作成し、今後の文化・観光振興につなげていく。 | 前提条件の整理 環境条件の調査 道と各集落の関係性に対する調査 重点地区の検討 住民参加による道周辺環境整備の検討 報告書の作成 | 前提条件の整理 環境条件の調査 道と各集落の関係性に対する調査 重点地区の検討 住民参加による道周辺環境整備の検討(未実施) 報告書の作成(0冊 未実施) | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 中城村 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|------------|------|---|--------------------|--------------------|------|
| 7 | 中城城跡詳細測量事業 | H25 | 中城村が平成27年度に建設を計画している「(仮称)護佐丸歴史資料図書館」に展示する中城城跡詳細模型を作成したり、中城村役場や中城城跡共同管理協議会のホームページで公開する中城城跡の3D画像を作成するため中城城跡の城郭全体のレーザー測量を実施する。 | レーザー測量の実施(城郭の測量) | レーザー測量の実施(城郭の測量) | |
| 8 | 中城村景観形成事業 | H25 | 本村における、村土利用の基本方針に沿った、景観特性にあった、実現性の高い有効的村土利用と景観形成を推進するため、景観計画を策定、景観条例を制定する。 | 景観計画の策定 景観条例の制定 | 景観計画の策定 景観条例の制定 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 西原町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|----------------------|---------|--|--|---|------|
| 1 | | | 公園樹木等環境整備事業 | H24～H28 | 沖縄県は国内唯一の高温多湿の亜熱帯性気候という気象条件から、季節を問わず年中雑草等が繁茂し、植物の育成が早いという特徴がある。観光振興の観点から、沖縄らしい風景・景観等を保全するため、観光地形成促進地域内の公園樹木の環境整備を行う。 | 町内公園の美化・緑化実施箇所 西原運動公園 東崎公園 東崎都市緑地 | 町内公園の美化・緑化実施箇所 西原運動公園 東崎公園 東崎都市緑地 | |
| 1 | | | 沖縄らしい風景づくり推進事業 | H24～H26 | 本町の地域特性を活かし、自然と文化、都市が調和した沖縄らしい風景・景観を保全するため、景観法に基づく景観計画を策定する。 【庁内策定会議、検討委員会】 | 景観計画素案作成 | - | 繰 |
| 1 | | | 農水産物物流・加工・観光拠点施設整備事業 | H25～H26 | 地域振興及び観光情報の拠点施設として、地域特産品を販売・消費できる農水産物直売所を中心に伝統文化等の地域資源の展示・紹介・イベント広場等の施設及び加工所並びにレストラン等の諸施設を整備する。 | ・基本計画の策定 ・用地選定 | - | 繰 |
| 1 | | | 文化財及び文化財周辺環境保全事業 | H25 | 西原は、琉球王朝時代、首里王府の直轄領であったことや、第二尚氏王統の始祖である金丸(のちの尚円王)と関係の深い地域であるため、それに関連した文化財が町内の至るところに残されている。この町内に散在する文化財(古城跡、墓、拝所、井戸など)及び文化財周辺地域の歴史的景観を保持すること、その雰囲気を出すこと、来訪者の安全の確保を目的とした環境美化作業を実施する。これによって、地域内外の人たちやガイド団体、観光客等に安全に利用してもらおうための基礎的環境整備を図る。 | 対象文化財及びその文化財周辺の清掃の実施:15件×3回 町指定天然記念物「内間御殿のサワフジ(サガリバナ)」の診察、カルテ作成:1回 | 対象文化財及びその文化財周辺の清掃の実施:15件×3回 町指定天然記念物「内間御殿のサワフジ(サガリバナ)」の診察、カルテ作成:1回 | |
| 1 | | | 文化財サイン設置事業 | H25 | 西原は、琉球王朝時代、首里王府の直轄領であったことや、第二尚氏王統の始祖である金丸(のちの尚円王)と関係の深い地域であるため、それに関連した文化財が町内の至るところに残されている。この町内に散在する文化財(古城跡、墓、拝所、井戸など)及び文化財近辺に標柱や解説板を設置することで、地域内外からの来訪者やガイド団体が活用できるような環境整備を図り、観光基盤の強化に繋げる。 | 対象文化財の名称等を表記した標柱設置:6基 対象文化財の説明等を表記した解説板設置:4基 | 対象文化財の名称等を表記した標柱設置:6基 対象文化財の説明等を表記した解説板設置:4基 | |
| 2 | | | 小学校英語活動指導員派遣事業 | H24～H28 | 幼い頃から英語に触れ、学ぶことは、将来国際性を身につける上でも大変貴重な体験となり、英語を学ぶことにより、国際的視点、感覚への足掛かりとなる。児童の国際感覚を育むため、町立小学校に英語活動指導員を派遣し、英語教育の充実を図る。 | ・英語の授業が「好き」と答えた児童が70%を超える ・児童生徒(ブロンズ)模擬テストを年2回実施する ・児童英検(ブロンズ)模擬テストにて6割の正答率をクリアできる児童が60%を超える | ・英語の授業が「好き」と答えた児童が70%を超える 90% ・児童生徒(ブロンズ)模擬テストを年2回実施する ・児童英検(ブロンズ)模擬テストにて6割の正答率をクリアできる児童が60%超 79% | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 西原町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|-------------------------|---------|--|--|---|------|
| 2 | | | 教育相談員配置事業 | H24～H28 | いじめや校内暴力、不登校等、問題行動の未然防止や早期発見、早期対応を図るため、児童や保護者の相談窓口、学校及び教育委員会等のパイプ役として教育相談員を配置する。 | 教育相談員への相談件数：450件 不登校児童生徒の減少 (児童9人、生徒20人) | 教育相談員への相談件数：845件 不登校児童生徒の減少 (児童16人、生徒31人) | |
| 2 | | | 学習支援員等配置事業 | H25～H28 | 全国学習状況調査で、全国最下位という結果が続く本県において、児童生徒の学力向上及び人材育成を図るため、町内小中学校に学習支援員を配置する。 | ・学習支援員を町内全小中学校に配置：6校 ・県の到達度調査及び全国学力調査において、全教科県平均を上回る。 小：69% 中：52% | ・学習支援員を町内全小中学校に配置：6校 ・県の到達度調査及び全国学力調査において、全教科県平均を上回る。 小：71% 中：54% | |
| 2 | | | 特別支援教育支援員配置事業 | H25～H28 | 特別な支援を要する児童生徒に対し、個に応じたきめ細やかな支援を行うため町内小中学校に特別支援教育支援員を配置し、支援体制の拡充と質の向上を図る。 | 特別支援教育支援員の配置 小学校：16人、中学校：4人 支援児童40名、支援生徒41名 | 特別支援教育支援員の配置 小学校：16人、中学校：4人 支援児童36名、支援生徒12名 | |
| 2 | | | 教育情報化支援事業 | H25～H30 | 将来の沖縄振興に資する人材育成及び児童生徒の学力・情報活用能力等の向上を図るため、各小中学校に電子黒板やデジタル教科書等のICT環境を整備し、より魅力的かつ分かりやすい授業を実現できる環境を整える。 | ICT機器の整備、教育用ソフト導入学校数 小学校：4校 中学校：2校 ICT機器・教育用ソフト整備進捗率：20% | ICT機器の整備、教育用ソフト導入学校数 小学校：4校 中学校：2校 ICT機器・教育用ソフト整備進捗率：32% | |
| 3 | | | ICT技術を活用した観光振興・人材育成推進事業 | H24～H27 | ICTを活用した観光振興を図るため、ポータルサイトの構築や観光アプリ開発を行う。また、観光情報拠点を整備し、観光客へのタブレット端末貸出を行う。さらにIT技術人材育成施設を整備し、Webデザインやアプリ開発などの人材を育成するとともに、インターネット動画配信番組の制作に取り組む。 | 観光サイト・アプリのリリース 観光情報拠点の整備(1箇所) IT人材育成講座の開催 年6回定員10名 動画作成ワークショップの開催 年6回定員30名 西原町紹介動画の作成 5本 | 観光サイト・アプリのリリース 観光情報システムの整備 IT人材育成講座の開催 年8回のべ35名 動画作成ワークショップの開催 年6回16名 西原町紹介動画の作成 6本 | |
| 4 | | | 西原町平和推進プロジェクト事業 | H25～H29 | 第二次世界大戦で唯一地上戦となった沖縄戦の実績を風化させることなく後世へ継承し、平和思想を世界に発信するため、西原町平和音楽祭を開催する。 | 西原町平和音楽祭観客動員数 1580人 | 西原町平和音楽祭観客動員数 1500人 | |
| 5 | | | スポーツ環境整備事業 | H24～H25 | 西原町陸上競技場は、毎年プロサッカーチームの試合や合宿等が行われている。今後、国内外トップチームの誘致をさらに進め観光資源としても活用するため、芝管理用トラクターやその他の備品を整備し、機能強化に取り組む。 | 備品倉庫の建設 サッカー・陸上競技の備品整備の実施 | - | 繰 |
| 6 | | | 世代間交流推進事業 | H25～H28 | 低取得県ゆえの共働き世代に対応した子育て施策の拡充を図り、地域の高齢者から沖縄独特の伝統芸能や文化を次世代に継承するため、幼児から高齢者にいたる3・4世代が交流できる世代間交流施設を整備する | 西原町三世交代流施設(仮称)の基本設計の実施 | 西原町三世交代流施設(仮称)の基本設計不実施 | 未 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 西原町 | | 計画 期間 | 事業 内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合 評価 |
|-----|-------------|-------------|--|--|--|----------|
| 6 | 認可外保育施設支援事業 | H25～ H28 | 認可外保育施設において安心して子どもを預けられるようにするため、支援員を派遣し、保育士の事務負担を軽減し、もって保育士が保育業務に専念できる環境を整備するとともに、認可外保育施設の各クラスの定員空き状況の集約や施設相互の情報交換等の連携補助を支援員が行うことにより、町民への迅速な情報提供体制の構築及び施設の質の向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・役場窓口にて認可外保育施設の定員空き状況リスト、保育料、保育方針等の情報提供の実施。 ・定員空き状況の集約(月1回) | <ul style="list-style-type: none"> ・役場窓口にて認可外保育施設の定員空き状況リスト、保育料、保育方針等の情報提供の実施。 ・定員空き状況の集約(月1回) | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 与那原町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|---------------------------|---------|---|--|---|------|
| 1 | | | 大綱曳倉庫・作業場整備事業 | H25～H26 | 現在、仮設倉庫に一時保管している与那原大綱曳の関連備品等の適切な保管、大綱の資材となる藁の保管及び綱づくり作業場の確保のため倉庫を建設する。 | ・用地取得 2,299㎡ ・建築基本・実施設計 | - | 繰 |
| 1 | | | 滞在型観光構築推進事業 | H25～H33 | 本町に滞在し集客できる仕組みを構築するため、町内観光ガイドの育成等人材育成事業、地域特性を活かした体験メニューの開発、観光まちづくり委員会の構築、知名度アップのための情報発信、観光ガイドブックのブラッシュアップ、民泊家庭の発掘を行う。 | 民泊受入家庭の発掘 5軒 町内観光ガイドの育成数 5人 体験メニュー開発数 2メニュー | 民泊受入家庭の発掘 7軒 町内観光ガイドの育成数 11人 体験メニュー開発数 7メニュー | |
| 1 | | | 地域活性化イベント支援事業 | H24～H33 | 商店街大通りににおいてイベントを開催して誘客活動を活発に行うことにより商業・観光活性化につなげていく。そのイベント実施に要する経費の助成とイベント用備品の整備を行い、観光振興と商業振興を図る。 | ちゃんぶる～市・軽便市を年6回開催 集客数6,000人 | ちゃんぶる～市・軽便市を年5回開催 集客数2,615人 | 未 |
| 1 | | | 商工会青年部南北交流支援事業 | H24～H33 | 若年交流を通して沖縄のPRを図るとともに将来のリピーターを生み出すことで誘客と観光振興につなげることを目的として、本町商工会青年部と北海道浜中町商工会青年部が共同して行う「南北少年少女体験交流」へ支援を実施する。 | 交流派遣者数24人 浜中町交流団受入10人+浜中町商工会関係者15人受入 両町のまつり、イベントでの相互特産品販売・町のPR実施 | 交流派遣者数24人 浜中町交流団受入14人+浜中町商工会関係者34人受入 イベントでの特産品販売・PR | |
| 1 | | | 観光地美化・緑化きれいなまちづくり事業 | H24～H29 | 町内散策コースの美化・緑化を促進し、観光客が安心・安全で気持ちよく町内を回遊できるように環境美化・整備を行い観光振興を図る。 | 散策コース美化清掃実施 沿岸線緑化工事実施(2.0km) | 散策コース美化清掃実施 沿岸線緑化工事実施(0.9km実施) | |
| 2 | | | 来訪者と町民の交流施設整備事業 | H24～H27 | 本町が取り組む新たな観光資源創出の一環として、来訪者と町民が親睦を深める交流会等の開催が可能な施設を整備することで、将来のリピーターを生み出し持続可能な観光振興を図る。 | ・与那原町観光交流施設の実施設計及び建設工事(進捗率40%)の実施 | - | 繰 |
| 2 | | | 交流施設駐車場整備事業 | H24～H25 | 本町が取り組む新たな観光資源創出の一環として、来訪者と町民が親睦を深める交流会等の開催が可能な施設、さらに、災害時に来訪者の避難施設として活用することを目的に交流施設を建設するが、施設機能の向上と最大限に利活用するために駐車場を整備する。 | 駐車場23台追加整備 | 駐車場23台追加整備 | |
| 3 | | | 学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業 | H24～H29 | 将来を担う児童生徒の学力向上及び人材育成を図る為、デジタル教科書の充実、ソフトを利用するデジタルテレビ、電子黒板等を整備する。また、各教職員や情報教育支援員が、ICTを活用した、きめ細かな教育が支援できるよう人員配置を行う。 | 情報教育支援員の配置 2人 電子黒板等購入(TV・ブルーレイ・台・電子黒板)3セット 授業回数 週16時間 年間464時間 | 情報教育支援員の配置 2人 電子黒板等購入(TV・ブルーレイ・台・電子黒板)3セット 522時間実施 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 与那原町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|-------------------|---------|---|---|---|------|
| 3 | | | きめ細かな児童生徒支援事業 | H24～H28 | 特別な支援を要する児童生徒をはじめ、学習の遅れ気味な児童生徒に対し、個に応じたきめ細かな支援を行う為に、スクールカウンセラー・学習支援員・特別支援教育支援員を各学校に配置する。 | 全国学力調査の平均正答率において、全国との差を前年度比2%縮める カウンセリングによる、不登校者数の減(前年度比1～2名減) | 全国平均との差4.1ポイント開いた不登校者数 小中計11名の減 | |
| 3 | | | 国際理解人材育成事業 | H24～H28 | 沖縄振興の発展に重要な国際的感覚や視点を身に付ける人材育成の為に、英語指導員(ALT)の他に英語指導の補助員を配置し、外国語活動及び国際理解教育を充実させる。 | 英語検定(1～4級)取得 125人 | 英語検定(1～4級)取得 154人 | |
| 3 | | | 沖縄文化推進事業 | H24～H28 | 沖縄の特異文化である歌・三味線や、様々な音楽文化を継承するため、地域人材を生かした音楽教室を開催し、地域イベントへの積極的な参加をはかる。 | 作編曲委託 2曲 指導者派遣及び教室 60回 発表会 3回 | 作編曲委託 2曲 指導者派遣及び教室 55回 発表会 2回 | |
| 4 | | | ほっとハート子育て応援事業 | H24～H33 | 0歳児童の待機児童対策を目的に、9人以上の0歳児童保育を実施する為に看護師配置する認可保育所へその経費の一部を助成する。 | 0歳待機児童数(各年10月現在) 4人 | 0歳待機児童数 28人 | 未 |
| 5 | | | 与那原町東浜水路憩いの広場整備事業 | H25～H27 | 本町東浜地区と既存市街地との間の水路を観光資源として活かし、新たな観光産業の育成を図る為の拠点として、東浜水路沿いに憩いの広場とやんばる船の展示施設を整備する。 | 東浜水路沿いに憩いの広場とやんばる船の展示施設を設計。 用地取得 広場設計、展示場設計 | 広場、展示施設設計 | |
| 6 | | | 船舶電話通信機器設置補助事業 | H25 | 本町漁業組合に所属する漁業者が現在使用している衛星船舶電話が平成25年度末にアナログからデジタル化に移行するため、平成26年度から使用不能となる。それに備えて衛星船舶電話通信機器(デジタル機器)の設置補助を行い、遠方漁業船の安全確保と漁業振興を図る。 | 船舶電話の設置:40台(艘) (対象:漁業組合所属88艘中、ソデカ・マグロ漁を行う40艘) | 船舶電話の設置:39台(艘) | |
| 7 | | | 与那原町地域防災計画策定事業 | H25～H26 | 本町は太平洋に面した、海拔の低い平坦地に住宅街が密集した地勢にあり、これまで経験したことのない大きな被害をもたらした東日本大震災のような大規模な災害に備え、町民と来訪者の安心と安全を確保するため、指定避難所の見直しを含めた「避難計画」を今年度策定する。また、次年度には避難計画を軸とした地域防災計画の完成を目指す。 | 避難所台帳 3部 地区別防災カルテ 3部 地震・津波避難計画書 計画策定 50部 地震・津波避難マニュアル作成指針 豪雨(土砂)災害避難計画書 計画策定 豪雨(土砂)災害避難マニュアル作成指針 50部 | 避難所台帳 3部 地区別防災カルテ 3部 地震・津波避難計画書 計画策定 50部 地震・津波避難マニュアル作成指針 豪雨(土砂)災害避難計画書 計画策定 豪雨(土砂)災害避難マニュアル作成指針 50部 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 与那原町 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|-----------------|---------|--|---|-------------|------|
| 8 | 軽便鉄道与那原駅跡公園整備事業 | H24～H26 | 与那原駅跡を復元し、軽便鉄道の歴史を感じる与那原町の新しい観光スポットとして公園及び道路の整備を行う。軽便鉄道の与那原駅跡の整備後、高齢者や障がいをもつ方々が利用しやすい環境を整備するため駐車場用地を購入し駐車場の整備を行う。 また、駅跡整備に関してより魅力ある観光スポットとする為、公園部分追加整備を行うとともに、平成24年度に引き続き駅跡整備を実施する。 | 復元する与那原駅の周辺整備完了 ・外構部分の整備 ・駐車場の整備 ・駐車場部分の用地購入 | - | 繰 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 南風原町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|---------------|---------|--|--|---|------|
| 1 | | | 青少年国際交流事業 | H24～H28 | 町内の青少年リーダーを海外へ派遣し、教育・文化・歴史産業などの視察研修、そして現地の学校への体験入学、ホームステイを実施する。研修を通して国際的視野を広め、国際化時代に対応しうる青少年リーダーの育成を図る。また、参加した青少年達に対して事後活動を定期的に行い、地域で自主的な活動を行えるようサポートする。 | 研修後報告会の開催 1回 | 研修後報告会の開催 1回 | |
| 1 | | | 小学校英語指導助手配置事業 | H24～H33 | 小学校のうちから英会話にふれさせ、外国の言語や文化について興味を持たせ英語力を向上させるために、外国語に精通した日本人を各小学校に配置する。 | 英語を話す児童の割合 60%以上(アンケート) | 英語を話す児童の割合 92% | |
| 1 | | | 学力調査等事業 | H24～H33 | 学力が低い沖縄県において、本町を担う児童生徒の学力向上推進のために、学力調査等を専門業者に委託する。 | 標準学力調査の実施 (小学校4校中4校・中学校2校中2校) | 標準学力調査の実施 (小学校4校中4校・中学校2校中2校) | |
| 1 | | | 学習支援員配置事業 | H24～H33 | 沖縄の学力の低さは、基礎学力の不足が原因と言われている。そこで、基礎学力を定着させるため、授業に遅れがちな児童生徒に対するきめ細かな指導により基礎学力向上を図るため、学習支援員を配置する。 | 標準学力調査結果正答率(国語・算数・数学)0.1%増 | 小学校国語 - 3.4 小学校算数 - 2.5 中学校数学 - 6.0 | 未 |
| 1 | | | 特別支援教育支援員配置事業 | H24～H33 | 児童生徒の総合的な学力向上を目的として、教室内で授業中に全体の指導についていけない子ども(学習障害者や注意欠陥多動性障害者など学習や生活面の特別な教育的補助を必要とする児童生徒)の個別指導や授業外の補習、円滑に学習を行うためのサポート(介助や安全確保)などを教師と連携して行う補助員を配置する。 | 標準学力調査結果正答率(国語・算数・数学)0.1%増 | 小学校国語 - 3.4 小学校算数 - 2.5 中学校数学 - 6.0 | 未 |
| 1 | | | 学校ICT推進事業 | H24～H28 | 沖縄県は学力テスト結果が下位に位置し、低所得者も多いことから、学力向上を図る為に電子黒板とデジタル教科書やデジタルペンさらにネットワークを介してデジタルコンテンツ等を十分に利用するため学校内ネットワーク器機の整備、ICT支援員を配置する。 | ・電子黒板導入率(普通教室) 【小】100%【中】100% ・デジタルペン導入率(小学校普通教室) 13% ・デジタル教科書件数(導入率)9件【中】100% ・ネットワーク機器台数 小学校:46式中学校:16式 ・ICT支援員 2名 ・アンケートの実施 | ・電子黒板導入率(普通教室) 【小】100%【中】100% ・デジタルペン導入率(小学校普通教室) 13% ・デジタル教科書件数(導入率)10件【中】100% ・ネットワーク機器台数 小学校:43式中学校:18式 ・ICT支援員 2名 ・アンケートの実施 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 南風原町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|------------------|---------|---|---|---------------------------------|------|
| 1 | | | 児童生徒健全育成事業 | H24～H33 | 怠学や問題行動・暴力行為等の不登校生徒の居場所として自立支援教室を設置、専任の指導員を配置し、よりきめ細やかな対応、均等な学習指導を行う。また、怠学等の児童生徒の校外指導を行うため校外指導員を配置する。 | ・自立支援教室指導員(中学校):2人 ・生徒校外指導員(中学校):6人 ・登校支援員(小中学校):2人 | - | 繰 |
| 1 | | | 教育相談支援事業 | H24～H33 | 不登校または不登校傾向にある児童生徒や、子どもへの対応に悩みを持つ保護者に対する支援を充実させるため、教育相談支援員を小中学校に配置する。 | ・町教育相談員配置数:1人 ・心の教室相談員配置数:2人 | ・町教育相談員配置数:1人 ・心の教室相談員配置数:2人 | |
| 1 | | | 中学校外国人英語指導助手配置事業 | H24～H33 | 中学校英語教育の充実と国際理解教育推進に資するため、外国人英語指導員を中学校へ派遣する。 | 標準学力調査結果正答率(英語)0.1%増 | 標準学力調査結果正答率(英語) 中学校英語 - 11.2 | 未 |
| 1 | | | 南風原町青年海外派遣事業 | H25～H33 | 本町の青年達を、特に移民先の南米やハワイへ派遣し、町人会や、移民の次世代の青年たちとの交流を深める。言語、文化理解をはじめ、移民の歴史や現在の状況、世界のあらゆる動きの中で同じ町の人として励まし合い、助け合う繋がりを構築できる人材を育成する。その成果を今後の町の将来を担うリーダーとしての自覚を持って活動をしてもらう。平成25年度は南米に青年を派遣する。 | ・帰国後、訪問地の町人会の様子や研修成果等の報告会開催 | ・帰国後、訪問地の町人会の様子や研修成果等の報告会開催 | |
| 1 | | | 南風原町各種大会派遣助成事業 | H25～H33 | 小・中学校の児童生徒が、県外で開催される運動競技大会又は文化又は文化関係大会に参加する際の派遣費の補助をする。 | 各種派遣児童生徒数 31人 | 各種派遣児童生徒数 95人 | |
| 1 | | | 南風原町県外等派遣助成事業 | H25～H33 | 将来の沖縄振興に資する人材育成のため、町内に在住する小学生・中学生及び地域青年会等が運動競技及び文化活動に対して必要な派遣費用の助成を行う。 | 派遣児童・生徒数(累計):140人 | 派遣児童・生徒数(累計):127人 | |
| 1 | | | 魅力的な体験学習事業 | H25～H33 | 沖縄振興に資する人材育成のため、机上の学習だけではなく体験学習を取り入れた授業を行うことで児童生徒の探究心や想像力を育て学ぶことに対する「興味」「楽しさ」を実感してもらう。 | 理科への関心度:70% | 理科への関心度:97% | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 南風原町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|------------------|---------|---|--|---|------|
| 1 | | | 南風原町児童生徒県外交流事業 | H25～H33 | 徳島県サマーキャンプに南風原町の小学校高学年及び中学生を派遣し、徳島県つるぎ町の半田中学校での交流会、つるぎ町及び徳島市での自然・文化体験プログラムで文化交流や自然学習等を体験する派遣費の補助をする。 | ・派遣者にアンケートや報告書(感想文)を実施し集計結果や分析を報告 「楽しかったこと・びっくりしたこと」の答えの50%以上に民泊交流・中学校交流が入るようにする。 「次回も継続してほしいこと」の答えの50%以上に民泊交流・中学校交流が入るようにする。 ・徳島県から中学校修学旅行生を1校受け入れる。 | ・「楽しかったこと・びっくりしたこと」の回答に民泊・中学校交流と答えた割合 55% ・「次回も継続してほしいこと」の回答に民泊・中学校交流と答えた割合 56% ・徳島県から中学校修学旅行生を1校受け入れる。 | |
| 2 | | | 南風原町観光景観美化整備事業 | H24～H33 | 本県は亜熱帯性の固有な自然環境であり、年間を通して植物の繁茂がある。町内の観光ルート周辺の景観美化を町内の求職者を雇用して実施し、クリーンな南風原町を目指す。 | 観光ルートに伴う町道のメンテナンス(草木の伐採等による景観美化の管理)を実施 L = 12,600m | 観光ルートに伴う町道のメンテナンス(草木の伐採等による景観美化の管理)を実施 L = 12,600m | |
| 2 | | | かすりの道景観活性化プロジェクト | H24～H33 | 魅力的な観光地、まちづくりを形成するため、地域の観光資源である「かすりの道」に観光客誘客をねらう。地域住民参加による色鮮やかな花の植栽等の緑化活動、地域ガイド活動、道並などの整備を行い滞在型観光客の受け入れ態勢を整える。イベントを開催するなど、かすりの道の来訪者(観光客・地元客)が安心・安全に散策できる散策体験プログラムや地域住民と協働で整備を行う。 | かすりの道ツアー開催 1回(10人) かすり緑化活動 10回(30人) | かすりの道ツアー開催 5回(210人) かすり緑化活動 12回(115人) | |
| 2 | | | やさしい観光地づくり事業 | H24～H33 | 滞在型ツアーなど観光客が求める情報提供を行うため、観光パンフレット等の紙媒体とスマートフォンの連携をし、興味喚起から現地の誘導までをワンストップで提供する。野外ホットスポット(ワイファイアンテナ)を建て、スムーズな情報提供を行うことで、町独自の観光案内システム(アプリケーション)制作を、地域における滞在制の向上を目的として実施する。 | ・観光プロモーション実施 ・無線インフラ(公衆Wifi)設置:6ヶ所 ・観光ポータルサイト及びAR運用 | - | 繰 |
| 2 | | | デザインくくり担い手育成事業 | H24～H33 | 本町の琉球絣は伝統工芸品として有名だが、現在不足している「デザインくくり」の継承者を育成する必要がある。デジタル方法で新しいデザインを生み、管理できる新たな道を開く。若い担い手の活動の場を提供し、かすりの伝統工芸の継承を促進しつつ、新しい分野での発展の可能性を向上させる。絣の基礎知識、全行程も学びながら、デザインくくりの技術を習得させ「デザインくくりの担い手」として、即戦力になるまで3年間育成する。 | デザインくくりの担い手育成人数 5名 | デザインくくりの担い手育成人数 3名 | 未 |
| 2 | | | 担い手経営戦略事業 | H24～H33 | 琉球絣に携わる担い手が、生産をするだけでなく、グローバルな視点を持ち、全国、世界に対応できる人材を育成し、産業として成り立つよう経営戦略を長期的に学ぶ。新たな絣工芸品の開発及び二次加工製品の新技术との融合により付加価値のある製品開発を行い、成果展を開催する。 | 絣事業担い手経営学習者数 6名 | 絣事業担い手経営学習者数 6名 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 南風原町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|-----------------|---------|---|---------------------------------|-------------------------------------|------|
| 2 | | | 伝統工芸と観光戦略事業 | H24～H33 | 伝統工芸品である琉球絣は貴重で町民の憧れの品となっている。その良さを町内外の方々に知ってもらうため、滞在型観光につながる絣体験のコンテンツをプログラム化し、本町でしか体験できない体験を創る。さらに絣事業の拠点でもある琉球絣会館を観光客のニーズに対応し、琉球絣の行程が見学できるよう改修工事を行い、町内外からの観光客増加を図る。 | モニター参加者目標 10人/月 琉球絣会館改修工事の完了 | モニター参加者目標 47人/年 琉球絣会館改修工事の完了 | |
| 2 | | | 町独自の商品開発技術力強化事業 | H24～H26 | 地域資源の活用や異業種連携による商品開発及び企業と連携により消費者のニーズを踏まえたデザイン性・機能性に優れた南風原らしい、商品開発等を行い、産業展開する。異業種があつまり、プロジェクトチームを組み、南風原らしい商品開発を行い、生産、販路まで、展開し、競争力を高める。平成24年度はターゲットを2点に絞り、平成25年度は実際に商品をつくり、販路を開拓する。 | プロジェクトチームによる試作品開発 試作品の試食会の開催 | プロジェクトチームによる試作品開発 試作品の試食会の開催(2回) | |
| 2 | | | 南風原町地域農業活性化事業 | H24～H33 | 本町では、以前から夏野菜の代表であるヘチマの栽培が盛んで、生産量は毎年県内の上位に位置している。しかし、野菜、花卉、果樹等の露地栽培では、本県特有の気象条件(台風、長雨、干ばつ等)病害虫、鳥獣等による被害が後を絶たず安定供給の妨げになっている。それらの被害、影響の軽減を図る為、耐候性施設(強化型パイプハウス)を設置する経費に対し補助を行い、今後のヘチマの品質向上と安定供給を図る。 | パイプハウス施設の整備 件数:3件 | - | 繰 |
| 2 | | | 農業生産体制強化事業 | H24～H25 | 農産物の生産体制の強化を図る上で作物の安定供給並びに品質確保は欠かせない要素である。道路の凸凹による荷崩れを防止し、生産分の品質向上を図る為にアスファルト舗装を施工するとともに、耕作地への歩行並びに運搬車両の安全性を確保するため、防護柵を設置し、環境整備を図る。 | 防護柵設置率:100% 道路舗装整備率:100% | - | 繰 |
| 2 | | | 南風原名人制度創設事業 | H25～H27 | 観光の国際化や多様な観光ニーズに対応するため、本町の地域人材を活用した地域発の観光商品の事業化に向けた取り組みを推進する。 本町での体験ツールを増やす目的で、町内の名人(得意なこと)制度を創設する。名人として認定委員会より認定し、認定証を発行。 認定した後は名人名簿に登録してもらい体験学習のプログラムに参加し、町民と共に滞在型観光の実現を図る。 | 体験学習プログラム数 2件 名人登録者(累計) 15人 | 体験学習プログラム数 4件 名人登録者(累計) 10人 | |
| 2 | | | 民泊啓発推進事業 | H25～H27 | 本町には宿泊施設がないため、滞在型観光の振興の妨げとなっている。宿泊体験の推進を図り、滞在型観光を促進するため、企画・運営職員を配置し、宿泊体験家庭の開拓やシステムの構築など行って、観光推進体制を強化していく。 | 宿泊体験家庭数 5家庭 宿泊体験受入数 25名 | 宿泊体験家庭数 9家庭 宿泊体験受入数 0名 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 南風原町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|-------------------|---------|---|---|---|------|
| 2 | | | 南風原町地域発信力強化事業 | H24～H28 | ヘチマ生産日本一を誇る本町では、南風原産へちまの愛称を「はえばる美瓜(ヒュウリー)」と名付け、本町のブランド化を図るため、ヒュウリースダンスユニットを結成した。そのヒュウリースダンスユニットを活用し、物産展やイベント等で、販売促進活動を行い、南風原産へちま及び本町の観光PRを図り、本町の魅力等情報発信を行う。 | 町PR活動イベント出演 5回 | 町PR活動イベント出演 24回 | |
| 2 | | | ヒーローのまちづくり事業 | H25～H33 | 全国的ヒーローである「ウルトラマン」の生みの親である金城哲夫さんは本町出身です。本町の観光振興、地域活性化のため、金城哲夫さんにちなんだまちづくりを行う。町民主体に誘致活動を行い、金城哲夫さんのフォーラムやウルトラマン映画上映、脚本コンペ、映像化を定期的に行い、地元客及び観光客を本町へ誘導し、活性化を図る。 | イベント、フォーラムの開催 2回(1,000人) | イベント、フォーラムの開催 5回(8,274人) | |
| 2 | | | 南風原町観光情報発信ツール制作事業 | H25 | 日本観光協会の調査では観光客が目的地決定に参考にするものとしてインターネットが1位となっていることから、南風原町観光協会のホームページを整備し、本町の観光発信ツールとして活用し情報発信を行う。観光客へ本町の魅力を迅速且つ的確に伝えていくことで、ニーズに合わせた内容充実型観光の創出及び観光客などの誘致を図る。 | ホームページアクセス数 3,000アクセス | ホームページアクセス数 11,251アクセス | |
| 2 | | | 黄金森公園スポ・ツ施設活性化事業 | H25～H26 | 良好なスポ・ツレ・ニング環境の提供により環境と結びつけたスポ・ツコンベンションの誘致、開催を図るため、「黄金森公園陸上競技場」の競技機器の整備を行う。陸上競技用の投擲囲い・走高跳及び棒高跳びマットの購入、サッカー・用としてサッカー・ゴール(ジュニア用)を購入し、環境の整備を図る。 | 黄金森公園陸上競技場の競技機器整備(棒高跳び用マット、走り高跳び用マット、円盤投げ用ゲージ等)整備完了 | 黄金森公園陸上競技場の競技機器整備(棒高跳び用マット、走り高跳び用マット、円盤投げ用ゲージ等)整備完了 | |
| 2 | | | 南風原町観光振興計画策定事業 | H25 | 平成25年4月に南風原町観光協会が発足した。推進基盤が整備されたのを機に、本町の豊富な観光資源を活かした総合的・効果的な観光振興をより一層推進するため、町、観光関係団体、観光事業者、町民などが観光立町の実現という共通の目標に向かって、それぞれの立場で取り組むものと位置づけた観光振興計画を策定する。 | 観光振興計画策定 | 観光振興計画策定 | |
| 2 | | | シマじまガイド事業 | H24～H33 | 着地型観光メニューとして「シマじまガイド」(町内ディープな名所案内巡り)を実施し、本町の観光まちづくりを推進している南風原町観光協会に委託する。「シマじまガイド」では、訪問客に地元の魅力をあますところなく伝えようと、これまでになかった新しいまち歩きコースを策定し、参加しやすさ、定時出発をキーワードに南風原町内に広く展開していく。 | シマじまガイド事業利用者数 1,300人 | シマじまガイド事業利用者数 1,458人 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 南風原町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|------------------|---------|---|---|-----------------------|------|
| 2 | | | 南風原町観光PR促進事業 | H25～H33 | 南風原町のイメージキャラクターを観光PRツールとして有効活用し、各種イベントや、マスメディアへのPRを始め、観光施設・町民交流スポットなど、町内外においてPR活動をしていきます。さらに、南風原らしい特産品をつくり、南風原町の観光振興に繋げるとともに、町内の観光情報を一元化するため、観光案内所をつくる。 | はえるんフェスティバル2013開催 来場者数3,000人 はえるんを中心とした物産展や運動会等を行う。 はえばるの酒製作1種 イベント来場者へのグッズ配布 美瓜の大逆襲…2000人来場 はえるんフェスティバル…3,000人来場 観光案内所整備の完了 | - | 繰 |
| 2 | | | 南風原町観光駐車場整備事業 | H25 | 琉球絨の産地である南風原町本部地区にある「かすりの道」や「かすり会館」といった観光地へ自動車や観光バスで訪れた方々が、周辺散策の拠点として活用できるように、観光用駐車場の確保・整備を行う。 | 南風原町観光駐車場整備の完了 | - | 繰 |
| 3 | | | はえばるリサイクルループ事業 | H24～H28 | 町内での食品廃棄物の循環を構築するため、町内で発生する食品廃棄物(生ごみ、廃食用油含む)を分別回収し、それらで養豚用飼料や堆肥、バイオディーゼル燃料を生産する。 | 生ごみ(家庭系)の年間資源化量 45トン | 生ごみ(家庭系)の年間資源化量 32トン | |
| 3 | | | 環境学習支援事業 | H24～H28 | 児童館や学校、教育委員会等と連携し、小学4、5年生を対象に、専門家による「体験型」の環境教育・環境学習を実施する。 | 環境学習「買い物ゲーム」体験者数 450人 | 環境学習「買い物ゲーム」体験者数 414人 | |
| 3 | | | 草木リサイクル事業 | H24～H28 | 「循環のシステム」を構築するため、町内から出る草木を堆肥化し、農地で活用する。 | 草木のリサイクル量 450トン | 草木のリサイクル量 347トン | |
| 3 | | | 省エネ施設推進事業 | H24～H26 | 高温多湿な状況にある、児童生徒の教育環境の改善に向けた省エネと節電効果の対策として小中学校の普通教室に扇風機設置を行う。 | 扇風機設置 小学校1校:4台×28室 小学校:112台 | 小学校:111台 | |
| 3 | | | 地域新エネルギービジョン策定事業 | H25 | 地球温暖化の原因となる温室効果ガスを削減する手段として、南風原町全体で化石エネルギーに代わる新たなエネルギーの導入を検討・実施していくため、地域新エネルギービジョンを策定する。 | 地域新エネルギービジョン策定 | 地域新エネルギービジョン策定 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 南風原町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|------------------|---------|--|--|--|------|
| 4 | | | 防災体制強化事業 | H24～H28 | 沖縄県は島しょ県であるため、大災害が発生すると孤立する可能性がある。町独自の自主防災として食料等の備蓄やスーパー減災マップ、地域防災計画の修正を行い、様々な災害に瞬時に対応できる体制を整える必要がある。特に、本町の地域防災計画には津波に関する項目がなく、東日本大震災での多くの被害は津波によるものである。島しょ県である沖縄だからこそ、東日本大震災を教訓にし、地域防災計画等を整え、防災体制の強化を図る必要がある。 | ・スーパー減災マップの配布数 13,009世帯 ・南風原町地域防災計画の「食料等備蓄計画」の目標備蓄数16,200食(36,000人×1/20×3日分×3食)に対する充足率 44% ・地域防災計画の見直し | ・スーパー減災マップの配布数 13,312世帯 ・南風原町地域防災計画の「食料等備蓄計画」の目標備蓄数16,200食(36,000人×1/20×3日分×3食)に対する充足率 44% ・地域防災計画の見直し | |
| 4 | | | 災害時避難施設改修事業 | H24～H33 | 台風等の自然災害による被害が多発しているため、台風などの災害や不発弾処理等非常時の避難施設である地域公民館や集会施設の整備を行う。 | 施設整備補助 H24年度:1件 H25年度:3件 | 施設整備補助 2件 | 未 |
| 4 | | | 災害時避難施設防災体制強化事業 | H24～H28 | 沖縄県は島しょ県であるため、大災害が発生すると孤立する可能性があるため、災害時の避難施設である地域公民館や集会施設の備品(AED)を整備する。 | 自治会公民館、集会所のAEDパット、バッテリーの整備 16自治会 | 自治会公民館、集会所のAEDパット、バッテリーの整備 15自治会 | |
| 5 | | | 放課後児童の居場所づくり支援事業 | H24～H33 | 学童クラブの経営安定化を図ることを目的に、町内の学童クラブ10園中、民間施設を借用し運営を行っているクラブに対して一月50,000円の上限で家賃補助を行う。 | 学童クラブ家賃補助実施学童:5件 (津嘉山学童クラブ、学童クラブわんぱく家、ドルチェ学童クラブ、こがね森学童クラブ、第二こがね森学童クラブ) | 学童クラブ家賃補助実施学童:5件 (津嘉山学童クラブ、学童クラブわんぱく家、ドルチェ学童クラブ、こがね森学童クラブ、第二こがね森学童クラブ) | |
| 5 | | | 預かり保育事業 | H24～H33 | 幼稚園の教育時間終了後も、引き続き園児の健やかな成長を支えるため預かり保育教諭を配置する。 | 預かり保育 教諭配置 1名 預かり率(入園者に対する預かり園児の数) 66% 預かり率は5/1時点とする | 預かり保育 教諭配置 1名 預かり率(入園者に対する預かり園児の数) 69.1% 預かり率は5/1時点とする | |
| 5 | | | 幼稚園保育充実支援員配置事業 | H25～H33 | 本町では平成25年度より町立幼稚園の保育時間を正午から午後2時まで延長し、併せて給食の提供も行う。園児へ安心・安全に提供できる体制とするため、幼稚園保育充実支援員を配置し、給食センター内の備品を購入する。 | 給食支援員 配置数 3名 給食提供関係備品の購入 配缶用台車4台 水切運搬車1台 | 給食支援員 配置数 2名 給食提供関係備品の購入 配缶用台車4台 水切運搬車1台 | |
| 5 | | | 認可外保育施設環境整備事業 | H25～H27 | 子育て世代の人口増に伴い待機児童が増え続けていることから、待機児童の受け皿となっている認可外保育園の施設整備に対して補助を行うことにより保育環境を向上させる。 | 認可外保育園の施設整備数:1ヶ所 (やまびこ保育園) | 認可外保育園の施設整備数:1ヶ所 (やまびこ保育園) | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 南風原町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|---------------------|---------|---|--------------------------------|--------------------------------|------|
| 6 | | | 陸軍病院壕公開活用事業 | H24～H33 | 本町は沖縄戦で人口の4割以上が犠牲になった。戦中は後方陣地として町全域に日本軍陣地が構築され、沖縄陸軍病院も置かれた。町では悲しい歴史を二度と繰り返してはいけないという強い決意をもって、陸軍病院壕群20号を整備した。県内外から訪れる多くの人々に戦争と平和、命について考えてもらう施設として公開活用の取り組みを行う。 | 見学者数 10,000人 | 見学者数 9,498人 | |
| 6 | | | 資料の公開活用事業 | H24～H28 | 南風原文化センターに収蔵されている貴重な歴史資料をデータベース化して整理し、公開活用の幅を広げつつ後世へ継承していく。 | 南風原文化センター 収蔵資料のデータベース化率 74% | 南風原文化センター 収蔵資料のデータベース化率 44% | 未 |
| 6 | | | 子ども平和学習交流事業 | H24～H33 | 町内の小学校4校から6年生を8人を選考し、事前学習で、戦争と平和(太平洋戦争の歴史、沖縄戦の状況や広島原爆の様子など)や差別・人権(ハンセン病に関する事、被差別部落など)を学習し、歴史の中での戦争や差別の問題を考える。学んだことを報告書としてまとめると共に、報告会で発表する。事業後も過去に参加したOBたちと協力し自分たちができる活動を展開する。 | 事前学習、本研修の後その報告会を開催 | 事前学習、本研修の後その報告会を開催 | |
| 6 | | | 伝統芸能保存育成事業 | H24～H33 | 町内には数多くの伝統芸能がある。各字・自治会の伝統芸能の保存や継承への取組に必要な衣装や獅子舞などの道具の補修や買い換えに対し助成を行うことで伝統芸能継承を推進する。 | 年中行事等での伝統芸能上演等回数 67回 | 年中行事等での伝統芸能上演等回数 67回 | |
| 6 | | | 南風原町海外移住者子弟研修生交付金事業 | H24～H33 | 文化交流を推進するため、南風原町出身の海外移住者子弟を南風原町に研修生として受け入れ、移民の歴史はもちろん、相互の文化を学習させる。 | ・研修成果の報告会を開催 | ・研修成果の報告会を開催 | |
| 6 | | | 伝統文化交流施設活性化事業 | H24～H26 | 地域交流センターは、各地域に伝わる伝統芸能の発表の場、本土の中高生の平和学習の講演会・演奏会等に活用されているが、施設の備品(黄金ホールのテーブル・イス、研修室モニター等)の配置が不十分であるため、備品の整備を行うことにより施設の充実及び機能の強化を図り、今後の文化活動・伝統芸能の継承や他の地域との文化・伝統交流等、総合的な文化事業を展開し地域活性化に繋げる。 | 利用来場者数 10,000人 | 利用来場者数 10,770人 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 南風原町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|-------------------|---------|--|---|--|------|
| 6 | | | 南風原町クサティ森等保全事業 | H25～H30 | 南風原町の集落は首里の近郊にあり、王朝時代の集落形態を今に残している。集落のクサティ森には遺跡や御嶽(ウキ)、殿(トウ)、拝所などの史跡が多数ある。字津嘉山のクサティ森は沖縄戦で軍司令部壕が建設され戦跡としても重要である。これらの歴史文化の保全継承及び文化資源を活用した観光振興を図るため、旧軍司令部壕の一部復元、説明板・散策道・休養施設整備及び整備のための用地取得を行う。平成25年度は、基本計画の策定と一部早期工事着手に向け実施設計を行う。 | クサティ森等の基本計画策定 津嘉山の殿(トウ)周辺の実施設計 | クサティ森等の基本計画策定 津嘉山の殿(トウ)周辺の実施設計 | |
| 6 | | | 南風原文化センター収蔵庫増改築事業 | H25 | 南風原文化センターに収蔵されている貴重な歴史資料データベース化業務とあわせて、資料の保存環境を整備して公開活用の幅を広げつつ後世へと継承する。 | 収蔵庫3階の増築とリフト及び空調機器の設置 | - | 繰 |
| 6 | | | 南風原文化センター利活用推進事業 | H25～H29 | 南風原文化センターの図書室で所蔵している図書資料の利活用を推進するために、図書の整理、登録作業をし、授業等の「調べ学習」に役立てるように必要な装備品や書棚を整備する。また南風原文化センターと沖縄陸軍病院壕の施設を紹介しながら夏場の見学に実用的なイラスト入り団扇を作成し、あらゆる機会に配布する。さらに南風原文化センター利用者を拡大するため、平和学習・沖縄の文化と歴史の学習で訪れる団体のために常設展示室で放映している3種類の映像(「沖縄陸軍病院」「沖縄戦後史」「人びとの暮らし」)に、聴覚障がい者、難聴者、外国人のための音声(英訳、中国語訳、韓国語訳、スペイン語訳、ポルトガル語訳)、日本語字幕などを入れたDVDを制作する。制作は6種類各3本で既存DVDとは区別し、必要に応じて放映する。 | ・図書室の環境整備 ・団扇の配布(H25年2000本) ・製作DVDの利用拡大 | ・図書室の環境整備 必要備品を購入し環境整備を図った ・団扇の配布(H25年1,500本) ・製作DVDの利用拡大 外国からの団体や個人見学者へ利用提供を行った | |
| 7 | | | 長寿県復活食の応援事業 | H25 | 長寿県復活に向けて、南風原町の生活習慣病の予防と内臓脂肪を改善するために、油を使わない食事と野菜の摂取を増やす食事のレシピを考案し、町民へ周知する。その方法として、レシビカレンダーとポスターを作成配布し、町民へライフサイクルに応じたバランス食を啓発していく。 | レシピの作成 12,000部 ポスターの作成 600部 | レシピの作成 12,000部 ポスターの作成 600部 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 渡嘉敷村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|---------------------|---------|--|---|---|------|
| 1 | | | 渡嘉敷村観光客誘致促進及びPR促進事業 | H24～H26 | 継続的な観光振興を推進するため、県外からの修学旅行受け入れ活動の強化、県内外で開催される観光イベント等でのPR活動、広告媒体を活用した観光情報の発信を行う。 | ・修学旅行PR事業展開(県外) ・離島フェア等各種イベントで島のPR活動展開(県内) | ・修学旅行PR事業実施(県外) ・離島フェア等各種イベントで島のPR活動実施(県内) | |
| 1 | | | 慶良間海域サンゴ保全活動事業 | H25 | 慶良間海域のサンゴを保全しながら、持続的に利用するための対策を講じるため、座間味村と共同でサンゴ保全活動計画、及びその運用ルールを策定する。 | 慶良間海域を活用するダイビング事業者の利用ルールの策定 | - | 繰 |
| 1 | | | 渡嘉敷村美化清掃事業 | H24～H26 | 観光地としてのイメージアップを図るため、渡嘉敷島の海浜、道路、公園など観光客等が利用する公共施設の美化、清掃等を実施する。 | 観光地及び周辺の美化 8箇所 | ・観光地及び周辺の美化 8箇所 ・青少年旅行村施設内のトイレ・シャワー棟改修 | |
| 1 | | | 旅客船インフォメーション映像制作事業 | H25 | 村営定期船では日本語による旅客へのインフォメーションを行っているが、高齢者や障害者及び外国人への周知が不十分なため、映像をととしたインフォメーションビデオを制作し、すべての利用者へ正確な情報伝達ができるよう環境を整える。 | ・旅客船インフォメーション映像制作 ・船内利用開始 | ・旅客船インフォメーション映像完成 ・船内利用開始 | |
| 1 | | | 渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業 | H25～H33 | 天候不良等により渡嘉敷村村営定期船が欠航した時または、予定時刻に変更が生じた場合の補完的移動手段として、住民や観光客が「渡嘉敷ヘリポート」と「那覇空港」間を運行するヘリコプターをチャーターした際の運賃を半額補助する。 | 利用人数 200人 | 利用人数 270人 | |
| 1 | | | 戦争遺跡遊歩道設置事業 | H25 | 観光客誘致や平和学習の根拠地として活用するため、村内の戦争遺跡に遊歩道を設置して整備を図る。 | ・戦争遺跡遊歩道の整備 ・住民避難壕の整備 ・特攻艇秘匿壕の整備 | ・戦争遺跡遊歩道の整備 ・特攻艇秘匿壕の整備 | |
| 1 | | | 渡嘉敷港ターミナル外観整備事業 | H25 | 渡嘉敷港ターミナルの屋根瓦が台風により破損欠落した箇所があり、観光客等利用者の安全確保のため、修復工事を行う。また、塩害等による腐食により使用出来なくなっている一部の照明及び放送設備の改修を行う。 | ・渡嘉敷港ターミナル屋根瓦修復工事完了 ・渡嘉敷港ターミナル外壁塗装工事完了 | ・渡嘉敷港ターミナル屋根瓦修復工事完了 ・渡嘉敷港ターミナル照明設備等一部修復 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 渡嘉敷村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|-----------------------|---------|---|--|-----------------------------------|------|
| 2 | | | 渡嘉敷村農地保全事業 | H24～H33 | 農作物のイノシシによる被害拡大を防ぎ、農家に安心して安定的な農産物の生産と農業振興を図るため、箱罾を設置してイノシシを捕獲駆除する。 | イノシシ捕獲頭数 100頭 | イノシシ捕獲頭数 99頭 | |
| 3 | | | 小学校学習支援員配置事業 | H24～H25 | 村内2校の小学校は、児童数の減少により複式学級となっているが、子ども達の学力向上の推進及び教職員の負担を軽減するため、小学校教諭の資格を有する学習支援員を配置する。 | 村内小学校への支援者派遣率 100% | 村内小学校への支援者派遣率:100% | |
| 3 | | | 児童・生徒派遣支援事業 | H25～H33 | 村外で実施されるスポーツ大会や文化発表会などの各種教育活動に参加し、小規模校では体験出来ない貴重な経験を積むことにより、離島の教育的なハンディを克服する。 | 派遣児童・生徒数(累計) 195人 | 派遣児童・生徒数(累計) 100人 | 未 |
| 3 | | | 幼稚園預かり保育事業 | H25～H33 | 保育環境を充実させ、親子が健やかで安心した日常生活が送れるよう、幼稚園において預かり保育を実施する。 | 入園児全員の預かり保育が可能となる。 保護者のニーズに合った対応が可能となる。 預かり保育受入率 100% | 預かり保育受入率 100% | |
| 4 | | | 渡嘉敷村高齢者生活福祉センター施設整備事業 | H25 | 現在の福祉施設は居室がないため、要介護状態の高齢者を受け入れることが困難である。安心安全な受け入れ体制を整えるため、渡嘉敷村高齢者生活福祉センター内部を改修し、居宅介護に対応できる施設整備を行う。 | 渡嘉敷村高齢者生活福祉センター施設整備完了 | - | 繰 |
| 4 | | | 渡嘉敷村住民戸別訪問サポート体制づくり事業 | H25 | 高齢者の独居世帯及び高齢者世帯への福祉支援体制の構築のため、実態調査、状況把握、常日頃からの見守り訪問を中心とした戸別訪問等の充実を図り、長寿県沖縄の高齢者を取り巻く環境を整備し、更なる長寿を手助けしていきたい。 また、台風接近等における住民の対策状況確認や避難の際の誘導体制及び避難所への移動等にも必要になるため、軽自動車を購入し、渡嘉敷村の高齢者福祉事業のスムーズな活動・行動に役立てる。 | ・戸別訪問を行うことによる見守り支援体制の強化 15件 ・災害時(台風等)の要介護者支援、高齢者・生活困窮者支援体制の強化 | ・戸別訪問を行うことによる見守り支援体制の強化 1件 | 未 |
| 5 | | | 渡嘉敷村救急対応整備事業 | H25 | 渡嘉敷村は年間10万人余の観光客が訪れており、観光産業が村の基幹産業になっている。しかしながら、非常備消防団となっており、救急搬送に対応出来ない状況である。安心安全な観光客受入体制を確保するために、公共施設へのAEDの設置と、急患発生時に対応出来るよう救急車を整備する。 | 渡嘉敷村公共施設におけるAED設置目標18台(建築物15台、救急車1台、船舶2台)を100%完備。 | 渡嘉敷村公共施設におけるAED設置 18台 救急車購入 1台 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 渡嘉敷村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|--------------------|---------|--|---------------------------------------|---|------|
| 5 | | | 渡嘉敷村防災備蓄倉庫購入設置事業 | H25 | 地震や津波などの大規模災害発生時の村民・観光客に対応出来る備蓄食糧や災害対応品の確保と、それらを保管する備蓄倉庫を購入し設置する。観光シーズンには村民の3倍近い観光客が島に滞在するため、観光客にも対応出来る備蓄体制を構築する。 | 渡嘉敷村地域防災計画における目標備蓄食糧数(人口の3日分)を100%完備。 | 防災備蓄倉庫と備蓄食糧及び備蓄資機材の購入完備 | |
| 5 | | | 渡嘉敷村内観光エリア樹木安全確保事業 | H25～H26 | 観光的に美観を損ねている村内の至る所に繁茂している外来植物の討伐と、毎年襲来する台風の度に起こる倒木被害や道路決壊等の原因にもなっている幹線道路沿いの樹木の伐採を行うことにより災害の未然防止を図る。 | 島内の外来植物の討伐及び幹線道路(村道等)沿いの危険樹木の伐採 | ・島内の外来植物の討伐 未実施 ・村内幹線道路(村道等)沿いの危険樹木の伐採 | |
| 5 | | | 渡嘉敷村集落内排水安全安心確保事業 | H25 | 本村は年間10万人を超える観光客が来島し、観光が基幹産業となっている。しかしながら、台風の常襲地帯となっており、豪雨等により浸水被害が発生している。そのため、集落内排水路の堆積土撤去等を実施することにより、浸水被害防止や悪臭発生を防止し、災害に強い観光地、衛生環境の良い観光地としてのホスピタリティー向上を図る。 | 側溝清掃等による環境改善 L = 4.8km | 側溝清掃等による環境改善 L = 6km | |
| 5 | | | 渡嘉敷村災害時避難所環境改善事業 | H25 | 災害発生時の避難所に指定されている「阿波連生活館」の、トイレ(概存1箇所)の増設及び空調機を設置し避難所の環境を整備する。 | ・男女別トイレの新設完了 ・クーラー設置完了 1台 | トイレ改修工事の実施及び空調機の設置 | |
| 6 | | | 渡嘉敷村生活環境整備事業 | H25 | 現在既存の村営美容館が築30年近く経過し、経年劣化による施設の破損等がみられるため、老朽化した内部の改修と、機能低下した備品等の改修を実施する。 | 渡嘉敷村営・美容館内部改装工事完了 | 内部改修工事の実施及び理美容器機の設置完了 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 座間味村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|---------------------------|---------|---|--|--|------|
| 1 | | | 座間味村海域安全隊事業 | H24～H33 | 村指定の3ビーチにおいて、観光トップシーズンから、修学旅行受入期間中、海洋事故防止及び安全確保並びに周辺自然環境の保全活動を図るため、ライフセイバーを配置する。 | 村内3ビーチへのライフセイバー配置 | 村内4ビーチへのライフセイバー配置 | |
| 1 | | | 座間味村がんばる観光支援事業 | H24～H33 | 観光客誘致とリピーター確保のため、既存イベントプログラムの強化拡充や観光大使による県内外周知活動、県外アミューズメント施設での誘致活動等を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ホエルウオッチングフェスタ来場数：H24年度9,000人 H25年度12,000人 ・ヨットレース：28艇 300人 ・座間味島まつり500人 ・座間味村ファン感謝月間 800人 ・阿嘉・慶留間祭り 300人 ・新規イベント スタンドアップパドル 200人 ・東京しながわ水族館PR活動60日間開催 | <ul style="list-style-type: none"> ・ホエルウオッチングフェスタ来場数：H24年度9,000人 H25年度11,900人 ・ヨットレース：31艇 400人 ・座間味島まつり500人 ・座間味村ファン感謝月間 750人 ・阿嘉・慶留間祭り 0人 ・新規イベント スタンドアップパドル 100人 ・東京しながわ水族館PR活動65日間開催 35,000人 | |
| 1 | | | 座間味村観光受入拠点事業 | H24～H33 | 年中無休の観光案内業務とタイムリーな観光情報発信及びダイビングや民宿事業者への取次ぎ案内などをスムーズに行い、外国人を含めた観光客誘客に向け、企画立案と事業展開を実施する観光協会への補助を行い、観光客の誘致と満足度向上を図る。 | 平成26年度以降の販売に向けた着地型旅行商品(ノルディックウォーキングや島まいい等)のモデルツアー開催 | ノルディックウォーキングインストラクター3名養成 モデルツアー開催 | |
| 1 | | | 座間味村慶良間海域活用ダイビング利用ルール策定事業 | H25 | 座間味村慶良間海域活用ダイビング利用ルール策定事業 | 慶良間海域を活用するダイビング事業者の利用ルールの策定 | - | 繰 |
| 1 | | | 座間味村歴史文化・健康づくり拠点整備事業 | H24～H28 | 観光客の受け入れ態勢の強化と満足度向上を図るため既存港公園内の機能拡張に向け整備等を行う。本年度は東屋、ベンチを取付け人工芝によるグラウンド整備とビジタセンター建築に向けた用地購買や詳細設計を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・公園機能強化(東屋・駐輪場・バスケットコート・緑地整地整備等) ・用地購買(V=3,750㎡) | <ul style="list-style-type: none"> ・公園機能強化(東屋・駐輪場・バスケットコート・緑地整地整備等) ・用地購買(V=3,750㎡) | |
| 1 | | | 座間味村美ら島づくり花の森整備事業 | H24～H29 | 観光客誘致と受入態勢の整備のため国立公園である本村の自然を生かした魅力ある景観形成促進のため、フラワーパークの構築や、玄関口でのウェルカムフラワーを設置し、年間を通して花と緑で観光客を迎え入れる。 | 座間味島の実施計画の策定 阿真区の観光道路の整備及び植栽 阿真区のキャンプ場の整備及び植栽 | 座間味島の実施計画の策定 阿真区の観光道路の整備及び植栽 阿真区のキャンプ場の整備及び植栽 | |
| 1 | | | 座間味村ホエルネットNEXT事業 | H25～H26 | 観光地として観光客の安心と安全の確保と災害時におけるいち早い対応を構築するためIP網を屈指した防災無線の取付と、離島の離島である阿嘉・慶留間及び隣村の渡嘉敷村を結ぶ高速無線LAN設備を増強し、質の高い情報網の構築を図る。 | 防災無線網構築方式の決定と村内全域への整備 | 防災無線網構築方式の決定と村内全域への整備 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 座間味村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|-----------------------|---------|---|--|------------------------------------|------|
| 1 | | | 座間味村サンゴ礁の絶景ライブ配信事業 | H25 | ラムサール条約に登録された本村の海中景観の素晴らしさを全世界に発信するライブカメラを設置し、予定される国立公園化に合わせて話題を作り、誘客とブランド化につなげる。 | 26年夏の本格配信に向けて、高画質な水中映像をライブ配信システムを構築する。 | - | - |
| 1 | | | 座間味村阿嘉漁港ターミナル機能強化事業 | H25 | 阿嘉漁港は、生活航路として村営の高速船クィンざまみ、フェリ-ざまみが那覇泊港～阿嘉漁港間を毎日就航している。 阿嘉漁港旅客待合所から定期船搭乗口までの歩道に屋根を設置し、雨天時や炎天下のなかでも、住民、観光客が快適に乗船、下船できる屋根付き歩道を整備し機能強化を図る。 | 屋根付き歩道の整備完了 | - | 繰 |
| 2 | | | 座間味村鮮魚美食事業 | H24～H29 | 村内における漁獲物の付加価値向上を図るため、村ブランドの確立等に取り組み、地産地消を推進する。又直売所を強化し、鮮魚や特産品の直接販売の取組みを推進する。 | 座間味村産の水産物を用いた新商品開発と既存商品刷新の実施 | 座間味村産の水産物を用いた新商品開発と既存商品刷新の実施 | |
| 2 | | | サンゴ(海の花)育成・植付事業 | H24～H33 | 白化現象やオニヒトデの異常発生の影響により、失われたサンゴ礁海域の回復に向け、地元漁協及び海洋研究所とタイアップのもと、サンゴの種の養殖と育成及び海への植付に係る生育活動の人材支援活動を行うための補助を行う。 | サンゴ種苗の育成・確保 ・目標本数 1,000本 | サンゴ種苗の育成・確保 ・目標本数 1,000本 | |
| 2 | | | 座間味村鮮魚冷凍製氷施設整備事業 | H25 | 座間味村漁業協同組合所有で現在使用中の冷凍冷蔵庫(製氷機)において機能低下により必要量の水が確保できず水産物の低下を招いており、そのため機械入替を行う。 | 冷凍冷蔵庫(製氷機)入替 | 製氷機1式導入 | |
| 3 | | | 座間味村島ちゃび解消移動手段安定化対策事業 | H24～H33 | 離島観光利便性の向上と離島住民の足を確保し、観光振興と定住条件を図るため、フェリー及び高速船が悪天候などにより欠航等の場合、ヘリチャーターによる移動した際の運賃の一部支援を行う。 | ヘリコプターチャーター支援のフライト数(195フライト) | ヘリコプターチャーター支援のフライト数(202フライト) | |
| 3 | | | 座間味村村内運航に係る対策事業 | H24～H33 | 離島と離島を結ぶ海上交通手段として、小型船舶の資格を有する賃金職員2名を採用し、座間味島と阿嘉島間を定時運航、渡嘉敷村と座間味村の諸島間新規運航を実施し、離島交通の足の確保と観光振興を図る。 | 座間味島～阿嘉阿嘉島(1300) 渡嘉敷村～座間味村(590) | 座間味島～阿嘉阿嘉島(1403) 渡嘉敷村～座間味村(373) | |
| 3 | | | 座間味村慶留間・阿嘉地区避難道路整備事業 | H25～H26 | 地震、津波等発生時において村内で孤立する集落及び観光客の安全確保を図るため、山頂へ通じる旧道を活用した避難道路を整備し災害に強い村づくりを図る。 | 慶留間・阿嘉地区避難道路の整備(委託業務完了) | 慶留間阿嘉地区避難道路整備事業委託業務完了 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 座間味村 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|---------------|---------|---|---|---|------|
| 3 | 自動車航送の運賃低減化事業 | H25～H33 | 離島住民の利便性向上を確保するため、高額である本島 座間味村間のフェリー車両航送に係る運賃補助を実施し、高い交通コストの軽減を図る。 | 自動車航送運賃低減台数(60) | 自動車航送運賃低減台数(223) | |
| 4 | 座間味村外来植物討伐事業 | H24～H33 | 自然環境保全と観光地である本村の景観保持のため、村内至る所で野生化している外来植物「モクマオウ木、ギネネム木」繁殖の抑制を図るため討伐事業を実施する。 | 外来植物の討伐(村内一円) (モクマオウ木、ギネネム木) 600本 | 外来植物の討伐(村内一円) (モクマオウ木、ギネネム木) 710本 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 粟国村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|----------------|---------|--|--|--|------|
| 1 | | | 地域資源活用推進事業 | H24～H25 | 島の自然や伝統文化などの地域資源を観光資源として広めていくための観光商品開発(着くみ制作)やイベントの開催及び観光等に従事する人材育成を行う。 | 粟国島「あ」の国まつりの開催:1回 観光人材育成に向けた講演会:2回 観光商品開発:2点 | 粟国島「あ」の国まつりの開催:1回 観光人材育成に向けた講演会:2回 観光商品開発:2点 | |
| 1 | | | 環境美化促進事業 | H24～H28 | 観光地の景観を維持していくために観光地及び観光地へのアクセス道路などの美化・緑化活動を重点的に実施する。 | 観光地及びアクセス道路の美化:20カ所 | 観光地及びアクセス道路の美化:20カ所 | |
| 1 | | | マハナ崎整備事業 | H24～H25 | 景勝地マハナ崎近くにバリアフリー化のトイレを整備する。 | バリアフリー対応トイレ整備 1棟 | - | 緑 |
| 1 | | | 公衆無線LAN設置事業 | H25 | 粟国空港、粟国港、粟国村観光協会ビル内の3か所に観光客が集まる場所にインターネットが使用できるWiFiスポットを整備する。 | Wi-Fiスポットの設置:3カ所(粟国港、粟国空港、粟国村観光協会ビル内) | Wi-Fiスポットの設置:3カ所(粟国港、粟国空港、粟国村観光協会ビル内) | |
| 1 | | | ヤヒジャ海岸周辺環境整備事業 | H25～H26 | 粟国島形成の際の火山活動の痕跡が残る様々な地質が存在している西ヤマトガー海岸からマハナ崎にかけてのヤヒジャ海岸周辺を散策できるよう駐車場や階段等の周辺整備を行う。25年度は、駐車場及び階段の実施設計を行う。 | 駐車場及び階段等の実施設計 | 実施設計完了 | |
| 1 | | | 東ヤマトガー周辺環境整備事業 | H25 | パワースポットの観光地の「東ヤマトガー」周辺での東屋、安全防止柵及び駐車場の整備を行う。 | 東屋1棟、安全防止柵50m及び駐車場の整備 | 実施設計完了 | 未 |
| 1 | | | 大正池公園機能拡充事業 | H25 | 平成24年11月に粟国島内全てが県の鳥獣保護区域を受けており、その中でも大正池公園は年中を通し多くの野鳥が訪れるエリアであるが、公園内の橋やトイレ等が劣化しており、訪れた客への危険性が高いため、安全性及び利便性向上に向けた改修工事及び野鳥観察施設設置を行いバードウォッチングエリアとしての機能拡充を図る。 | 野鳥観察設備3カ所の設置、トイレ及び橋の改修工事 | - | 緑 |
| 1 | | | 電気自動車導入支援事業 | H25 | 観光客の村内での移動手段が自転車のみであることから、観光客の移動手段確保と新エネルギーの推進に向けて電気自動車の導入及び電気スタンドを設置する。 | 電気自動車購入補助4台、屋根付き電気充電スタンド4基の整備 | - | 緑 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 栗国村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|---------------------|---------|--|--|--|------|
| 1 | | | 地質遺産活用推進事業 | H25 | 栗国島形成の際の火山活動の痕跡が残る様々な地質が存在している海岸周辺の地質遺産を中心とした新たな観光資源の活用に向けた推進計画策定や学習活動を実施する。 | 栗国村ジオツーリズム推進計画策定(村民対象)栗国島の地質学習会1回 | 推進計画策定 学習会1回、講演会1回、ワークショップ1回 | |
| 1 | | | あくにデジタルアーカイブ化事業 | H25～H26 | 島の豊かな自然や伝統文化等、島にまつわる多種多様な資料をデジタル化し、それらを管理システムに集約・管理し利便性を向上させることで、村民および観光客の郷土学習に寄与する。 | 栗国村内の自然・伝統文化の画像や映像収集及びデータ管理ソフトの作成:4件 | 栗国村内の自然・伝統文化の画像や映像収集及びデータ管理ソフトの作成:4件 | |
| 2 | | | 多目的施設整備事業 | H24～H25 | 本村が進めている村民と観光客が交流できる施設整備と災害時における村民・観光客等の生命・財産を確保するための避難場所及び非常食等を備蓄する施設を併せた複合施設を整備するとともに、施設備品や災害備蓄品等の購入を行う。 | 避難及び交流等のための多目的施設の整備及び防災用備蓄品、備蓄品の購入 | - | 繰 |
| 2 | | | 小中学校体育館屋根長寿命化事業 | H25 | 台風襲来の塩害により耐久性が悪くなっていることから、栗国小中学校の体育館の屋根を改修し、災害時の避難場所として機能強化を図る。 | 栗国小中学校体育館の屋根の改修:小中学校1校 | 栗国小中学校体育館の屋根の改修:小中学校1校 | |
| 2 | | | 栗国村離島振興総合センター長寿命化事業 | H25 | 栗国村の産業振興、文化振興の拠点として、また、避難施設として地域防災計画でも指定されている栗国村離島振興総合センター(昭和59年完成)の劣化調査、施設の剥離部分の改修、外壁の塗装及び内部電気の修繕等の長寿命化に向けた工事を行う。 | 栗国村離島総合センターの劣化調査及び長寿命化工事(2階建て1,100㎡)完了 | 栗国村離島総合センターの劣化調査及び長寿命化工事(2階建て1,100㎡)完了 | |
| 3 | | | 沖縄関係戸籍電算化事業 | H25 | 沖縄関係戸籍は、戸籍訂正の基礎資料として重要な役割を果たしているが、紙媒体による保存であるため劣化が著しい。持続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービスを確保するため沖縄関係戸籍を電算化する。 | 沖縄関係戸籍の電算化率:100% | 沖縄関係戸籍の電算化率:100% | |
| 3 | | | 定住促進住宅整備事業 | H25～H26 | 産業振興に向けた担い手確保を目的に、若者のUターン、Uターン者の定住施設を充実するため、集合住宅を整備する。平成25年度に実施設計完了、平成26年度工事完了予定、平成27年度には供用開始する予定である。 | 集合住宅(6世帯)の実施設計 | 集合住宅(6世帯)の実施設計 | |
| 3 | | | 児童・生徒派遣支援事業 | H25～H33 | 離島である本村の児童・生徒の(島外での)諸教育活動への派遣費を支援する。 | 大会派遣児童・生徒数:57人 | 大会派遣児童・生徒数:143人 | |

平成 25 年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 栗国村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|-----------------|-------------|--|--|--|------|
| 3 | | | 小中学校ICT学習環境強化事業 | H25 | 児童・生徒がコンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、適切に活用できるICT環境の充実を図る。 | 学習用パソコン及び周辺機器の導入： 生徒用PC15台指導用PC1台等周辺機器 関連ソフト | 学習用パソコン及び周辺機器の導入： 生徒用PC15台指導用PC1台等周辺機器 関連ソフト | |
| 4 | | | 和牛改良支援事業 | H25～ H28 | 本村の畜産業の支援のため、付加価値の高い仔牛が生産できるよう県内外からの優良仔牛(母牛になる素牛)の導入支援を行う。 | 和牛購入助成頭数 20頭 | 和牛購入助成頭数 20頭 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 渡名喜村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|--------------------|---------|---|---|--|------|
| 1 | | | 環境保全・美化推進事業 | H24～H33 | 島の自然と人文の調和を基調とした魅力的な観光地づくりを推進するため、集落内や観光スポット周辺等の緑化及び美化活動を実施するとともに、外来植物(ギンネム等)の駆除及び在来植物の保全育成を図る。 | ・緑化及び美化活動実施箇所 28箇所 ・外来植物駆除実施箇所 8箇所 ・在来植物保全育成実施箇所 14箇所 | 緑化及び美化活動実施箇所 28箇所 外来植物駆除実施箇所 8箇所 在来植物保全育成実施箇所 14箇所 | |
| 2 | | | 防災備蓄品等整備事業 | H25 | 災害に強いむらづくりを推進するため、災害時に住民及び観光客が避難する避難所に非常食及び毛布等の生活用品、発電機等を整備する。 | ・各避難施設に備蓄品を備える:3箇所 ・備蓄食料の備蓄:1,890食 (210人×3日分×3食) | ・各避難施設に備蓄品を備える:3箇所 ・備蓄食料の備蓄:1,890食 | |
| 3 | | | 戦災滅失戸籍等沖縄関係書類電算化事業 | H25 | 紙媒体で保存されている沖縄関係書類(いわゆる福岡戸籍等)を電算化し、安定的かつ継続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービスを確保する。 | 沖縄関係戸籍の電算化率:100% | 沖縄関係戸籍の電算化率:100% | |
| 4 | | | 離島苦解消移動手段安定対策事業 | H25～H33 | 離島住民の利便性及び離島住民の交通基盤の向上を図るため、フェリーが悪天候などにより欠航し沖縄本島と本村間におけるチャーターヘリを利用した場合、事業所に対し利用者の運賃の一部を補助する。 | 渡名喜ヘリポート～那覇空港間フライト回数 50回 | 渡名喜ヘリポート～那覇空港間フライト回数 31回 | 未 |
| 5 | | | パークゴルフ場整備事業 | H25 | 観光客の誘客促進及び受け入れの強化と地域住民の体力増進及び高齢者の生きがいの場の創設のため、新たなスポーツレクリエーション施設としてパークゴルフ場の整備する。 | パークゴルフ場の整備(18ホール) | - | 繰 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 南大東村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|-----------------|---------|---|---|--|------|
| 1 | | | 健康診査用機材搬送事業 | H24～H28 | 特定健診等集団健診に使用する健診機材及び胸部レントゲン車の海上移送船運賃・荷役料、検査技師等スタッフの来島渡航費の負担軽減を図り、住民健診が安定的に実施できる環境を整える事により定住促進を図る。 | 集団健診受信者数:360人(41.0%) | 集団健診受信者数:456人(44.1%) | |
| 1 | | | 専門病院受診渡航費助成事業 | H25～H29 | 沖縄本島での専門的な治療を要する住民の経済的負担を軽減するため、渡航費を助成する。 | 専門病院受診渡航費助成の実施 専門病院受診者 130人 付添人 65人 | 専門病院受診渡航費助成の実施 専門病院受診者 108人 付添人 55人 | |
| 1 | | | 南大東村多目的交流拠点整備事業 | H25～H27 | 文化継承や人材育成、観光客との交流施設。災害時における村民や観光客の避難施設。農漁村を中心とした各種研修の場等、村の目的施設拠点として整備するための基本設計及び実施設計。 | 基本設計・実施設計 | - | 繰 |
| 1 | | | 特殊資格所有者確保整備事業 | H25 | 島内で人材確保の厳しい特殊資格者等の定住受け入れ基礎施設として4世帯の集合住宅を整備する。 | 4世帯集合住宅の整備完了 | - | 繰 |
| 2 | | | シュガートレイン復活夢実現事業 | H25～H27 | 島の歴史と共に、のどかで活気あふれる時代を走った“さとうきび列車”は、近代産業遺産として島の象徴であり、復活することが島民の夢である。その夢を実現するとともに、全国の鉄道ファン(100万人)等観光客を誘客するため、シュガートレインを整備する。 | 基本調査・計画の実施 | 基本調査・計画の実施 | |
| 2 | | | 花いっぱいクリーン環境整備事業 | H25 | 観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。 | ・観光地及び観光地へのアクセス道路の美化清掃(観光地 5箇所 アクセス道路 1500m) ・散水車両の購入 1台 | - | 繰 |
| 2 | | | 星野洞楽々歩道整備事業 | H25～H26 | 観光施設として人気の高い星野洞は、入洞帰路が急勾配なため、入洞者に不便を来たしている。高齢者や車イス等利用者が楽に入洞し神秘的な空間の広がる星野洞を堪能することができるため、移動式歩道を整備する。 | 基本調査・計画の実施 | 基本調査・計画の実施 | |
| 2 | | | 大池地区水辺環境保全事業 | H24～H28 | 本村最大規模のカルスト湖である大池は、水草が繁茂し景観を損なうだけでなく、生態系への影響が懸念されるなど、観光分野や環境保全の点から課題となっている。その課題を解決するために、水草除去、水路浚渫、危険防止の橋梁を新設し、大池にカヌー体験プログラムを導入するなどして、新たな観光資源の開発を図る。 | ・大池地区水辺環境の保全・再生 水草の除去 水路汚泥浚渫 ・水路の一部供用開始 | ・大池地区水辺環境の保全・再生 水草の除去 水路汚泥浚渫 ・水路の一部供用開始 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 南大東村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|---------------|---------|--|---|---|------|
| 3 | | | 南大東村救急対応整備事業 | H25 | 緊急時の救命救急措置と診療所等への緊急搬送を迅速に行うため、島内の主要箇所にAEDの設置及び緊急搬送車両1台を整備する。 また、感染症対策として初期対応による蔓延防止を図るため、感染症対策保護資機材を整備する。 | 緊急搬送車両 1台配置・運用開始 AEDの設置 11台設置・運用開始 消毒剤 1式設置 | 緊急搬送車両 1台配置・運用開始 AEDの設置 6台設置・運用開始 消毒剤 1式設置 | |
| 3 | | | 安心安全強化対策事業 | H25 | 現在、ゲートボール場として使われているスパーク南大東(屋内ゲートボール場)の耐震強化を図り、地震等、自然災害発生時における住民や観光客の避難場所とする。 | 屋内ゲ - トボ - ル施設(スパ - ク南大東)耐震強化事業の実施設計 | 屋内ゲ - トボ - ル施設(スパ - ク南大東)耐震強化事業の実施設計 | |
| 4 | | | 人材育成派遣事業 | H25～H29 | 子供達の多様な能力と心身の発達や育成を図るため、島外で開催される各種大会の派遣費を助成する。 | 大会等派遣人数:106名 | 大会等派遣人数:85名 | |
| 5 | | | 仮戸籍電算化事業 | H24～H25 | 平成24年度に構築した戸籍総合システムに臨時戸籍簿等(沖縄の特殊事情による戸籍)をセットアップし、滅失防止をするとともに保管、管理の強化を図る。 | ・見出しデ - タ作成 500戸 ・イメ - ジデ - タ作成 871枚 ・戸籍総合システム完全稼働 | ・見出しデ - タ作成 500戸 ・イメ - ジデ - タ作成 871枚 ・戸籍総合システム完全稼働 | |
| 6 | | | 南大東村安らぎ空間整備事業 | H25 | 墓地管理の利便性を高めるとともに、参拝者や墓地利用者の安らぎの空間づくりに繋げるため、墓地整備計画に基づき、墓地内進入路と駐車場を整備する。また、区画整理を実施する墓地の霊園化に向けた基礎づくりとする。 | 通路・車道1,187㎡の完了 駐車場整備542.0㎡の完了 墓地整備810㎡の完了 緑地広場の整備1,038.1㎡の完了 | 通路・車道1,187㎡の完了 駐車場整備542.0㎡の完了 墓地整備810㎡の完了 緑地広場の整備1,038.1㎡の完了 | |
| 7 | | | 安心安全荷役強化事業 | H25 | 本村の特異な港の形状により、船から荷揚げした貨物の迅速な荷捌きが要求されるので、大型のフォークリフト導入により荷役作業の迅速化を図る。 | 大型フォークリフトの導入 | - | 繰 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 北大東村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|----------------------|---------|---|--|---|------|
| 1 | | | 観光アクセス道路美化緑化推進事業 | H24～H33 | 島の観光に重要なアクセス道路や周回道路等の修景及び美化の重点的な実施を行い、魅力的な観光地づくりを促進する。 | ・アクセス道路及び周辺道路の美化実施10箇所 | ・アクセス道路及び周辺道路の美化実施10箇所 | |
| 1 | | | 地域の観光文化資源の担い手育成事業 | H24～H33 | 島の文化資源である「八丈太鼓」の担い手を育成すると共に、県外等での交流発表を開催し、観光誘客を促進する。 | ・大東太鼓担い手育成数 1人 ・文化交流イベントの参加者数 40人 ・コンサート来客数 1,200人 | ・大東太鼓担い手育成数 1人 ・文化交流イベントの参加者数 40人 ・コンサート来客数 1,200人 | |
| 2 | | | オンライン双方向授業支援モデル事業 | H25～H33 | 地理的条件によって、遠隔地である離島において教育環境格差は、大きな課題である。そこで、都市部と同様の学びを受ける事が可能なオンライン双方向授業を行う。 | ・オンライン双方向授業講師 5人 ・オンライン双方向授業受講生徒 20人 ・学力向上率 7～10ポイント | ・オンライン双方向授業講師 5人 ・オンライン双方向授業受講生徒 20人 ・学力向上率 4～5ポイント | |
| 3 | | | 離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業 | H24～H33 | 待機児童を解消する為、2歳児を含む未就学園児に対する幼稚園の預かり保育を強化する。又、特別支援教育を充実させる為、学習支援員を配置する。 | ・預かり保育を利用する園児数 10人 ・村営塾受講者数 50人 | ・預かり保育を利用する園児数 10人 ・村営塾受講者数 50人 | |
| 3 | | | 離島の児童の交流促進事業 | H24～H33 | 離島の不利益を克服し、児童生徒の島外・県外交流を促進する為、スポーツや交流学习における渡航費の一部を負担する。 | ・スポーツや交流学习の為に派遣する児童生徒数(延べ数) 30人 | ・スポーツや交流学习の為に派遣する児童生徒数(延べ数) 30人 | |
| 3 | | | 離島特別医療質確保推進事業 | H24～H33 | 離島の不利益を克服し、妊婦等の健康を守る為、妊婦検診等、島内で対応できない医療サービスを受ける際の渡航費の一部を助成する。 | ・妊婦検診助成回数(H25年度 5回/1人) | ・妊婦検診助成回数(H25年度 3.4回/1人) | 未 |
| 4 | | | 北大東村複合型福祉施設整備事業 | H25 | 本村は、地理的条件や小規模人口の自治体という社会的条件等が相まって、福祉サービスの基盤整備が立ち遅れ、高齢者の福祉サービス等を村外に依存せざるを得ず、島を離れる状況が増加している。そこで、住み慣れた地域の中で安心して暮らしていける事が出来るように、複合型福祉施設を整備する。 | ・福祉施設設計監理・工事の完了 | - | 繰 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 北大東村 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|----------------|------|--|-------------------|-----------------|------|
| 5 | 北大東養殖産地協議会養殖事業 | H25 | 離島である北大東村では、水産業において他の地域との差別化を図る為に、水質管理に負担が少なく、且つ安全に成長を促進させる『バイオ技術を用いて海水をろ過する陸上養殖システム』での養殖事業確立と継続的養殖研究に向けて施設設置の取組を実施する。 | ・陸上養殖施設設計監理・工事の完了 | - | 繰 |
| 6 | 食の安心基盤構築事業 | H25 | 北大東村の定住化を支える農業振興と台風等の災害時の食料確保を支える基盤整備に向け、平張りハウス施設を整備し、村による地域の野菜供給等の農業基盤を構築する。 | ・平張りハウス施設の整備 1棟 | ・平張りハウス施設の整備 1棟 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 伊平屋村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|----------------|---------|--|---|---|------|
| 1 | | | 商工観光産業支援事業 | H24～H28 | 村内における商工業の総合的な改善発展、地域ブランド化の構築に資する観光振興、リピーターをターゲットとしたパンフレットの作成、村内体験プログラム実施者と連動した民泊受入の組織運営、実施を行うと同時に、人材育成に係る講習会等を島外専門家と連動し、入域観光客数増加並びに村内受入者の人材育成をする。 | ・民泊事業等講習会の開催：年2回 ・自然・歴史・伝統文化等を細分化した観光パンフレットの発刊：1000部 | ・民泊事業等講習会の開催：年3回 ・自然・歴史・伝統文化等を細分化した観光パンフレットの発刊：5000部 | |
| 1 | | | 観光地イメージアップ推進事業 | H24～H33 | 魅力的な観光地づくりの推進を目的とし、海浜、道路、公園など観光客が利用する公共施設等の美化、清掃や花木の植栽などを実施する。 | 観光アクセス道路の美化清掃：29.5km | 観光アクセス道路の美化清掃：29.5km | |
| 1 | | | 誘客イベント推進事業 | H24～H28 | 本村の観光振興及び、年間を通じた安定的な集客を図ることを目的とし、各種観光イベントを強化して実施する。また、いへまつり及び伊平屋マラソンを実施する団体への支援を行う。 | ・集客イベント開催実績 イベント開催件数：12件 | ・集客イベント開催実績 イベント開催件数：16件 | |
| 1 | | | 観光情報発信強化事業 | H24～H26 | 村の観光イメージ戦略のひとつとして、各ターゲット層を分類した、観光ポスターの刷新、観光カレンダー・葉書等を作成し、TPOに応じた使い分けを行い、島外へ情報発信し、観光客誘発につなげる。 | ・村のPRカレンダー：200部 ・ポストカード：2400枚 ・ポスター：500部 | ・カレンダー1,500部 ・ポストカード16,800枚 ・ポスター1,250部 | |
| 1 | | | 観光推進計画策定事業 | H25 | 村のマスタープランである「第4次総合計画」に連動したアクションプラン「観光推進計画」を策定し、今後の伊平屋村の観光指針を確立させ、入域観光客数増加を目指す。 | 「観光推進計画」の策定 | 「観光推進計画」の策定 | |
| 2 | | | 堆肥利用促進促進事業 | H25～H27 | 堆肥の利用促進による地力向上と減農薬化による農産物のブランド化を目指し、既存の堆肥生産施設の機能強化を実施する。 | 堆肥センターの機能強化による堆肥の安定生産による農地還元等による反収の増 実績H24：2.8t 目標H25：3.4t | 堆肥センターの機能強化による堆肥の安定生産による農地還元等による反収の増 2.8t | |
| 2 | | | 病害虫防除事業 | H24～H26 | 作物の生産性の向上と農家所得の向上を目指し、さとうきびの収量低下の原因となっている病害虫の被害を防ぐため防除駆除を実施する。 | ・病害虫の防除等によるサトウキビ生産量の安定化 H23年度 1,758t H25年度 4,700t | サトウキビ生産量 1,985t | 未 |
| 2 | | | 干ばつ対策事業 | H24～H26 | 夏場や作付け時期となる終期・春期の水不足に対応するため、作業効率の高いマリンタンクの設置と送水ポンプを設置し、生産性の効率化と農家所得の向上を目指す。 | 平成24年度設置タンクからほ場への配管工事(L=2000m)及び散水用小タンク(3t程度) | - | 繰 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 伊平屋村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|---------------------|---------|---|--|---|------|
| 2 | | | 特産品等販路拡大推進事業 | H24～H26 | 島で生産されるモズクや黒糖関連商品、魚類燻製商品やその他加工品の販路拡大を目指し、島外での販売促進やイベント等への出店を支援する。 | 島外(県外)イベント出店参加:3回 | 島外(県外)イベント出展参加:4回 | |
| 2 | | | 魚類養殖場機能強化助成事業 | H25～H26 | ヤイトハタの品質向上と安定生産を図るため、近年、県で開発された「ヤイトハタ高密度養殖」の技術活用を実施するに当たり海水ブローワー等の増設を図る | 養殖場内海水ブローワーの増設 海水ポンプの機能強化 | 養殖場内海水ブローワーの増設 海水ポンプの機能強化 | |
| 2 | | | ヤイトハタ等県外出荷検証助成事業 | H25～H26 | 昨今、注目されつつあるヤイトハタ等の県外出荷に伴う品質劣化による鮮度低下を防ぐため、急速凍結機をリースし、実施検証を図り販路促進の拡大を図る。 | 急速冷凍機で処理された製品と通常凍結の製品との品質劣化及び向上比較検証によるデータ把握 | 急速冷凍機で処理された製品と通常凍結の製品との品質劣化及び向上比較検証によるデータ把握 | |
| 2 | | | 輪作・転作等促進農業用排水施設整備事業 | H25～H26 | 台風等の風災害により、減少した2期作農家を支援するため、輪作・転作が可能な水田排水施設の整備を行う。また、輪作・転作による農家主体の集団営農化を目指し課題の抽出と行動計画を定めた事業推進計画を策定する。 | 地域農林水産物生産計画策定 販売計画策定 | 地域農林水産物生産計画策定 販売計画未策定 | |
| 2 | | | 林産副産物生産支援事業 | H24～H28 | 新たな産業として林産副産物(木炭・シイタケ等)の生産支援を行い雇用の創出と新規特産物の開発を目指す。 | 林産副産物生産施設整備(椎茸栽培施設1棟)の完了 | 施設予定地の周辺整備のみ | 未 |
| 3 | | | 伝統文化継承支援事業 | H24～H28 | 島への誇りと愛着を醸成し、次世代を担う健全な人材を育成するため、社会教育の一環として伝統文化、伝統芸能について、老人会等との連携による課外講座を実施する。 | 伝統文化教室の参加者数:100名 伝統文化保存会発足 島内外における伝統芸能祭の実施 | 伝統文化教室の参加者数:120名 伝統文化保存会発足 1組織 島内外における伝統芸能祭の実施 1回 | |
| 3 | | | 特別支援教育支援員配置事業 | H25～H33 | 本事業は、各小中学校にある特別支援学級に支援員を配置し、個々にあったきめ細かい学習支援を図る。 | 支援対象児童・生徒数 ・伊平屋小学校(特別支援学級):4名 ・伊平屋中学校 :2名 | 支援対象児童・生徒数 ・伊平屋小学校(特別支援学級):4名 ・伊平屋中学校 :0名 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 伊平屋村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|-------------------|---------|---|---|---|------|
| 3 | | | 英語学習支援事業 | H25～H33 | グローバルな時代に適応できる国際性豊かな人材を育成をするため、小中学生を対象としたイングリッシュキャンプの開催による動機付けや、本村の中学生を海外に派遣し、異文化体験する機会を与え、将来の本村及び地域社会へ貢献できる人材の育成を図る。 | ・海外短期留学(アメリカ)：3名 ・留学終了後 ムーンライトマラソン等のボランティア協力及び実践発表会開催 ・夏休みイングリッシュキャンプ：40名 ・実践発表会開催 | ・海外短期留学(アメリカ)：3名 ・留学終了後 ムーンライトマラソン等のボランティア協力及び実践発表会開催 ・夏休みイングリッシュキャンプ：17名 ・実践発表会開催 | |
| 4 | | | 幼稚園預かり保育支援事業 | H24～H28 | 伊平屋島の定住条件を整備するため、幼稚園預かり保育強化として嘱託保育士を配置する。 | 預かり保育対象児童数 6名程度 | 預かり保育対象児童数 6名程度 | |
| 4 | | | 妊婦健診渡航費助成事業 | H24～H33 | 妊婦健診の受診促進として、通院に要する船賃、宿泊費等を助成する。 | 妊婦健診に係る渡航費助成：12名 | 妊婦健診に係る渡航費助成：23名 | |
| 4 | | | 慢性疾患児童等通院時渡航費助成事業 | H25～H33 | 専門医療健診の受診促進のため、通院に要する船賃、宿泊費等を助成する。 | 慢性疾患児童等通院時渡航助成：8名(親同伴)*12回 | 慢性疾患児童等通院時渡航助成：1名 | 未 |
| 4 | | | 介護福祉士育成事業 | H25 | 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムの充実強化を図るため、介護福祉士の資格者を育成するための養成講座を行う。 | ・介護保険ヘルパー資格(2級)養成講座開催：10名 ・講座開催後の資格取得者 5名 | ・介護保険ヘルパー資格(2級)養成講座開催：7名 ・講座開催後の資格取得者 7名 | |
| 4 | | | 高齢者福祉施設整備事業 | H24～H25 | 島内に一カ所しかない高齢者福祉施設の需要増加によるデイサービス時のトイレや洗面等の待ち時間を解消するため既存施設の機能強化を行う。また、ショートステイや緊急避難時の在宅介護者の受入に対応するため、既存事務所や倉庫の増改築に係る設計業務を行う。 | 施設機能強化工事の完了 | - | 繰 |
| 4 | | | 地域自立支援推進事業 | H24～H26 | 行政と住民が協働して行う島づくりの体制を構築するため、住民主導型のワークショップの開催や、課題抽出・解決策の検討、行動計画の策定を行う。 | 地域自立推進実施計画策定 | 地域自立推進実施計画策定 | |
| 4 | | | 集落環境整備事業 | H25～H29 | 地域住民による自助、共助、公助の仕組みづくりを推進するため、集落環境整備計画の策定と協働による主体的な取り組みについて助成を行う。 | 集落環境整備計画調査(5集落) 集落環境整備(5集落) | 集落環境整備計画調査(5集落) 集落環境整備(5集落) | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 伊平屋村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|-----------------------|---------|--|--|--|------|
| 4 | | | 自動車航送コスト負担軽減事業 | H24～H33 | 島と島外を結ぶ唯一の交通手段である村営フェリーにおいて、特に移動の大きな支障及び住民生活を圧迫する要因となっている自動車航送運賃コストを軽減するため、その一部を助成する。 | 自動車航送運賃の低減:H25年度 350台 (H24年度実績値 320台) | 自動車航送運賃の低減 3,772台 | |
| 4 | | | 伊平屋村地域水道ビジョン策定事業 | H25 | 村の重要なライフラインである水道水について、今後の交流人口の増加への対応や緊急時における危機管理に対応するため、水道に関する課題と分析評価を行い、将来像や目標を設定し、安全な飲料水の確保に努める。 | 水道に関する諸調査(地域の安定量等の調査) 地域水道ビジョン策定 | 水道に関する諸調査(地域の安定量等の調査) 地域水道ビジョン策定 | |
| 4 | | | 遺体安置設備整備事業 | H25 | 本村には遺体安置設備が無く、病死はもとより、突発的な事件、事故の際の遺体保管について支障をきたしていることから、遺体安置用の保冷库を一基購入する。 | 遺体安置設備 1基 | 遺体安置設備 1基 | |
| 4 | | | 障がい者自立支援事業 | H25～H26 | 障害者自立支援としてNPO法人等の育成のための地域生活支援について委託を行う。 | 障害者福祉施設サービス管理者の育成 1名 | 障害者福祉施設サービス管理者の育成 1名 | |
| 5 | | | 伊平屋村防災行政無線施設(同報系)整備事業 | H25 | 村内における安心・安全対策として、老朽化した防災行政無線システムをデジタル化することで、住民等への情報伝達を強化する為に実施する。親局設備更新、子局双方向通信化、全世帯戸別受信機運用、住民向け携帯メール配信等を実施し、情報伝達確度の向上を図る。 | デジタル防災行政無線施設整備完了 (子局の整備等(村内全世帯、村内主要施設)) | デジタル防災行政無線施設整備完了 (子局の整備等(村内全世帯、村内主要施設)) | |
| 5 | | | 災害等瓦礫処理事業 | H25 | 台風常襲地帯である沖縄県で平成24年度接近した台風は、12個を数え、本村においても大量の瓦礫が発生した。トタン等金属製の廃材は島内で処理ができず、離島という地理的状況下で、これから台風シーズンに向け、それらの瓦礫の飛散による二次災害防止のため、島外搬出処理を実施する。 | 島内瓦礫(金属製)の集積・運搬等による島内瓦礫の一掃 | - | - |
| 5 | | | 伊平屋村救急対応整備事業 | H25 | 小規模離島である本村は常備消防が無く、緊急時(特に救急搬送等)には代用車(公用車等)での対応を余儀なくされている状況である。その為、緊急(急患等)時の救命救急措置と緊急搬送を敏速に行うため救急車を整備する。 | 緊急搬送者(救急車)購入 1台 | 緊急搬送者(救急車)購入 1台 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 伊是名村 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--------------------|---------|--|---|--|------|
| 1 | 観光地等クリーンアップ事業 | H24～H33 | 本村には、数多くの史跡や文化財があることから、各種イベントで使用する会場周辺や観光施設、観光ルートの清掃や花木の植栽等の美化・緑化活動を強化し、島全体を一つの観光地として整備する。 | 美化緑化箇所:15カ所 内訳:まつり会場(1カ所)、フットパスコース(1カ所)、集落内外(5カ所)、フラワーロード(4カ所)、観光施設等(4カ所) | 美化緑化箇所:15カ所 内訳:まつり会場(1カ所)、フットパスコース(1カ所)、集落内外(5カ所)、フラワーロード(4カ所)、観光施設等(4カ所) | |
| 1 | 沖縄らしい風景づくり推進事業 | H24～H25 | 本村の魅力ある自然や文化・景観等を保全・活用による人と自然が共生するむらづくりを推進するため、地域と一体となった魅力的な観光地となるために必要なルールづくりに取り組み、伊是名らしい景観計画を策定する。 | ・景観計画策定 ・景観条例制定 | - | 繰 |
| 1 | いげな尚円王まつり支援事業 | H24～H33 | いげな尚円王まつりにおいて各字・島外文化交流、マリンレジャー、スポーツ交流、各種体験プログラムを実施し観光客の誘致を図る。 | いげな尚円王まつりの来場者数2,000名 | いげな尚円王まつりの来場者数2,000名 | |
| 1 | 赤土等流出防止対策事業 | H24～H25 | 末端沈砂地で堆積している土砂を浚渫することで沈砂地の機能回復を図り、また周辺雑木を撤去し、土壌浸食防止のため天端を張りコンクリートすることで機能強化を図り、海域への赤土等流出を抑制し、自然環境の保全に努める。 | ・沈砂地に堆積する土砂の浚渫(33箇所、29,000㎡) ・沈砂池周辺の雑木等伐開 | ・沈砂地に堆積する土砂の浚渫(33箇所、32,846㎡) ・沈砂池周辺の雑木等伐開 | |
| 1 | いげな88トライアスロン大会支援事業 | H25～H33 | いげな88トライアスロン大会は本村のメインイベント事業として定着しており、海外を含め日本全国より600名の選手及び家族や関係者など200名程が来島し、トライアスロン大会を盛り上げ、村経済の振興・観光産業の発展に寄与している。今後さらにリピーターの確保や、観光客の誘致促進するためにトライアスロン大会開催に伴う受入体制の強化・運営費の一部を支援する。 | いげな88トライアスロン大会来場者数1,000名 | いげな88トライアスロン大会来場者数905名 | |
| 1 | 観光ガイドマップ事業 | H25 | 多様化する観光客のニーズに対応すべく、宿泊施設や観光名所の説明、写真などを盛り込んだ村の魅力をPRする伊是名島観光ガイド(マップ)を作成、印刷する。 | 観光関係施設6カ所に1,500部配布・設置 | 観光関係施設7カ所に10,000部配布・設置 | |
| 1 | 「尚円王(金丸)生誕の村」整備事業 | H24～H29 | 本村は、第一尚氏王統の元祖及び第二尚氏王統の始祖尚円王生誕の地であり、数々の王家ゆかりの史跡・文化遺産が多く残されている。平成27年度に尚円王生誕600年を迎えるため、尚円王に関する史跡等の整備・復元や関連行事を行う。本村から琉球の歴史を県内外へ発信することで更なる誘客による観光振興を図る。 | ・新調した太鼓を用いた伊是名村PR活動の実施 (村内外イベント(村外では万国津梁和太鼓祭り10月、運天港まつり11月、金武町勇飛太鼓との共演12月等)) | - | 繰 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 伊是名村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|--------------------|---------|--|---------------------------------------|--|------|
| 1 | | | 環境に優しい村づくり事業 | H25 | 周囲が海に囲まれている本村の海岸に頻繁に漂着する海岸漂着ゴミを処理し、観光地としてのイメージアップを図るため、小型焼却炉や積み込み機械、運搬車両の導入を行う。 | 海岸漂着ゴミの処理 0.5t/月 | 海岸漂着ゴミの処理 0.5t/月 | |
| 2 | | | 伊是名村自動車航送コスト負担軽減事業 | H24～H33 | 島と島外を結ぶ唯一の交通手段である村営フェリーにおいて、移動の大きな支障及び住民生活を圧迫する要因となっている自動車航送コスト負担軽減を図る。 | ・自動車航送コストの負担軽減:4,000台 | ・自動車航送コストの負担軽減:5395台 | |
| 2 | | | 妊婦健診渡航費助成事業 | H24～H33 | 村内には、専門の産婦人科医がなく本島の医療機関の利用を余儀なくされている。加えて1泊2日の日数と経済的負担も大きい。そのような妊婦の保健指導の充実と安心して安全な出産を支援することを目指し、通院に要する渡航費・宿泊費を助成する。また、出産待機のため滞在した場合は、1日3,000円の宿泊費を助成する。 | 妊婦健康診査のために島外の医療機関に通院する妊婦への渡航費・宿泊費の助成 | 妊婦健康診査のために島外の医療機関に通院する妊婦への渡航費・宿泊費の助成(115件) | |
| 2 | | | 人工透析医療受給者助成事業 | H24～H33 | 本村は、専門医療施設がないことから人工透析医療を受ける患者の通院の環境整備を図るため、通院に係る交通費及び宿泊費を助成する。 | 人工透析医療に係る交通費及び宿泊費の助成 | 人工透析医療に係る交通費及び宿泊費の助成 | |
| 2 | | | 伊是名らしい古民家修復・復元事業 | H25～H29 | 本村における貴重な資源である古民家の修復や、古民家が消失し空き屋敷となっている敷地に古民家(赤瓦屋根・サンゴ石垣・屋敷林)を復元し、Uターン・Iターン者向け定住住宅として定住促進を図るとともに観光地としてのイメージアップを図る。 | ・古民家改修と復元をおこない、Uターン・Iターン者向け定住住宅3世帯を提供 | - | 繰 |
| 3 | | | 伊是名村人材育成推進事業 | H24～H33 | 幼稚園、小学校、中学校の教育の質を高め学校教育を充実発展させるために教育指導コーディネータを配置し、時代を担う児童生徒の人材育成に努める。 | 教育指導コーディネーターの配置:1人 | 教育指導コーディネーターの配置:1人 | |
| 3 | | | 人材育成事業(日高小との交流事業) | H24～H33 | 北海道日高小学校と伊是名小学校の交流事業は19回を数え児童が沖縄との環境が異なる北海道での自然や文化気候そこで生活している人々との交流や体験を経験することで個々の個性や自主性を養うことを目的とする。 | 日高小学校との交流参加人数 児童:16人・引率:6人 | 日高小学校との交流参加人数 児童:16人・引率:6人 | |
| 3 | | | 児童生徒島外諸教育活動支援事業 | H24～H33 | 離島である本村の児童生徒の島外での諸教育活動への派遣費を支援し、本村から本島への移動をスムーズに行えるよう実施する。 | 島外教育活動への派遣児童生徒数:65人 | 島外教育活動への派遣児童生徒数:65人 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 伊是名村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|------------------|---------|---|---|-------------------------------|------|
| 3 | | | 学習支援員配置事業 | H24～H33 | 本村の未来を担う児童の人材の育成を図る観点から、小学校における教育活動の支援及び学習に遅れのある児童生徒への学習支援を実施する。 | 支援児童生徒の数:82人 | 支援児童生徒の数:82人 | |
| 3 | | | 幼稚園預かり保育支援事業 | H24～H33 | 離島である本村では、学童保育所がないため保護者が安心して仕事ができる環境整備として教育課程に係る教育時間終了後に幼稚園預かり保育の強化として嘱託保育士を配置する。 | 預かり保育を利用する幼児数H25年度:7人 | 預かり保育を利用する幼児数H25年度:7人 | |
| 3 | | | 海外短期留学支援事業 | H25～H33 | 近年多様化する国際社会に早い時期に海外で経験を積むことにより本人の自立、国際社会への対応能力を養うことによりよりよい人材育成につながる。 | 海外短期派遣生徒数:2人 | - | - |
| 3 | | | 学校ICT推進事業 | H25 | 小・中学校の教育用パソコン、電子黒板、校内LAN等のICT環境を整備し、児童生徒の情報活用能力を育成するとともに「分かりやすい授業」を実践し「確かな学力」を定着させ、将来を担う人材育成を図っていく。 | 小中のネットワークの構築 電子黒板設置数:小学校8台 :中学校3台 | 小中のネットワークの構築 電子黒板設置数:小学校8台 | |
| 3 | | | 学校外学習支援事業 | H25～H33 | 高校受験対策の一環として、生徒の学校外での学習を支援することにより、学校の授業でカバーできないきめ細かい学習支援を支援するため、村営の学習塾を開設する。 | 学習塾利用生徒数:65人 | 学習塾利用生徒数:65人 | |
| 4 | | | 伊是名村土づくり支援事業 | H24～H33 | 肉用繁殖牛の減少に伴う堆肥の原料不足を補うため、沖縄本島からの堆肥原料購入費用及び輸送費用を助成することにより、安定的な有機肥料の供給による土づくりの促進及び農作物の生産性の向上を目指す。 | 農家補助用堆肥の確保:1,000t | 農家補助用堆肥の確保:2,000t | |
| 4 | | | 伊是名村優良繁殖雌牛導入促進事業 | H25～H29 | 本村における畜産業の振興を図るため、計画的に優良繁殖雌牛を導入する肉用牛繁殖農家等に対し、導入費用の一部を助成することにより、肉用牛の飼育頭数増加と農家経営の安定化に向けた取組を推進する。 | 優良繁殖雌牛導入:30頭 | 優良繁殖雌牛導入:30頭 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 久米島町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|-------------------|---------|---|--|---|------|
| 1 | | | 海洋深層水冷熱利用野菜栽培実証事業 | H24～H25 | 久米島の地域資源である海洋深層水の冷熱利用により、既に確立された夏場の野菜栽培技術の商用化に向けた実証実験を行うため、冷熱利用野菜栽培ハウスの整備を行う。 | 冷熱利用野菜栽培ハウスの整備(2棟) | - | 繰 |
| 1 | | | 車エビ養殖場設備強化事業 | H25 | 本町の基幹産業である水産業の経営安定化を図り、主要品目である車エビの品質及びブランド力向上のために必要な、車エビ養殖場の水門及び排水管の整備、発電機、プレハブ冷凍庫の設置等を行う。 | 車エビ養殖場の水門及び排水管の整備、発電機、プレハブ冷凍庫の設置 | 車エビ養殖場の水門及び排水管の整備、発電機、プレハブ冷凍庫の設置 | |
| 1 | | | 漁港施設機能強化事業 | H25 | 本町の基幹産業である水産業の振興を図るため、主要漁港の一つである鳥島漁港に漁船巻揚機(ウインチ)を設置する。 | 漁船巻揚機(ウインチ)の設置 | 漁船巻揚機(ウインチ)の設置 | |
| 1 | | | 久米島町循環型農業促進事業 | H25 | 本町の地域資源を有効活用した循環型農業の構築を促進するため、堆肥の主原料である「バガス」の品質低下を防ぐ原料庫の整備、堆肥袋詰め機や運搬車輛の整備等を行い、町営堆肥センターの生産性の向上を図り生産ラインの機能強化を行う。 | ・原料庫実施設計 ・原料庫建築工事 ・袋詰め機の導入 | - | 繰 |
| 1 | | | くめじま山羊振興活性化事業 | H25～H28 | 山羊の優良品種の導入と普及、山羊牧場の建設により、地域ブランド「くめじま山羊」の確立と全町的な肉用山羊生産供給体制を確立し、山羊生産農家の活性化と所得増を図ると共に地産地消と観光資源としての山羊食文化の推進を図る。 | 研修会の実施(4回) 視察研修会の実施(1回) 山羊舎基本計画・基本設計 | 研修会の実施(2回) 視察研修会の実施(1回) 山羊舎基本計画・基本設計 | |
| 2 | | | 久米島紬販売促進事業 | H24～H33 | 久米島紬の付加価値を高め販路拡大を図るため、消費者ニーズに即した商品開発や新商品の展示会やファッションショーの開催、問屋呉服店への販即訪問等を支援する。 | ・島外での展示会開催数 6回 ・商品開発試作品製作数 6反 | ・島外での展示会開催数 5回 ・商品開発試作品製作数 5反 | |
| 2 | | | 海洋深層水全国展開事業 | H24～H33 | 海洋深層水関連商品の販路拡大を図るため、首都圏において開催される商談会への参加及びPR用パンフレットの作成を行う。 | ・商談会出展(首都圏) 2ブース(3日間) ・PR用パンフレット配布 4,000部 | ・商談会出展(首都圏) 2ブース(3日間) ・PR用パンフレット配布 10,000部 | |
| 2 | | | 久米島特産品販路開拓事業 | H24～H33 | 本町特産品の販路拡大及び若手後継者の育成を図るため、流通・商品開発専門の外部アドバイザーやコーディネーターを配置し新商品の開発や既存商品のデザイン等の改良等を行う他、知名度向上のため県内・県外での開催される物産展への定期的な出店やビジネス戦略等の研修会等を実施する。 | ・食品製造業者の育成及び指導(10社) ・久米島在住のアドバイザーの育成(1名) ・商品開発・販路拡大の支援(7件) | ・食品製造業者の育成及び指導(10社) ・久米島在住のアドバイザーの育成(1名) ・商品開発・販路拡大の支援(11件) | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 久米島町 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|-------------------|---------|--|---|---|------|
| 3 | 久米島観光振興促進事業 | H24～H33 | 久米島の良さを効果的に伝え観光客の誘客を促進するため、島の魅力を活かした旅行商品の企画、各種イベントの開催や広報活動等を実施し、観光産業の振興を図る。 | ・旅行社招聘:12社(12名) ・クーポン発券:5,000部(バス利用1,760名) ・広報活動:7件 ・イベント開催:4件(参加人数2,300名) | ・旅行社招聘:14社(24名) ・クーポン発券:3,204部(バス利用1,128名) ・広報活動:5件 ・イベント開催:4件(参加人数1,668名) | |
| 3 | 久米島観光調査事業 | H25 | 久米島観光における効果的な誘客戦略を構築するため、マーケティング調査と現状実態把握を行い、変化が著しい旅行者のニーズ調査を実施する。 | 観光動態調査の実施 | 観光動態調査の実施 | |
| 3 | 久米島観光WEBプロモーション事業 | H25～H33 | 本町の観光誘客の課題である知名度不足の解消を図るため、大手IT企業を活用した観光プロモーションを実施する。 | 国内大手のWEBエージェントを活用し、春夏秋冬の情報を4回発信する。 | 国内大手のWEBエージェントを活用し、春夏秋冬の情報を4回発信する。 | |
| 4 | 地域発信力強化促進事業 | H24～H25 | 新たな久米島の魅力等を効果的に発信する地域の情報発信力の強化を図るため、地域FM放送局を活用した情報発信システムの整備を行う。 | 難聴地域を解消し情報発信力を強化する。 | - | - |
| 4 | 安心安全な観光まちづくり事業 | H25～H26 | 安心安全な観光まちづくりを目指し、津波被害対策として緊急避難階段等の整備を行う。 | 避難階段委託設計の実施 | 避難階段委託設計の実施 | |
| 4 | ヤジャーガマ整備事業 | H24～H25 | 本町唯一の鍾乳洞であるヤジャーガマを観光施設としての利活用を促進するため、自然環境や生息する動植物に配慮した自然体験施設として整備する。 | 駐車場(8台収容)、階段(6箇所、L=43m)の設置及び洞窟内遊歩道(295m)の整備 | 駐車場(8台収容)、階段(6箇所、L=43m)の設置及び洞窟内遊歩道(295m)の整備 | |
| 5 | 赤土等流出防止対策事業 | H24～H33 | 農地保全はもとより観光資源である海岸の保全を図るため、裸地状態の畑へグリーンベルト(ベチパー)の植栽や増殖を行うとともに、排水路に堆積した赤土のしゅんせつ等を実施する。 | ベチパー苗が不足しているため、増殖(株分け)し裸地状態の圃場へ植栽を実施する。(6箇所) | ベチパー苗が不足しているため、増殖(株分け)し裸地状態の圃場へ植栽を実施する。(5箇所) | |
| 5 | 球美の島エコアイランド化推進事業 | H24～H25 | 低炭素島しょ社会の実現と自然豊かな環境に配慮した島づくりの推進を図るため、町内に設置されている水銀街灯のLED化事業等を実施する。 | 各地域の設置要望が高い箇所から順次、水銀街灯からLED街灯へ移行工事を実施する。 | - | 繰 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

[凡例]
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 久米島町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|----------------|---------|--|--|--|------|
| 5 | | | 球美の島緑化推進事業 | H24～H26 | 久米島に自生している花や花木(クメノサクラ、ツツジ、椿、ショウキズイセン等)の保全を図るために、島の在来花木を年中楽しむことができる公園整備を実施する。 | 球美の島緑化公園予定地内ツバキ・ツツジゾーン工事の完了 | - | 繰 |
| 5 | | | 環境美化促進事業 | H24～H33 | 本町の海岸線に漂着する漂着ゴミや観光地の美化作業後の草木等の回収、処理体制の強化を図り豊かな自然環境を保全するため、回収した漂着ゴミ等を処理場へ運搬するために必要な車両等を購入する。 | [運搬車両導入] ・塵芥車両(1台) ・4トンクレーン付きダンプ車両(1台) ・2トンドンプ車両(1台) | - | 繰 |
| 5 | | | 観光地美化緑化促進事業 | H25～H33 | 観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光施設や公共施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃や各種イベント向けの緑化を行う。 | アクセス道路除草 4箇所 公園除草 9箇所 観光施設トイレ清掃 10箇所 文化財関係除草 30箇所 イベント緑化 4箇所 作業用草刈り機等(8台)導入 | アクセス道路除草 4箇所 公園除草 9箇所 観光施設トイレ清掃 10箇所 文化財関係除草 30箇所 イベント緑化 4箇所 作業用草刈り機等(8台)導入 | |
| 6 | | | 沖縄らしい風景づくり推進事業 | H24～H33 | 本町の優れた景観を次世代に受け継ぎ独自の景観形成を推進するため、行政担当者のスキルアップを図り、町景観条例に基づく景観形成に取り組む団体及び個人が実施する屋根等の外観の景観形成に有効な部分の新設及び改良に要する経費の一部を助成する。 | ・県内研修2回、県外研修2回 ・景観活動団体助成5団体 ・景観形成助成2戸 | ・県内研修1回、県外研修2回 ・景観活動団体助成2団体 ・景観形成助成2戸 | |
| 6 | | | 古民家活用事業 | H24～H25 | 本町に数多く点在する伝統的な赤瓦の古民家を保全活用し美しい景観の創出を図るため、本町の偉人である仲原善忠生家の保全整備等を実施する。 | 仲原家改修工事の実施 | 仲原家改修工事の実施 | |
| 6 | | | 個性豊かな文化の振興事業 | H24～H33 | 伝統芸能の保存及び後継者育成を推進し地域伝統文化の振興を図るため、文化振興の活動を行っている団体の行う保存継承イベント開催を支援する。 | 古典民謡大会出演者数 20名 古典民謡大会来場者 250名 民俗芸能発表会出場者 130名 民俗芸能発表会来場者 600名 | 古典民謡大会出演者数 21名 古典民謡大会来場者 180名 民俗芸能発表会出場者 143名 民俗芸能発表会来場者 400名 | |
| 6 | | | 文化遺産保存活用事業 | H24～H33 | 豊かな自然とともに、数多く残されている地域色豊かな歴史文化等の文化遺産を活かした観光振興を図るため、町指定文化財である石墓の調査及び修復整備や古文書(博物館資料)の修復、貴重生物のはく製の制作、町内行事映像記録の収集等を行う。 | ・古文書翻刻丁数:1,000丁 ・古文書修復マイク撮影件数:1,500丁 ・文化遺産(鳥尻石墓)修復・記録保存 1件 ・鳥類剥製資料制作 51体 ・町内記録映像取得 50件 | - | 繰 |
| 6 | | | 久米島現代版組踊り創作事業 | H24～H33 | 若い世代の地域づくりへの積極的な参画を促進し魅力ある観光地形成を図るため、久米島の歴史的遺産にスポットをあてた創作現代版組踊りを実演する。 | 現代版組踊出演者数 30名 現代版組踊公演来場者数 300名 | 現代版組踊出演者数 40名 現代版組踊公演来場者数 800名 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 久米島町 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|------------|-------------|---|--|--|------|
| 6 | 大綱曳き保存復活事業 | H25 | 伝統的行事の保存継承と文化的資源を活用した観光振興を図るため、合併以前、旧村(具志川村)で伝統行事として実施されていた大綱曳き10数年ぶりに復活させ、大綱曳きイベントを実施する。 | 大綱曳きイベント記録映像制作 衣装購入 | 大綱曳きイベント記録映像制作 衣装購入 | |
| 7 | 英語指導員配置事業 | H24～ H33 | 小学校における外国語活動及び国際理解教育を充実させるために英語指導員を配置する。 | 英語指導員による授業時間数: 小学校3・4年生:120時間 小学校5・6年生:210時間 | 英語指導員による授業時間数: 小学校3・4年生:120時間 小学校5・6年生:210時間 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 八重瀬町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|-----------------|---------|---|--|--|------|
| 1 | | | 八重瀬町外国語指導強化事業 | H24～H33 | 各園・小・中学校に指導助手を配置することで教育環境の充実を図り、児童生徒の国際理解やコミュニケーション能力、基礎学力等の向上に繋げる。 | ・H25年度受講者数 4幼稚園269人、4小学校(5・6年生)646人、及び2中学校938人受講。 ・英語検定受験者中8割合格目標 | ・H25年度受講者数 4幼稚園269人、4小学校(5・6年生)646人、及び2中学校938人受講。 ・英語検定受験者中6割合格目標 | |
| 1 | | | 八重瀬町パソコン指導強化事業 | H24～H33 | 迅速に進むIT社会へのニーズに伴うべく、パソコン操作の能力向上を義務教育で強化するため、ITに特化した指導員を町内の小中学校に配置する。 | ・H25年度受講者数 4小学校1,940人、2中学校938人受講。 ・ワープロ検定等、受験者中8割合格を目標 | ・H25年度受講者数 4小学校1,940人、2中学校938人受講。 ・ワープロ検定等、受験者中9割合格を目標 | |
| 1 | | | 八重瀬町学力向上支援事業 | H25～H33 | 小・中学校に児童生徒の学力向上のために、学習支援員を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら児童生徒の支援を行うことで学校及び学級の運営を円滑に行い教育環境の充実を図る。 | ・各小学校:年間の授業及び補習時間:980時間(年間平均値) ・各中学校:年間の授業及び補習時間:1,077時間(年間平均値) | ・各小学校:年間の授業及び補習時間:980時間(年間平均値) ・各中学校:年間の授業及び補習時間:1,077時間(年間平均値) | |
| 1 | | | 八重瀬町伝統芸能文化の継承事業 | H24～H33 | 中学校において、伝統文化の継承を図るために、組踊、三線、エイサー等講師招いて特別授業を行い伝統文化を直に感じて、啓蒙を行い、その集大成として発表会を行う。 | 特別授業終了後の発表会参加生徒数:642人 | 特別授業終了後の発表会参加生徒数:642人 | |
| 1 | | | 八重瀬町国際交流人材育成事業 | H24～H33 | 教育・文化・歴史・産業などの視察研修や青少年団体との交流及びホームステイ等の活動を通して、国際的視野を広め、友情を深め、国際化時代に対応しうる青少年の育成を図るため、青少年リーダーを海外に派遣する。 | 海外短期派遣生徒数:12人 事後報告会:12人 事後報告書:50冊 | 海外短期派遣生徒数:12人 事後報告会:12人 事後報告書:50冊 | |
| 1 | | | 汗水節の心啓発事業 | H25 | 汗水節はふるりの歌として親しまれ今日に歌い継がれてきました。本町出身の仲本稔氏作詞のその歌詞に込められた想いは、生活に苦しむ当時の人々の心を励ます内容でした。この「汗水節の心」を広く県民に啓発し、現代に生きる人々の働く喜びや健康で社会奉仕に取り組む姿勢をめざし、生きる力、豊かな心を育み人材を育成する。 | 印刷物の作成・配布 ポスター 10,400世帯 " 100枚(公共施設等) クリアファイル 3,600枚 (町内小中学校全児童生徒) | 印刷物の作成・配布 ポスター 10,400世帯 " 100枚(公共施設等) クリアファイル 3,600枚 (町内小中学校全児童生徒) | |
| 1 | | | 教育施設環境整備事業 | H25 | 園児の感受性豊かな人格形成を図るため、夏場においても、安全・快適な学習環境を保持できるよう空調設備を整備する。 幼稚園2園の設計委託業務及び、設置工事を行う。 | 空調設備設置済率:75% | 空調設備設置済率:75% | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 八重瀬町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|----------------------------|---------|--|---|--|------|
| 2 | | | 八重瀬町イベント事業 | H24～H33 | 観光客誘客を図るため、町特有の地域資源を活用したイベントを行い、国内外へ情報を発信することで観光地の集客を図り、地域特産物等のPR等を実施する。 | ・八重瀬祭り来場者数 15,000人 ・八重瀬桜祭り来場者数 5,000人 | ・八重瀬祭り来場者数 30,000人 ・八重瀬桜祭り来場者数 3,000人 | |
| 2 | | | 八重瀬町観光地美化作業事業 | H24～H33 | 観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設及び観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。 また、本作業に必要な車両の購入も行う。 | 観光地や施設及びアクセス道路の美化作業 ・観光地 : 8箇所 ・アクセス道路 : 40路線 | - | 繰 |
| 2 | | | 八重瀬さくらのまち整備事業 | H25～H33 | 南部随一の桜の名所として県内外に広くアピールし、知名度の向上と観光地の魅力向上を図るため、さくらまつり会場である八重瀬公園のさくらを年間をととして集中的に生育管理を行う。 | 八重瀬公園内の桜植樹地(約2,500㎡)生育管理 | 八重瀬公園内の桜植樹地(約2,500㎡)生育管理 | |
| 2 | | | 八重瀬町景観重点地区等検討事業 | H25 | 「八重瀬町景観計画」を基に重点地区、重要建造物、重要樹木等の指定に向けた調査・検討を行い、更に、「八重瀬町景観計画」の周知を図る。 | 八重瀬町景観重点地区等の指定に向けた調査・検討 | 八重瀬町景観重点地区等の指定に向けた調査・検討 | |
| 2 | | | 八重瀬町観光振興基本計画及び観光拠点整備計画策定事業 | H25 | 本町の農業・漁業などの生産分野や地域の自然・歴史・文化を活用した多様な体験・滞在・交流型観光の育成を図るため、八重瀬町観光振興基本計画と観光拠点整備計画を策定する。 | ・八重瀬町観光振興基本計画策定 ・八重瀬町観光拠点整備計画策定 | - | 繰 |
| 2 | | | 水産振興刺し網漁(追込み漁)推進事業 | H25 | 高齢化により衰退しつつある伝統漁業の刺し網漁(追込み漁)を守り、水産振興と滞在型観光を推進するため、後継者の育成及び体験型観光漁業(観光客・児童生徒等)を実施する。 | 漁業体験の実施:参加者30名 | 漁業体験の実施:参加者20名 | |
| 2 | | | 玻名城の郷整備事業 | H24～H28 | 玻名城の浜を整備することにより、観光施設の充実を図り、町のイベントや浜での自然体験等を行うことにより観光振興につなげるため、アクセス道路や遊歩道及び海浜公園等の整備を行う。 | 遊歩道の用地買収(24筆 1,367㎡) アクセス道路の整備工事(L=660m) | - | 繰 |
| 2 | | | ハナダゲ(自然橋)整備事業 | H25 | ハナダゲとは、琉球石灰岩が自然の浸食により形成された自然橋で、景観づくりを行い観光資源として活用するため、ハナダゲ(自然橋)の保全と周辺整備を行う。 | 調査測量設計、用地買収、周辺整備工事等の実施 | - | 繰 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 八重瀬町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|----------------------|-------------|---|--|--|------|
| 2 | | | 資料館観光活用事業 | H25 | 化石人骨「港川人」を中心に展示が行われている本町立資料館を観光地として活用し充実を図るため、港川フィッシャー遺跡から出土した県内最古と思われる土器の復元と港川人復元模型の制作を行い展示公開する。 | 具志頭資料館入館者数の増 3,239人(過去5年平均) 3,500人 | 具志頭資料館入館者数:3,470人 | |
| 2 | | | 八重瀬町歓迎看板設置事業 | H25 | 観光推進を推進するため、本町を訪れた人へ目で八重瀬町をPRできる看板を設置し、情報発信の強化を図る。 | ・サイン整備計画の策定 ・歓迎看板(ウエルカムサイン)等設置 8基 | ・サイン整備計画の策定 ・歓迎看板(ウエルカムサイン)等設置 9基 | |
| 2 | | | 八重瀬町情報発信事業 | H25 | ホームページの観光機能を強化し、国内外へ情報の発信を行うことで、観光客等の誘客を促進する。 | 町ホームページ機能強化 (多言語化:5ヶ国語対応) | 町ホームページ機能強化 (多言語化:7ヶ国語対応) | |
| 2 | | | 八重瀬町戦跡整備事業 | H25～ H27 | 本事業は、戦跡(ヌマカマ、カガノ壕)周辺を整備し歴史・平和学習等へ活用する目的で実施するが、本年度は、整備予定区域の用地買収及び物件補償を行う。 | 整備予定地の用地買収及び物件補償を行う。 用地買収予定面積:11,604㎡ | - | 繰 |
| 2 | | | 運動公園施設等整備事業 | H24～ H28 | プロチーム・大学のキャンプでも利用されるサッカー場・野球場・ソフトボール場等の施設を整備しハイレベルな練習環境等を整え、スポーツツーリズムの振興を図る。 | 県外からの野球チーム(2チーム)、サッカーチーム(1チーム)のスポーツキャンプを受入 | 県外からの野球チーム(2チーム)、サッカーチーム(5チーム)のスポーツキャンプを受入 | |
| 2 | | | 観光地安全対策事業 | H25 | 各種スポーツキャンプやスポーツ大会等で、町内外から多数の利用者がある運動公園施設に防犯カメラを設置し、利用者の安全・安心を確保する。 | 防犯カメラシステムの導入 | 防犯カメラシステムの導入 | |
| 3 | | | 八重瀬観光資源構築に関する事業 | H24～ H25 | H24に選定された八重瀬観光ブランドイメージキャラクターの着ぐるみの作成及び観光プロモーションを行う。 | ・イメージキャラクターの着ぐるみを使った観光プロモーションの実施 ・イメージキャラクターの絵本及び作詞・作曲・振付まで行い、地域内外に広く周知 | ・イメージキャラクターの着ぐるみを使った観光プロモーションの実施 ・イメージキャラクターの絵本及び作詞・作曲・振付まで行い、地域内外に広く周知 | |
| 3 | | | 八重瀬町観光資源ブランド開発に関する事業 | H24～ H33 | 八重瀬町の地域資源を観光資源にするため、体験プログラムの構築や人材育成を行う。また教育旅行受入のためのコーディネートや情報発信及び観光プロモーションを行う。 | 講演会:3回 安全マニュアル作成 | 講演会:3回 安全マニュアル作成 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 八重瀬町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|-------------------------|---------|--|---|--|------|
| 3 | | | 八重瀬カラベジブランド構築に関する事業 | H24～H33 | カラベジ製品を初めとする町の特産品の開発とブラッシュアップ及び販路開拓を支援する。同時に、カラベジブランド力向上のためのイベントを実施する。 | ・新規カラベジ製品等の開発 3品 ・物産展等参加(町内、那覇市、東京各1回) ・リウボウでのカラベジフェア 1回 ・カラベジスタンプラリー 2回 ・販促用媒体制作 12,000部 | ・新規カラベジ製品等の開発 3品 ・物産展等参加(町内、那覇市2、東京各3回) ・リウボウでのカラベジフェア 1回 ・カラベジスタンプラリー 2回 ・販促用媒体制作 15,000部 | |
| 3 | | | 八重瀬町体験観光指導者及び民泊受入家庭育成事業 | H25～H33 | 八重瀬町には宿泊施設が少ないため、教育旅行受入のための民泊受入家庭の体制整備及び勉強会等を行う。 | 民泊受入家庭 50戸育成 | 民泊受入家庭 36戸育成 | |
| 4 | | | 八重瀬町循環型環境保全事業 | H24～H25 | 生ゴミをゴミとして焼却するのではなく、肥料として活用しゴミの減量化を行うことで循環型農業の取り組みを行う。 | 生ゴミ回収量 43トン/年 | 生ゴミ回収量 36トン/年 | |
| 4 | | | 農業機械施設整備事業 | H25～H27 | 共同利用機械等の生産条件の整備を実施することにより、市場ニーズに対応できる安定生産・出荷に向けた産地形成を図り、農業経営の安定化を推進するとともに、農産物の生産振興を図る。 | 共同利用機械整備:3台 共同利用機械施設整備:1箇所 | 共同利用機械整備:1台 共同利用機械施設整備:1箇所 | |
| 5 | | | 教育施設省エネ化推進事業 | H25～H33 | 環境にやさしい教育施設を推進するため、八重瀬町役場地球温暖化対策実行計画に基づき照明設備をLED化し省エネ化を推進する。 小学校体育館の照明設備LED取替委託業務及び工事を行う。 | (白川小学校体育館) 1日当り10時間稼働 月次合計使用電力量削減率 約49% | (白川小学校体育館) 1日当り10時間稼働 月次合計使用電力量削減率 約59% | |
| 6 | | | 防災マップ作成事業 | H25 | 島しょ県である沖縄は、大規模災害時には物資の補給が困難となり、孤立してしまう恐れがあり、物資を配給する避難所を日頃から住民に周知しておく必要があります。そのことから台風や大雨、その他さまざまな災害に備え、住民向けの防災マップを作成し、日頃から避難場所や危険区域を周知することで防災力の強化を図る。 | 防災マップの作成 11,000部 | 防災マップの作成 11,000部 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 多良間村 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|---------------------------|---------|---|---|--|------|
| 1 | | | 防災行政無線施設整備事業 | H25 | 多良間村の情報通信施設である防災行政無線施設をデジタル化に更新し、更に、現在カバーされていない集落以外の地域にも増設整備する。このことにより、行政情報、災害時の緊急情報を住民や観光客等へ迅速かつ的確に情報提供できるようになり、安心安全の確保が可能になる。 | 防災行政無線施設の整備の完了 | - | 繰 |
| 2 | | | 観光関連施設整備事業(東屋等) | H25～H26 | 本村の地域資源を活かした観光産業の振興を図るため、観光関連施設等に東屋等を整備し快適な環境づくりによる観光地形成を推進する。 | 観光関連施設への東屋の設置(3棟) 関連施設(トイレ)の設置(2箇所) | 観光関連施設への東屋の実施設計 関連施設(トイレ)の実施設計 | 未 |
| 2 | | | 美化緑化推進事業 | H25～H33 | 観光地形成に向け、公園、道路等の主要施設の環境美化を行い、観光関連施設の緑化推進を図る。 | 観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化の実施 ふるさと海浜公園・八重山遠見台・宮古市の森公園等8ヶ所(4回) | 観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化の実施 ふるさと海浜公園・八重山遠見台・宮古市の森公園等8ヶ所(2回) | |
| 4 | | | 多良間村資源循環活用施設基本計画作成事業 | H25 | 基幹作物であるさとうきびのトラッシュ(夾雑)や伐採木、家庭から出る草木の堆肥化・資源化を図るため、バイオマス資源の調査、各資源の有効利用の検討を行い、持続可能な農業を中心とした循環型社会の構築を目的とした基本計画を作成する。作成後は、基本計画を基に、資源循環型農業を確立するため資源循環活用施設を整備する。 | 資源循環活用施設の基本計画、基本設計の策定 | 資源循環活用施設の基本計画、基本設計の策定 | |
| 5 | | | イネヨウトウかく乱法防除事業(フェロモンチュウブ) | H25～H30 | さとうきびの生産安定と品質向上を図るため、フェロモンチュウブを設置し、雌を探す雄の行動を阻害し、交尾率を低下させることにより、イネヨウトウの次世代密度低下を図る。 | さとうきびのイネヨウトウ被害を防ぐため防除を行う。 ・フェロモンチュウブ設置:2,987巻 | さとうきびのイネヨウトウ被害を防ぐため防除を行う。 ・フェロモンチュウブ設置:2,987巻 | |
| 5 | | | さとうきび農薬購入補助事業 | H25～H33 | さとうきびの植え付け時、これまで使用していた農薬が害虫への効力が少なく、さとうきび苗の発芽が悪いため、害虫への効力が強い農薬(プリンスベイト)の購入費に補助し、さとうきびの収量及び品質の向上に努める。 | さとうきび安定生産のため農薬購入の補助を行う ・必要量:1ha当たり30袋 ・299ha:8,970ha袋予定 | - | - |
| 6 | | | オニヒトデ駆除事業 | H25 | 観光客が安全・安心にダイビング等を楽しむとともに、オニヒトデによるサンゴの食害を防ぎ、多良間村の観光の目玉であるきれいな海を守るため、オニヒトデの駆除を実施する。 | オニヒトデによるサンゴの被害状況の把握及び駆除。 ・駆除回数:20回 ・駆除数:1,000匹 | - | - |
| 7 | | | 中学校空調設備設置事業 | H25 | 亜熱帯気候である沖縄は、年間を通して高温多湿な状況が長期間続くことから、児童・生徒の学習環境を改善し学習に集中できる環境を整備するため、空調設備を整備する。 | 中学校空調設備の整備(3教室) (村内中学校の空調整備の達成率100%) | 中学校空調設備の整備(3教室) (村内中学校の空調整備の達成率100%) | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 多良間村 | | | | | | |
|----------|----------------|----------|---|--------------------------------|--------------------------------|------|
| 事業 番号 | 事業名 | 計画 期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
| 8 | 干ばつ対策灌水タンク整備事業 | H25 | 多良間村の土層は浅く保水力に乏しく慢性的な干ばつ被害を受けている。この干ばつ被害を打開するため、村内にあるため池の水を利用し、干ばつ期に灌水できるようにエンジンポンプ付き水タンクの整備を行う。 | 灌水タンク(エンジンポンプ、散水銃付き)の整備 10基 | 灌水タンク(エンジンポンプ、散水銃付き)の整備 10基 | |
| 9 | 快適生活環境推進事業 | H25 | 農業振興のための貯水池、肉用牛等家畜の副産物(糞・堆肥)がハエ等の格好の産卵場所となり、害虫の異常発生が起きている状況である。このため、高性能煙霧機を導入し害虫を駆除することで伝染病の予防と快適な生活環境の造成を図る。 | 高性能煙霧機の整備: 3基 | 高性能煙霧機の整備: 3基 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 竹富町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|-------------|---------|--|---|---|------|
| 1 | | | 子育て支援環境整備事業 | H25 | 離島・へき地において、地域の中で安心安全に育児・子育てができる環境を整備するため、育児サポート育成や相互援助活動支援等を実施した。地域ぐるみの子育てをすることで、児童育成の健全化や地域交流の機会を図る。 | 講座修了者数 18人 竹富町ファミリーサポートセンターおたすけ会員(預かる人)新規登録者数 | 講座修了者数 6人 | 未 |
| 1 | | | 竹富町妊婦支援事業 | H25 | 竹富町には産婦人科の医療機関がなく、妊婦は町外の出産施設へ検診・出産待機する必要があり、経済的負担となっている。妊娠出産にかかる経済的負担を軽減し定住環境の充実を図るため、竹富町に住所を有し、母子健康手帳の交付を受けた者が、妊婦健康診査を受診する際に船舶運賃を助成する。 また、待機宿泊については、36週以降の妊婦が沖縄県内の宿泊施設で出産のため滞在した宿泊費について1泊2千円を限度として助成する。 | ・妊婦運賃助成 840回 ・妊婦宿泊助成 400日間 | ・妊婦運賃助成 334回 ・妊婦宿泊助成 429日間 | |
| 2 | | | 観光客誘致対策事業 | H25 | 竹富町・石垣市・与那国町と連携し、八重山・竹富町への観光客誘致を目的に、国内各地をはじめ、県内外も含めた観光客誘致プロモーションを実施した。入域観光客数の量的な充足を踏まえて、持続可能なバランスのとれた観光交流空間の創造へと導く為に、自立に向けた地域主体の観光振興、豊かな自然の保護と共存共栄を図り、竹富町の観光を支える組織及び人材育成と地域資源の保護・保全・無形文化を継承する地域コミュニティの強化を図る。 | ・観光客誘致活動 JATA旅博2013来場動員数 15万人 | ・観光客誘致活動 JATA旅博2013来場動員数 13万人 | |
| 2 | | | 小浜島観光関連事業 | H24～H25 | カトレ海岸マングローブ林(干潟)へのアクセス道路が未舗装であることや駐車場がないことから、レンタカー・レンタサイクル等での往来に支障をきたしているため、進入路(430m)・駐車場(460.8㎡)及び東屋(30.25㎡)を整備し、小浜島の観光スポットとしての利活用を図る。 | カトレ海岸アクセス道路及び駐車場の整備完了 (駐車可能台数 20台) | カトレ海岸アクセス道路及び駐車場の整備完了 (駐車可能台数13台:普通車11台大型バス2台) | |
| 2 | | | 西表浦内観光関連事業 | H24～H27 | 観光客の増加に伴う大型観光バス、レンタカー等の増加により、既存の駐車場は手狭で浦内川周辺の交通が混雑しているため駐車場整備を行う。また、日本の滝100選にも選ばれているマリユドゥの滝やカンピレーの滝に通じる遊歩道・東屋の測量設計を行う。 | ・西表浦内の駐車場整備工事の実施 (北 845.7㎡、南舗装1,339.1㎡) ・マリユドゥ、カンピレーの滝に通じる遊歩道の設計の実施 | ・西表浦内の駐車場整備工事の実施 (北 845.7㎡、南舗装1,339.1㎡) ・マリユドゥ、カンピレーの滝に通じる遊歩道の設計の実施 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 竹富町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|------------------------|---------|--|---|---|------|
| 2 | | | 竹富町地域総合ポータルゲートウェイ事業 | H25 | 平成24年度に構築したポータルサイトのシステム及びリソースを最大限に活用して行くためのオリジナルアプリの開発や、Wi-Fi整備を行う。また、当該事業を広く情報発信していくための効果的なプロモーション活動を検討し、本町の周遊観光の推進と特産品等の販路拡大に向けた情報インフラの活用促進を図る。 | ・オリジナルアプリ開発 1件 ・Wi-Fi環境整備 30箇所 ・プロモーション活動 2回 | ・オリジナルアプリ開発 1件 ・Wi-Fi環境整備 33箇所 ・プロモーション活動 8回 | |
| 2 | | | 黒島観光関連事業 | H25～H26 | 国の有形文化財に登録されている伊古棧橋は多くの観光客が訪れており、多くのWEBサイトや観光ガイド本等のMAPに掲載されるなど、黒島の主要な観光スポット・景観地となっている。当該施設を訪れる観光客のほとんどがレンタサイクルを利用しているが、進入道路は凹凸が多く、降雨後は利用に支障をきたしている状況にあり、観光客へのイメージダウンとなっている。よって進入道路の整備(250m)、日陰等もないため東屋の整備(一棟)を計画し、観光客等の利用者の安全性の確保や利便性の向上を図る。平成25年度は測量および設計を行う。 | 里道の測量及び設計業務の完了 | 里道の測量及び設計業務の完了 | |
| 2 | | | 旧太陽の村危険廃屋解体撤去及び公園等整備事業 | H25～H27 | 旧太陽の村では、廃屋が自然景観や優れた景観を損なわせるような状態にあるため、平成24年度事業において危険建物を撤去し、公園等の整備設計を実施した。平成25年度からは、前年度の実設計をもとに展望台や遊歩道を設置することによって、住民や観光客の交流を促進し観光振興の拠点地域とする。 | 公園等整備工事の実施 (工事内容) 拝所前広場、展望台、ホードウォーク、取付道路、外柵等の整備 | 公園等整備工事完了 | |
| 3 | | | 観光道路美化推進事業 | H24～H33 | 主要な観光スポットを結ぶアクセス道路の、通行の安全確保や島々のまちなみと融合した景観の形成を図り、観光地としての質を高めるための美化保全清掃を実施する。 | 花植栽 590m :竹富(180m)、小浜(150m)、住吉(150m)、波照間(110m) | 花植栽 590m :竹富(180m)、小浜(150m)、住吉(150m)、波照間(110m) | |
| 3 | | | 観光景観地・指定文化財美化保全事業 | H24～H33 | 島々に残された貴重な文化遺産である指定文化財や景勝地の美化保全を進め、地域住民の文化財愛護意識を高めるとともに、観光資源としての活用を進める。 | 観光景観地・指定文化財美化保全実施 6地区に分けて実施 12箇所 国指定文化財 5箇所 県指定文化財 1箇所 町指定文化財 6箇所 | 観光景観地・指定文化財美化保全実施 4地区に分けて実施 17箇所 国指定文化財3箇所 県指定文化財2箇所 町指定文化財7箇所 未指定文化財5箇所 | |
| 3 | | | 黒島主要路線ギ木化事業 | H24～H33 | 黒島の主な産業は肉用牛生産と観光産業となっており、ギ木とその背景の牧場風景を活かした県道213号線は「日本の道100選」にも選定され観光道路となっていることから、島全体を観光地として魅力向上を図る為、県道以外の主要道路にもギ木柵を設置する。 | 町道黒島1周線 ギ木設置延長 750m (両側設置) | 町道黒島1周線 ギ木設置延長 2,948m | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 竹富町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|------------------|---------|--|--|--|------|
| 3 | | | 竹富町デイゴヒメコバチ防除 | H24～H25 | 県花のデイゴを保護するため、害虫のデイゴヒメコバチの防除を実施し、島々の景観、まちなみを保全することで優れた観光地の形成を図る。 | ヒメコバチ防除(デイゴ木薬剤注入作業) 薬剤注入 1,020本 | ヒメコバチ防除(デイゴ木薬剤注入作業) 薬剤注入 1,050本 | |
| 3 | | | 墓地景観形成事業 | H25～H26 | 沖縄特有の文化により、墓地の区域指定がないため墓地が散在しており環境保全、景観上の問題、土地利用の面等さまざまな課題が生じている。このため、墓地の無秩序な立地を防ぎ、計画的な集約化を図り観光地としてのまちなみや優れた自然景観を保全するための調査を行う。 | ・墓地基本計画策定に係る住民意向等調査報告 ・検討委員会報告 | ・墓地基本計画策定に係る住民意向等調査未実施 ・検討委員会報告未実施 ・墓地分布図及び墓地台帳を作成 | 未 |
| 3 | | | 不法投棄抑制事業 | H25 | 本町の有する沖縄特有のまちなみや自然景観が不法投棄により景観を損ねているため、排出処理することで観光地としての質の高い自然景観、まちなみの保全を図る。又、不法投棄啓蒙活動を実施しこみ問題の解決を図る。 | 不法投棄抑制事業報告書作成 7島8地区(実態把握・処理結果・啓蒙活動報告) | 不法投棄抑制事業報告書完成 7島8地区(実態把握・処理結果・啓蒙活動報告) | |
| 3 | | | 景観計画ガイドライン作成委託業務 | H25 | 景観計画に示された景観づくりの基準について、地域住民・事業者・行政等が共通の認識をもつための解説本となるガイドラインを作成する。 | 景観ガイドラインの作成 | 景観ガイドラインの完成 | |
| 4 | | | 竹富町ペット適正飼養推進事業 | H24～H28 | 西表島の貴重な生態系の保全、特に絶滅の恐れのあるイリオモテヤマネコほ保全するため、西表島におけるペットの適正飼養を推進するために諸施策を実施する。 西表ペット適正飼養推進会議の開催や、ノラネコの保護収容及び収容個体の適切な処置、適正飼養に関する普及啓発講演会を開催する。 | ペット適正飼養推進会議の開催 1回 逸出ペット保護収容個体 3頭以内 普及啓発講演会の開催 4回 | ペット適正飼養推進会議の開催 12回 逸出ペット保護収容個体 12頭 普及啓発講演会の開催 5回 | |
| 5 | | | 竹富町和牛生産推進事業 | H24～H33 | 本町の主産業のひとつは畜産業であるが、離島ゆえの地理的経済不利が生じている。市場競争で負けないよう、優良で高品質な和牛生産を推進するため、口蹄疫侵入防止対策として、各離島港湾に消毒用マットを設置し、消毒薬散布等を実施する。また、優良母牛購入費用の一部を助成する。 | ・優良遺伝繁殖雌牛導入助成頭数 40頭 ・高齢母牛早期更新奨励頭数 95頭 | ・優良遺伝繁殖雌牛導入助成頭数 63頭 ・高齢母牛早期更新奨励頭数 12頭 | |
| 5 | | | 含みつ糖製糖施設近代化事業 | H25 | 製糖事業者の経営体質強化のため、製糖事業者が取り組む製造コストの低減、品質向上及び衛生管理の徹底等のため製糖施設整備を支援し、製糖事業者の安定操業を確保することにより、地域の基幹産業「さとうきび・糖業」振興を図る。 | 西表製糖施設の周辺外溝工事(アスファルト舗装・排水施設整備) | - | 繰 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 竹富町 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|---------------------|---------|--|---|--|------|
| 6 | 読書支援事業 | H24～H26 | 図書館設置が困難な地理的条件にある本町の幼児・児童生徒を含む地域住民への生涯学習支援として、学校図書室を地域へ開放し学校図書室へ人員を配置して読書支援を行う。 | ・黒島地域住民の図書貸出冊数 30冊/月 基準年(H23) 4冊/月 ・小浜地域住民の図書貸出冊数 45冊/月 基準年(H23) 21冊/月 | ・黒島地域住民の図書貸出冊数 26冊/月 ・小浜地域住民の図書貸出冊数 50冊/月 | |
| 6 | 竹富町児童・生徒の心と体を育む支援事業 | H24～H33 | 日本最南端の町である竹富町では、児童生徒の遠征活動に保護者の負担が大きく重なり十分な課外活動が行いにく状態にある。 そこで、町内の児童生徒が町外へ選手や各種コンクール等の受賞者として派遣される場合の船賃・航空賃及び宿泊費を派遣費補助規程に基づき遠征費補助を実施する。 | 児童生徒選手等派遣人数 440人 基準年(H24) 330人 | 児童生徒選手等派遣人数 704人 | |
| 6 | 学校ICT環境整備事業 | H25 | 将来の沖縄振興に資する人材の育成と教育の振興、学力向上を図るため、ICT端末等を活用した情報の多様化、高度化に対応した教材を導入する。 | ・町内小中学校への電子黒板設置率 100% ・町内小中学校内無線LAN整備率 100% | ・町内小中学校への電子黒板設置率 100% ・町内小中学校内無線LAN整備率 100% | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 与那国町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|--------------------|---------|---|---|---|------|
| 1 | | | 地域振興対策事業 | H24～H28 | 既存の観光イベントの参加促進と、他の体験型観光メニューとの連携を図り、かつ、各種広報媒体等による「情報発信」体制を構築し、観光客のニーズを十分に考慮した滞在型観光地であることの周知により観光客等の誘客と滞在時間の長期化を促進した。 | カジキ釣り大会の参加者数 110人 一周マラソン大会の参加者数 459人 | カジキ釣り大会の参加者数 109人 一周マラソン大会の参加者数 529人 | |
| 1 | | | 与那国町観光ガイドブック作成事業 | H25 | 現状に見合ったガイドマップを作成し、観光ニーズに対応しさらにPR活動等を実施した。 | 与那国町観光ガイドマップの配布 50,000部 | 与那国町観光ガイドマップの配布 50,000部 | |
| 1 | | | サンニヌ台景勝地整備事業 | H25 | 利便性と安全性が確保された景勝地を提供し観光客が安心して利用できる環境を整備するため、崖の崩落および塩害により危険な状態のサンニヌ台の展望台と遊歩道の整備を実施する。 | サンニヌ台の展望台及び遊歩道の整備 | - | 繰 |
| 1 | | | 久部良バリ観光地駐車場整備事業 | H25 | 利便性と安全性が確保された景勝地を提供し観光客が安心して利用できる環境を整備するため、久部良バリへのアクセス路および駐車場の整備を実施した。 | 久部良バリ観光地駐車場整備の整備 | 久部良バリ観光地駐車場整備の整備 | |
| 1 | | | 与那国町特産品アピール力強化事業 | H25～H29 | 日頃より触れる機会の少ない与那国町の特産品の良さを知ってもらう為に、平成25年度離島フェアの集客力を利用し出展を行い、特産品のPRを行い参加事業所には店舗レイアウトや陳列方法、POPの作成方法などの専門家による事前講習を実施した。 | 離島フェアへの出店者数 10業者 | 離島フェアへの出店者数 8業者 | |
| 2 | | | 与那国町農業用水対策事業 | H24～H26 | 安定した農業生産基盤を構築するため、農業用水を年間を通して確保するため池及びかんがい排水施設の整備、生産効率を向上させる近代生産施設の導入、輸送時の品質低下を防ぐ簡易農道(石粉道路)の表層舗装と町道・農道の雑木伐採を実施する。 | かんがい施設整備の実施 3箇所 | かんがい施設整備の実施 3箇所 | |
| 2 | | | 与那国町さとうきびイネヨトリ防除事業 | H25～H29 | さとうきびの安定生産を図るたことを目的に、夏植え70ha、春植え20ha、株出し30haを対象に農薬購入に対する購入補助を実施する。 | 農薬購入費の補助の実施 補助件数90農家 | 農薬購入費の補助の実施 補助件数74農家 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 与那国町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|--------------------|---------|---|---|---|------|
| 2 | | | 与那国町さとうきび干ばつ対策事業 | H25～H29 | さとうきびの安定生産を図ることを目的に、干ばつ時に備え、大型タンク散水車(15t)を購入し、干ばつ時に対応出来るよう体制を実施する。 | 大型タンク散水車購入(15tタンク車) | - | 繰 |
| 2 | | | 優良牛繁殖雌牛導入事業 | H25～H29 | 与那国町の和牛生産を推進すると共に、繁殖雌牛の生産基盤の拡充・強化を図り、改良を促進し、肉用牛の資質向上を図るために、町が農業者、農組合法人を含む農業生産法人に対して優良繁殖雌牛購入費用の一部を助成し、購入費用の1/3以内、1頭当たり200千円を上限として助成を実施する。与那国町の和牛生産を推進するため、繁殖雌牛の導入補助(18頭)を実施する。 | 優良牛繁殖雌牛導入の実施 年間16頭 | 優良牛繁殖雌牛導入の実施 年間20頭 | |
| 2 | | | 水産物輸送コスト負担軽減事業 | H25～H29 | 水産物の県内輸送にたいして、流通条件の不利益を解消するため与那国町漁業協同組合に、県内出荷の輸送費相当額を補助する。与那国町の地理的不利性を解消するため、生鮮水産物の空路輸送料に対し与那国漁業協同組合へ補助を実施する。 | 生鮮水産物の出荷量増 前年度比5%増 | 生鮮水産物の出荷量増 前年度比130%増 | |
| 3 | | | 家庭学習支援モデル事業 | H24～H28 | U・ターンを阻害する要因である中央との教育環境の格差を解消し、人口の増加と地域の活性化を担う人材の育成を図るため、小中学生を対象とした家庭学習支援としてWeb会議システムを用いたオンライン双方向授業を行う「町営学習塾」を開設した。 | 学習塾受講率 (中学生) 46% (小学生) 41% | 学習塾受講率 (中学生) 60% (小学生) 51% | |
| 3 | | | 教育諸活動助成事業 | H24～H28 | 町内の児童生徒の各種大会派遣費(航空運賃等)を助成することにより、子供たちが持つ多様な能力・才能を発揮する機会を提供する。この住民負担の軽減により、貴重な経験を得ることができる機会をより多く提供し、本町の未来を拓く子供たちの能力向上を図る。 | 各種大会派遣人数 300人 | 各種大会派遣人数 290人 | |
| 3 | | | 地域国際交流事業 | H24～H28 | 本事業では、本町の姉妹都市である台湾・花蓮市への小学生のホームステイを行い、島の次世代を担う青少年に異文化交流と体験学習を深めることにより、国際的な広い視野と高い語学力を持つ人材を育成を図った。 | 台湾「花蓮市」へホームステイ生徒数 15人 学力向上推進実践報告会 1回 | 台湾「花蓮市」へホームステイ生徒数 16人 学力向上推進実践報告会 1回 | |
| 3 | | | 与那国町ジュニア海外語学研修派遣事業 | H25～H28 | 本事業は、町内の中学生を対象として、ジュニア期の早い時期に欧米への語学研修(短期ホームステイ)の支援を行う。ジュニア期の語学研修は、海外での生活体験を通して外国語への学習意欲を喚起する。また、国際交流を通して地域文化を見つめ直す機会を提供することになり、豊かな国際感覚を身につけた人材の育成、及び町の将来を担う人材の育成を図る。 | 海外語学研修派遣事業の実施 アメリカ 2人 イギリス 2人 語学研修意見発表会 | 海外語学研修派遣事業の実施 アメリカ 6人 語学研修意見発表会 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 与那国町 | | | | | | |
|------|------------------|---------|---|-----------------------|------------------------|------|
| 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
| 4 | 地域文化の継承と生涯学習支援事業 | H25～H29 | これまで「地名と風土」と「民族編」に続いて歴史編を発行しており、2009年にユネスコによる与那国語(方言)の消滅危惧種に認定されたことから、先人の残した島固有の言葉と伝統文化の保全継承の重要性、与那国語(方言)のすばらしさの再認識と次世代継承を目的に「与那国語(方言)辞典」の発行に向け関連イベントを実施する。 | 方言大会の実施 スカンニ大会の実施 | 方言大会 未実施 スカンニ大会 未実施 | 未 |
| 5 | 与那国町すこやか子育て支援事業 | H25～H28 | 就学前児童を対象として、教育課程に係る教育時間終了後に公共施設の一室を利用して、子どもにとって安心・安全な場所を設け、遊びの場を提供し、保護者の子育て支援する。 | 支援人数(利用者数 24人) | 支援人数(利用者数 24人) | |
| 5 | 介護ヘルパー支援事業 | H25 | 介護サービス事業所がない本町は、利用者に必要な介護サービス提供が行えない状況にある。当分の間、町役場がサービス提供に必要な人材等を確保し、安心、安定した介護サービスの提供を実施する。 | 介護ヘルパーによる入浴介護・食事介護の実施 | 介護ヘルパーによる入浴介護・食事介護の実施 | |
| 5 | 子育て支援事業 | H25 | 平成24年度交付金で事業化した保育所建設は平成25年度に繰越しているが、当初計画時に全体事業費が不足となり、設計委託業及び建設工事費となったため、平成25年度において備品購入を実施する。 | 祖納保育所の子育て支援備品設置 | 祖納保育所の子育て支援備品設置 | |
| 5 | 介護支援事業 | H25 | 平成24年度交付金で事業化した介護支援センター建設は平成25年度に繰越しているが、当初計画時に全体事業費が不足となり、設計委託業及び建設工事費となったため、平成25年度において備品購入を実施する。 | 介護支援センターの介護支援備品設置 | 介護支援センターの介護支援備品設置 | |
| 6 | 少子高齢化対策事業 | H24～H28 | 本町の医療機関には、産婦人科を含めた各専門医がいない。本事業では、妊娠から出産までに必要となる専門医による島外診療を受けるために必要な渡航費等の費用の補助を行った。 | 妊産婦一人当たり受診回数 10回 | 妊産婦一人当たり受診回数 10回 | |
| 7 | 公共交通路線支援事業 | H24～H28 | 本町の公共交通は、集落間を結ぶ生活路線バスのみであり、人口規模の小さな本町では、運賃のみで路線を維持することは困難である。地方バス運営に必要な費用を支援することにより、生活路線バスの安定的な運営を維持し、定住条件整備と来島者の利便性向上を図った。 | 公共交通路線バス運行便数2,555便/年 | 公共交通路線バス運行便数2,549便/年 | |
| 7 | ドゥナン・ファンド推進事業 | H24～H28 | 島に残る貴重かつ有望な資源を活用した起業や、地域活動の維持・活性化のために必要な支援を提供する「ドゥナン・ファンド」設置に必要な検討を行う。 | どぅなん町民活動支援ファンド計画の策定 | どぅなん町民活動支援ファンド計画の策定 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 与那国町 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|--|------|---------------------|---------|---|----------------------|----------------------|------|
| 8 | | | 与那国町防災情報伝達システム導入事業 | H25～H26 | 緊急時会議システムの導入及び既存の防災行政無線施設とのマッチングによる住民への情報伝達手段の効率的な連絡体制、情報伝達システムの構築を図った。 | 防災情報伝達システムの構築 | 防災情報伝達システムの構築 | |
| 8 | | | 与那国町安全基盤整備事業 | H25～H26 | 与那国町の玄関口である空港・港及び3集落主要箇所に防犯カメラの設置、及び3集落内の防犯灯(258基)を毎年、襲来する台風により塩害や強風等の損傷が激しい、そのため長寿命で経済性に優れたLED防犯灯に取り替えを実施する。 | 安全基盤対策委託防犯カメラ設置 6箇所 | 安全基盤対策委託防犯カメラ設置 8箇所 | |
| 8 | | | 与那国町海域・安心安全方策調査事業 | H25～H26 | 国境に面している与那国島での海域を守るため、漁船を町が造船し新規の就漁者や老朽化した漁船の代替船として漁民にリースする事業の仕組み作りなどの設立方策調査を実施した。 | 漁船リース事業仕組み作りの調査結果の公表 | 漁船リース事業仕組み作りの調査結果の公表 | |
| 8 | | | 与那国町地域防災計画(津波編)策定事業 | H25 | 平成23年度に策定された「与那国町地域防災計画」を補完するため、与那国町地域防災計画(津波編)を追加作成するため、作業部会による必要事項を検討を実施した。 | 与那国町地域防災計画(津波編)の公表 | 与那国町地域防災計画(津波編)の公表 | |
| 9 | | | 与那国島歴史文化交流支援事業 | H25 | 多様な観光ニーズに対応するため、与那国町の地域資源を活用した地域情報の発信施設を整備する。具体的には、台湾花蓮市と姉妹締結30年を迎えるこの間の様々な交流の歩みを記録し形として残し、また、現存している与那国島の明治時代から現代までの記録写真を展示するなど与那国島に関する多種多様な資料の整理及び展示施設を建設し、与那国島の自然以外の魅力を観光客など島内外へアピールすることを目的とする資料館及び観光の拠点施設として「与那国島歴史・文化・交流資料館」(仮称)の整備を実施する。 | 与那国島歴史文化交流資料館建設完了:1棟 | - | 繰 |